

Iwate Medical University Educational Data Book 2023



岩手医科大学教学IRデータ集

目次

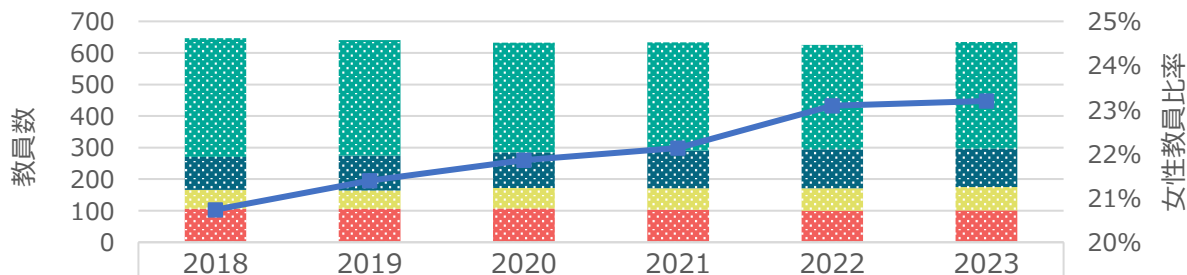
1. 教職員・学生数等	
1-1 教員数推移	1
1-2 在学生数推移	6
1-3 収容定員充足率推移、S/T比推移	10
2. 志願者数・入学状況	
2-1 志願者数、志願倍率推移	11
2-2 志願状況学外比較	15
2-3 入学者年齢推移	20
2-4 入学者男女比推移	24
2-5 入学者出身校地域別推移	26
3. 在学時状況	
3-1 ストレート進級率推移	31
3-2 留年者・退学者・休学者数推移	33
3-3 標準年限超過者数推移	37
3-4 奨学金等受給者・受給率推移	38
3-5 学修支援アンケート集計結果経年推移	40
4. 卒業時状況	
4-1 年度別卒業生数・卒業率推移	71
4-2 就職者・就職率および大学院進学者・進学率推移	73
4-3 国家試験合格率推移	75
4-4 卒後直近の進路状況	77

○本データ集の対象期間は2018年度～2023年度の6年間です。一部対象期間以外のデータについても掲載しています。

○グラフ中の西暦はすべて年度を表しています。また、データの算定根拠となる数値は、原則として各年度の5月1日時点での値となります。

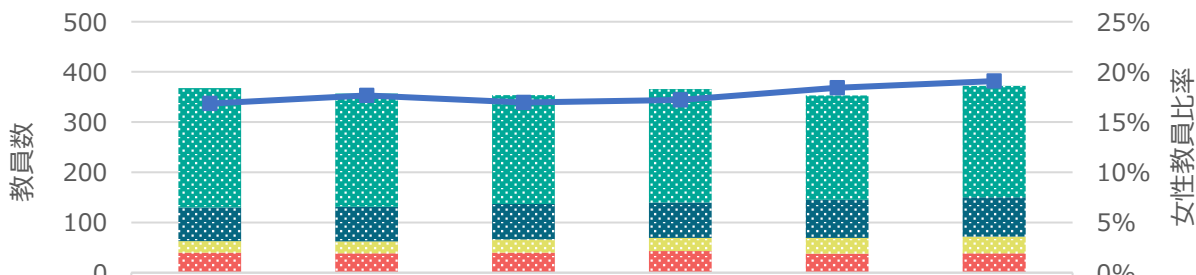
○3-2「留年者・退学者・休学者数推移」、4「卒業時状況」は、表示年度の3月31日時点の値となります。

教員数推移_大学全体



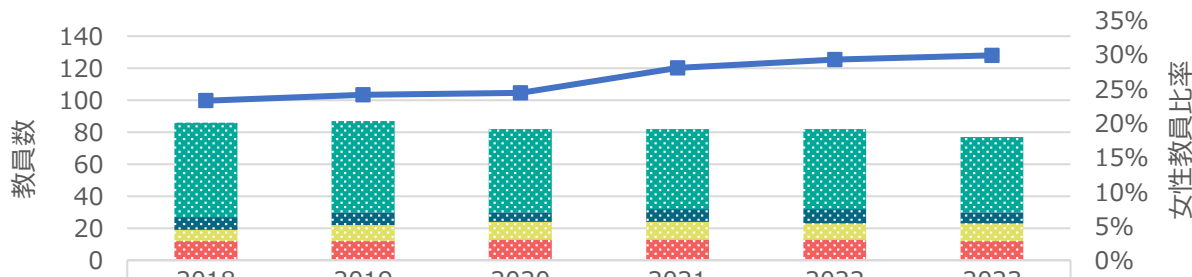
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
助教・助手	377	367	348	343	330	338
講師	104	110	113	120	124	122
准教授	60	58	65	68	71	74
教授	106	106	107	103	100	101
女性教員比率	20.7%	21.4%	21.9%	22.1%	23.1%	23.2%

医学教員数推移



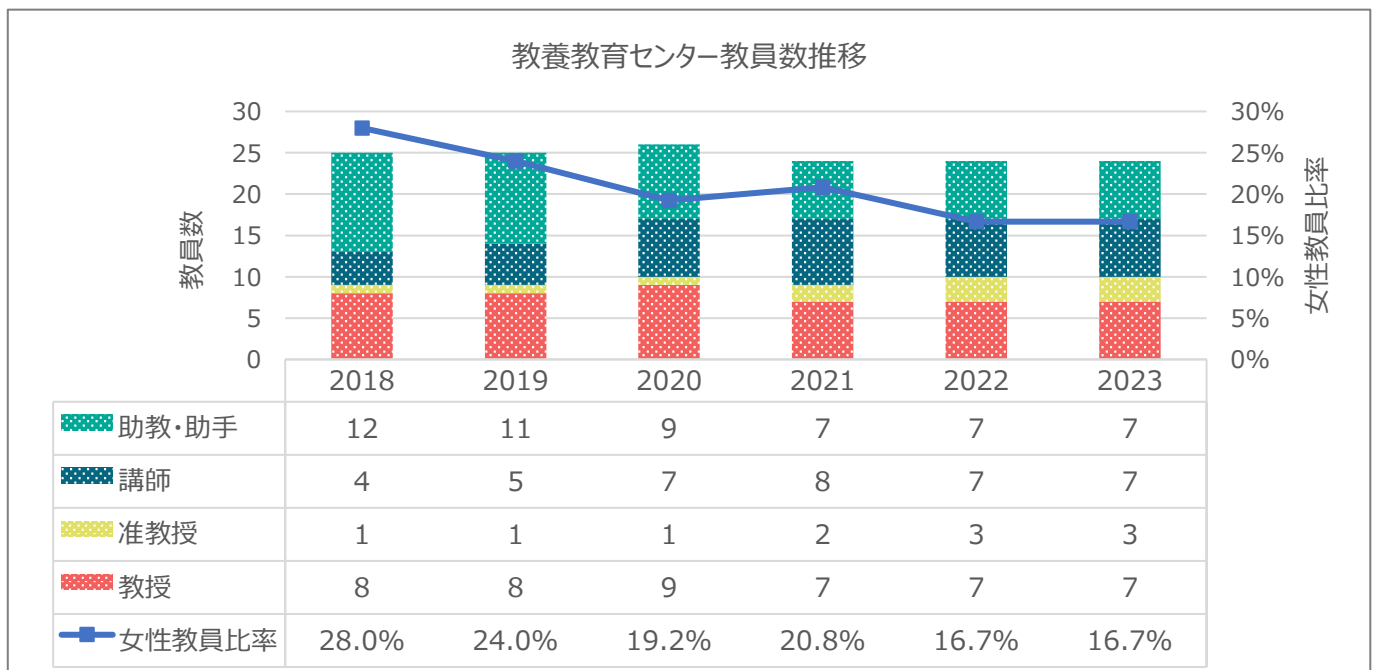
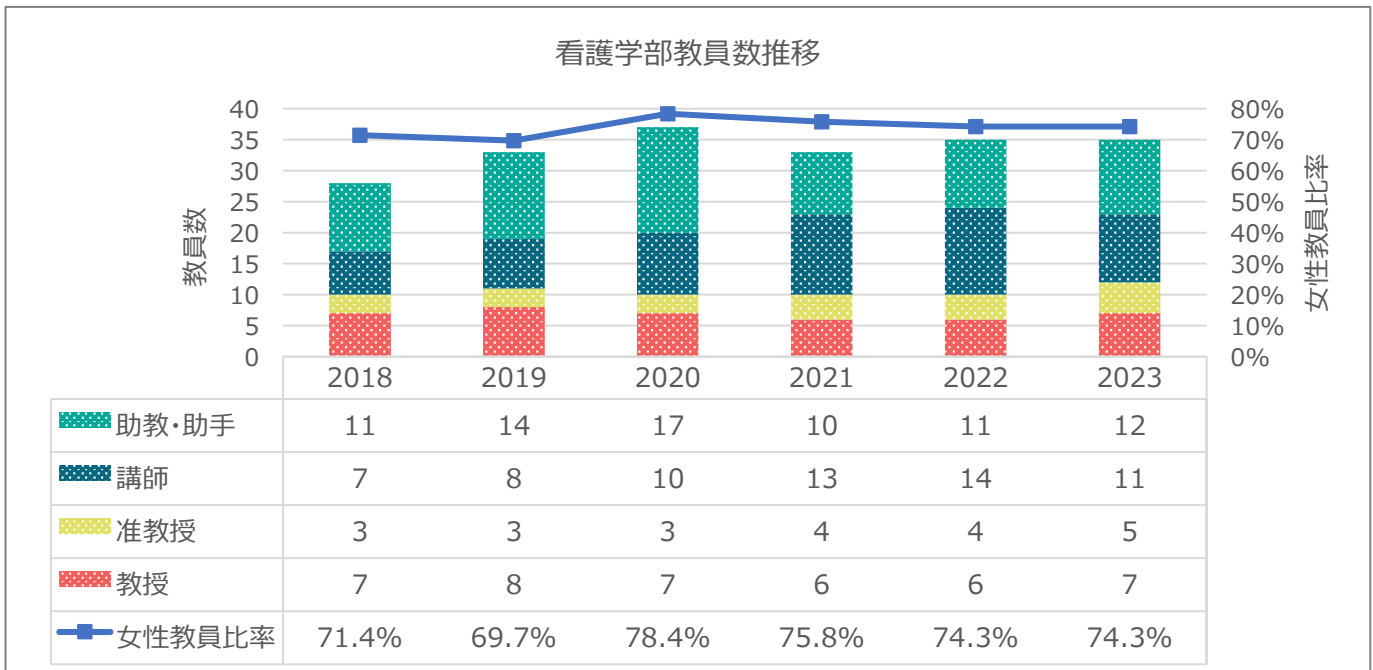
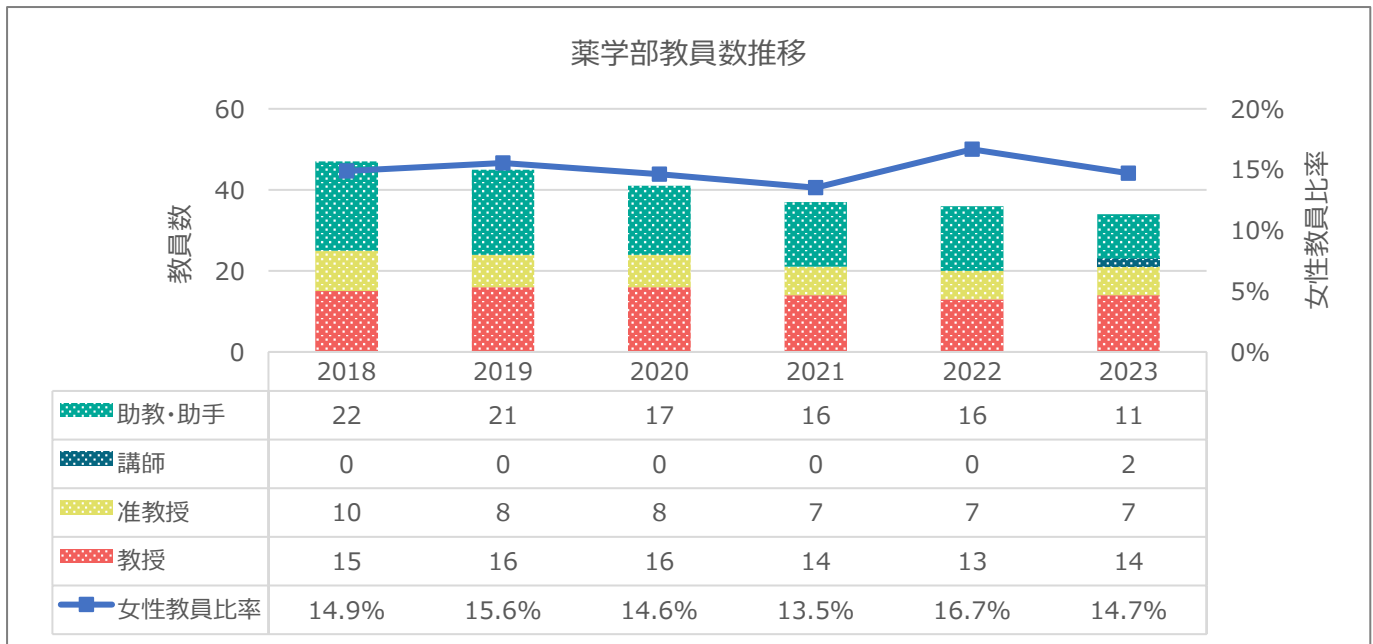
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
助教・助手	238	226	217	226	208	222
講師	67	69	71	71	76	78
准教授	23	23	26	26	31	33
教授	40	39	40	43	38	39
女性教員比率	16.8%	17.6%	16.9%	17.2%	18.4%	19.1%

歯学部教員数推移



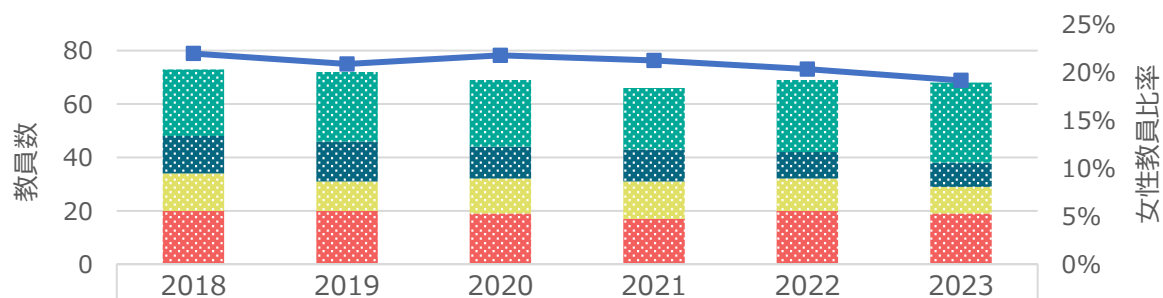
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
助教・助手	59	57	52	50	50	47
講師	8	8	6	8	9	7
准教授	7	10	11	11	10	11
教授	12	12	13	13	13	12
女性教員比率	23.3%	24.1%	24.4%	28.0%	29.3%	29.9%

教員数推移 (つづき)



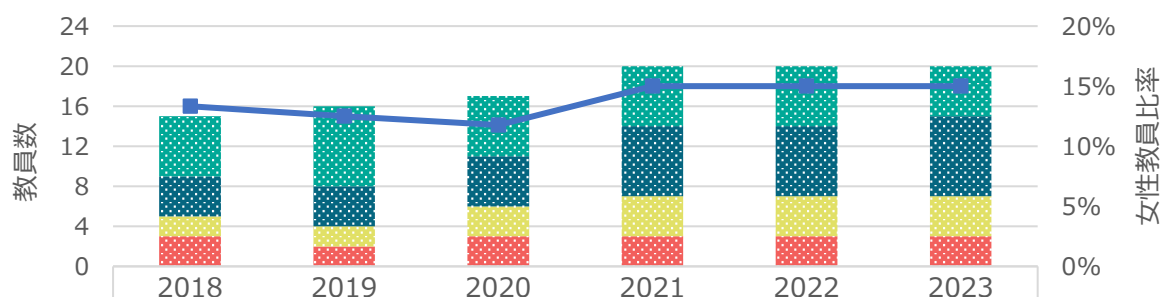
教員数推移 (つづき)

統合基礎講座教員数推移



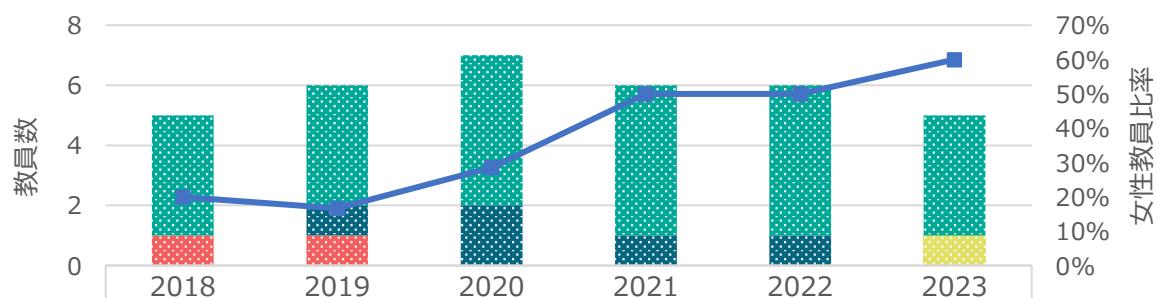
助教・助手	25	26	25	23	27	30
講師	14	15	12	12	10	9
准教授	14	11	13	14	12	10
教授	20	20	19	17	20	19
女性教員比率	21.9%	20.8%	21.7%	21.2%	20.3%	19.1%

医歯薬総合研究所教員数推移



助教・助手	6	8	6	6	6	5
講師	4	4	5	7	7	8
准教授	2	2	3	4	4	4
教授	3	2	3	3	3	3
女性教員比率	13.3%	12.5%	11.8%	15.0%	15.0%	15.0%

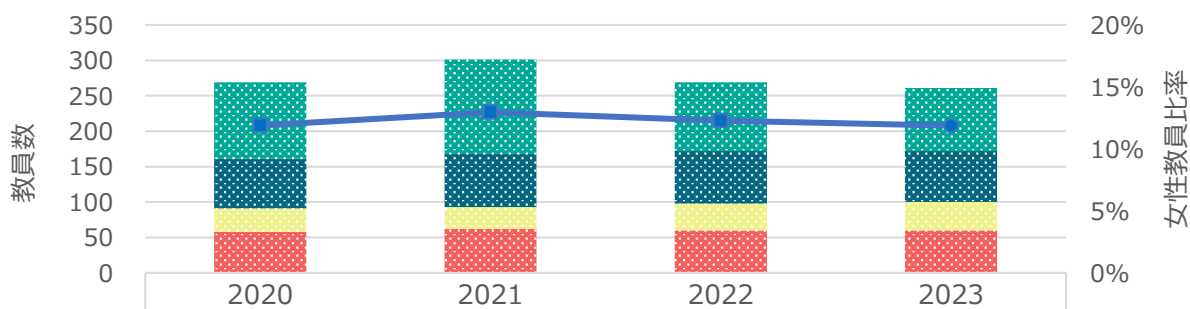
災害復興事業本部教員推移



助教・助手	4	4	5	5	5	4
講師	0	1	2	1	1	0
准教授	0	0	0	0	0	1
教授	1	1	0	0	0	0
女性教員比率	20.0%	16.7%	28.6%	50.0%	50.0%	60.0%

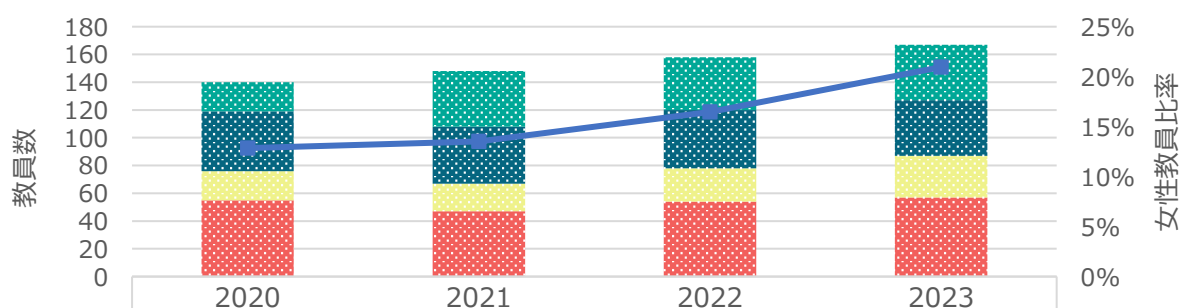
教員数推移 (つづき)

医学研究科(博士課程)教員数推移



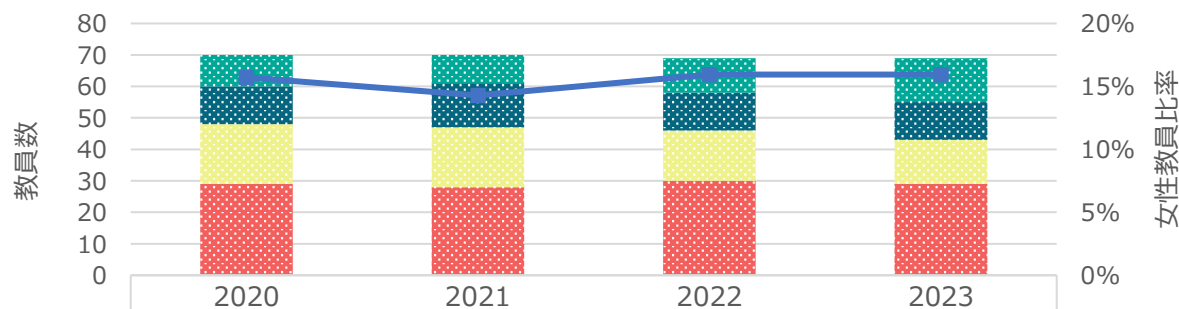
助教	108	133	97	89
講師	70	75	74	72
准教授	33	31	38	40
教授	58	62	60	60
女性教員比率	11.9%	13.0%	12.3%	11.9%

医学研究科(修士課程)教員数推移



助教	21	40	38	40
講師	43	41	42	40
准教授	21	20	24	30
教授	55	47	54	57
女性教員比率	12.9%	13.5%	16.5%	21.0%

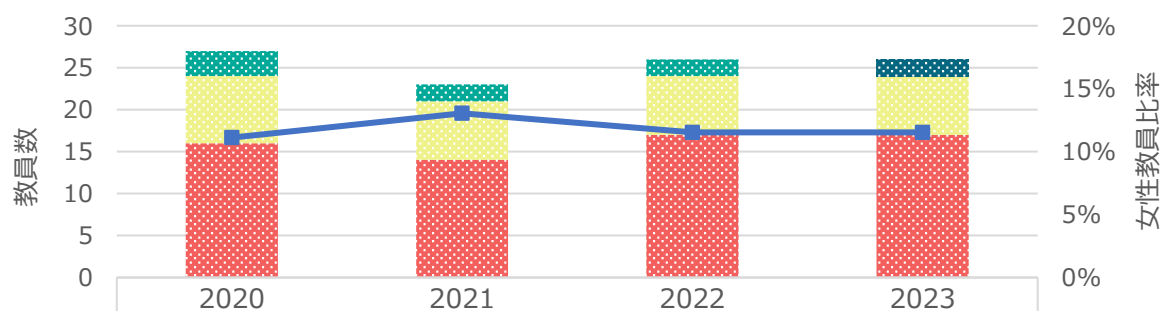
歯学研究科(博士課程)教員推移



助教	10	9	11	14
講師	12	14	12	12
准教授	19	19	16	14
教授	29	28	30	29
女性教員比率	15.7%	14.3%	15.9%	15.9%

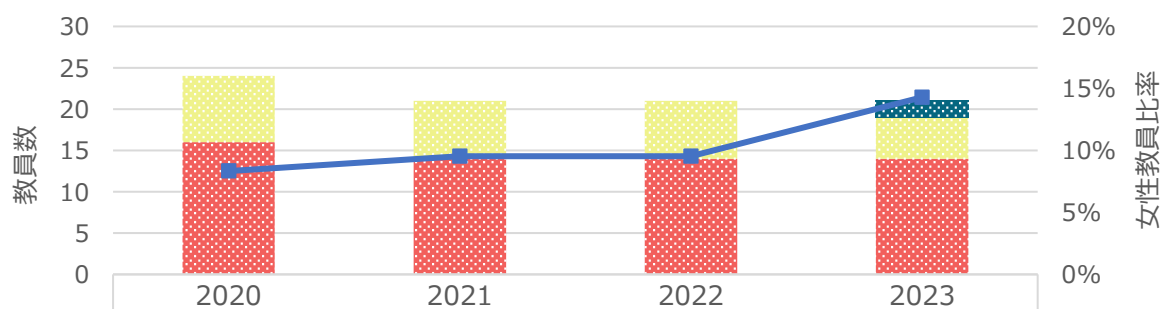
教員数推移 (つづき)

薬学研究科(博士課程)教員数推移



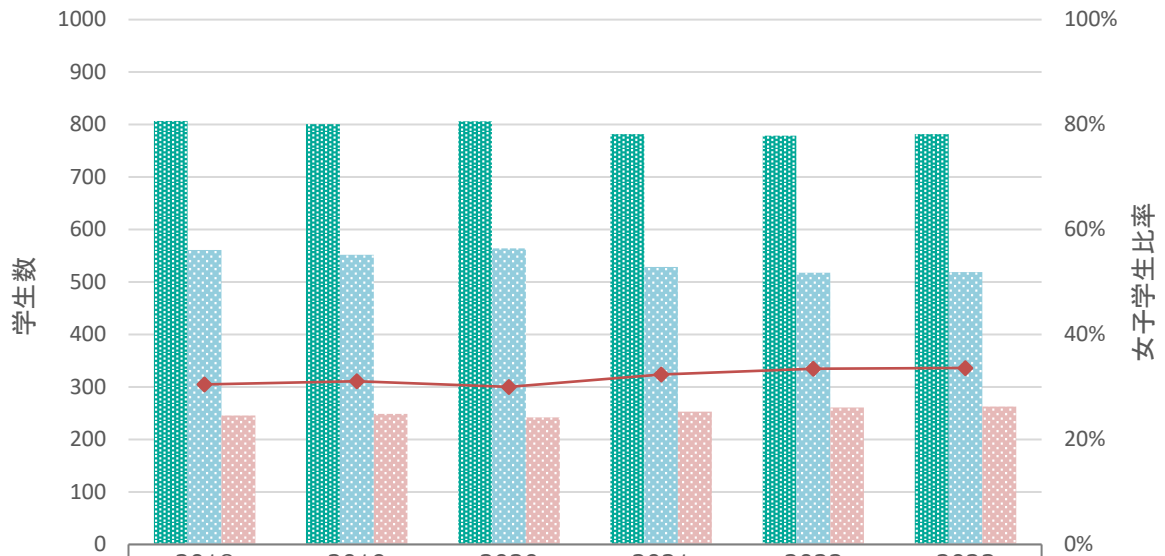
助教	3	2	2	0
講師	0	0	0	2
准教授	8	7	7	7
教授	16	14	17	17
女性教員比率	11.1%	13.0%	11.5%	11.5%

薬学研究科(修士課程)教員数推移



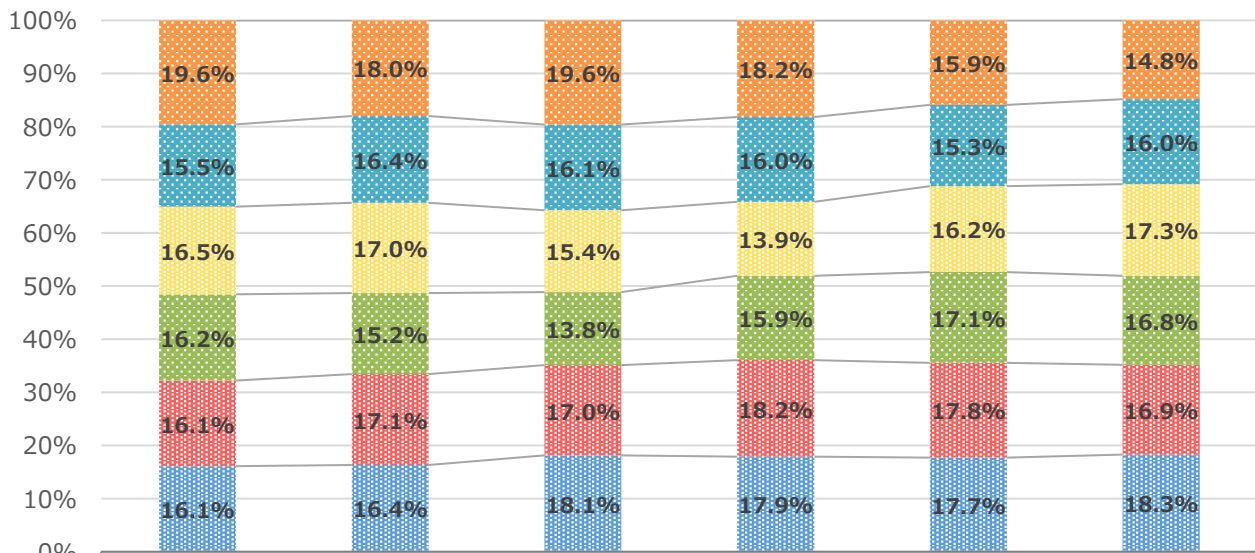
助教	0	0	0	0
講師	0	0	0	2
准教授	8	7	7	5
教授	16	14	14	14
女性教員比率	8.3%	9.5%	9.5%	14.3%

在学生数推移_医学部



	2018	2019	2020	2021	2022	2023
合計	807	801	806	782	779	782
男性	561	552	564	529	518	519
女性	246	249	242	253	261	263
女子学生比率	30.5%	31.1%	30.0%	32.4%	33.5%	33.6%

在学生数推移（学年別）_医学部

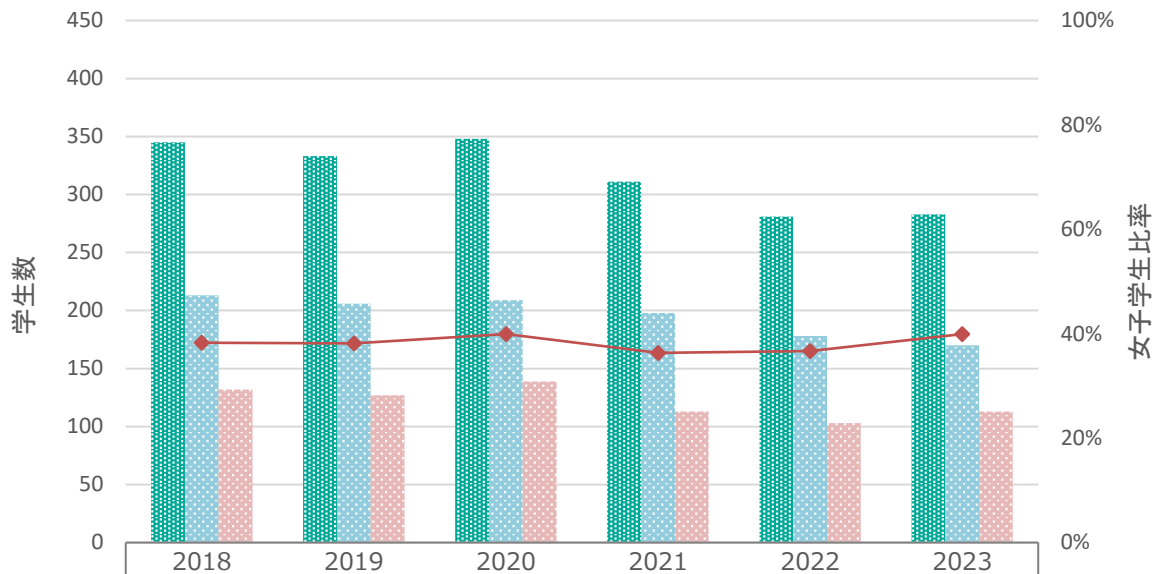


	2018	2019	2020	2021	2022	2023
6年生	158	144	158	142	124	116
5年生	125	131	130	125	119	125
4年生	133	136	124	109	126	135
3年生	131	122	111	124	133	131
2年生	130	137	137	142	139	132
1年生	130	131	146	140	138	143

※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

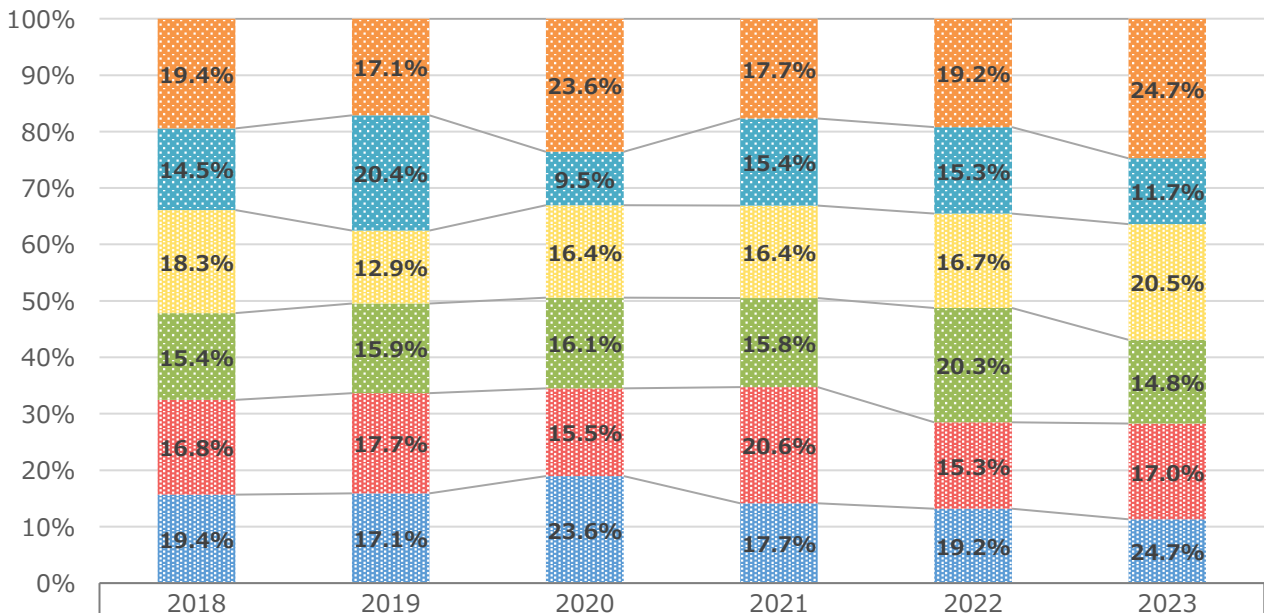
在学生数推移（つづき）

在学生数推移_歯学部



合計	345	333	348	311	281	283
男性	213	206	209	198	178	170
女性	132	127	139	113	103	113
女子学生比率	38.3%	38.1%	39.9%	36.3%	36.7%	39.9%

在学生数推移（学年別）_歯学部

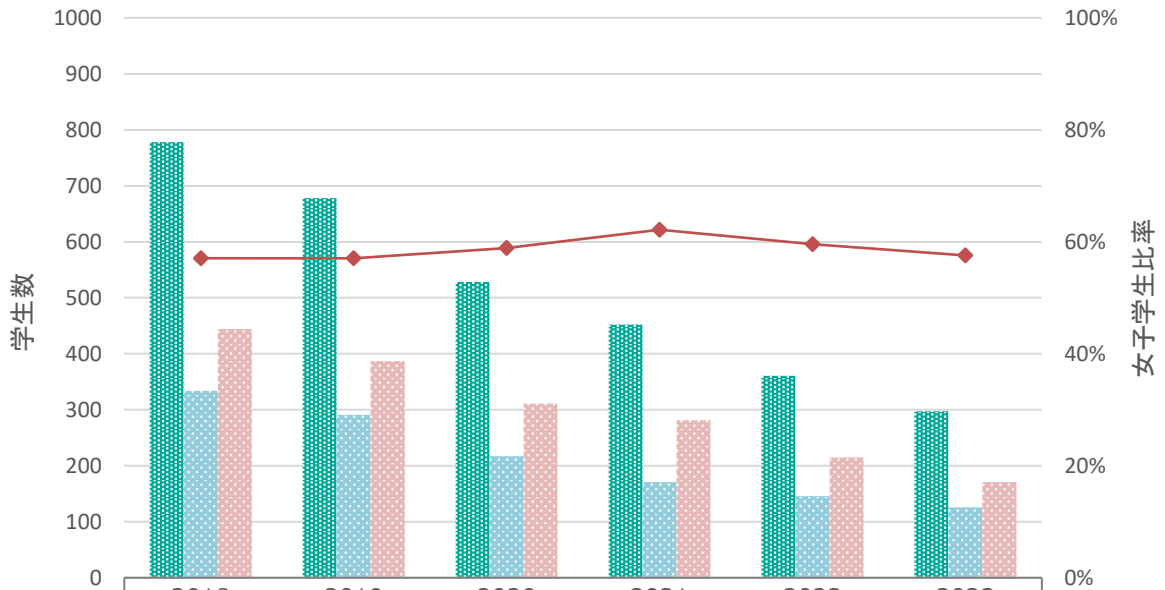


6年生	67	57	82	55	54	70
5年生	50	68	33	48	43	33
4年生	63	43	57	51	47	58
3年生	53	53	56	49	57	42
2年生	58	59	54	64	43	48
1年生	54	53	66	44	37	32

※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

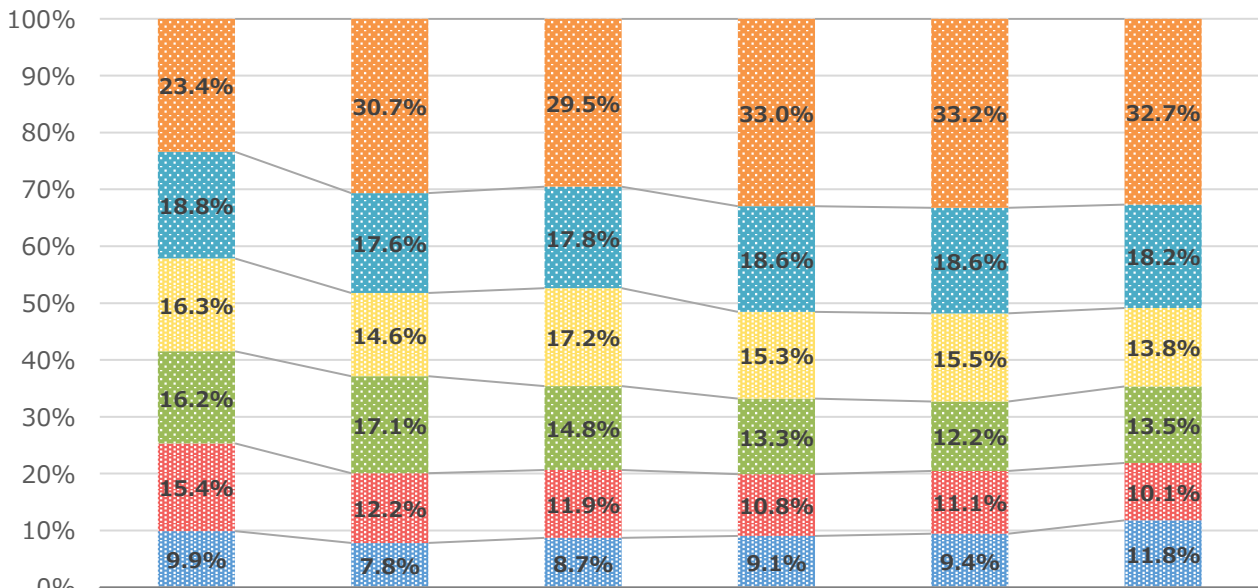
在学生数推移（つづき）

在学生数推移_薬学部



合計	778	678	528	452	361	297
男性	334	291	217	171	146	126
女性	444	387	311	281	215	171
女子学生比率	57.1%	57.1%	58.9%	62.2%	59.6%	57.6%

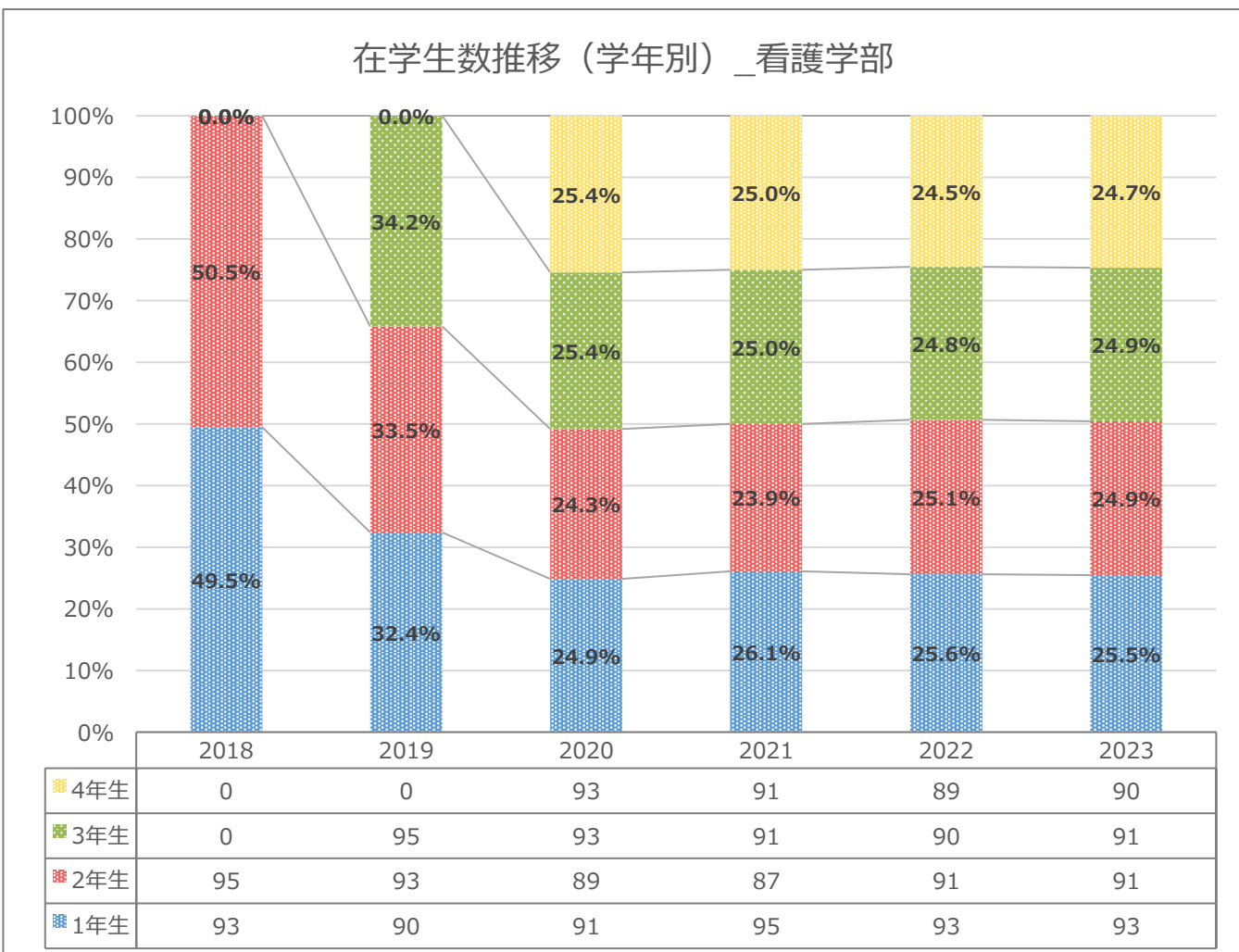
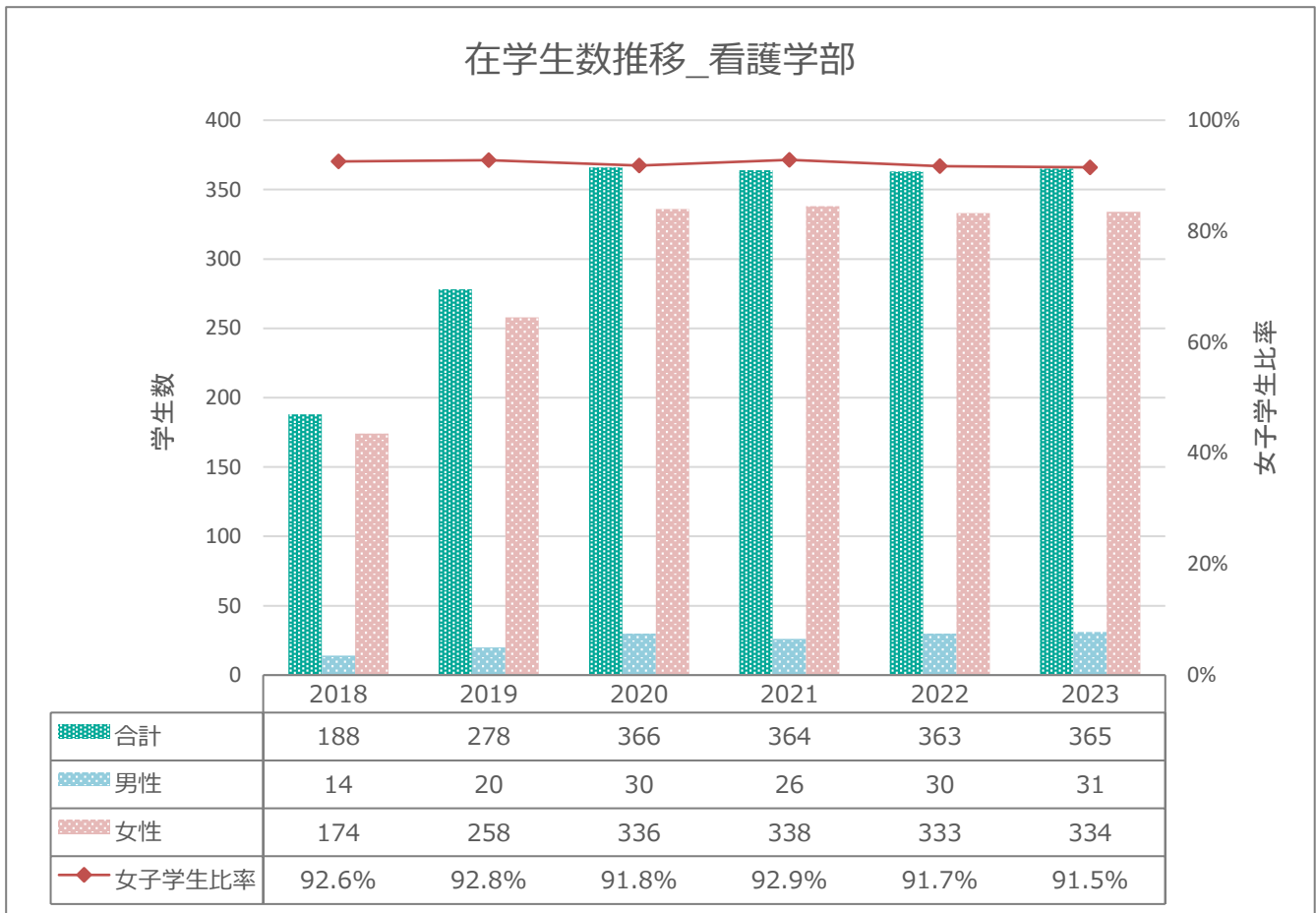
在学生数推移（学年別）_薬学部



6年生	182	208	156	149	120	97
5年生	146	119	94	84	67	54
4年生	127	99	91	69	56	41
3年生	126	116	78	60	44	40
2年生	120	83	63	49	40	30
1年生	77	53	46	41	34	35

※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

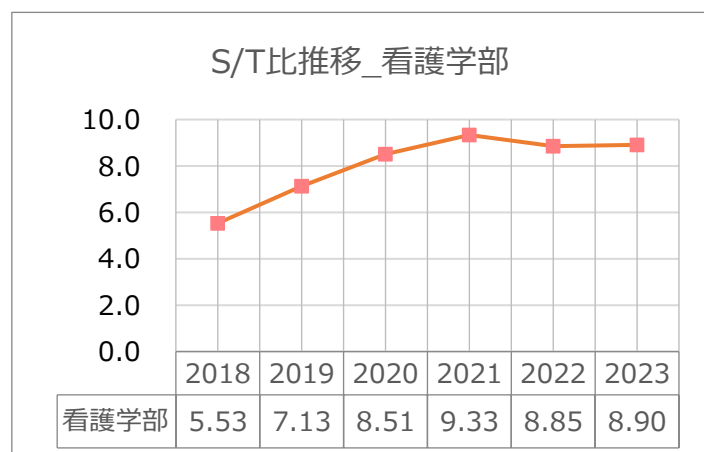
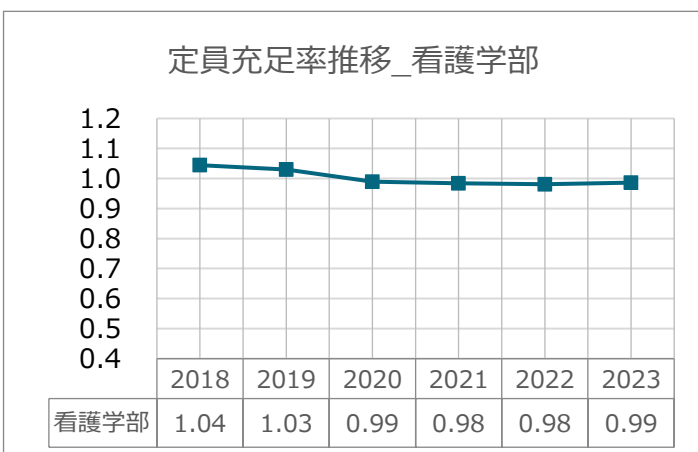
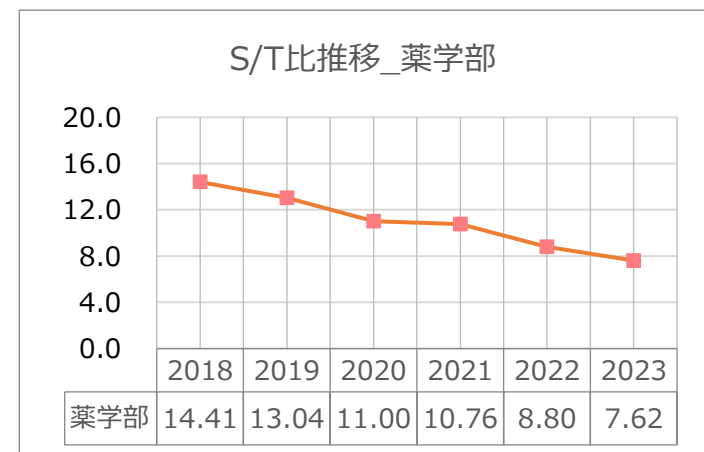
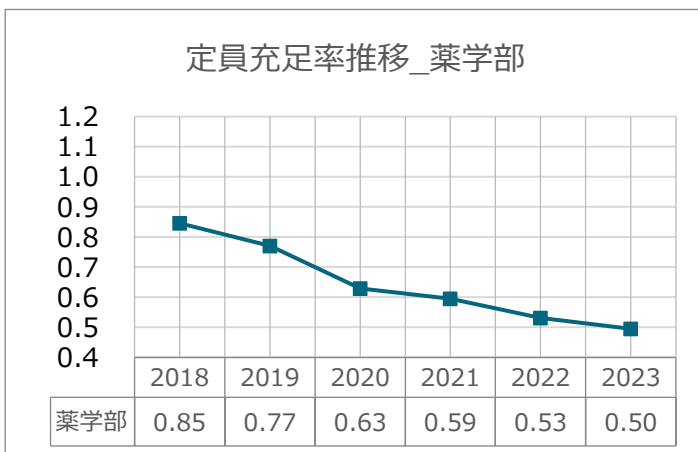
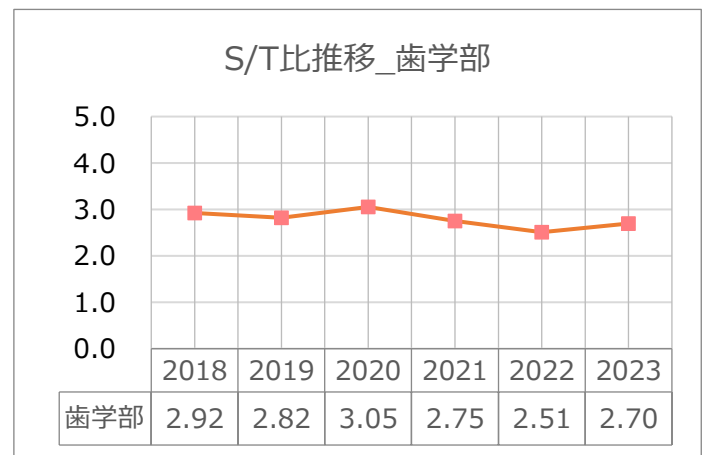
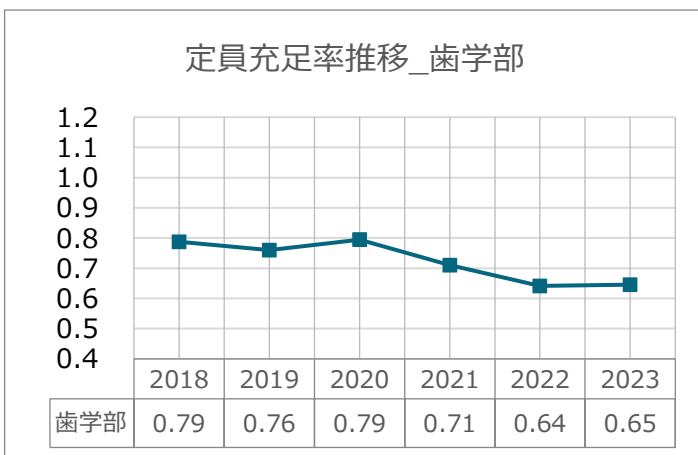
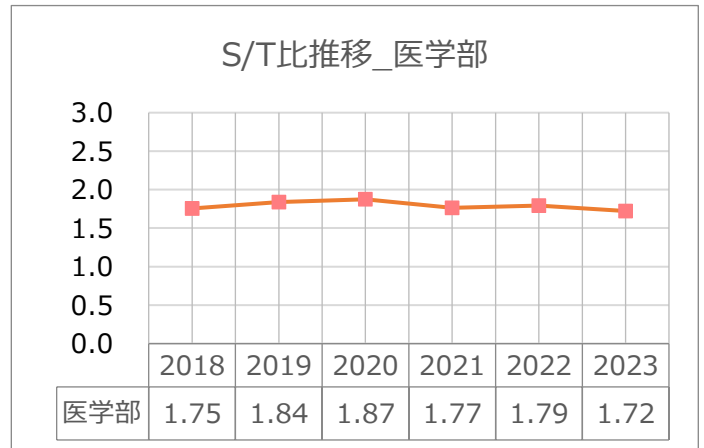
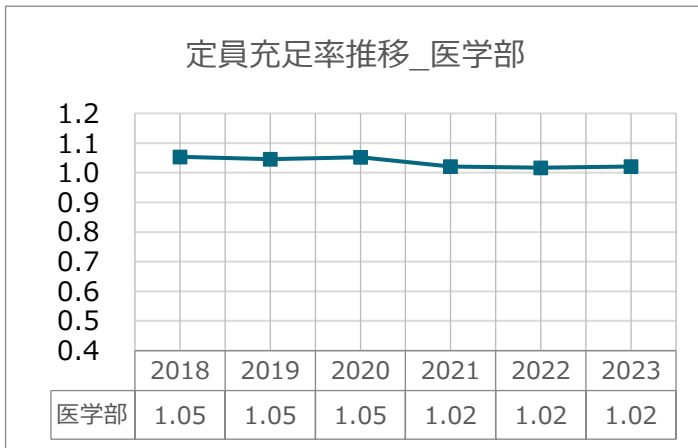
在学生数推移（つづき）



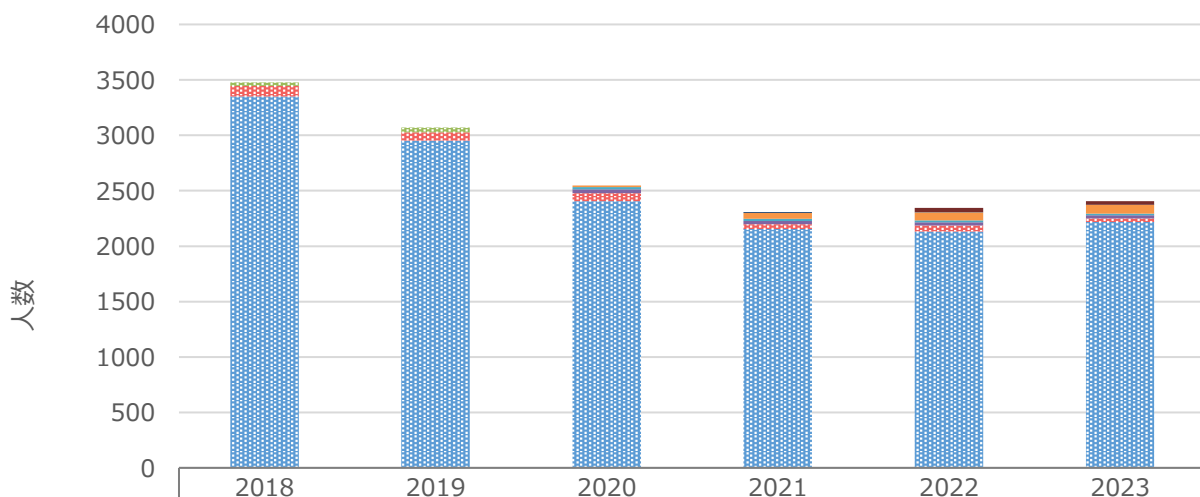
※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

定員充足率：大学が学則において定める、各年度の収容定員をどの程度満たしているかを図る指標

S/T比：Student-Teacher比、教員1人あたりが受け持つ学生数を示す指標



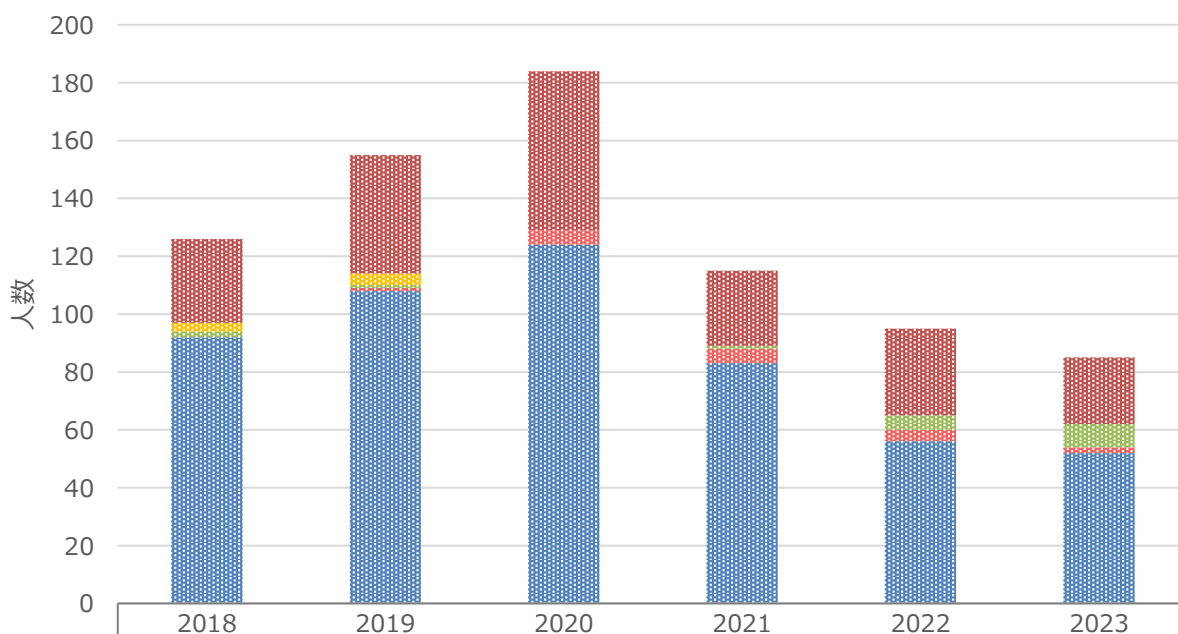
医学部志願者推移



	2018	2019	2020	2021	2022	2023
■ 医学部総合型選抜					35	32
■ 秋田県地域枠特別推薦				8	5	2
■ 地域枠特別入試C,D			14	52	71	80
■ 地域枠特別推薦入試B			21	21	19	15
■ 地域枠特別推薦入試A			34	29	27	29
■ 地域枠特別推薦入試	33	43				
■ 一般推薦入試	94	75	73	42	57	32
■ 一般入試	3350	2951	2406	2155	2130	2217

※地域枠特別入試D:2023年より実施

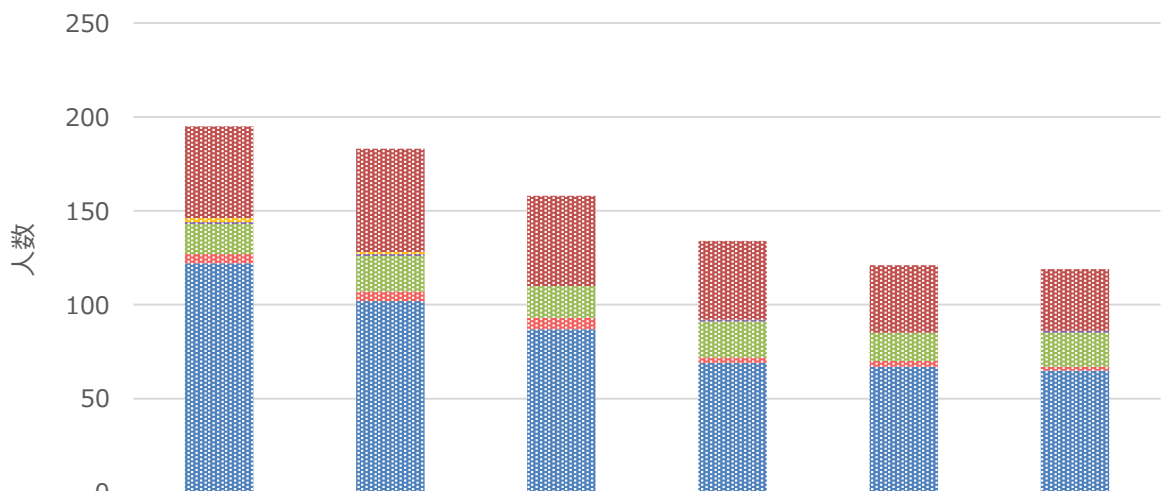
歯学部志願者推移



	2018	2019	2020	2021	2022	2023
■ 共通テスト利用入試	29	41	55	26	30	23
■ 同窓生推薦入試	3	4	0	0	0	0
■ 指定校推薦入試	2	1	0	1	5	8
■ 一般推薦入試	0	1	5	5	4	2
■ 一般入試	92	108	124	83	56	52

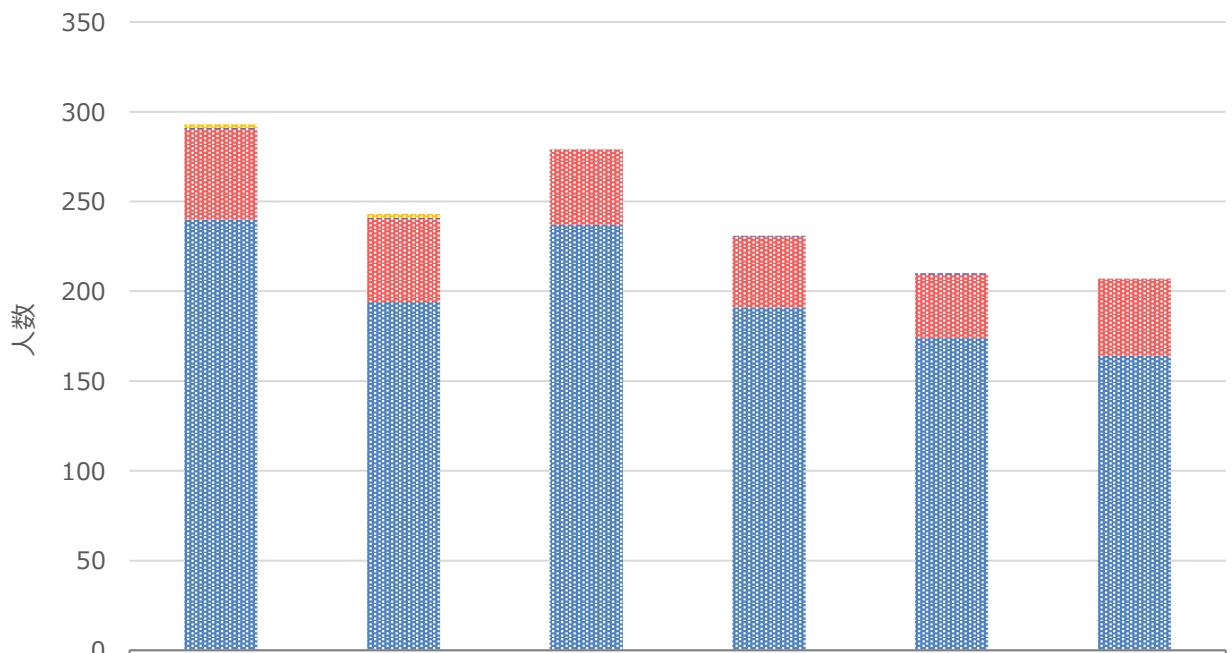
志願者数推移 (つづき)

薬学部志願者推移



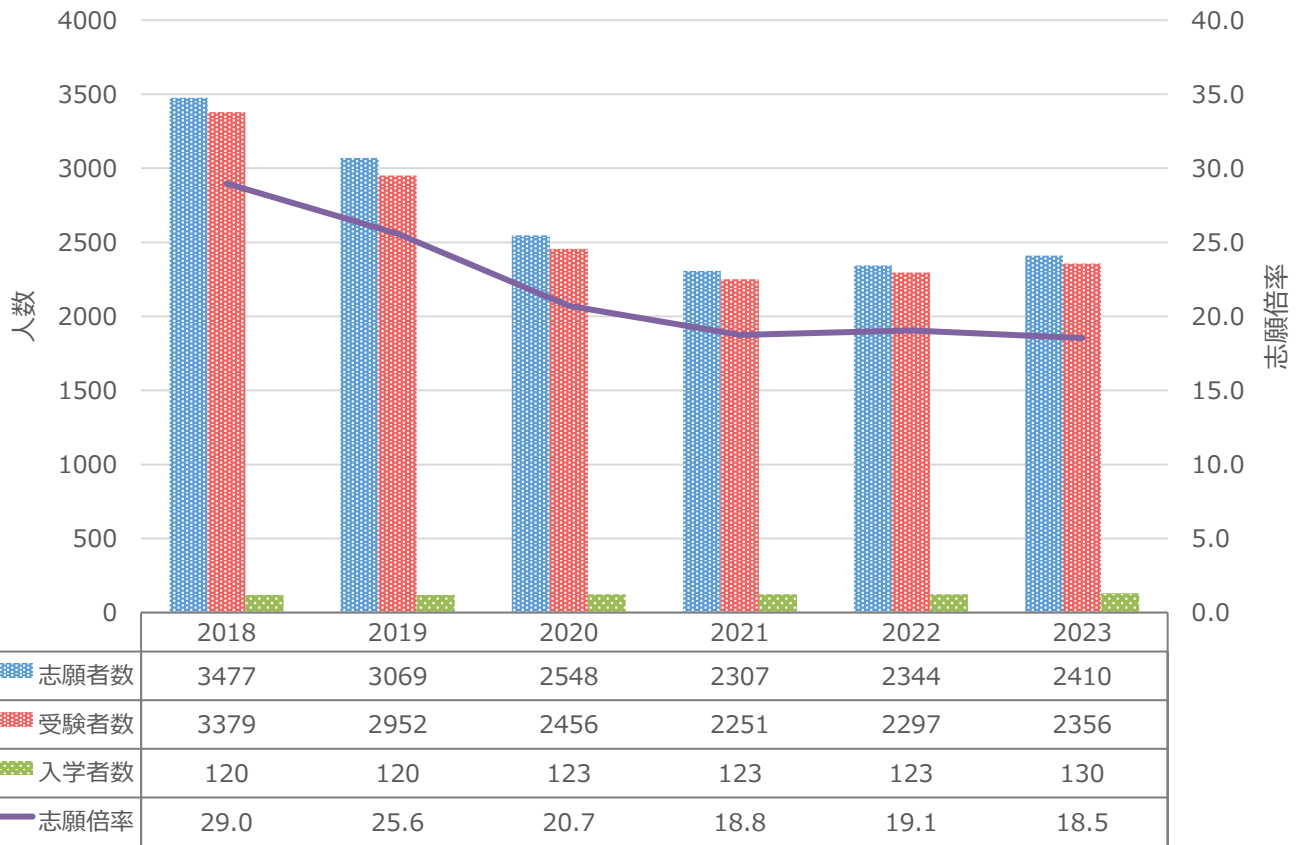
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
共通テスト利用入試	49	55	48	42	36	33
同窓生推薦入試	2	1	0	0	0	0
帰国子女特別推薦入試	0	0	0	0	0	0
社会人特別入試	1	1	0	1	0	1
指定校推薦入試	16	19	17	19	15	18
一般推薦入試	5	5	6	3	3	2
一般入試	122	102	87	69	67	65

看護学部志願者推移

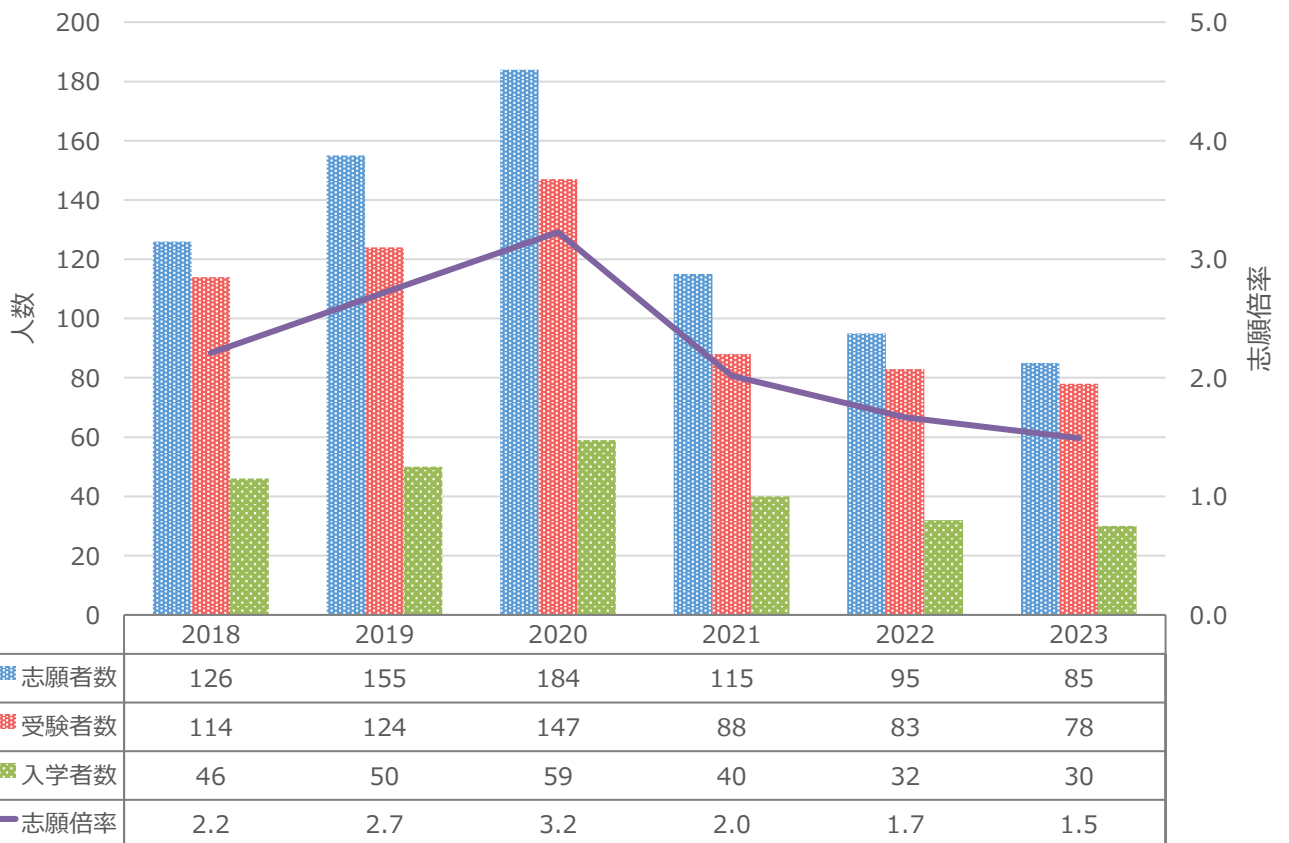


	2018	2019	2020	2021	2022	2023
同窓生推薦入試	2	2	0	0	0	0
社会人特別入試	1	1	0	1	1	0
一般推薦入試	50	46	42	39	35	43
一般入試	240	194	237	191	174	164

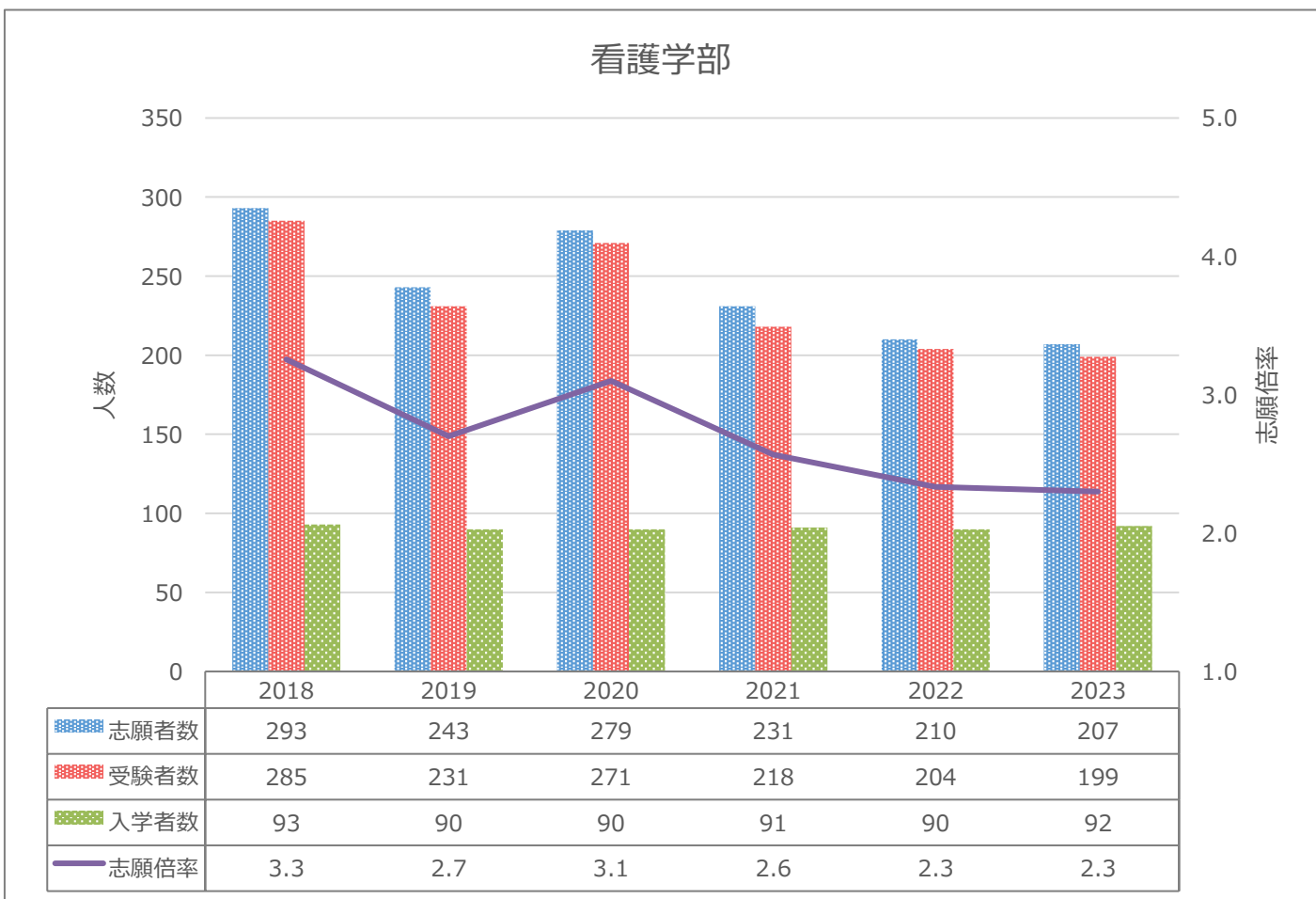
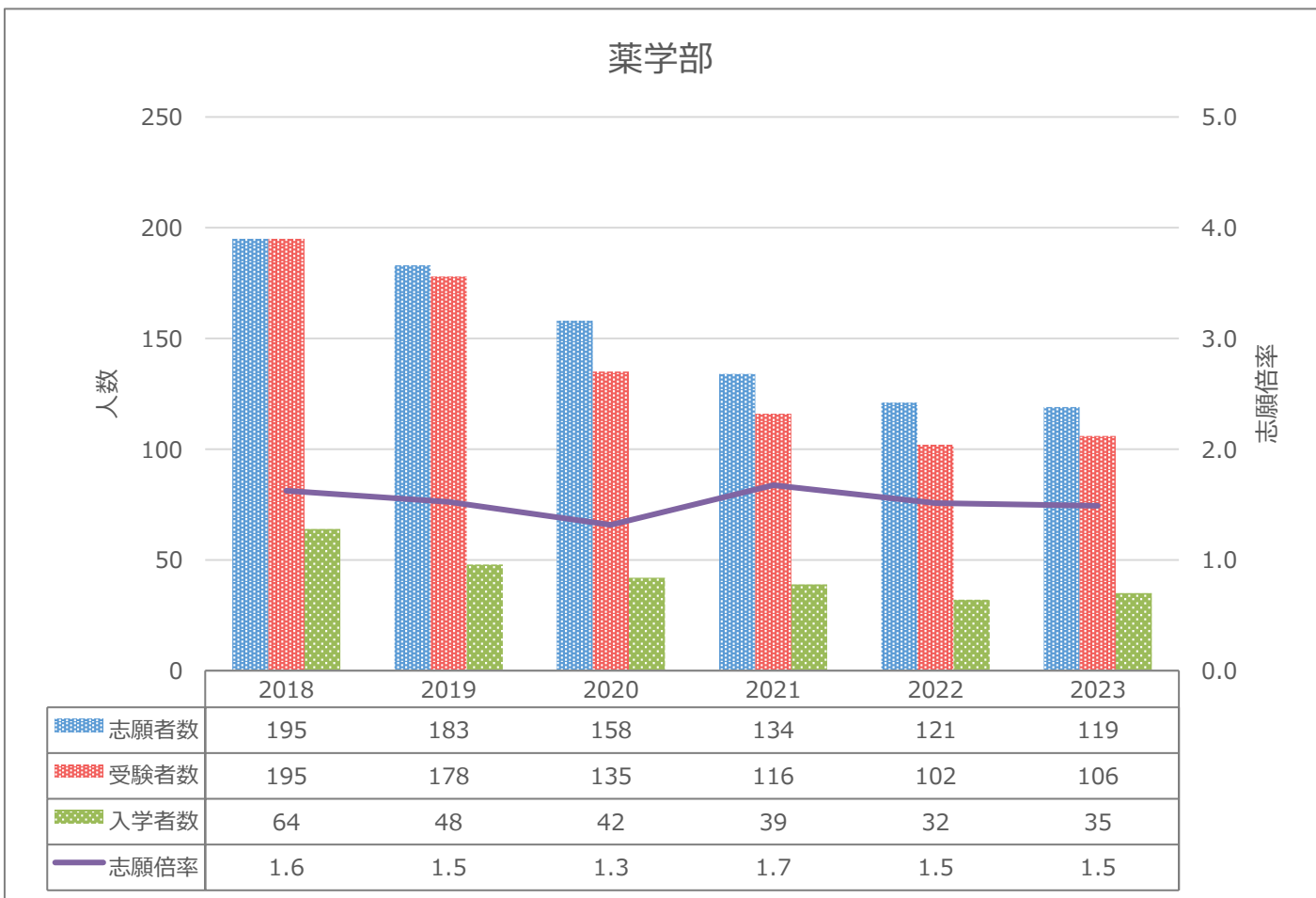
医学部



歯学部



志願者倍率推移 (つづき)



2-2-1 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_医学部

出典：文部科学省 医学教育課 令和4年度の各大学医学部医学科の入学状況等

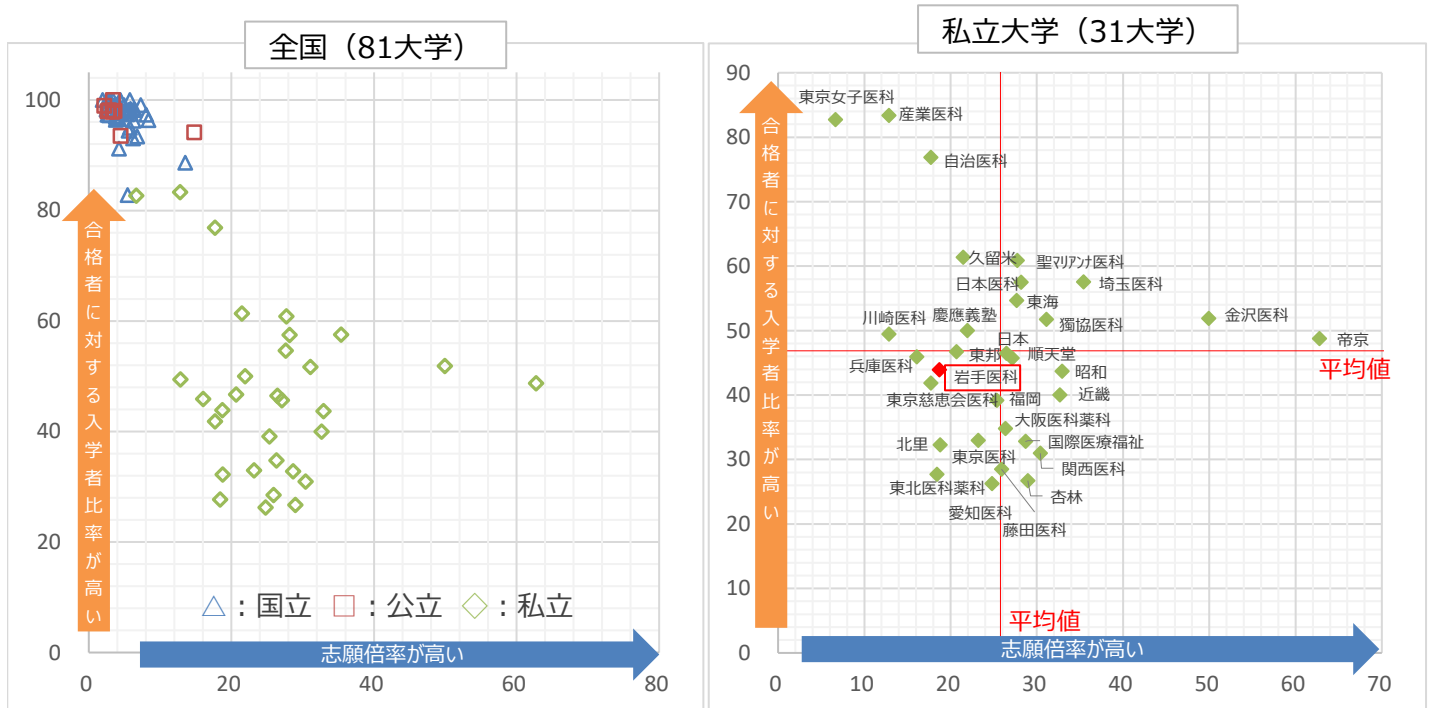
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/1324090.htm

※令和5年度の情報が公開され次第、更新予定

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
1	国立	北海道大学	97	329	311	98	97	3.4	99.0
2	国立	旭川医科大学	95	547	307	100	95	5.8	95.0
3	国立	弘前大学	112	476	410	113	112	4.3	99.1
4	国立	東北大学	116	431	360	120	119	3.7	99.2
5	国立	秋田大学	124	728	354	126	124	5.9	98.4
6	国立	山形大学	113	769	537	121	113	6.8	93.4
7	国立	筑波大学	129	491	443	122	121	3.8	99.2
8	国立	群馬大学	108	407	258	112	108	3.8	96.4
9	国立	千葉大学	117	729	337	130	121	6.2	93.1
10	国立	東京大学	100	443	351	102	102	4.4	100.0
11	国立	東京医科歯科大学	101	548	361	122	101	5.4	82.8
12	国立	新潟大学	133	511	429	137	133	3.8	97.1
13	国立	富山大学	105	299	247	109	106	2.8	97.2
14	国立	金沢大学	111	290	239	114	111	2.6	97.4
15	国立	福井大学	110	886	358	113	110	8.1	97.3
16	国立	山梨大学	125	1693	313	141	125	13.5	88.7
17	国立	信州大学	120	465	396	124	120	3.9	96.8
18	国立	岐阜大学	110	918	494	111	107	8.3	96.4
19	国立	浜松医科大学	115	488	361	125	114	4.2	91.2
20	国立	名古屋大学	107	208	157	112	112	1.9	100.0
21	国立	三重大学	125	721	389	125	125	5.8	100.0
22	国立	滋賀医科大学	95	519	324	97	95	5.5	97.9
23	国立	京都大学	107	273	253	110	110	2.6	100.0
24	国立	大阪大学	100	295	273	102	102	3.0	100.0
25	国立	神戸大学	112	380	262	112	112	3.4	100.0
26	国立	鳥取大学	104	294	261	104	104	2.8	100.0
27	国立	島根大学	102	580	527	104	102	5.7	98.1
28	国立	岡山大学	112	604	413	115	112	5.4	97.4
29	国立	広島大学	118	693	635	121	118	5.9	97.5
30	国立	山口大学	107	778	312	108	107	7.3	99.1
31	国立	徳島大学	114	283	215	116	114	2.5	98.3
32	国立	香川大学	109	612	359	111	109	5.6	98.2
33	国立	愛媛大学	110	546	481	111	110	5.0	99.1
34	国立	高知大学	110	468	421	115	111	4.3	96.5
35	国立	九州大学	110	313	269	112	110	2.8	98.2
36	国立	佐賀大学	103	576	340	108	102	5.6	94.4
37	国立	長崎大学	120	547	427	123	120	4.6	97.6
38	国立	熊本大学	110	481	460	108	108	4.4	100.0
39	国立	大分大学	100	378	233	103	100	3.8	97.1
40	国立	宮崎大学	100	629	366	107	103	6.3	96.3
41	国立	鹿児島大学	110	690	311	112	110	6.3	98.2
42	国立	琉球大学	112	725	460	114	112	6.5	98.2
43	公立	札幌医科大学	110	372	298	103	103	3.4	100.0
44	公立	福島県立医科大学	130	580	451	139	130	4.5	93.5
45	公立	横浜市立大学	90	299	207	93	91	3.3	97.8
46	公立	名古屋市立大学	97	252	173	99	97	2.6	98.0
47	公立	京都府立医科大学	107	303	281	109	107	2.8	98.2
48	公立	大阪市立大学	95	205	156	96	95	2.2	99.0
49	公立	奈良県立医科大学	113	1672	529	120	113	14.8	94.2
50	公立	和歌山県立医科大学	100	360	256	102	100	3.6	98.0
51	私立	岩手医科大学	126	2359	2312	287	126	18.7	43.9
52	私立	東北医科薬科大学	100	1840	1760	361	100	18.4	27.7
53	私立	自治医科大学	123	2179	2093	160	123	17.7	76.9
54	私立	獨協医科大学	120	3730	3336	234	121	31.1	51.7
55	私立	埼玉医科大学	130	4604	3909	226	130	35.4	57.5
56	私立	国際医療福祉大学	140	4014	3913	427	140	28.7	32.8
57	私立	杏林大学	117	3388	3290	438	117	29.0	26.7

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
58	私立	慶應義塾大学	66	1448	1239	220	110	21.9	50.0
59	私立	順天堂大学	138	3741	3359	302	138	27.1	45.7
60	私立	昭和大学	128	4212	3714	293	128	32.9	43.7
61	私立	帝京大学	116	7279	6898	238	116	62.8	48.7
62	私立	東京医科大学	121	2806	2568	367	121	23.2	33.0
63	私立	東京慈恵会医科大学	105	1860	1708	251	105	17.7	41.8
64	私立	東京女子医科大学	110	730	700	133	110	6.6	82.7
65	私立	東邦大学	120	2480	2348	257	120	20.7	46.7
66	私立	日本大学	125	3305	2879	269	125	26.4	46.5
67	私立	日本医科大学	123	3464	3150	214	123	28.2	57.5
68	私立	北里大学	120	2255	2147	372	120	18.8	32.3
69	私立	聖マリア医科大学	115	3188	2949	189	115	27.7	60.8
70	私立	東海大学	118	3260	2915	205	112	27.6	54.6
71	私立	金沢医科大学	111	5542	4882	214	111	49.9	51.9
72	私立	愛知医科大学	115	2851	2790	442	116	24.8	26.2
73	私立	藤田医科大学	120	3108	2982	421	120	25.9	28.5
74	私立	大阪医科大学	112	2949	2527	322	112	26.3	34.8
75	私立	関西医科大学	127	3861	3569	410	127	30.4	31.0
76	私立	近畿大学	112	3658	3438	280	112	32.7	40.0
77	私立	兵庫医科大学	112	1799	1711	244	112	16.1	45.9
78	私立	川崎医科大学	126	1617	1558	257	127	12.8	49.4
79	私立	久留米大学	115	2468	2203	189	116	21.5	61.4
80	私立	産業医科大学	105	1347	1138	126	105	12.8	83.3
81	私立	福岡大学	110	2786	2637	281	110	25.3	39.1

入学者比率・志願倍率プロット_医学部

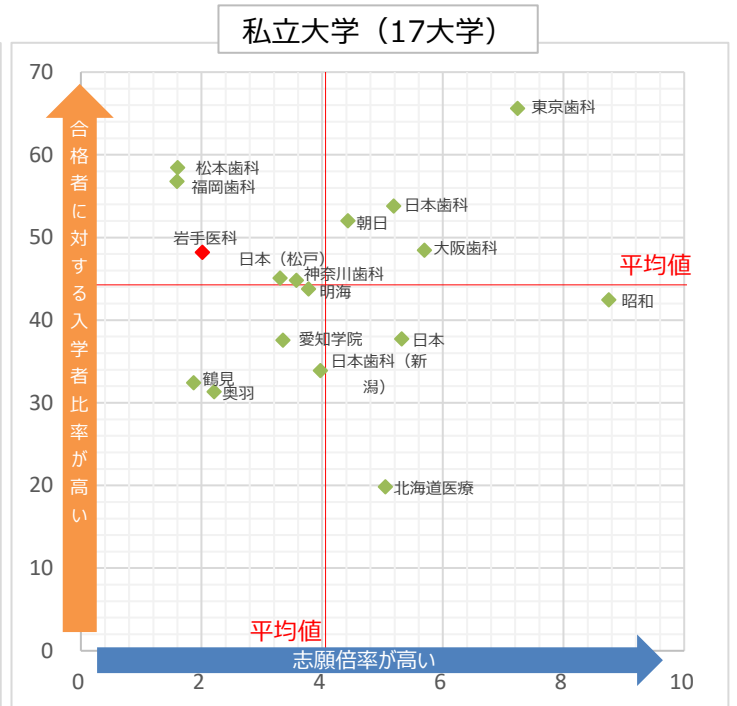
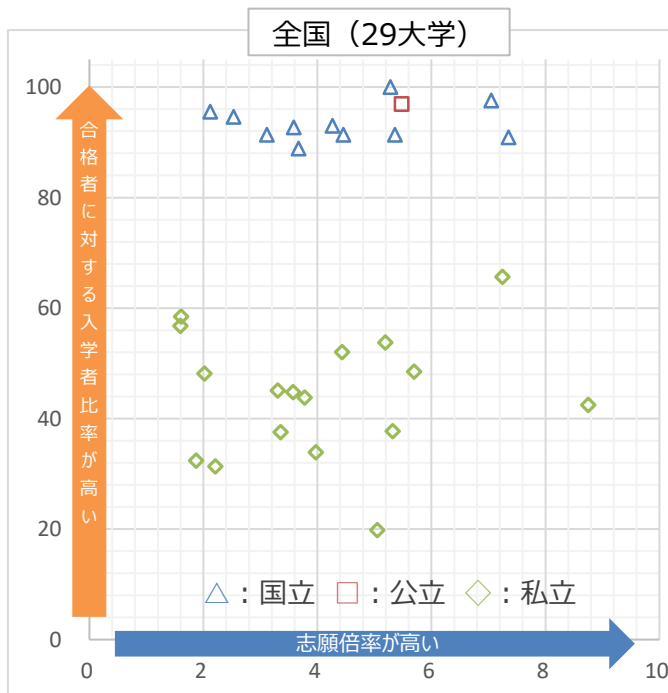


2-2-2 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_歯学部

出典：文部科学省 医学教育課 令和4年度の各大学歯学部歯学科入学状況等
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1324090.htm
 ※令和5年度の情報が公開され次第、更新予定

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
1	国立	北海道大学	43	151	133	44	43	3.5	97.7
2	国立	東北大学	53	108	97	56	55	2.0	98.2
3	国立	東京医科歯科大学	53	243	155	57	55	4.6	96.5
4	国立	新潟大学	40	322	185	45	40	8.1	88.9
5	国立	大阪大学	53	139	127	56	53	2.6	94.6
6	国立	岡山大学	48	182	139	51	48	3.8	94.1
7	国立	広島大学	53	376	223	57	53	7.1	93.0
8	国立	徳島大学	40	239	129	41	40	6.0	97.6
9	国立	九州大学	53	196	174	57	53	3.7	93.0
10	国立	長崎大学	50	261	223	50	50	5.2	100.0
11	国立	鹿児島大学	53	221	146	58	53	4.2	91.4
12	公立	九州歯科大学	95	354	324	97	95	3.7	97.9
13	私立	北海道医療大学	80	342	324	246	73	4.3	29.7
14	私立	岩手医科大学	57	95	83	73	32	1.7	43.8
15	私立	奥羽大学	96	163	154	95	34	1.7	35.8
16	私立	明海大学	120	457	425	279	120	3.8	43.0
17	私立	東京歯科大学	128	913	835	213	128	7.1	60.1
18	私立	昭和大学	96	854	766	209	96	8.9	45.9
19	私立	日本大学	128	855	706	370	126	6.7	34.1
20	私立	日本大学(松戸歯学部)	128	514	447	419	127	4.0	30.3
21	私立	日本歯科大学	128	684	645	255	128	5.3	50.2
22	私立	日本歯科大学(新潟生命歯学部)	70	319	299	205	67	4.6	32.7
23	私立	神奈川歯科大学	115	393	363	267	93	3.4	34.8
24	私立	鶴見大学	115	201	180	146	56	1.7	38.4
25	私立	松本歯科大学	96	153	136	110	52	1.6	47.3
26	私立	朝日大学	128	473	432	255	120	3.7	47.1
27	私立	愛知学院大学	125	380	327	302	89	3.0	29.5
28	私立	大阪歯科大学	128	841	786	211	128	6.6	60.7
29	私立	福岡歯科大学	96	140	133	124	67	1.5	54.0

入学者比率・志願倍率プロット_歯学部



2-2-3 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_薬学部(6年制)

出典：文部科学省 令和4年度の薬学部における修学状況等

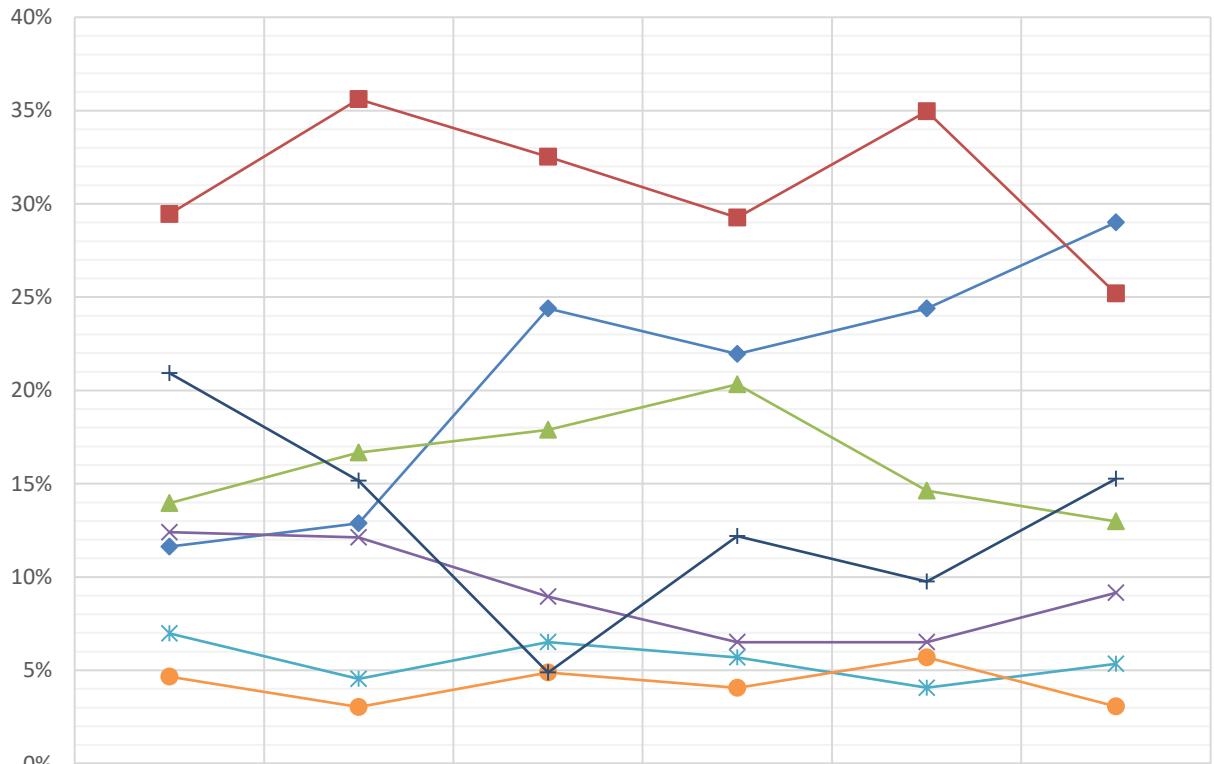
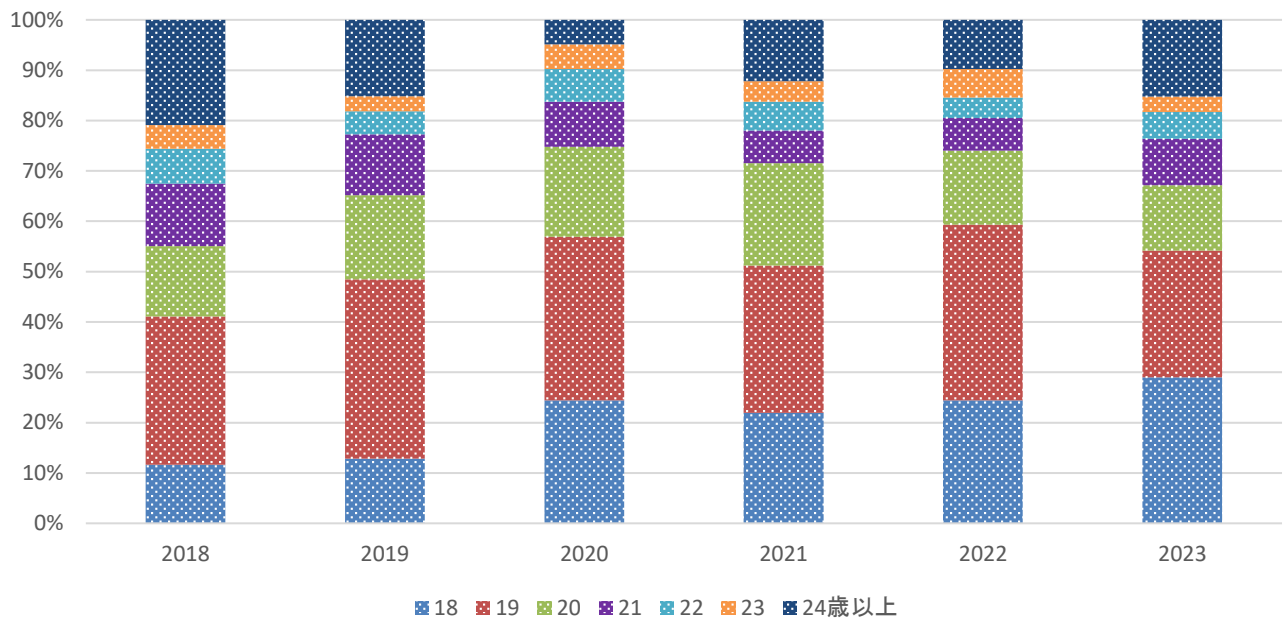
http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/1361518.htm

※令和5年度の情報が公開され次第、更新予定

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学率 (%)
1	国立	北海道大学 ※4年制含む	1118	3643	3185	1172	1126	3.3	96.1
2	国立	東北大学 ※4年制含む	80	214	173	84	83	2.7	98.8
3	国立	千葉大学 ※4年制含む	90	673	521	103	96	7.5	93.2
4	国立	東京大学(理科Ⅱ類)※4年制含む	532	2247	1864	552	550	4.2	99.6
5	国立	富山大学	70	415	296	76	70	5.9	92.1
6	国立	金沢大学	65	263	235	66	63	4.0	95.5
7	国立	京都大学 ※4年制含む	80	224	212	86	86	2.8	100.0
8	国立	大阪大学	80	239	209	81	80	3.0	98.8
9	国立	岡山大学	40	172	121	45	43	4.3	95.6
10	国立	広島大学	38	186	176	40	38	4.9	95.0
11	国立	徳島大学	80	482	278	93	85	6.0	91.4
12	国立	九州大学	30	140	101	34	30	4.7	88.2
13	国立	長崎大学	40	352	214	48	40	8.8	83.3
14	国立	熊本大学	55	260	231	58	58	4.7	100.0
15	公立	岐阜薬科大学	120	1301	978	181	120	10.8	66.3
16	公立	静岡県立大学	80	572	425	113	87	7.2	77.0
17	公立	名古屋市立大学	65	856	668	107	68	13.2	63.6
18	公立	和歌山県立医科大学	100	457	281	106	100	4.6	94.3
19	公立	山口東京理科大学	120	1,085	783	197	122	9.0	61.9
20	私立	北海道医療大学	160	704	675	519	167	4.4	32.2
21	私立	北海道科学大学	180	847	804	638	204	4.7	32.0
22	私立	青森大学	70	48	47	46	24	0.7	52.2
23	私立	岩手医科大学	80	121	102	73	32	1.5	43.8
24	私立	東北医科薬科大学	300	862	834	566	321	2.9	56.7
25	私立	医療創生大学	60	128	116	109	41	2.1	37.6
26	私立	奥羽大学	140	162	159	106	58	1.2	54.7
27	私立	国際医療福祉大学	180	1123	1097	472	189	6.2	40.0
28	私立	国際医療福祉大学(福岡薬学部)	120	1097	1080	357	129	9.1	36.1
29	私立	高崎健康福祉大学	90	426	416	243	100	4.7	41.2
30	私立	城西大学	250	866	789	632	244	3.5	38.6
31	私立	日本薬科大学	240	816	780	581	167	3.4	28.7
32	私立	城西国際大学	130	187	177	160	57	1.4	35.6
33	私立	千葉科学大学	100	214	210	204	50	2.1	24.5
34	私立	帝京平成大学	200	2047	1947	628	207	10.2	33.0
35	私立	東京理科大学	100	2085	1944	575	98	20.9	17.0
36	私立	東邦大学	220	2005	1930	549	241	9.1	43.9
37	私立	日本大学	244	1398	1217	636	293	5.7	46.1
38	私立	北里大学	260	1690	1627	507	265	6.5	52.3
39	私立	慶應義塾大学	150	1466	1337	323	149	9.8	46.1
40	私立	昭和大学	200	1282	1163	389	200	6.4	51.4
41	私立	昭和薬科大学	240	2073	1949	836	254	8.6	30.4
42	私立	東京薬科大学	420	2367	2212	965	461	5.6	47.8
43	私立	星薬科大学	260	3078	2964	820	290	11.8	35.4
44	私立	武蔵野大学	145	2362	2172	478	151	16.3	31.6
45	私立	明治薬科大学	300	2456	2147	677	323	8.2	47.7
46	私立	帝京大学	320	2200	2053	711	347	6.9	48.8
47	私立	横浜薬科大学	340	2258	2138	1183	373	6.6	31.5
48	私立	湘南医療大学	130	192	162	134	66	1.5	49.3
49	私立	岐阜医療科学大学	100	376	372	280	84	3.8	30.0
50	私立	新潟薬科大学	180	233	226	205	94	1.3	45.9
51	私立	北陸大学	105	296	285	265	72	2.8	27.2
52	私立	愛知学院大学	145	1106	1030	580	166	7.6	28.6
53	私立	金城学院大学	150	781	758	670	192	5.2	28.7
54	私立	名城大学	265	2,649	2,531	1162	277	10.0	23.8
55	私立	鈴鹿医療科学大学	100	546	541	397	82	5.5	20.7
56	私立	京都薬科大学	360	1,991	1,938	997	383	5.5	38.4
57	私立	同志社女子大学	125	1,068	1,046	434	141	8.5	32.5
58	私立	立命館大学	100	1,565	1,503	737	102	15.7	13.8
59	私立	大阪大谷大学	140	607	548	461	119	4.3	25.8

2-3 入学者年齢推移

医学部

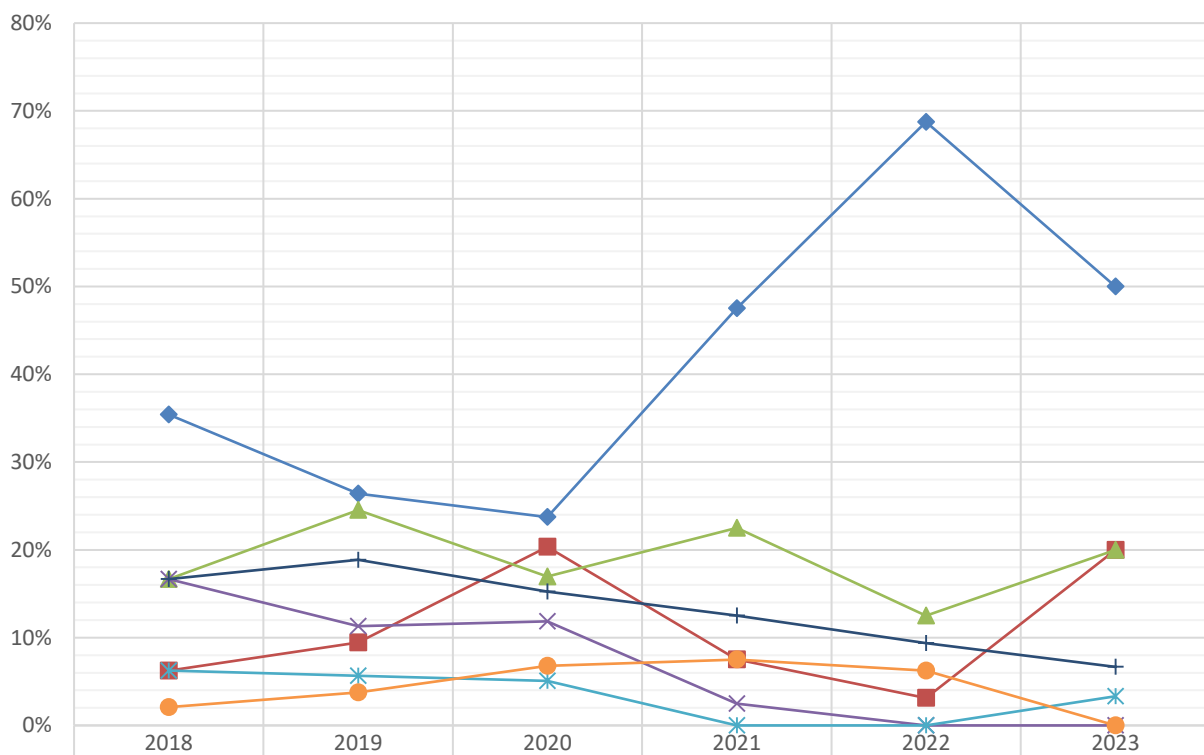
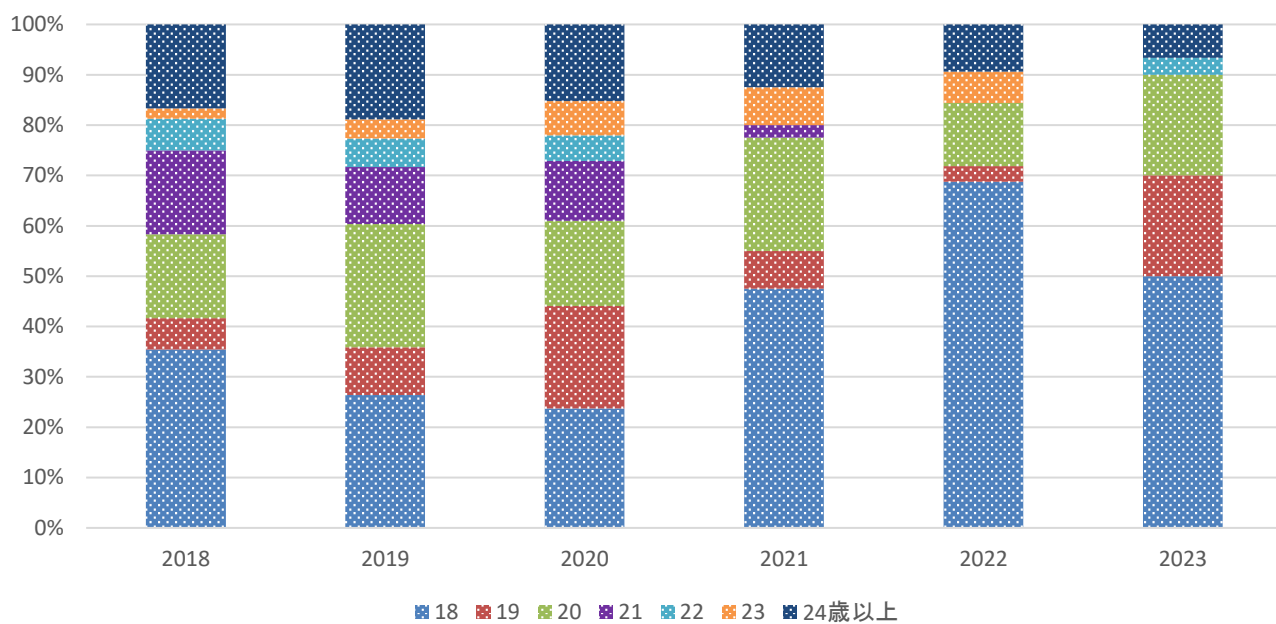


	2018	2019	2020	2021	2022	2023
18	11.6%	12.9%	24.4%	22.0%	24.4%	29.0%
19	29.5%	35.6%	32.5%	29.3%	35.0%	25.2%
20	14.0%	16.7%	17.9%	20.3%	14.6%	13.0%
21	12.4%	12.1%	8.9%	6.5%	6.5%	9.2%
22	7.0%	4.5%	6.5%	5.7%	4.1%	5.3%
23	4.7%	3.0%	4.9%	4.1%	5.7%	3.1%
24歳以上	20.9%	15.2%	4.9%	12.2%	9.8%	15.3%

◆ 18 ■ 19 ▲ 20 × 21 * 22 ● 23 + 24歳以上

入学者年齢推移 (つづき)

歯学部

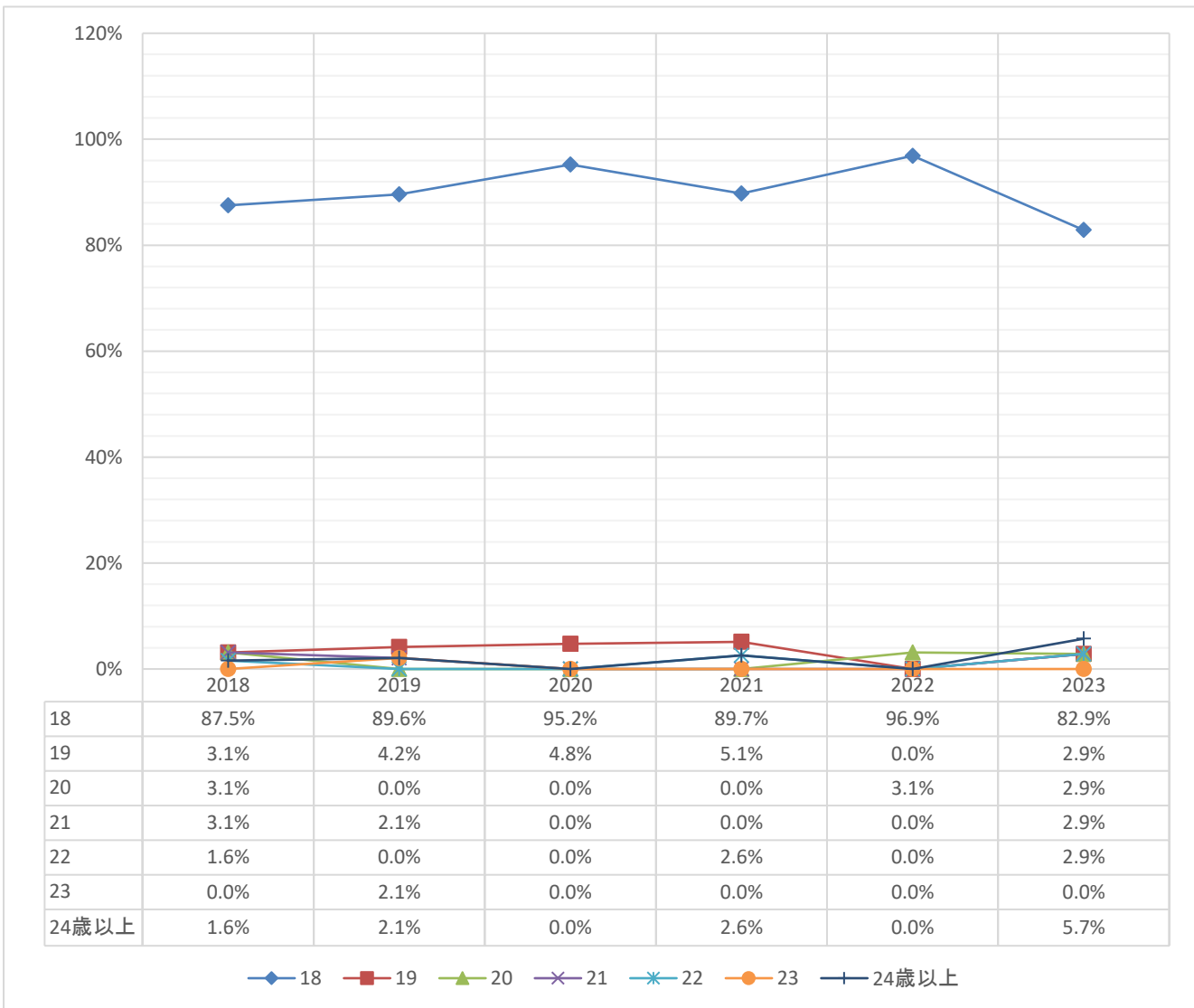
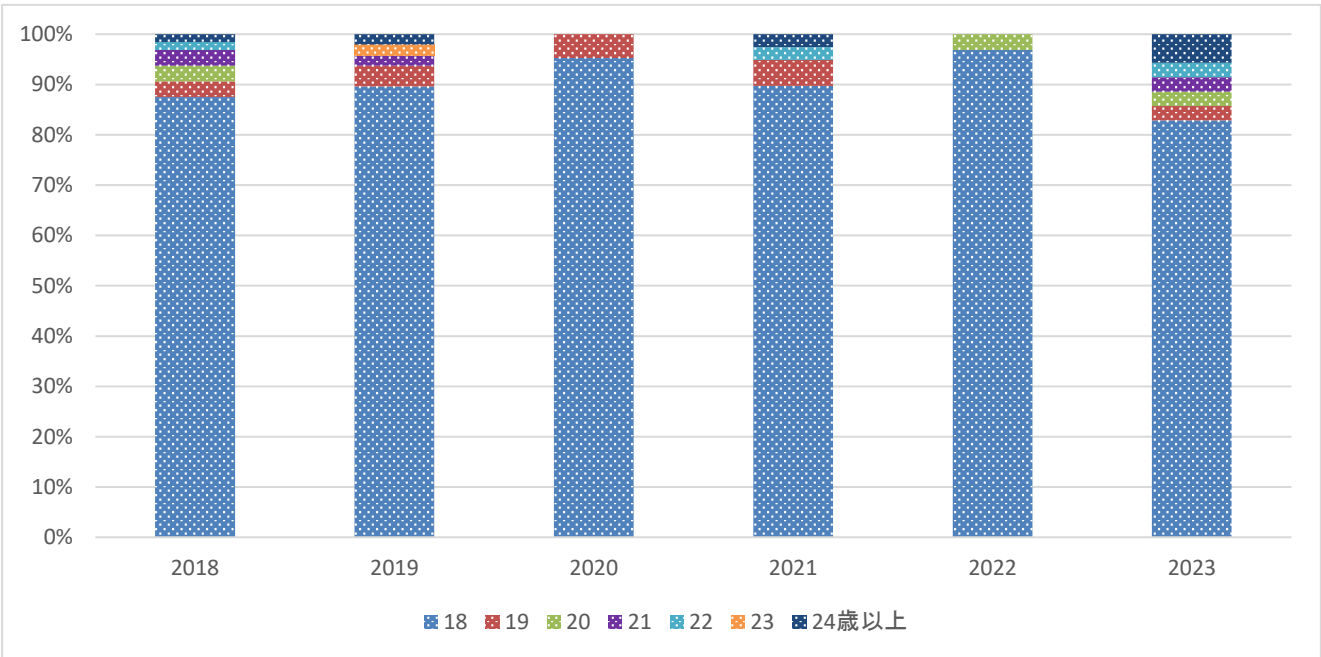


18	35.4%	26.4%	23.7%	47.5%	68.8%	50.0%
19	6.3%	9.4%	20.3%	7.5%	3.1%	20.0%
20	16.7%	24.5%	16.9%	22.5%	12.5%	20.0%
21	16.7%	11.3%	11.9%	2.5%	0.0%	0.0%
22	6.3%	5.7%	5.1%	0.0%	0.0%	3.3%
23	2.1%	3.8%	6.8%	7.5%	6.3%	0.0%
24歳以上	16.7%	18.9%	15.3%	12.5%	9.4%	6.7%

◆ 18 ■ 19 ▲ 20 × 21 * 22 ● 23 + 24歳以上

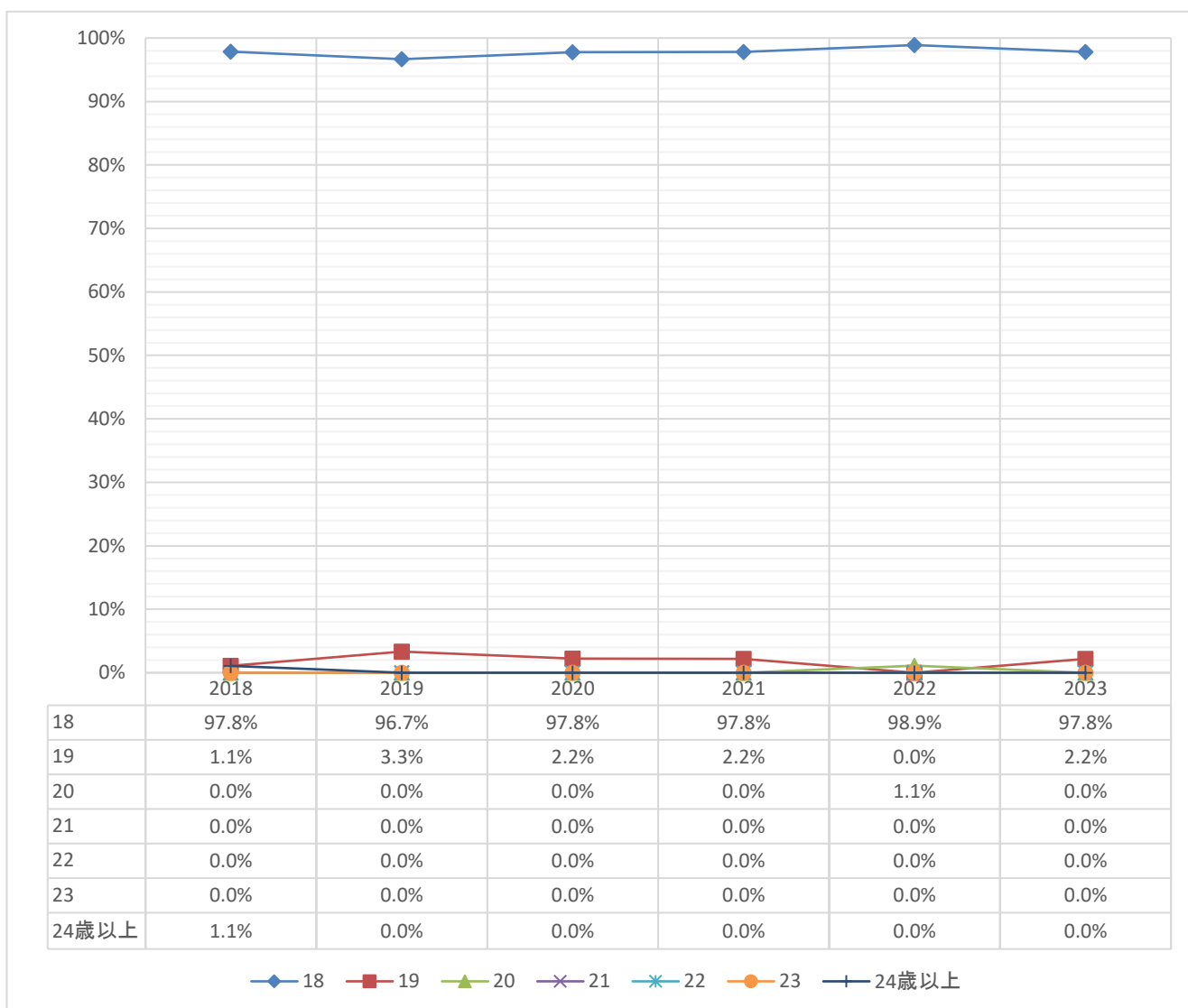
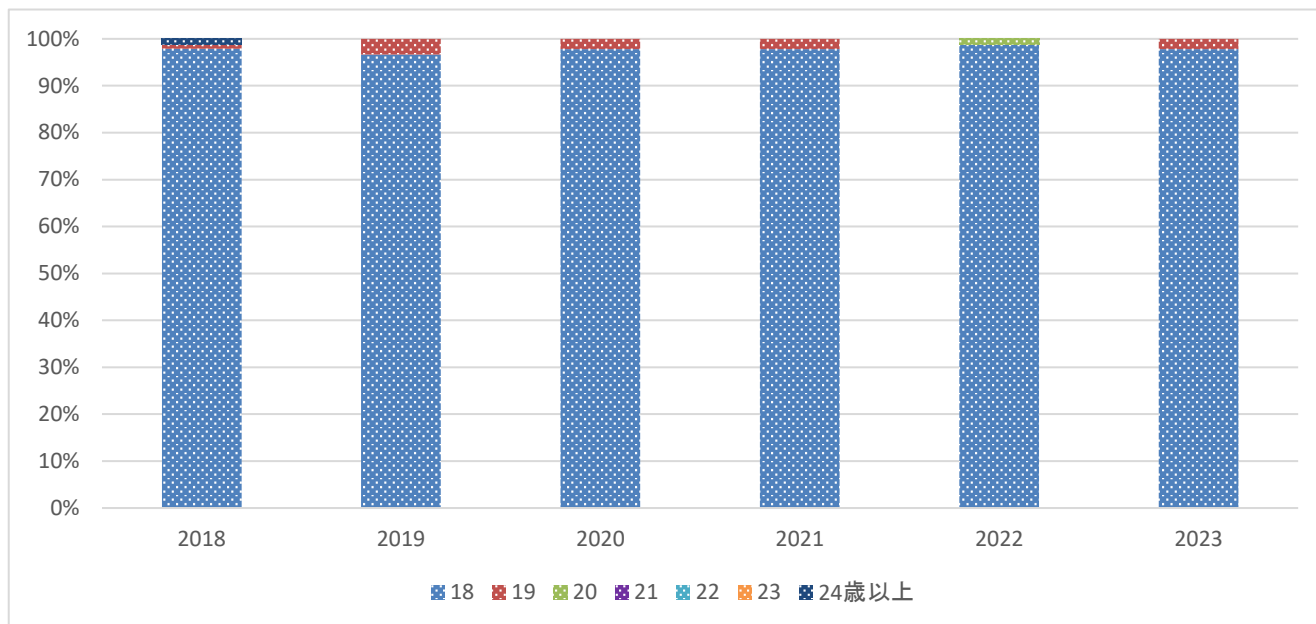
入学者年齢推移（つづき）

薬学部



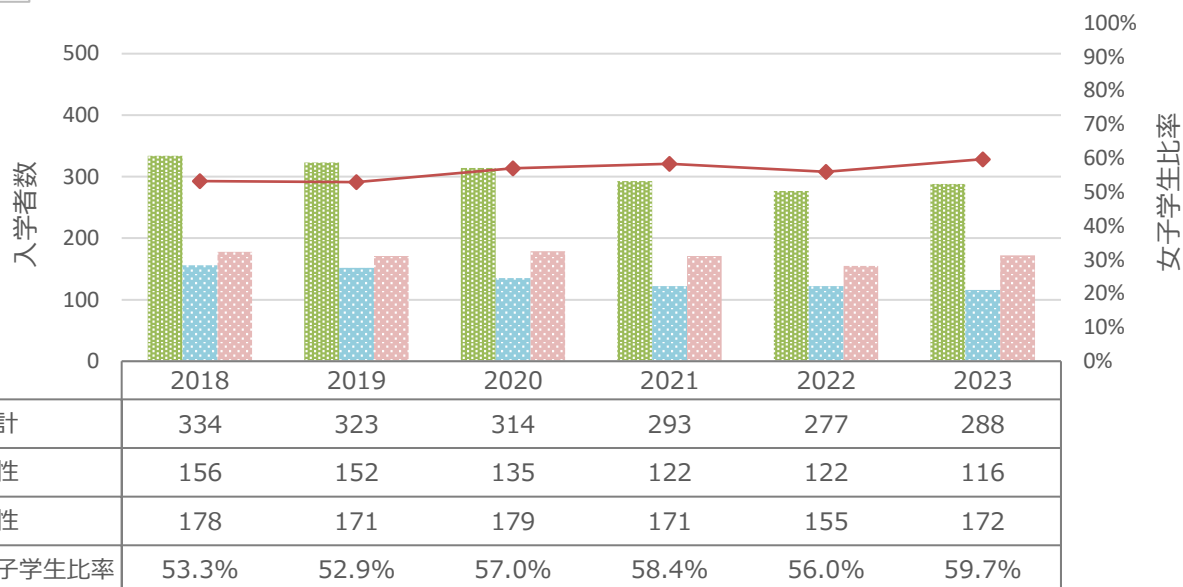
入学者年齢推移（つづき）

看護学部

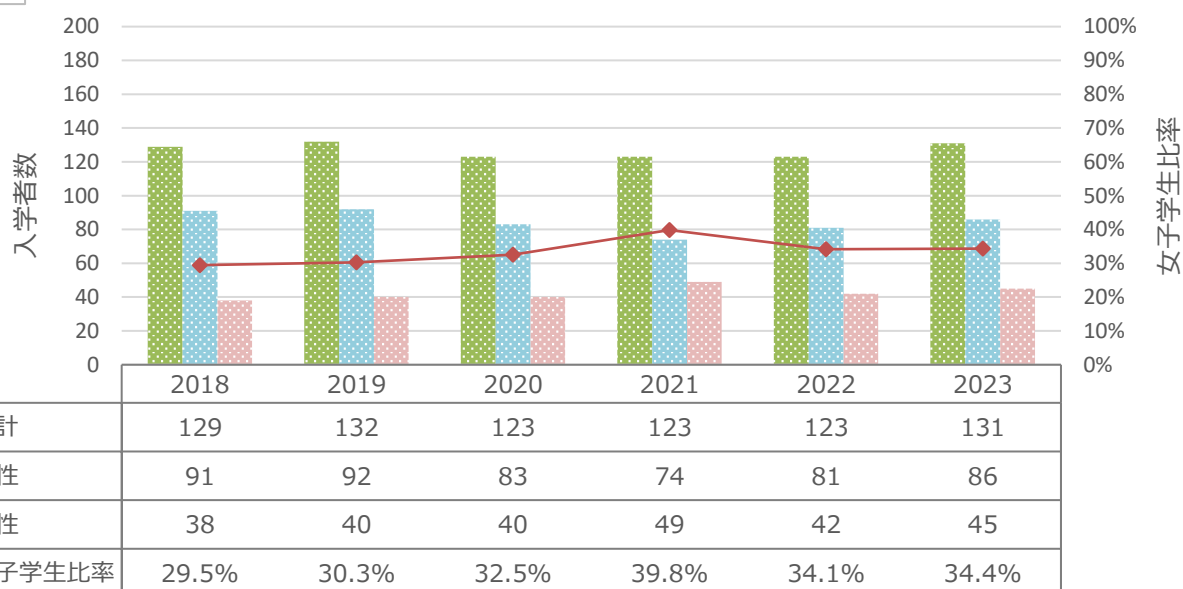


2-4 入学者男女比推移

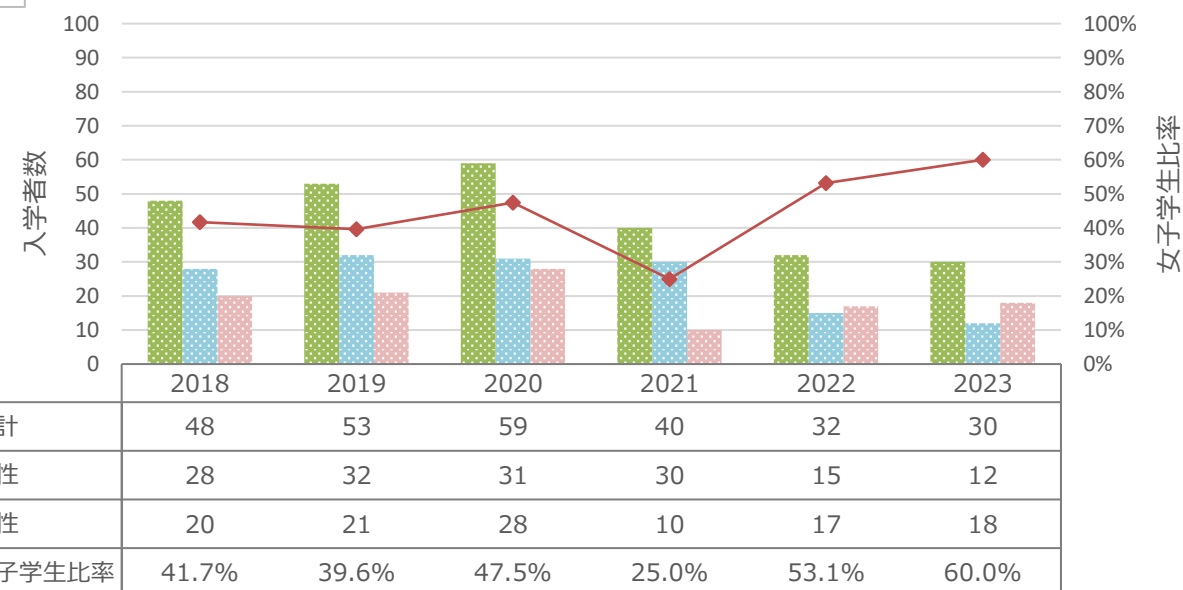
大学全体



医学部

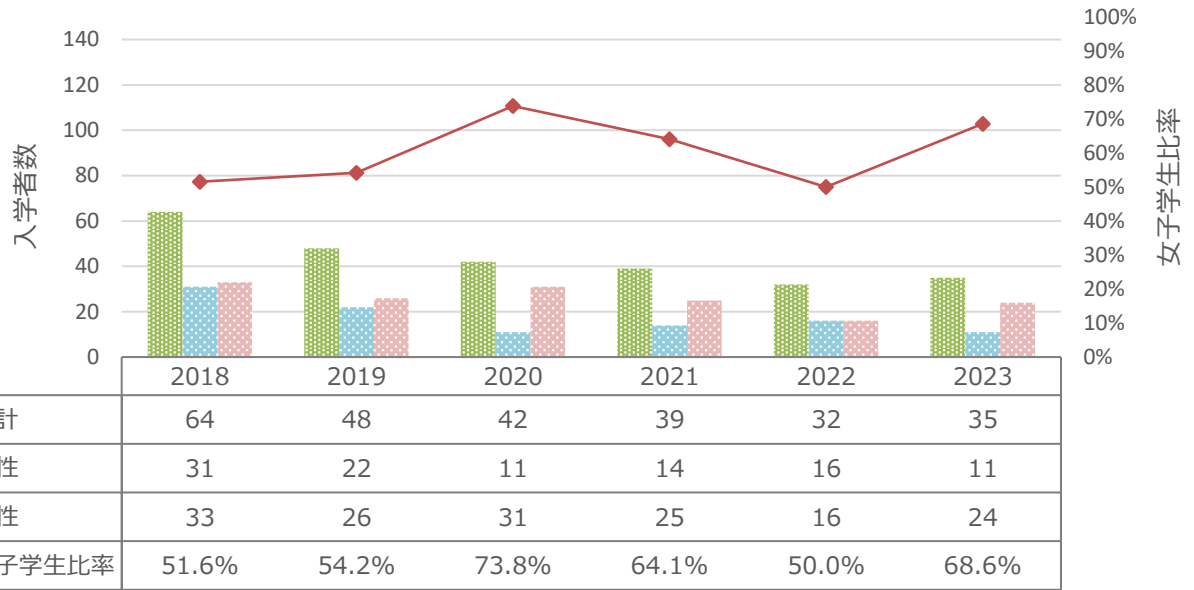


歯学部

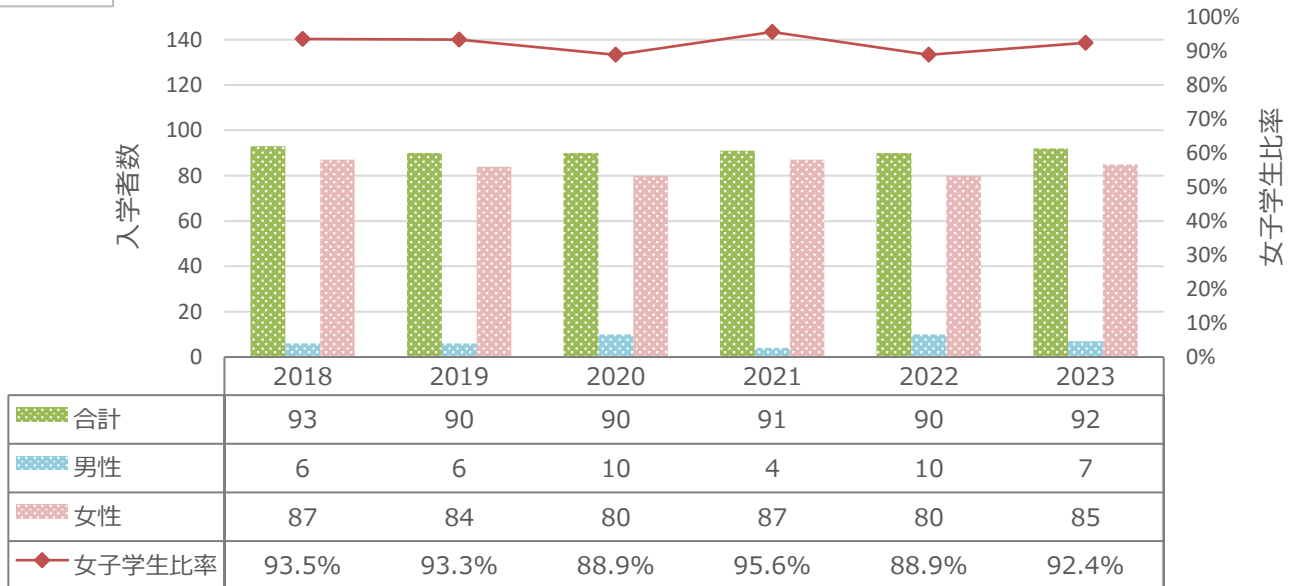


入学者男女比推移（つづき）

薬学部



看護学部



2-5 入学者出身校地域分布_全国

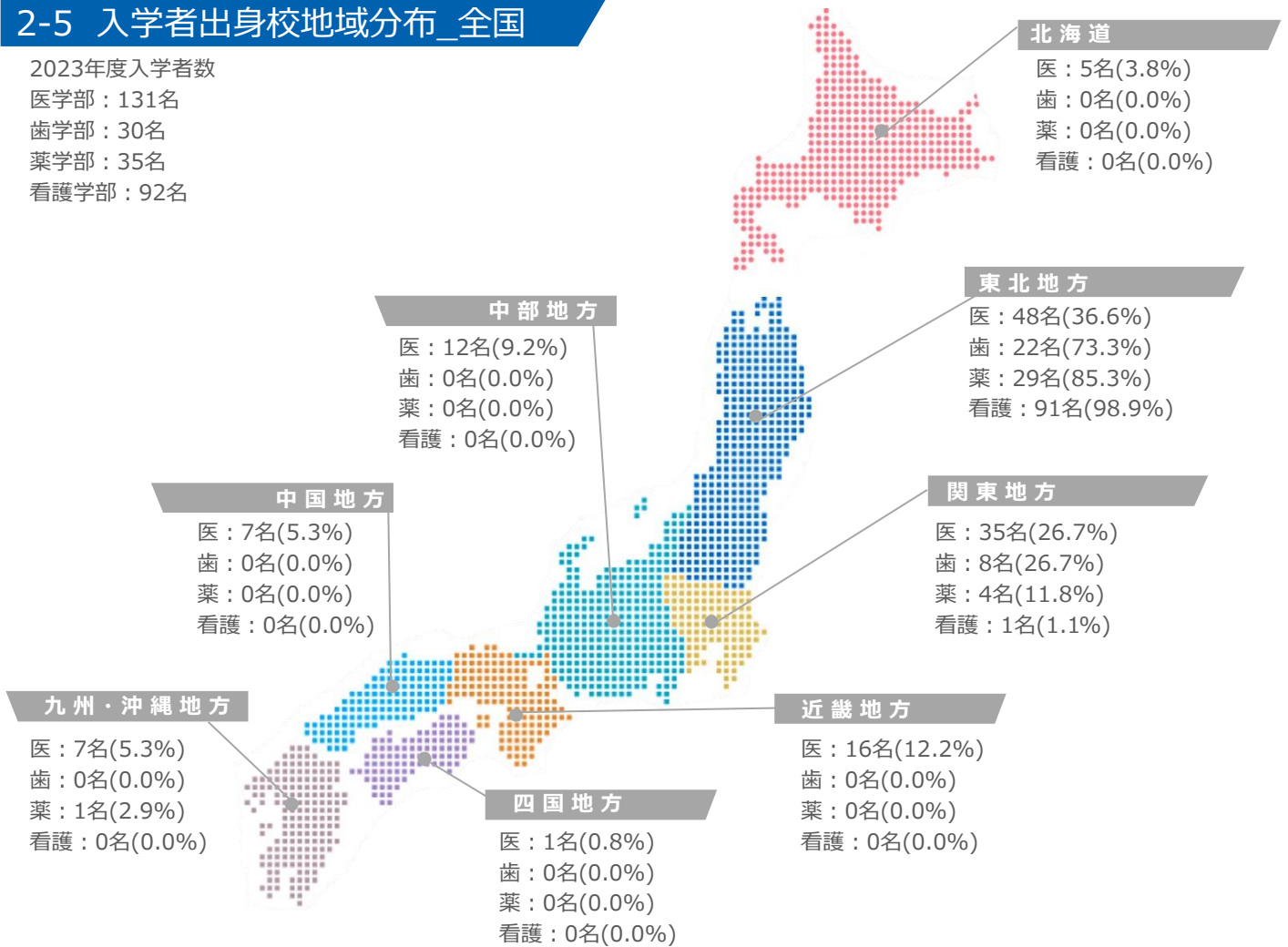
2023年度入学者数

医学部：131名

歯学部：30名

薬学部：35名

看護学部：92名



入学者出身校地域分布_東北地方

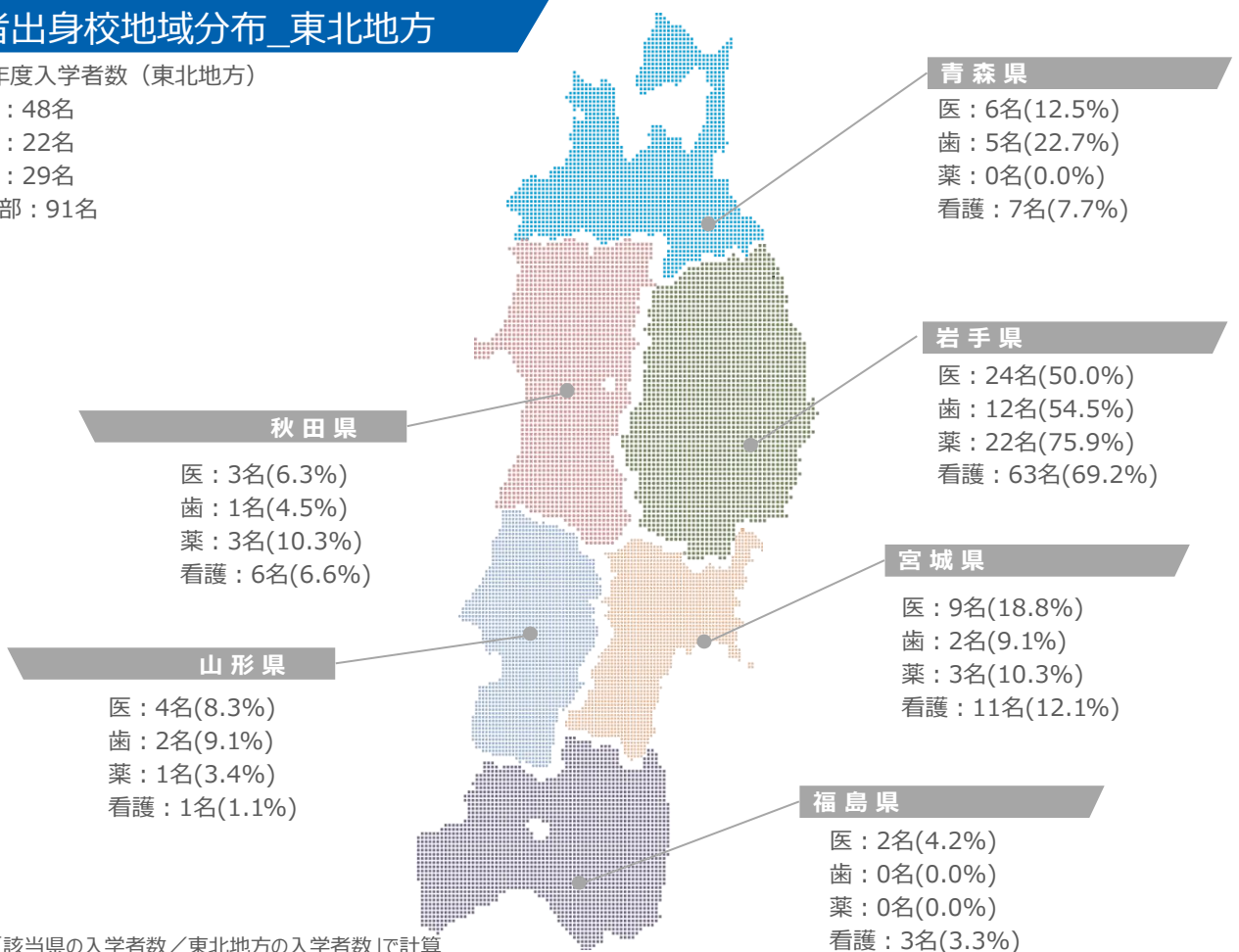
2023年度入学者数 (東北地方)

医学部：48名

歯学部：22名

薬学部：29名

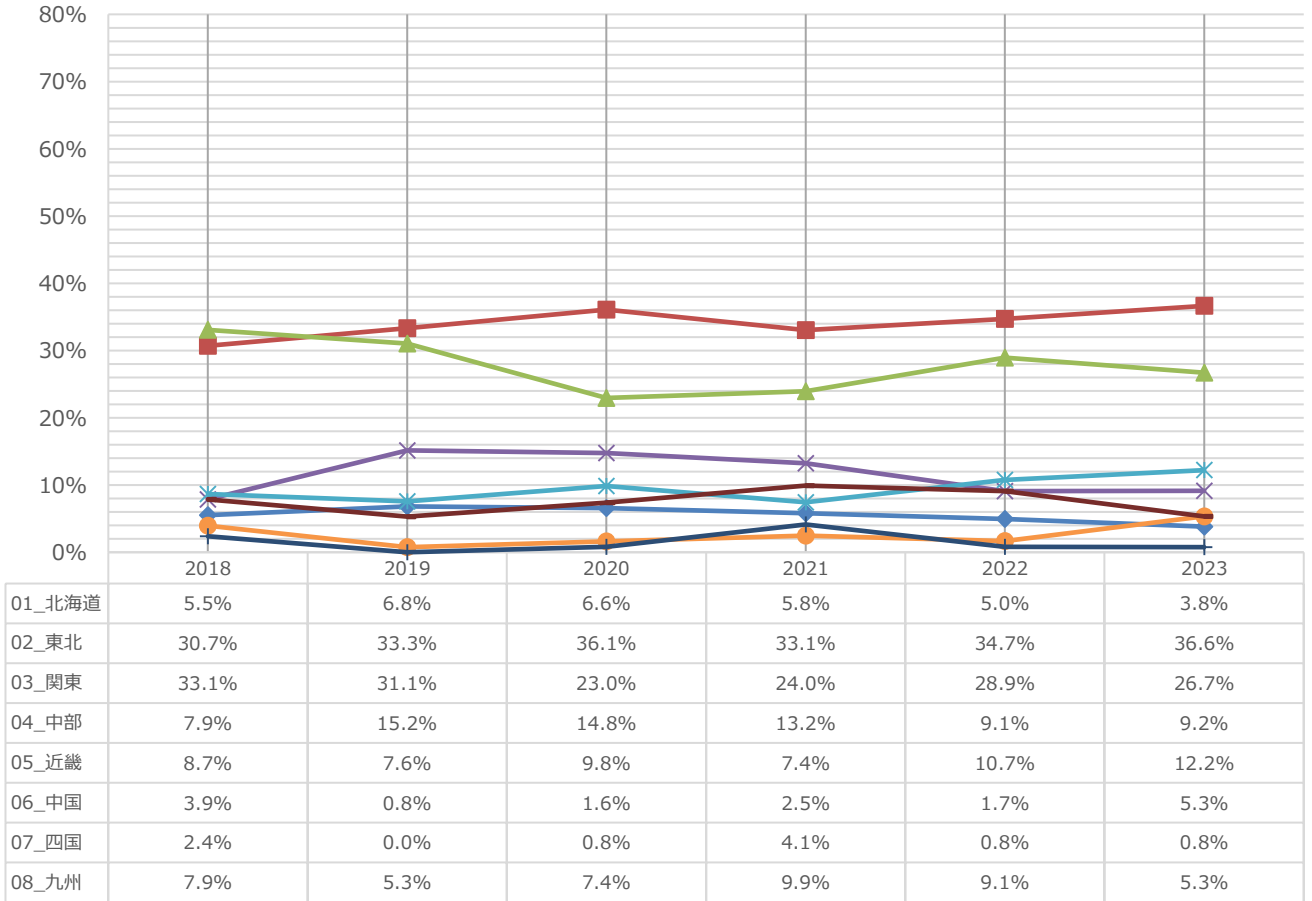
看護学部：91名



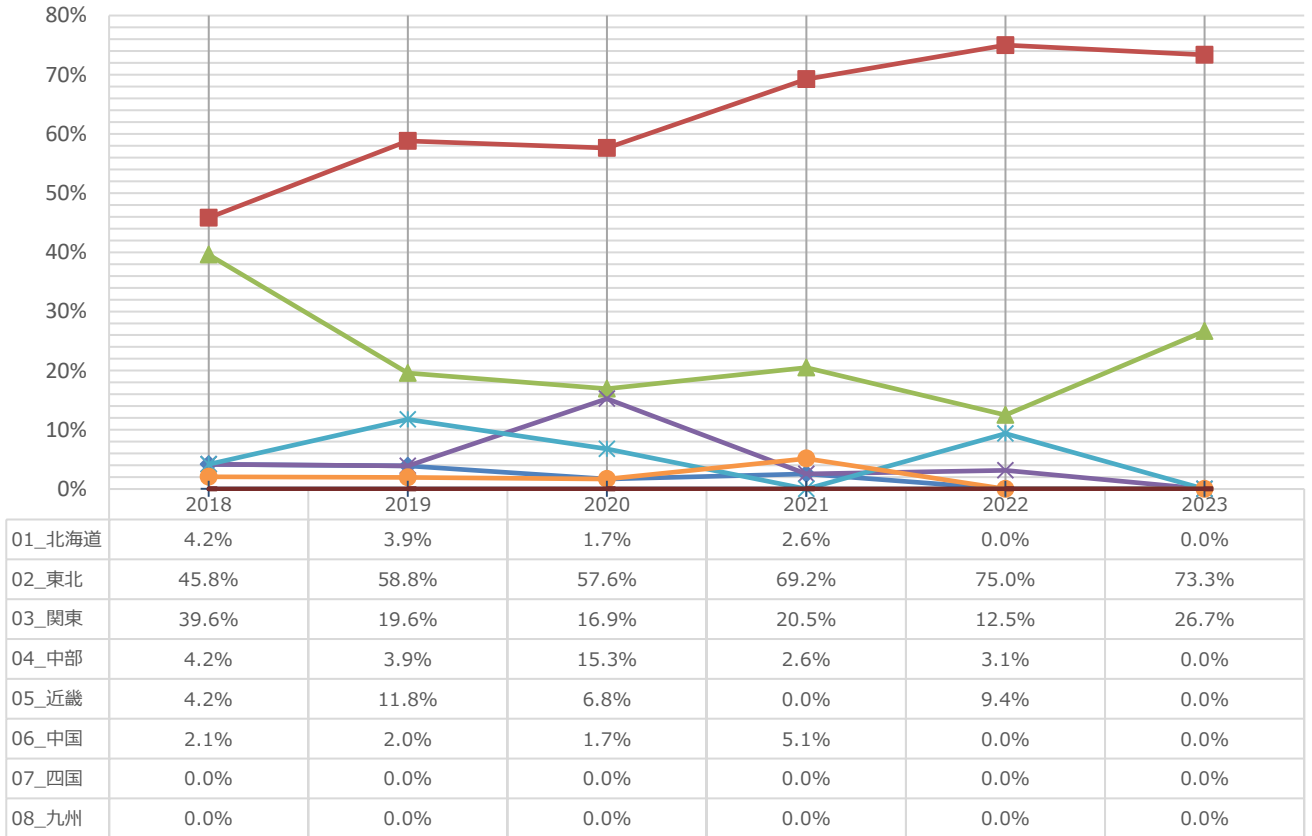
※割合は「該当県の入学者数／東北地方の入学者数」で計算

地域別入学者数推移_全国

医学部



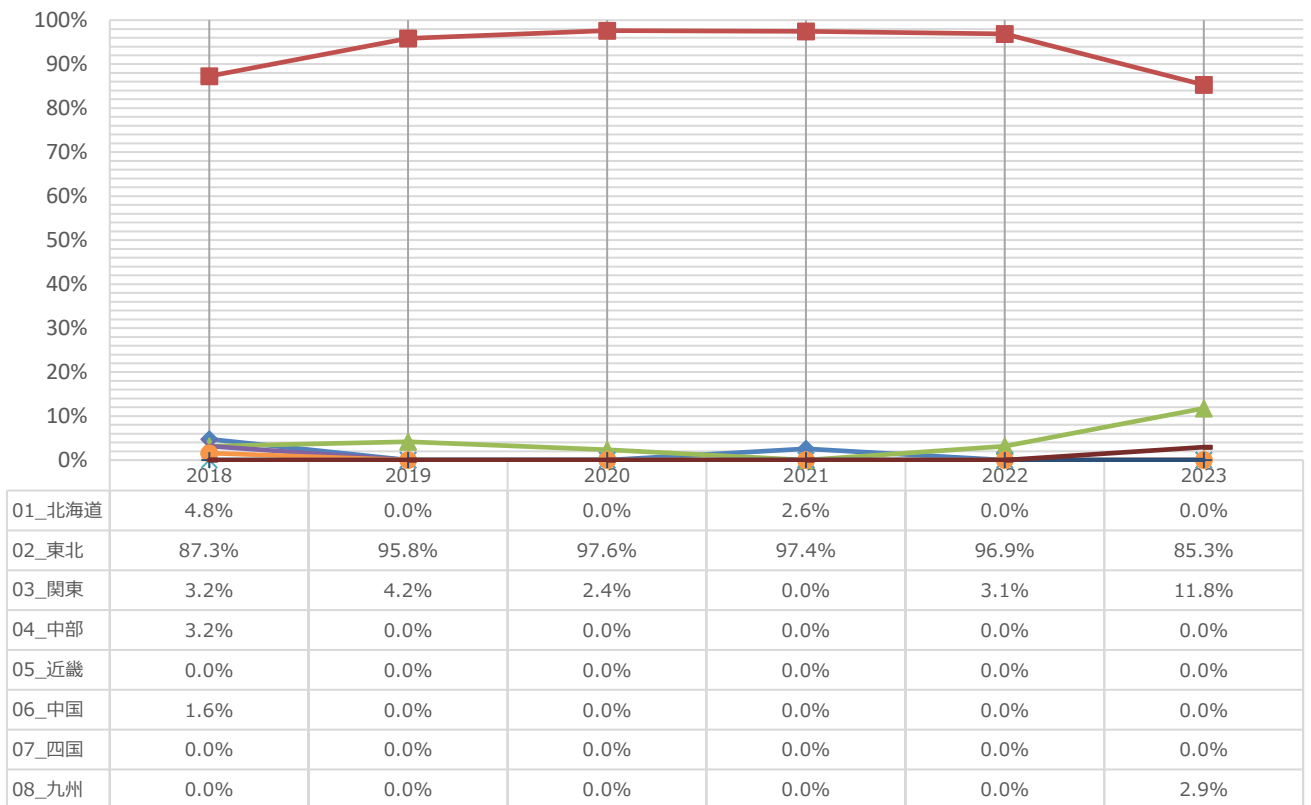
歯学部



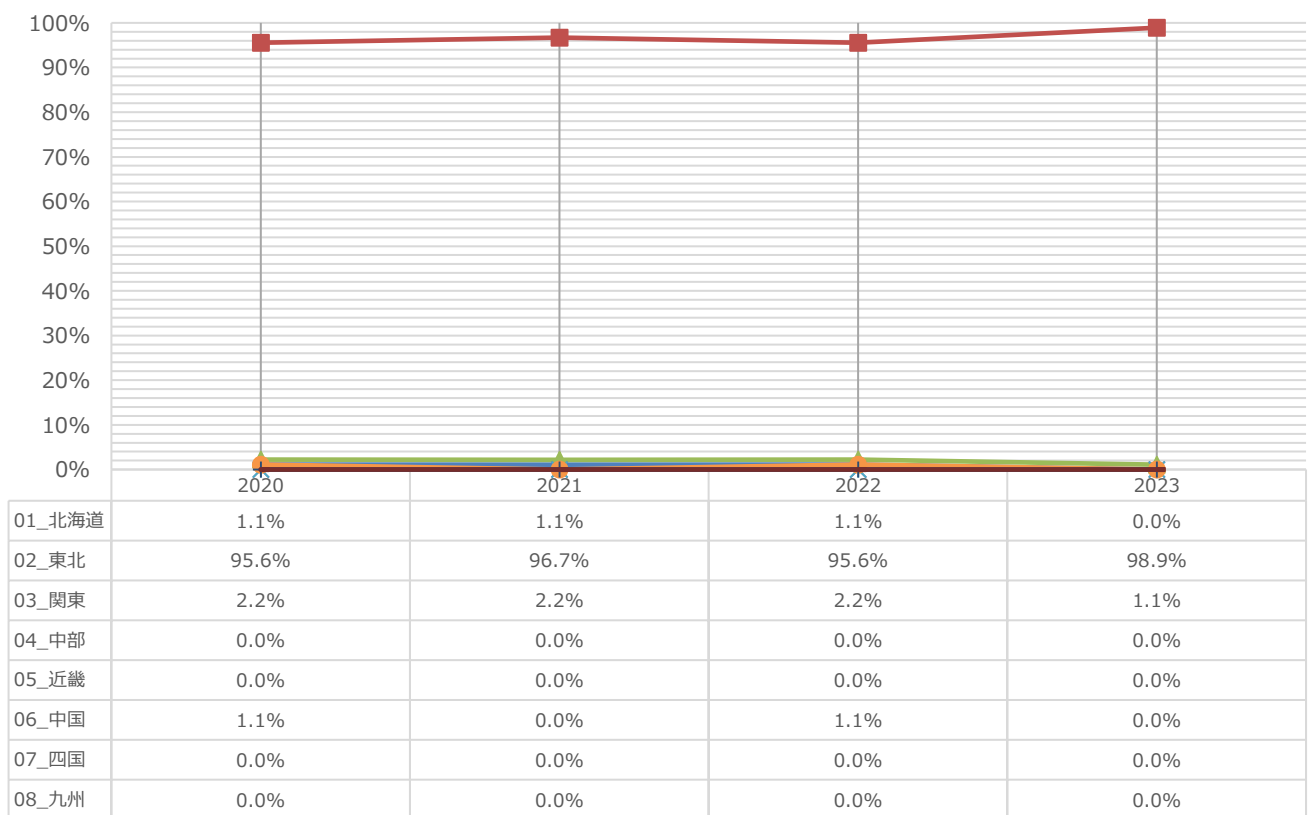
◆ 01_北海道
 ■ 02_東北
 ▲ 03_関東
 × 04_中部
 ✦ 05_近畿
 ● 06_中国
 ◆ 07_四国
 ■ 08_九州

地域別入学者数推移_全国 (つづき)

薬学部



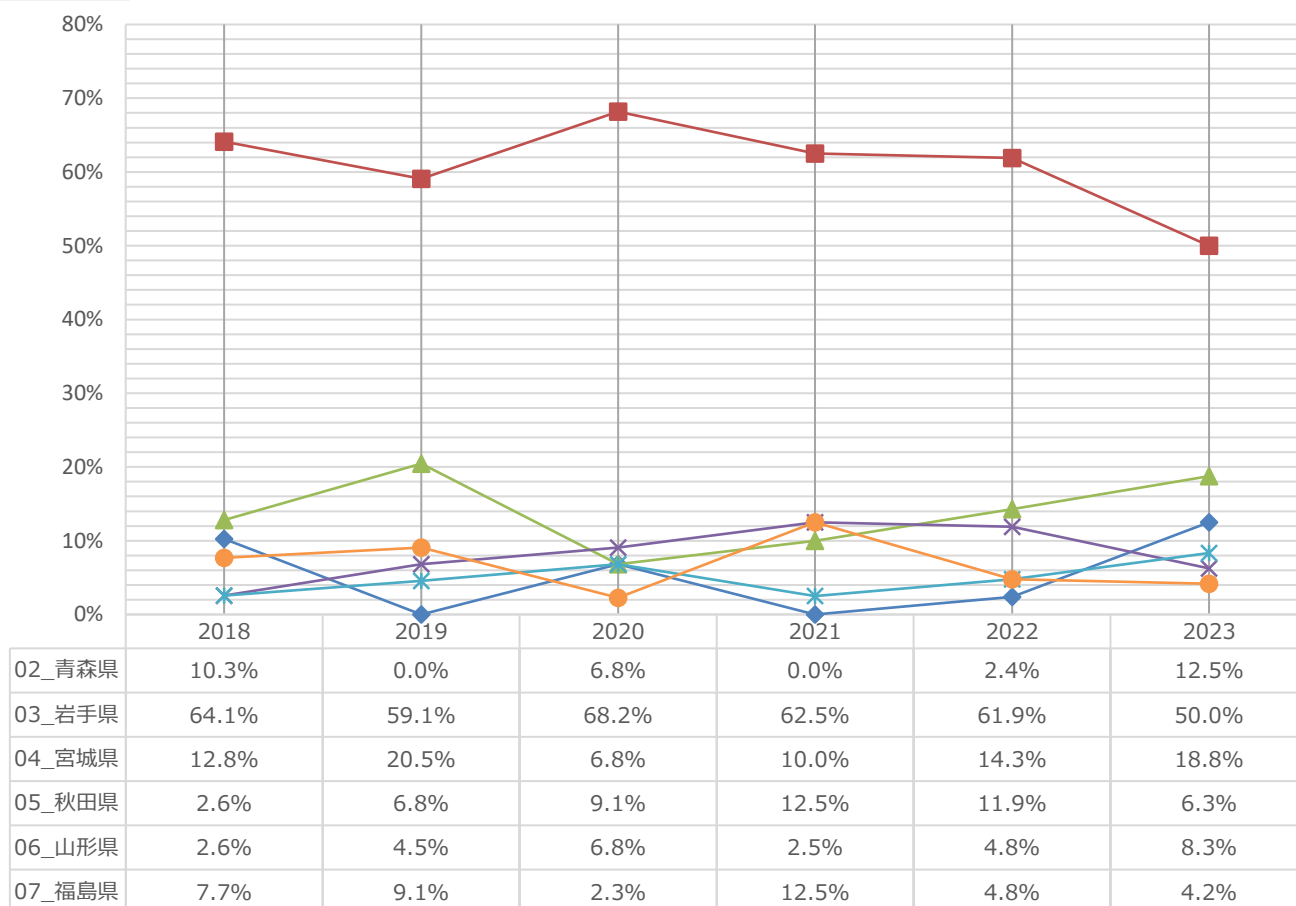
看護学部



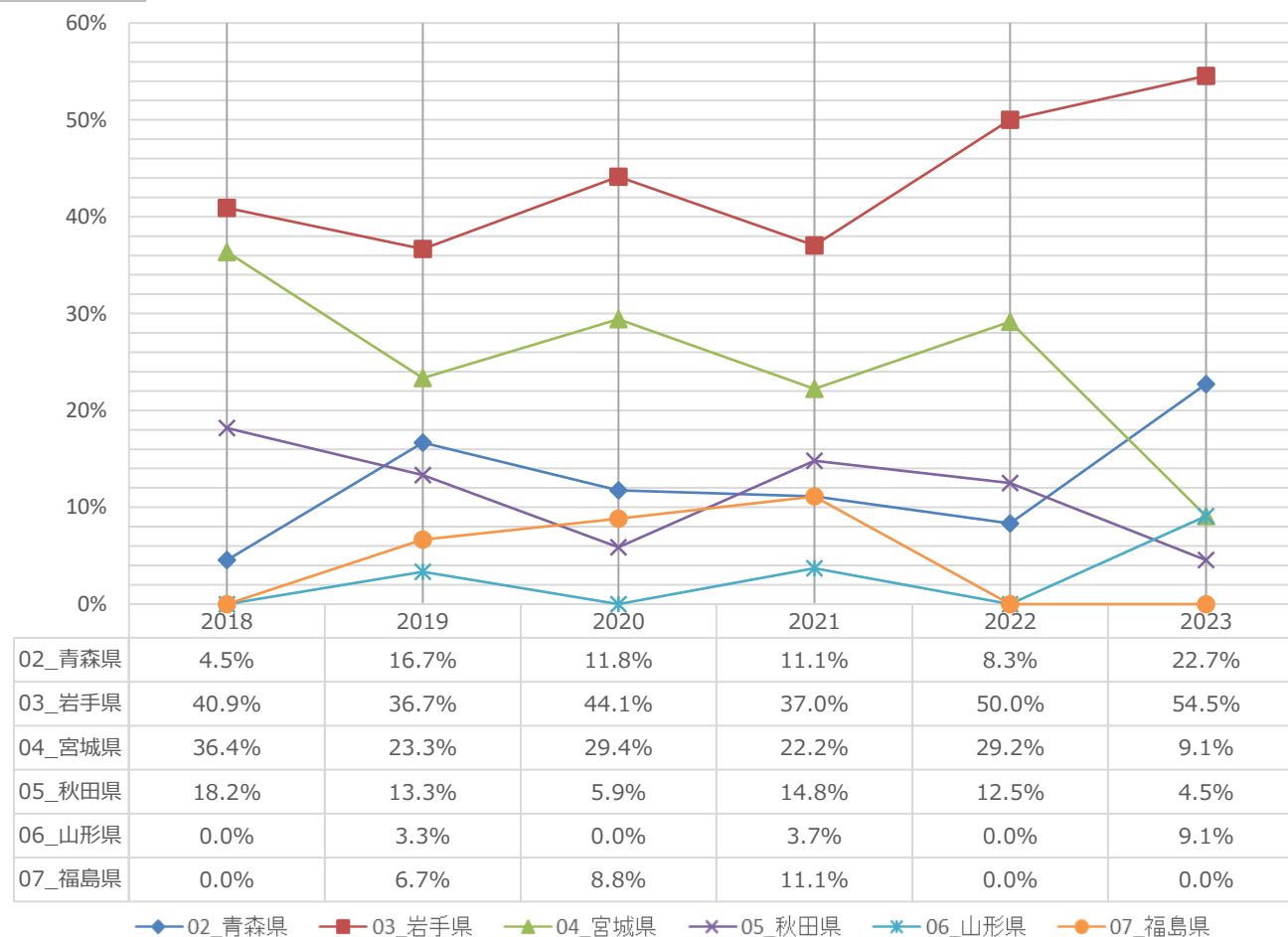
01_北海道 02_東北 03_関東 04_中部 05_近畿 06_中国 07_四国 08_九州

都道府県別入学者割合推移_東北地方

医学部



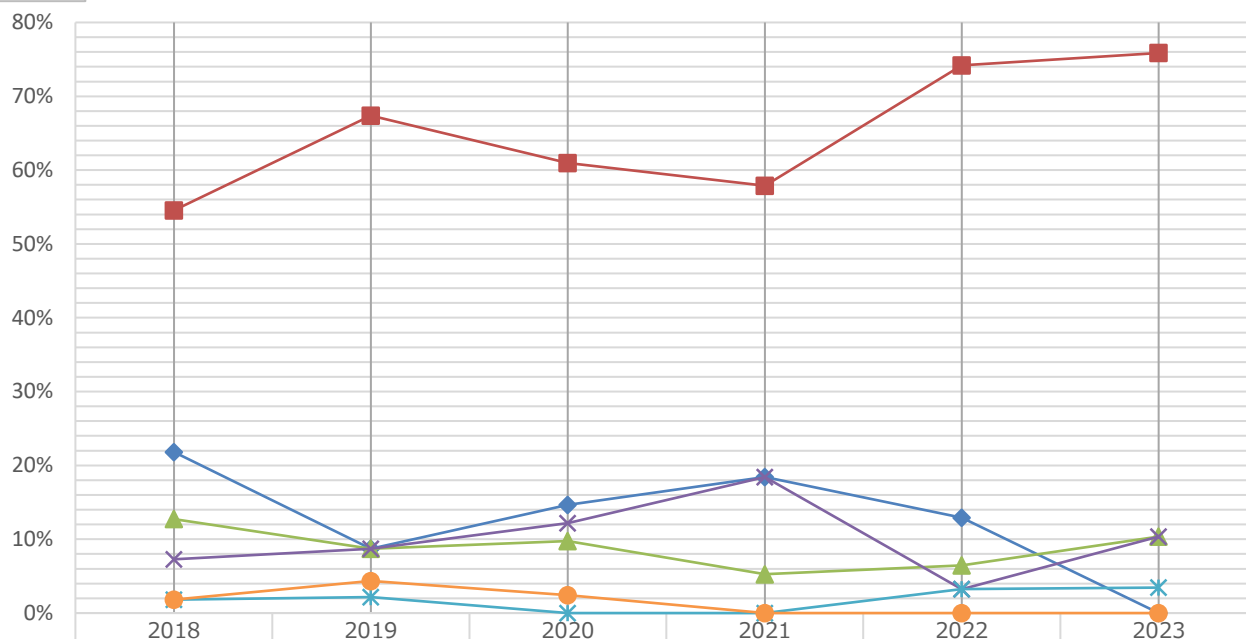
歯学部



◆ 02_青森県 ■ 03_岩手県 ▲ 04_宮城県 ✕ 05_秋田県 * 06_山形県 ● 07_福島県

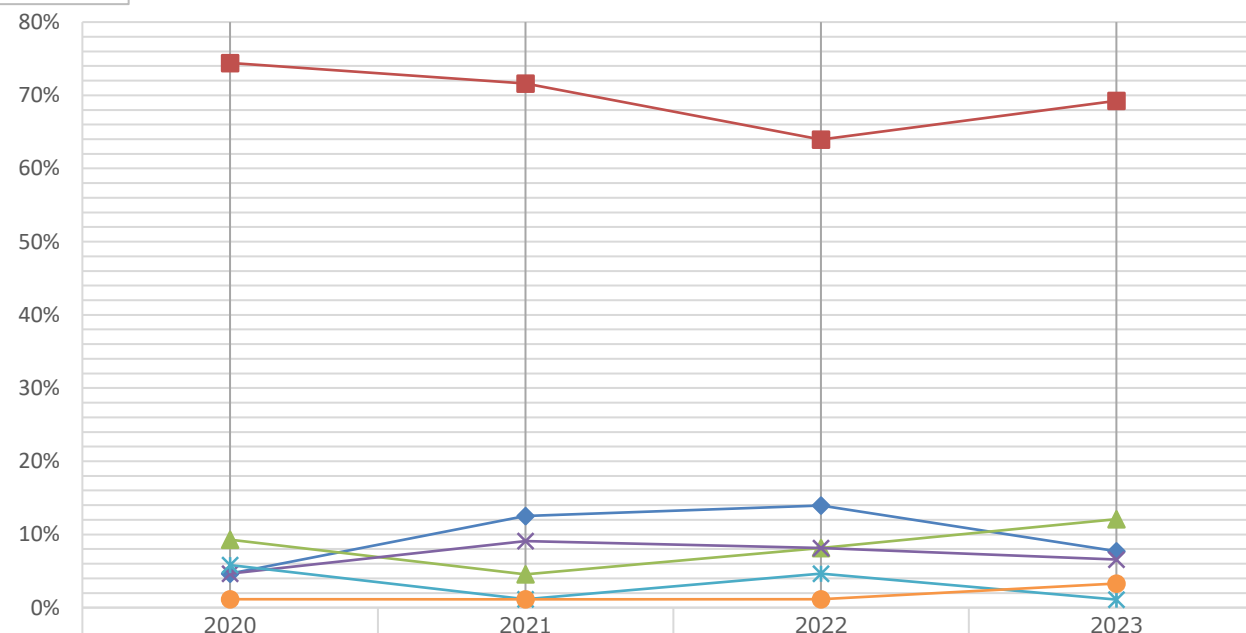
地域別入学者数推移_東北地方（つづき）

薬学部



02_青森県	21.8%	8.7%	14.6%	18.4%	12.9%	0.0%
03_岩手県	54.5%	67.4%	61.0%	57.9%	74.2%	75.9%
04_宮城県	12.7%	8.7%	9.8%	5.3%	6.5%	10.3%
05_秋田県	7.3%	8.7%	12.2%	18.4%	3.2%	10.3%
06_山形県	1.8%	2.2%	0.0%	0.0%	3.2%	3.4%
07_福島県	1.8%	4.3%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%

看護学部



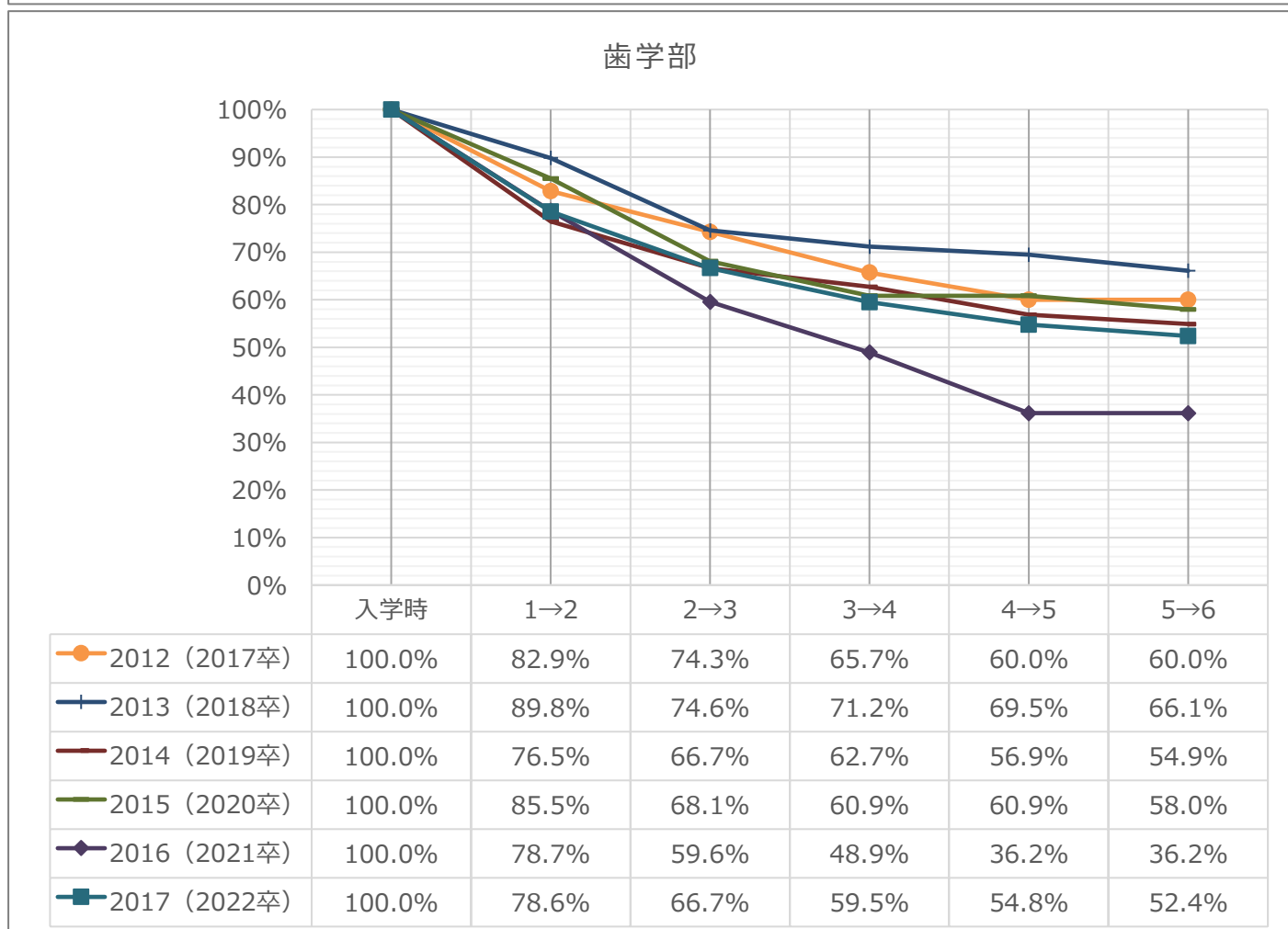
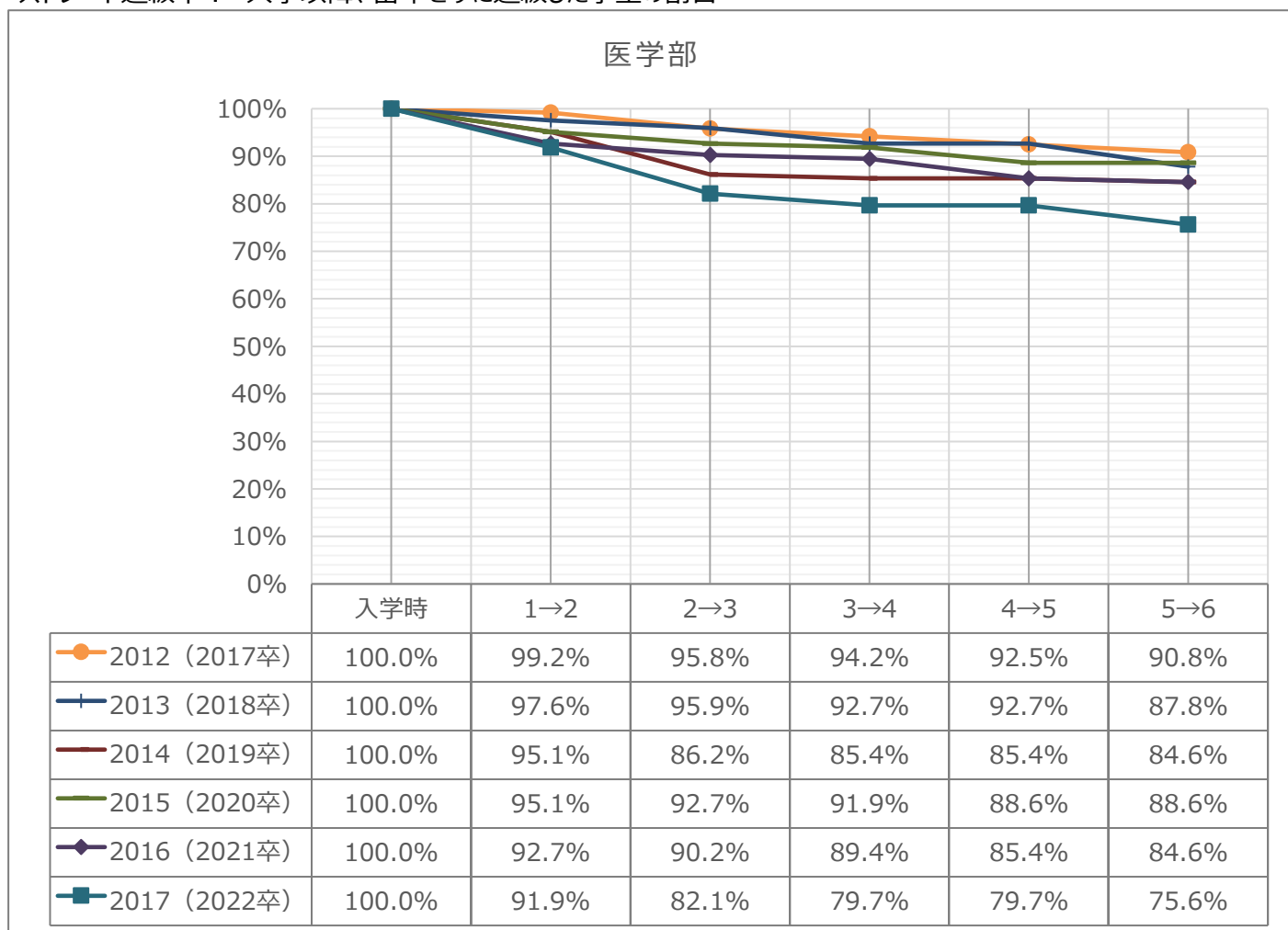
02_青森県	4.7%	12.5%	14.0%	7.7%
03_岩手県	74.4%	71.6%	64.0%	69.2%
04_宮城県	9.3%	4.5%	8.1%	12.1%
05_秋田県	4.7%	9.1%	8.1%	6.6%
06_山形県	5.8%	1.1%	4.7%	1.1%
07_福島県	1.2%	1.1%	1.2%	3.3%

◆ 02_青森県 ■ 03_岩手県 ▲ 04_宮城県 ✕ 05_秋田県 * 06_山形県 ● 07_福島県

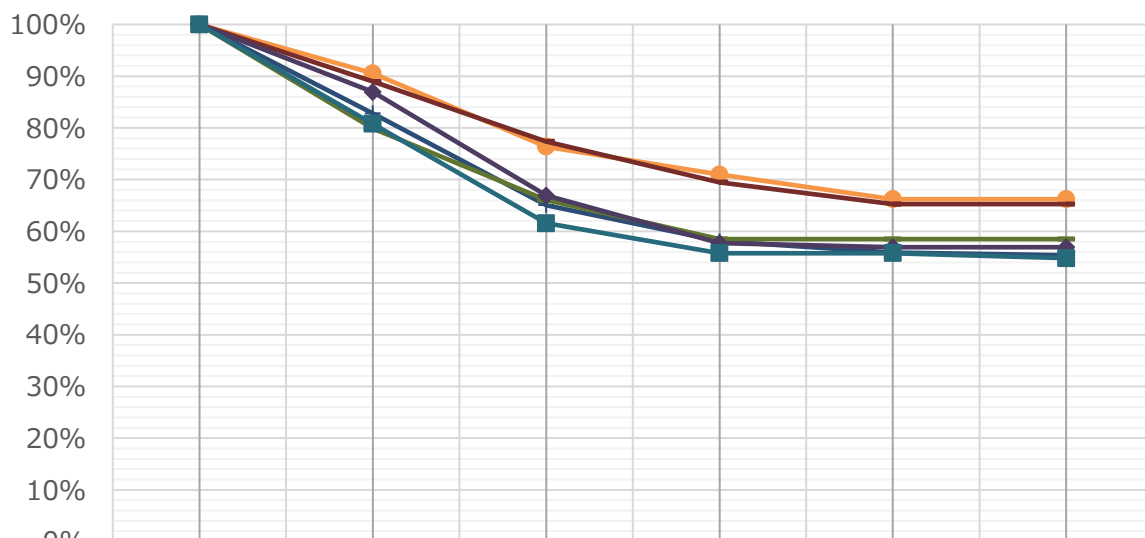
3-1 ストレート進級率推移

出典：各学部教務課提供データ

ストレート進級率：入学以降、留年せずに進級した学生の割合

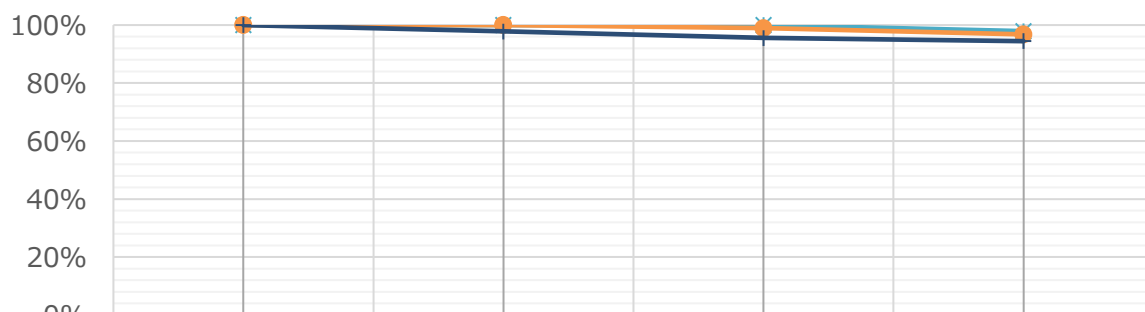


薬学部



	入学時	1→2	2→3	3→4	4→5	5→6
● 2012 (2017卒)	100.0%	90.5%	76.4%	70.9%	66.2%	66.2%
+ 2013 (2018卒)	100.0%	82.8%	65.1%	58.1%	55.9%	55.4%
— 2014 (2019卒)	100.0%	88.9%	77.4%	69.5%	65.3%	65.3%
— 2015 (2020卒)	100.0%	79.9%	66.0%	58.5%	58.5%	58.5%
◆ 2016 (2021卒)	100.0%	86.9%	66.9%	57.7%	56.9%	56.9%
■ 2017 (2022卒)	100.0%	80.8%	61.5%	55.8%	55.8%	54.8%

看護学部

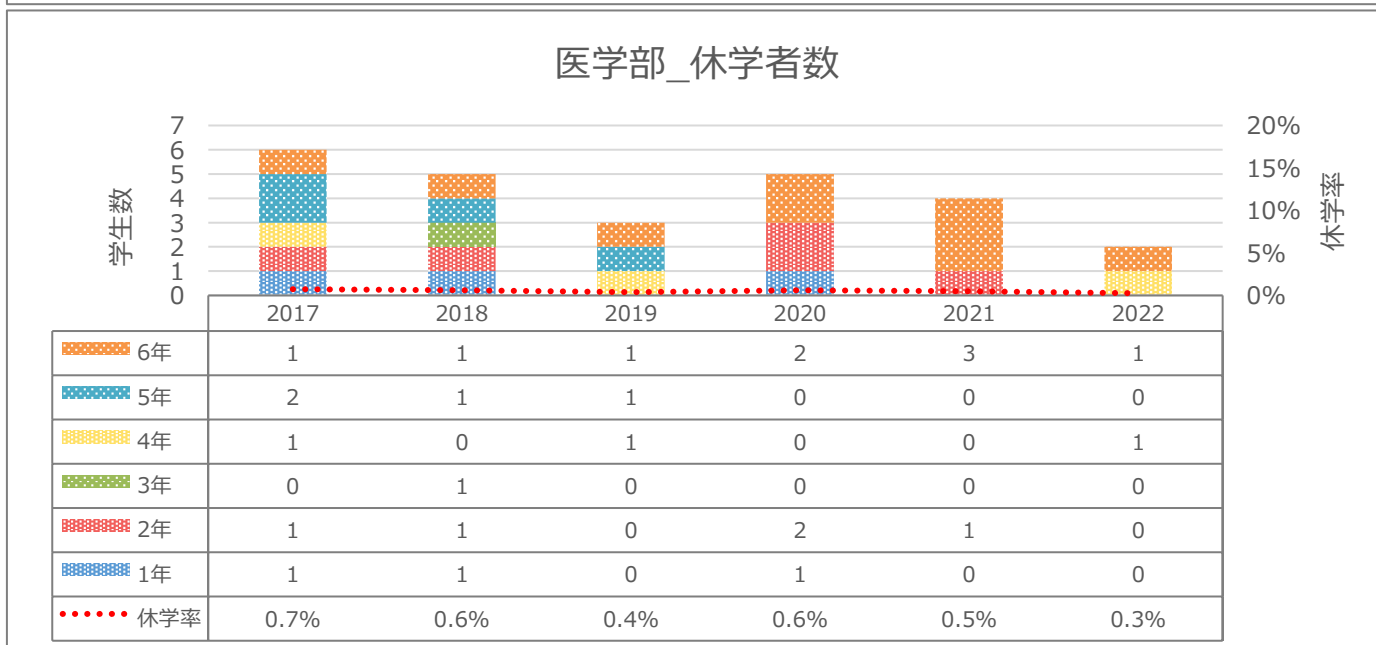
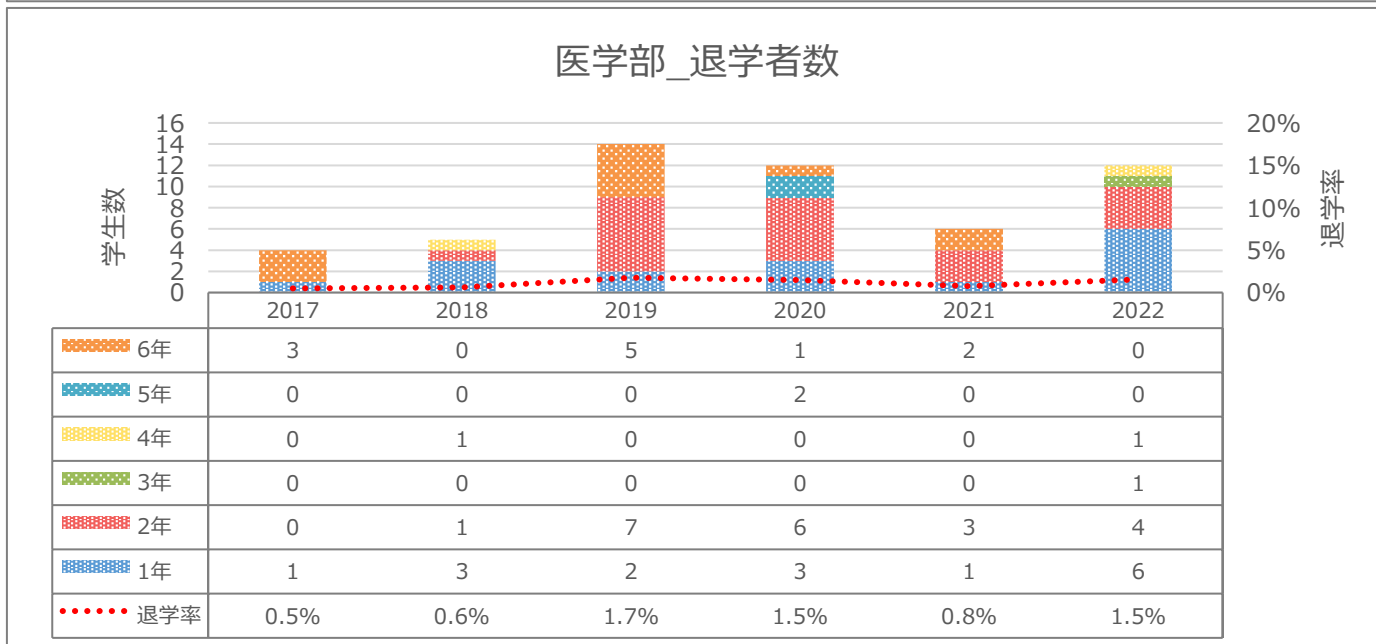
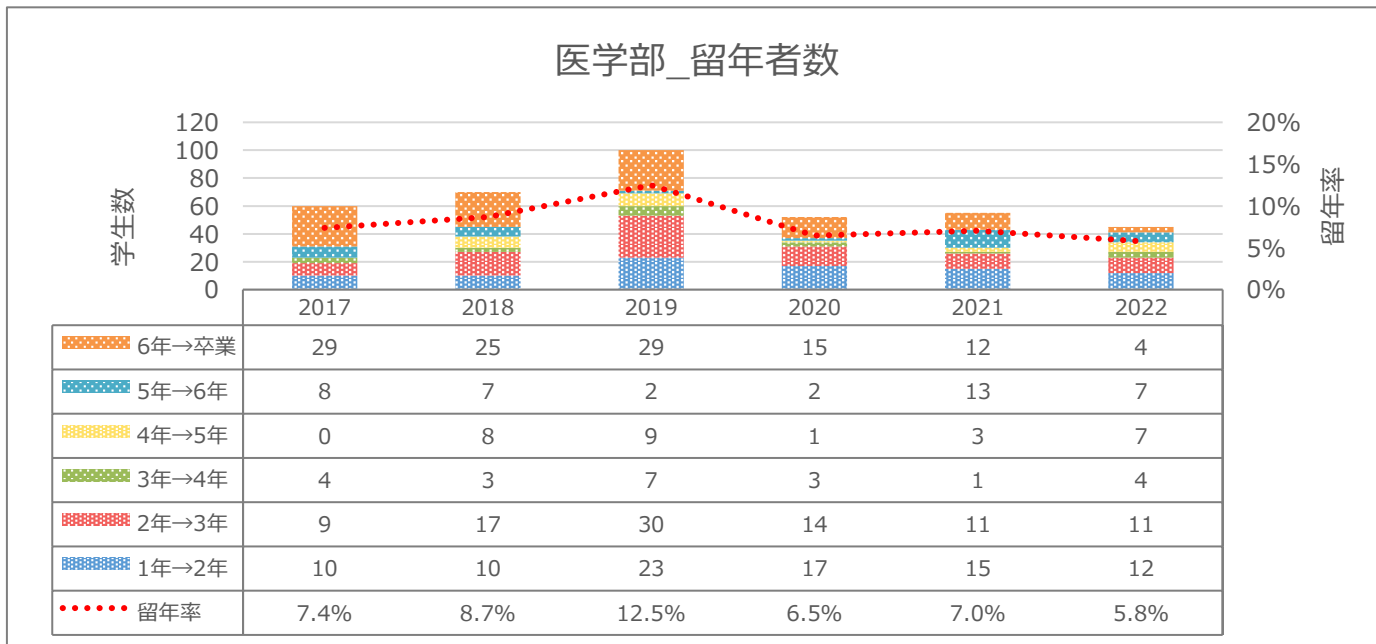


	入学時	1→2	2→3	3→4
* 2017 (2020卒)	100.0%	100.0%	100.0%	97.9%
● 2018(2021卒)	100.0%	100.0%	98.9%	96.8%
+ 2019 (2022卒)	100.0%	97.8%	95.6%	94.4%

留年者数：対象年度に留年した学生数

休学者数：対象年度内に休学した学生数

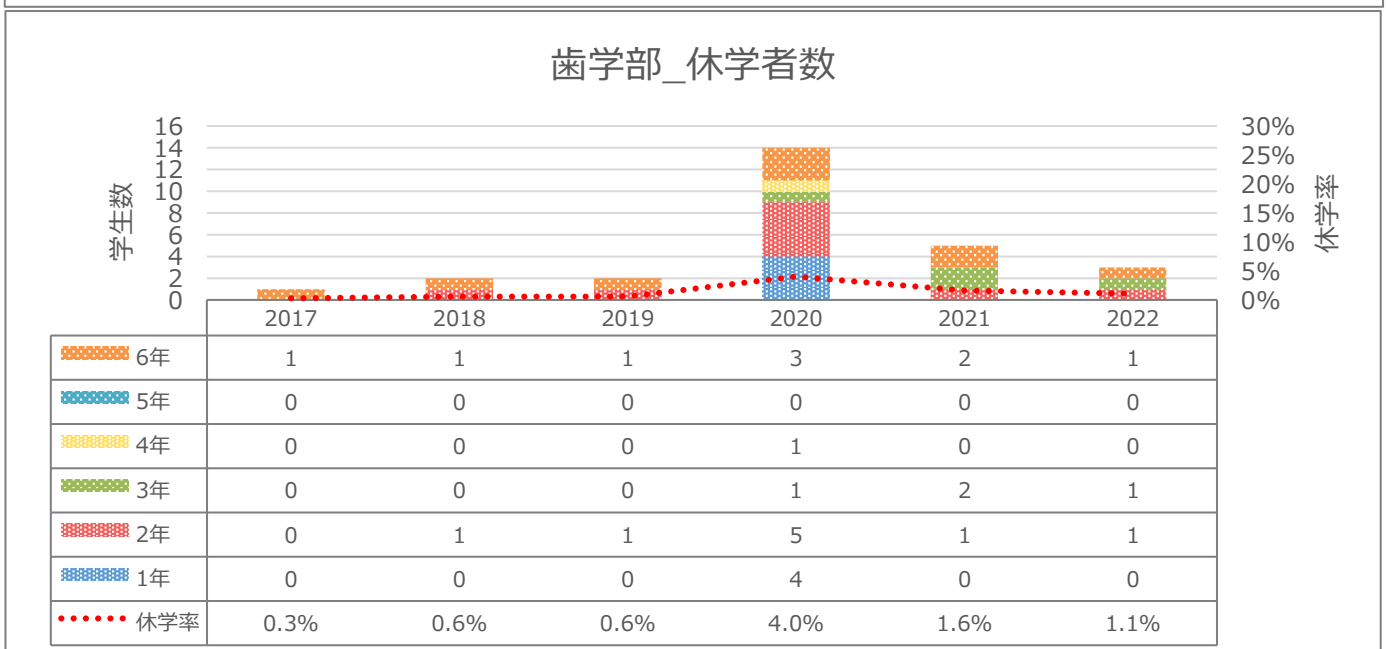
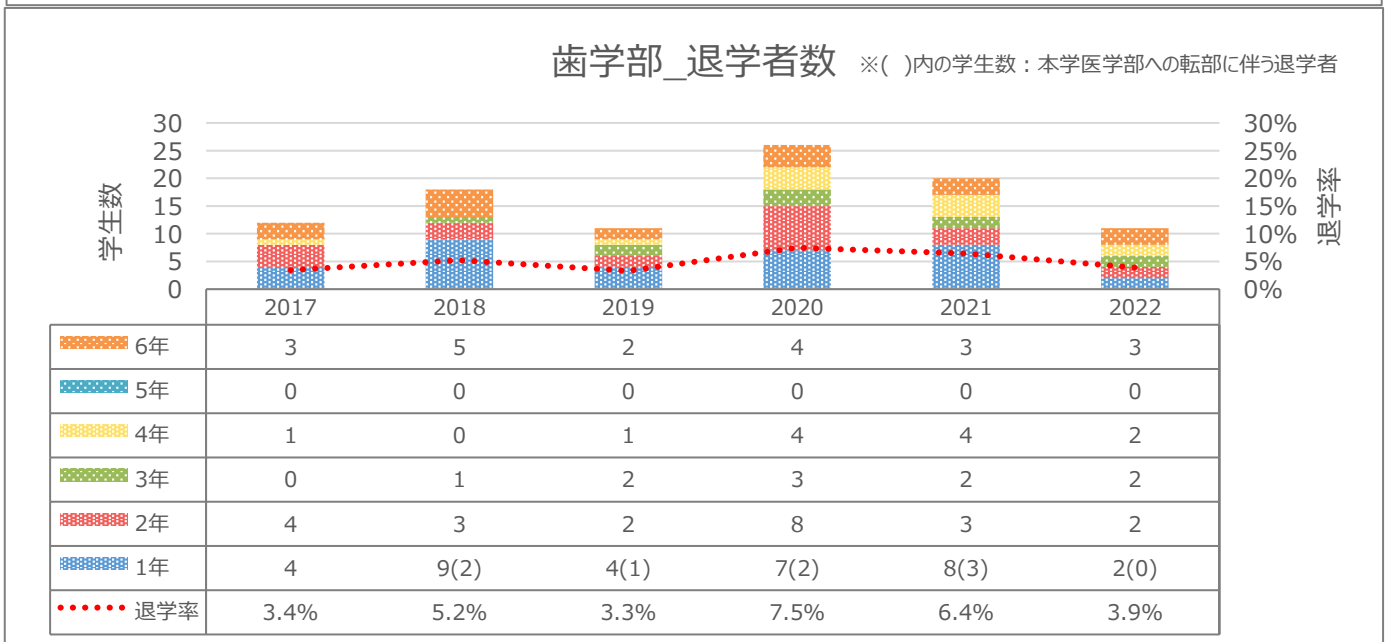
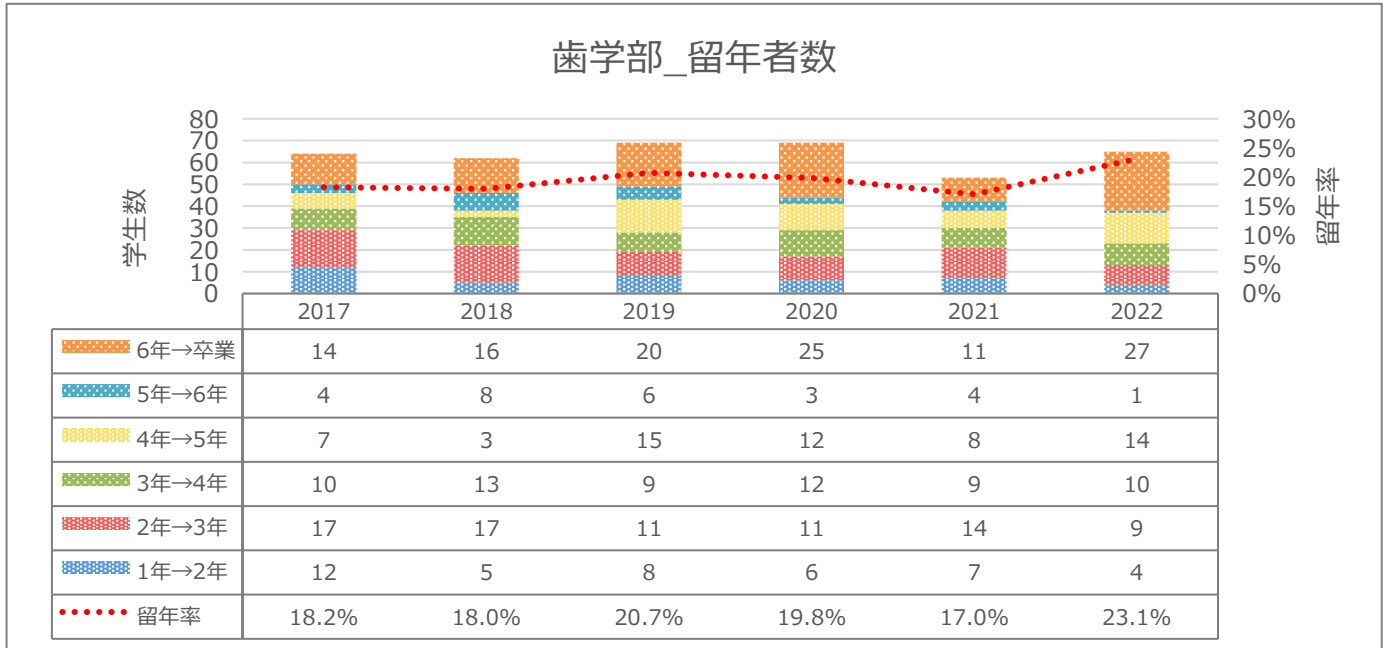
退学者数：対象年度内に退学した学生数(除籍者含む)



留年者数：対象年度に留年した学生数

休学者数：対象年度内に休学した学生数

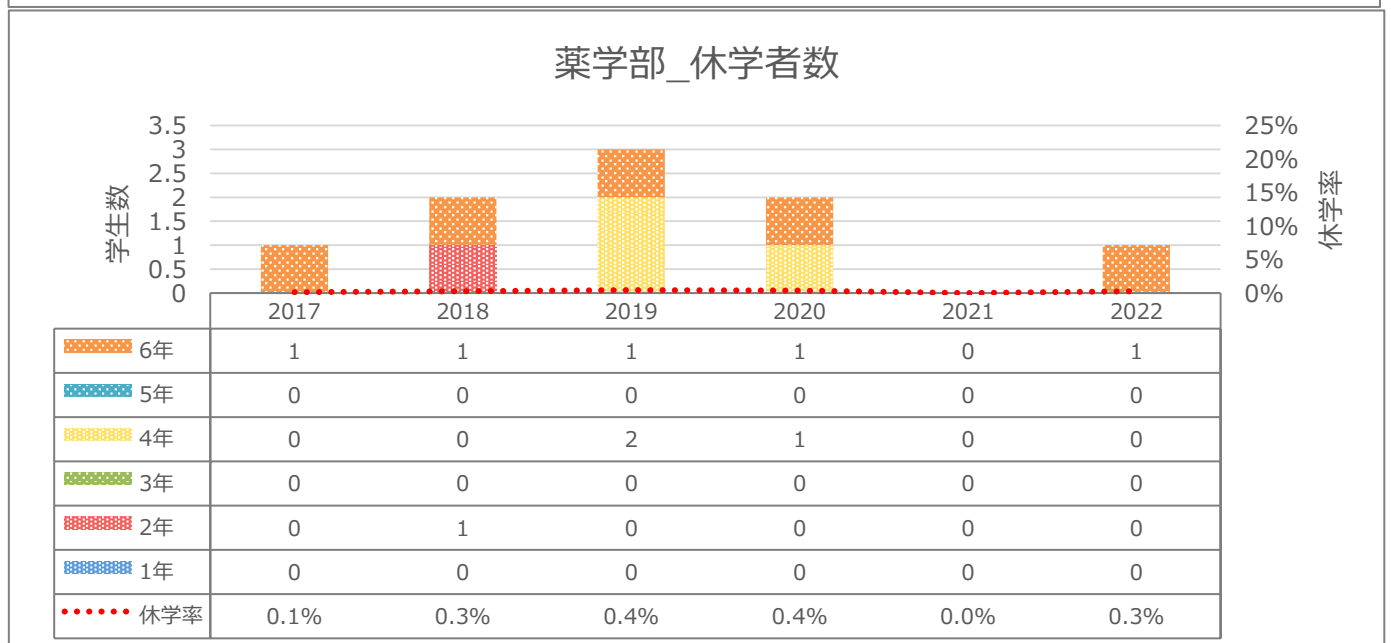
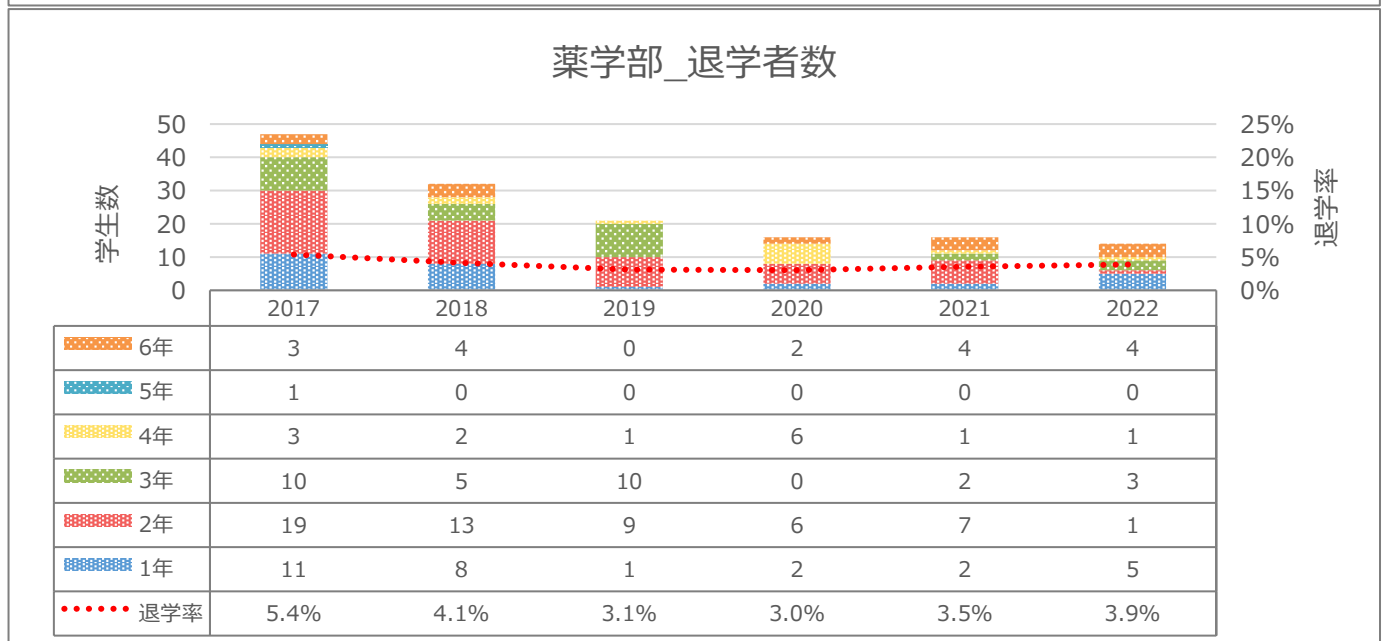
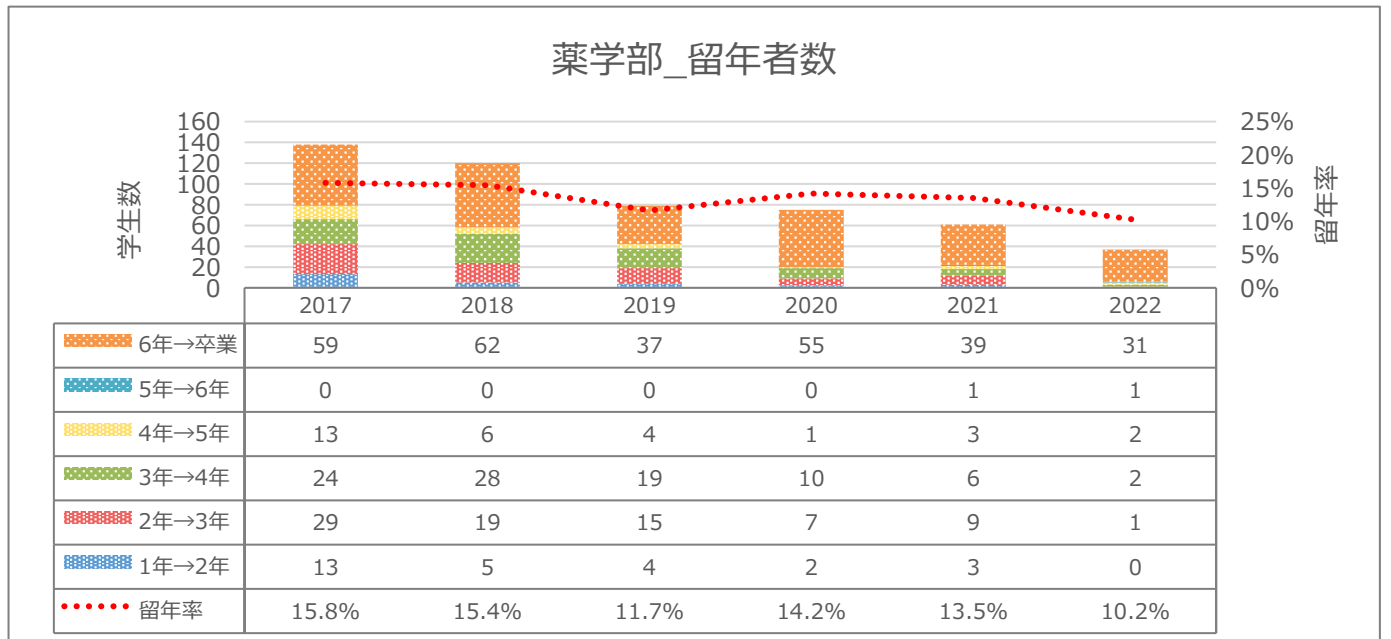
退学者数：対象年度内に退学した学生数(除籍者、本学医学部へ転部した者を含む)



留年者数：対象年度に留年した学生数

休学者数：対象年度内に休学した学生数

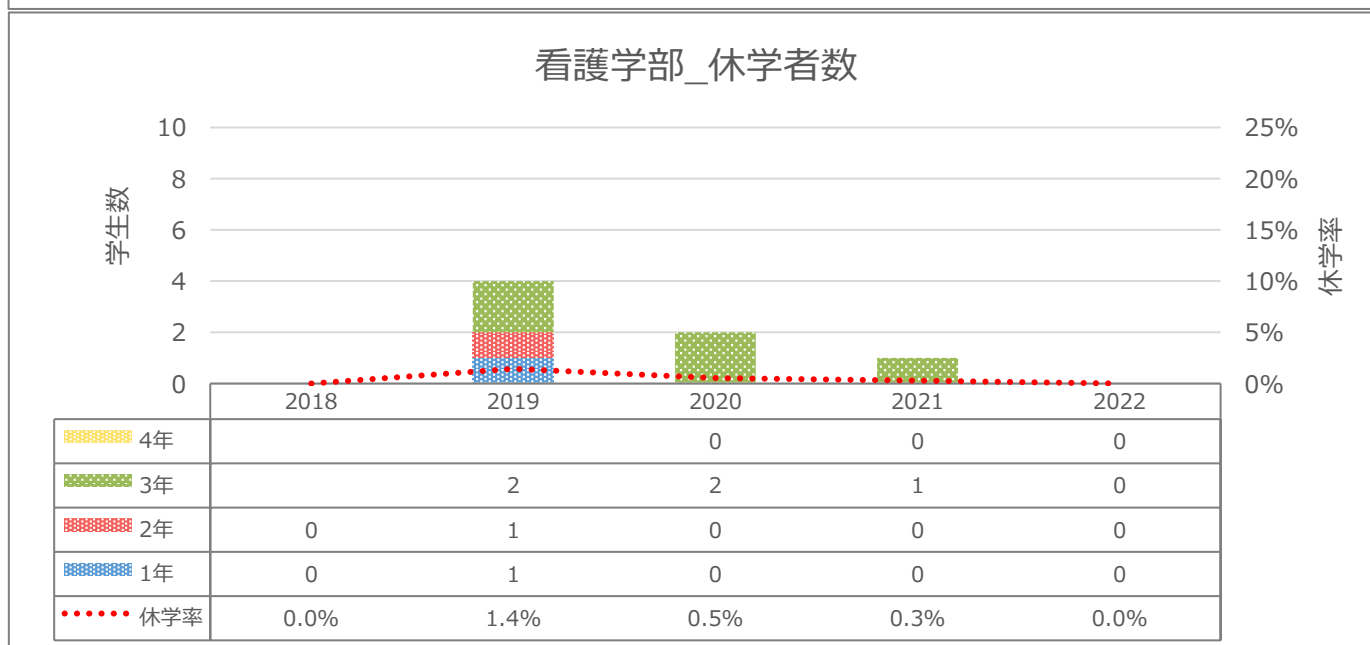
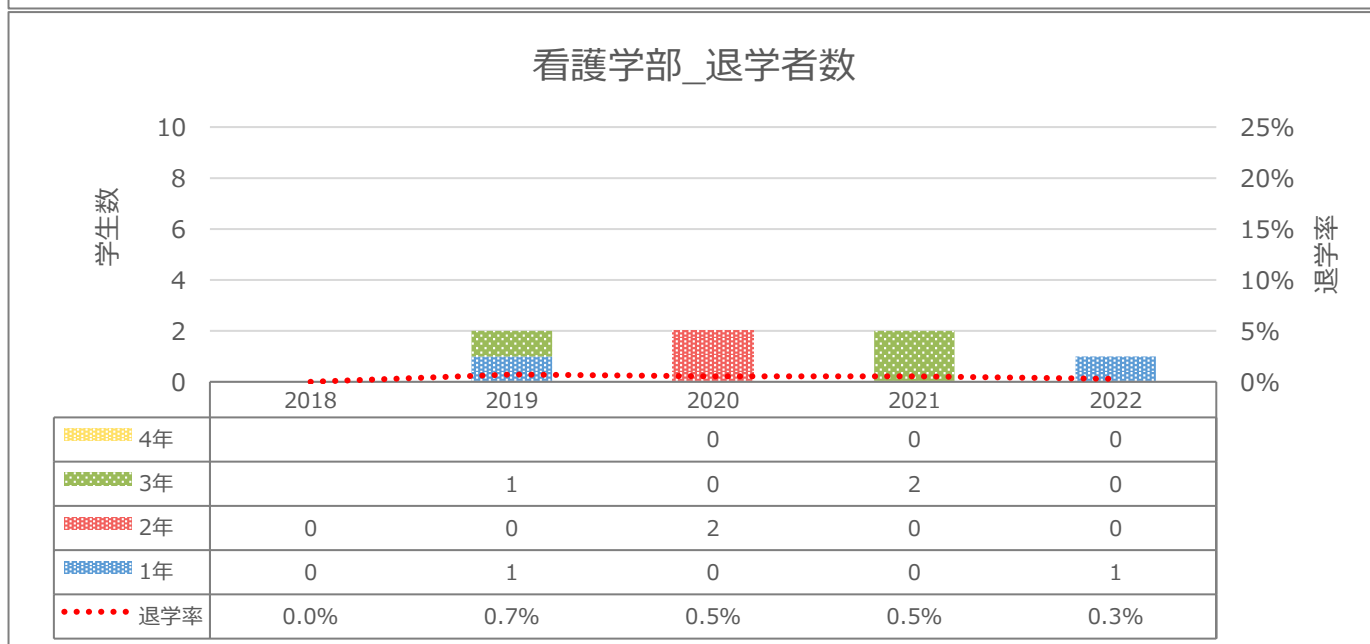
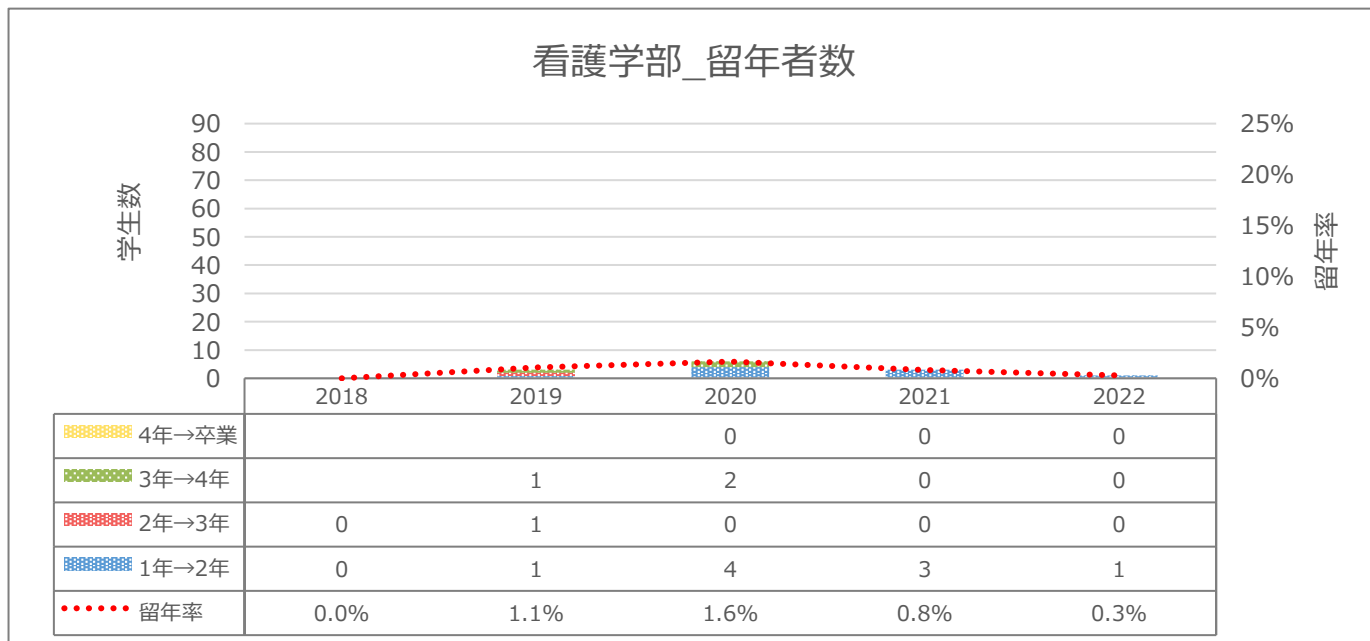
退学者数：対象年度内に退学した学生数(除籍者含む)



留年者数：対象年度に留年した学生数

休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数(除籍者含む)



3-3 標準修業年限超過者割合

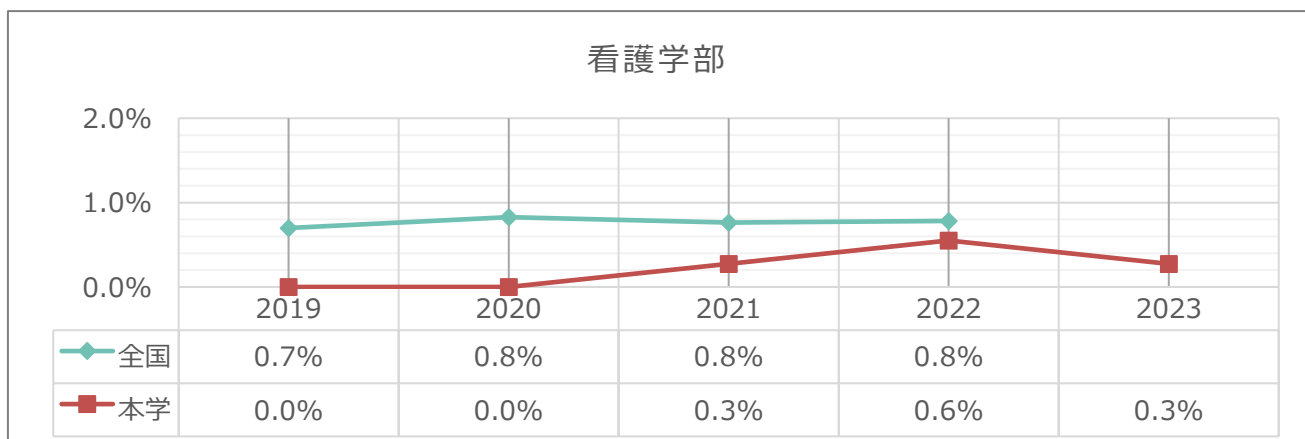
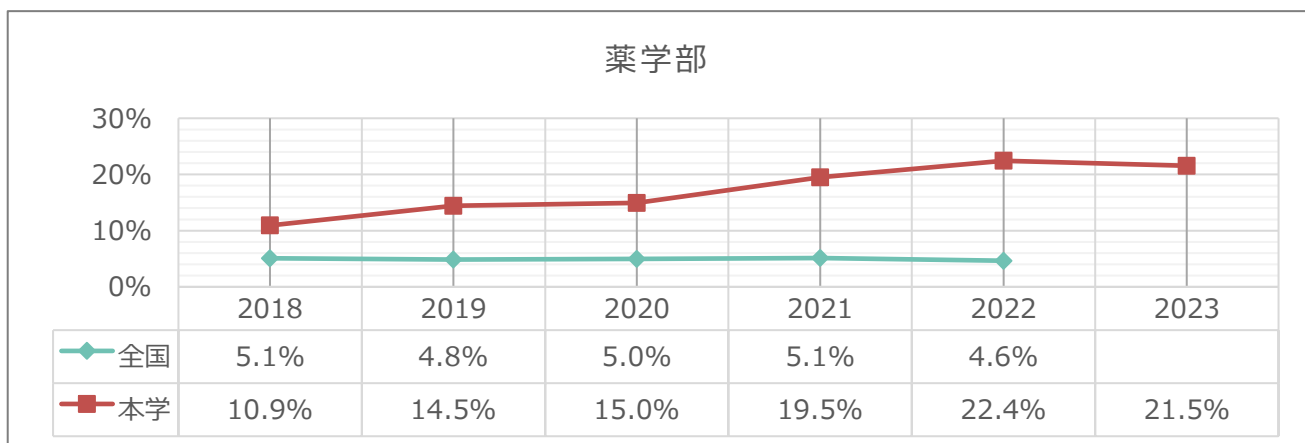
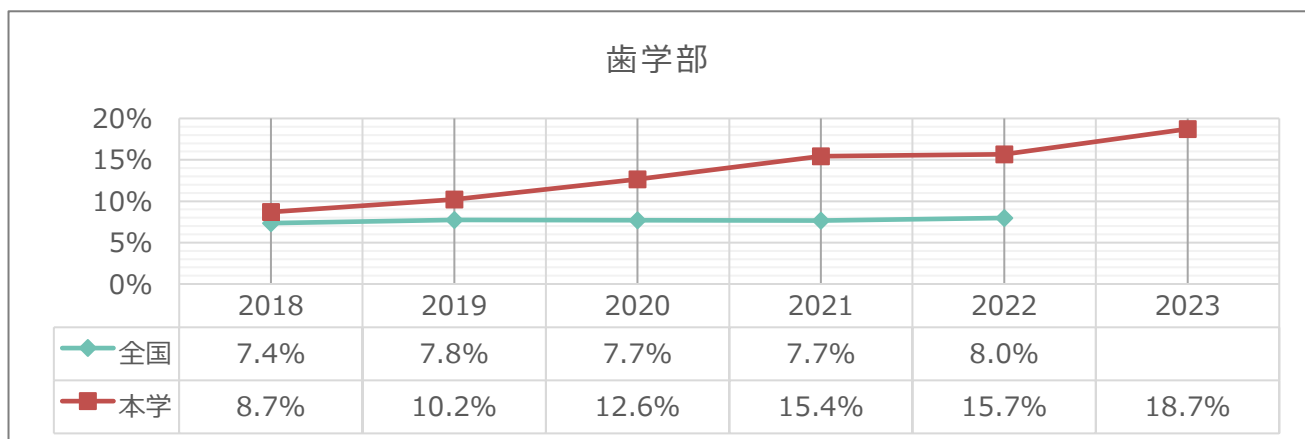
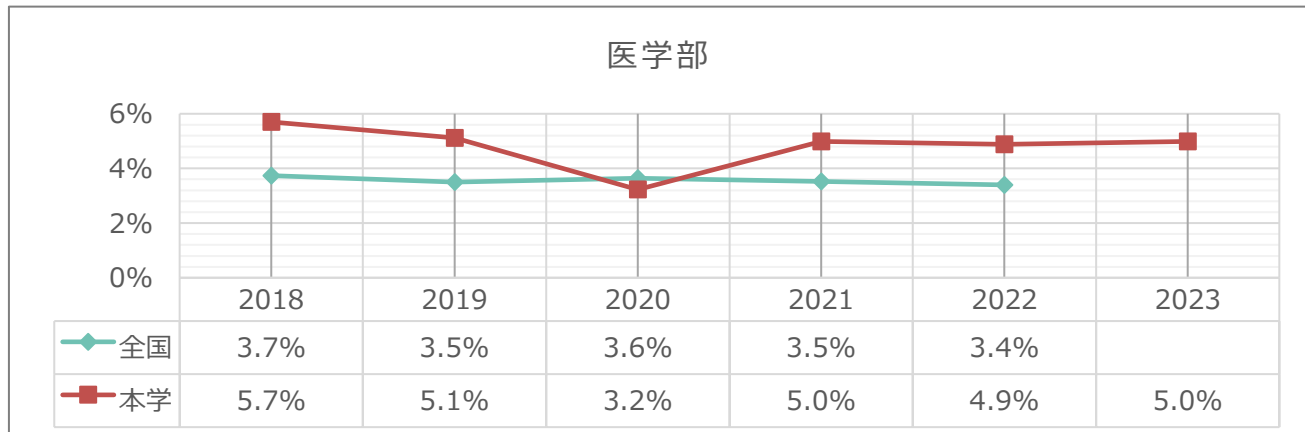
出典：学校基本調査（政府統計 e-Stat）

<https://www.e-stat.go.jp/>

※令和5年度の情報(全国)が公開され次第、更新予定

標準修業年限超過者：

大学が定めている修業年限を超過して在籍している学生。本学の場合、医・歯・薬学部は6年制であるため7年以上の在籍者、看護学部は4年制であるため5年以上の在籍者が対象となる。



3-4 奨学金等受給者・受給率推移

出典データ：学事課提供(令和5年9月現在)

奨学金受給者：日本学生支援機構奨学金受給者

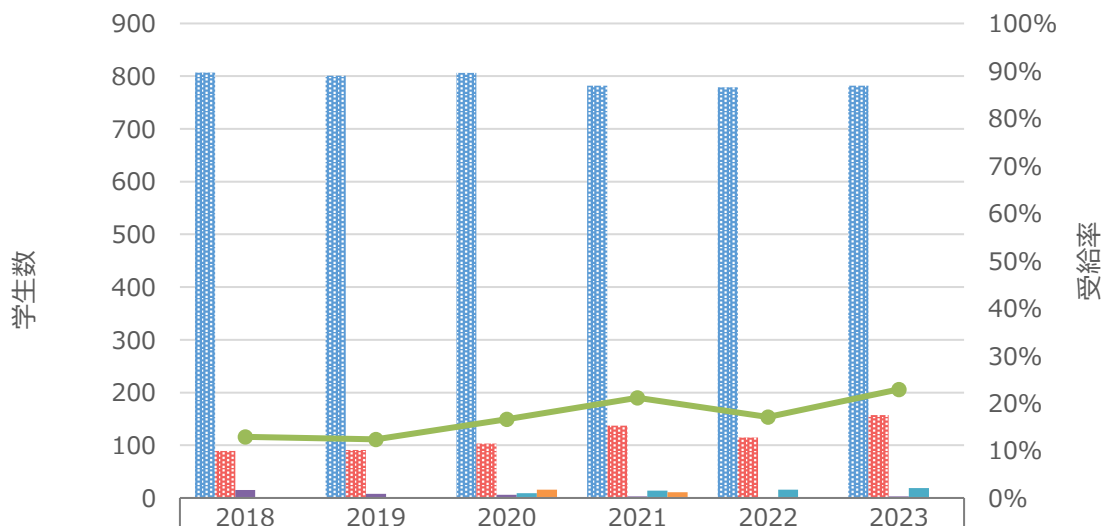
授業料等減免対象者：岩手医科大学の授業料等減免制度対象者(震災減免、子弟減免)

修学支援制度対象者：文部科学省主導の高等教育の修学支援制度対象者（2020年度より運用開始）

新型コロナウイルス感染症関連：新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、学生支援緊急給付金,授業料減免事業の対象者

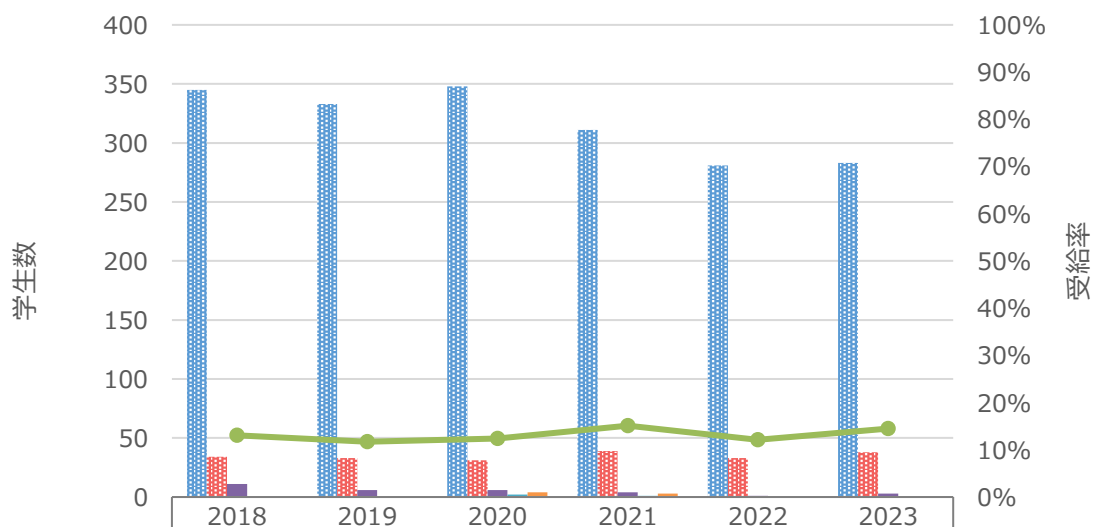
※自治体等からの奨学金を受給している人数は把握していないため、計上していない。

医学部



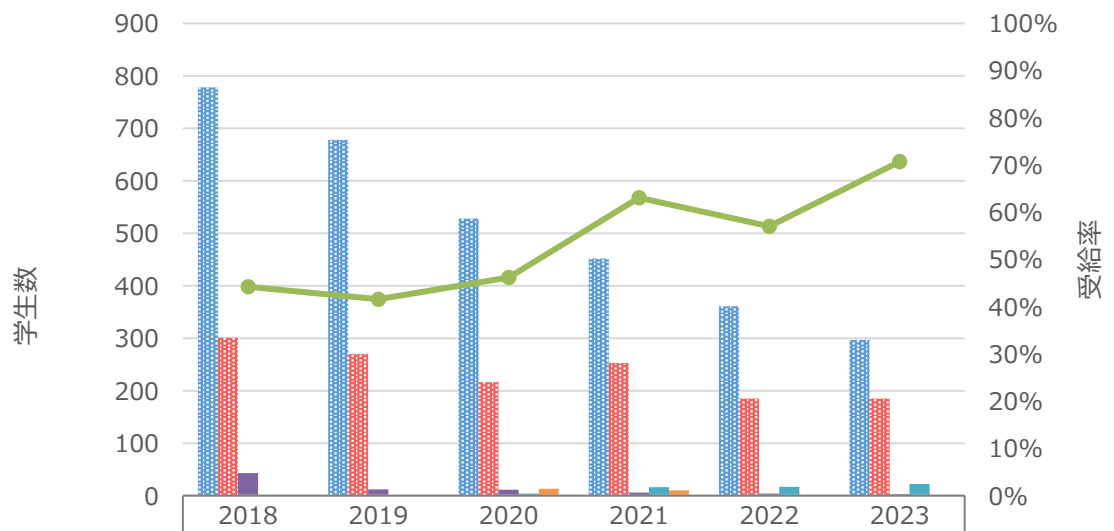
学生数	807	801	806	782	779	782
奨学金受給者数	89	91	103	137	115	157
授業料等減免対象者	15	8	6	3	2	3
修学支援制度対象者			9	14	16	19
新型コロナウイルス感染症関連			16	11		
受給率	12.9%	12.4%	16.6%	21.1%	17.1%	22.9%

歯学部



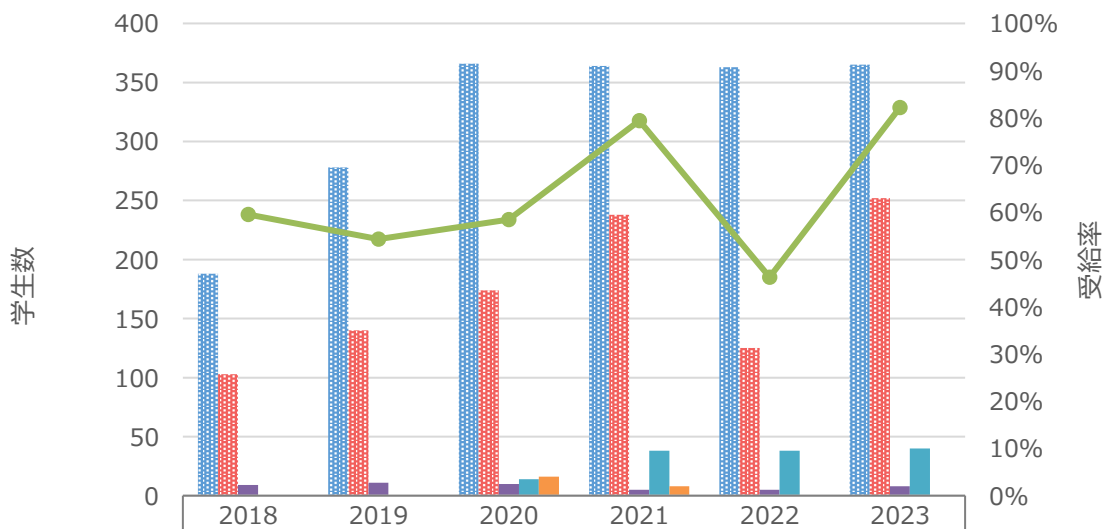
学生数	345	333	348	311	281	283
奨学金受給者数	34	33	31	39	33	38
授業料等減免対象者	11	6	6	4	1	3
修学支援制度対象者			2	1	0	0
新型コロナウイルス感染症関連			4	3		
受給率	13.0%	11.7%	12.4%	15.1%	12.1%	14.5%

薬学部



学生数	778	678	528	452	361	297
奨学金受給者数	301	270	216	253	185	185
授業料等減免対象者	43	12	11	6	4	3
修学支援制度対象者			4	16	17	22
新型コロナウイルス感染症関連			13	10		
受給率	44.2%	41.6%	46.2%	63.1%	57.1%	70.7%

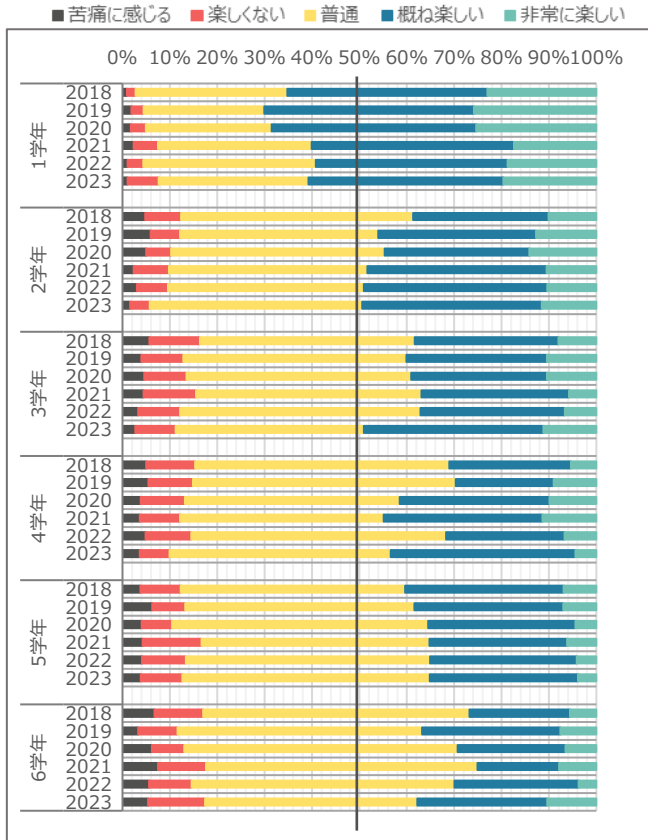
看護学部



学生数	188	278	366	364	363	365
奨学金受給者数	103	140	174	238	125	252
授業料等減免対象者	9	11	10	5	5	8
修学支援制度対象者			14	38	38	40
新型コロナウイルス感染症関連			16	8		
受給率	59.6%	54.3%	58.5%	79.4%	46.3%	82.2%

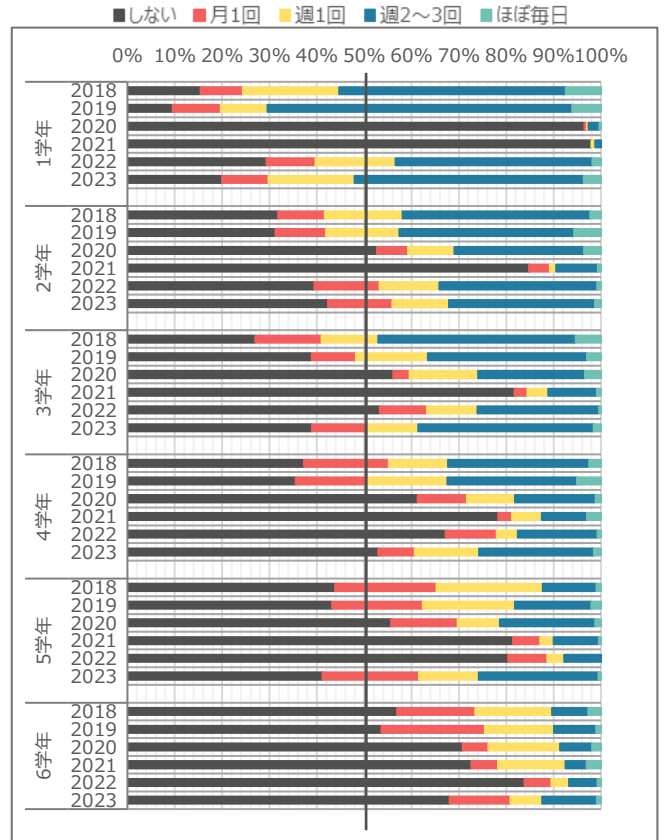
01_学生生活

学生生活は楽しいですか



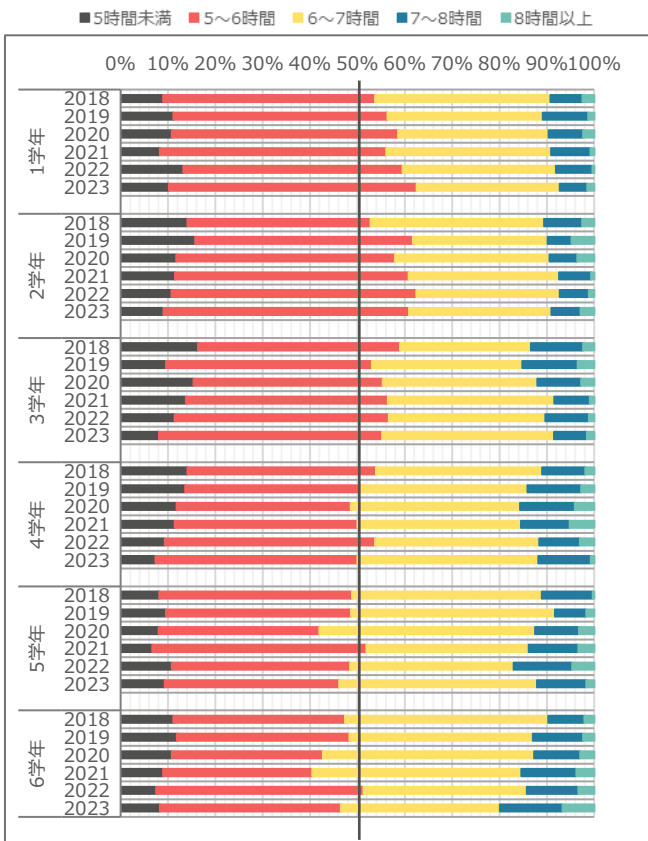
1学年時は『非常に楽しい』『概ね楽しい』の肯定的な回答が半数以上の結果となりましたが、学年が上がるにつれて肯定的な回答が減少傾向にあります。『苦痛を感じる』『楽しくない』の否定的な回答は2学年以降大きな変化はありません。

クラブ活動に参加していますか



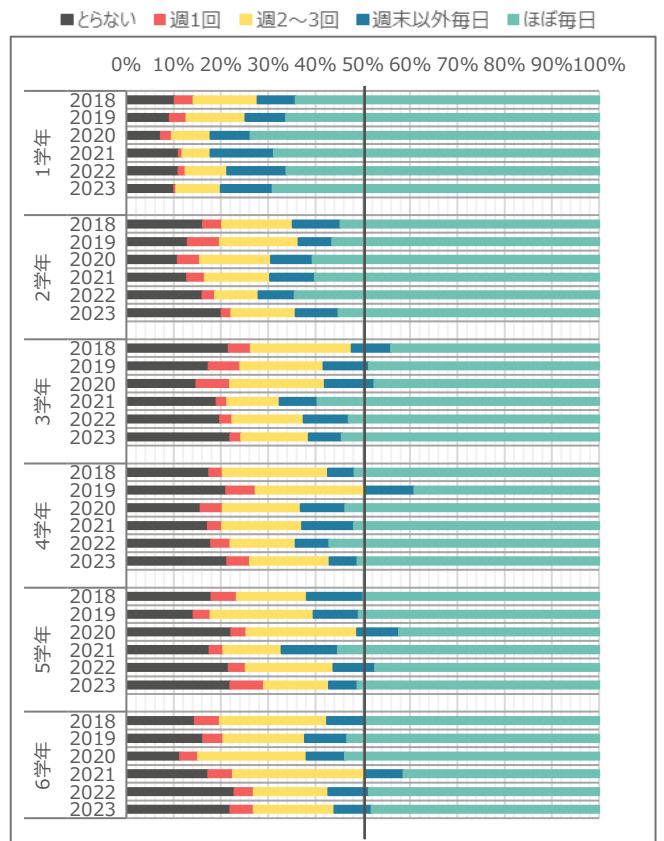
クラブ活動への参加率は学年が上がるごとに減少傾向にあります。2020年と2021年は新型コロナウイルス感染症の影響によりクラブ活動が制限されていたため、「しない」の回答が多くなっていましたが、2022年以降は月1回以上参加している回答が多くなっています。

睡眠時間は1日何時間くらいですか



睡眠時間が6時間未満の回答が約半数を占めています。学年・年度によって回答結果に大きな変化は見られません。

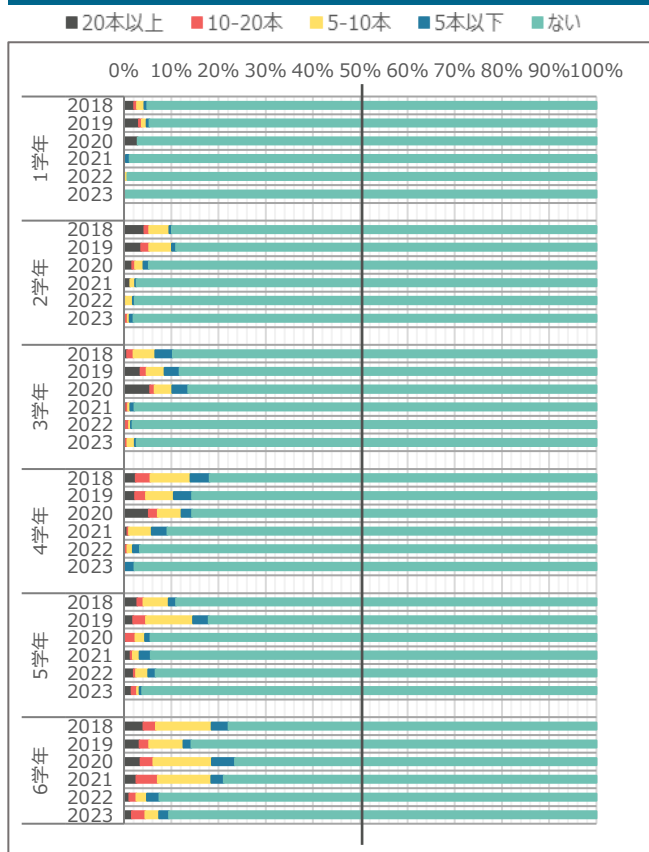
朝食は摂りますか



『ほぼ毎日』朝食を摂るとい回答が約半数を占めていますが、朝食を『とらない』の回答も一定数います。1学年は学生寮で生活する学生が多いため、上位学年と比べて朝食を摂るとい回答が多くなっていると考えられます。

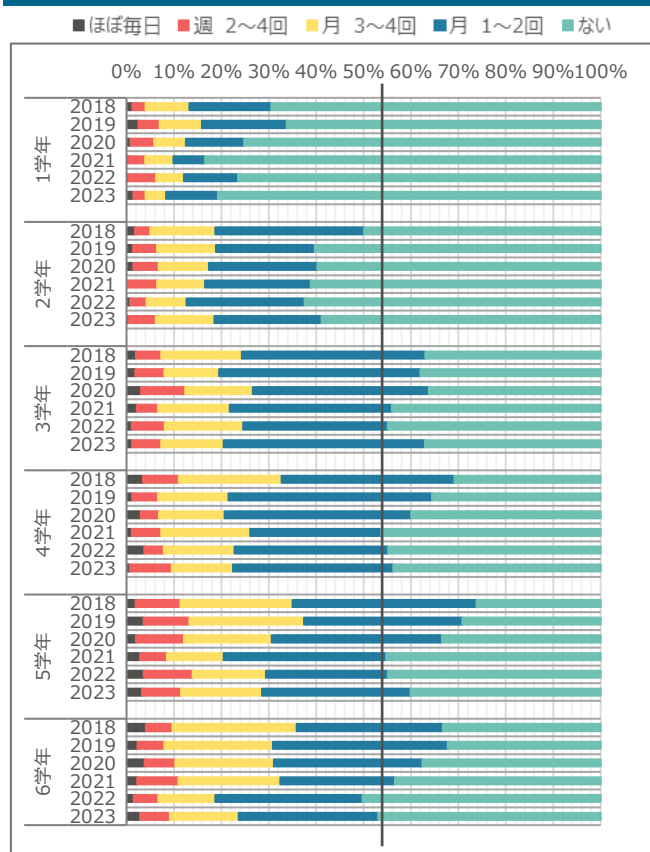
01_学生生活

喫煙習慣はありますか(1日あたりのタバコの本数)



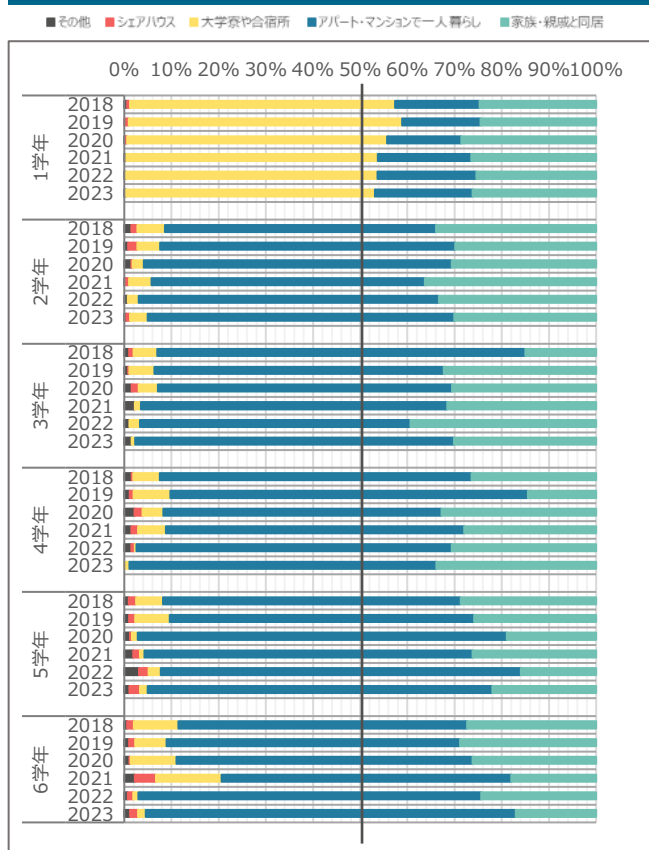
喫煙習慣が『ない』の回答がほとんどの学年で約8割以上を占める結果となりました。学年が上がるにつれて喫煙者数は増加しますが、年々喫煙者数が減少しており、2023年度は2018年度と比べて、喫煙者は半数以下になっています。

飲酒習慣はありますか



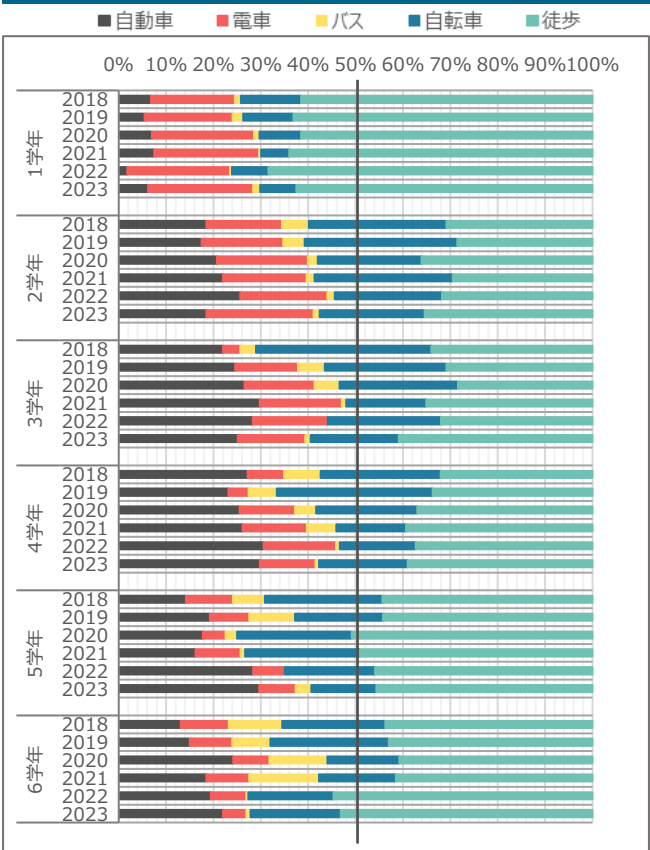
飲酒習慣が『ない』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にあります。特にストレート進級者が20歳を超える第三学年からは、飲酒習慣が『月1~2回』以上の回答が半数割以上を占めていますが、飲酒習慣が『ない』の回答は年々増加傾向にあります。

あなたの現在の居住形態を教えてください



1学年では学生寮が主となりますが、学年が上がると『アパート・マンションで一人暮らし』の学生が半数以上となります。

通学はどのようにしていますか

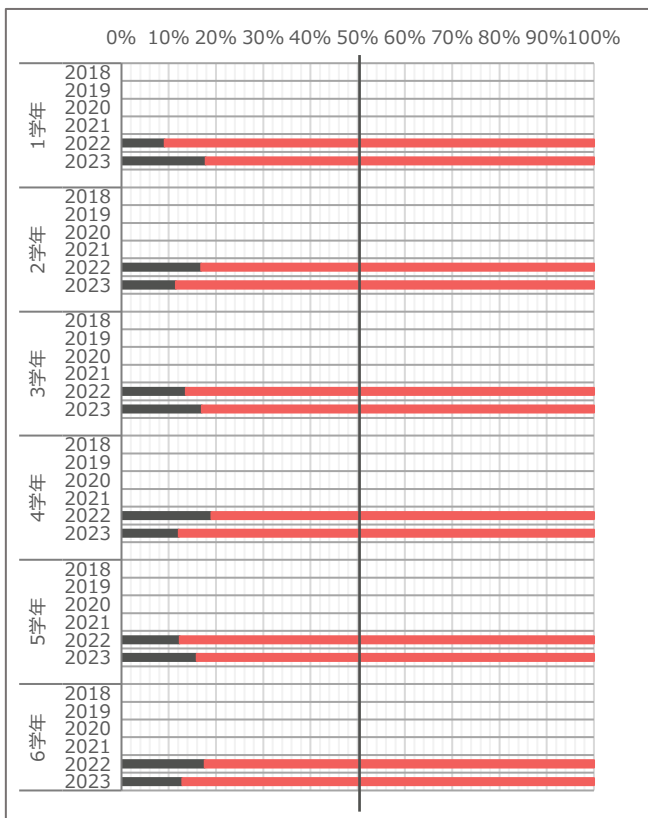


学生寮に半数以上が入寮していた1学年では徒歩での通学が6割を超え、一人暮らしの回答が半数以上あった2学年以降は自動車、自転車での通学が各2割、徒歩での通学が3割となります。また、5,6学年になると約半数の学生が徒歩通学となります。

01_学生生活

精神的な悩みや人間関係のトラブルはありますか

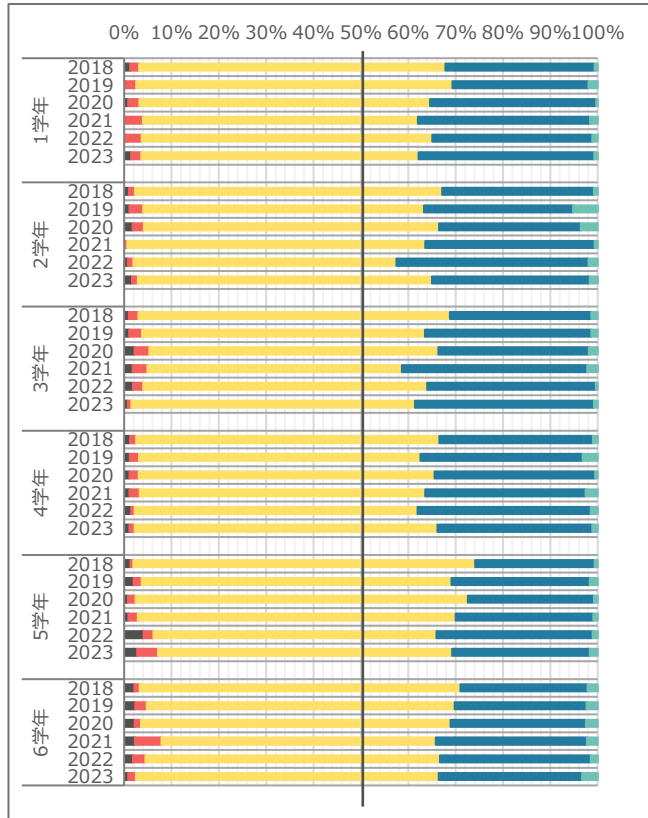
■ある ■ない



2022年度新設の項目です。「ある」の回答が1~2割、「ない」の回答が8割以上を占めます。前年度の回答との大きな差は見られません。

精神的な悩みや人間関係のトラブルは誰に相談しますか

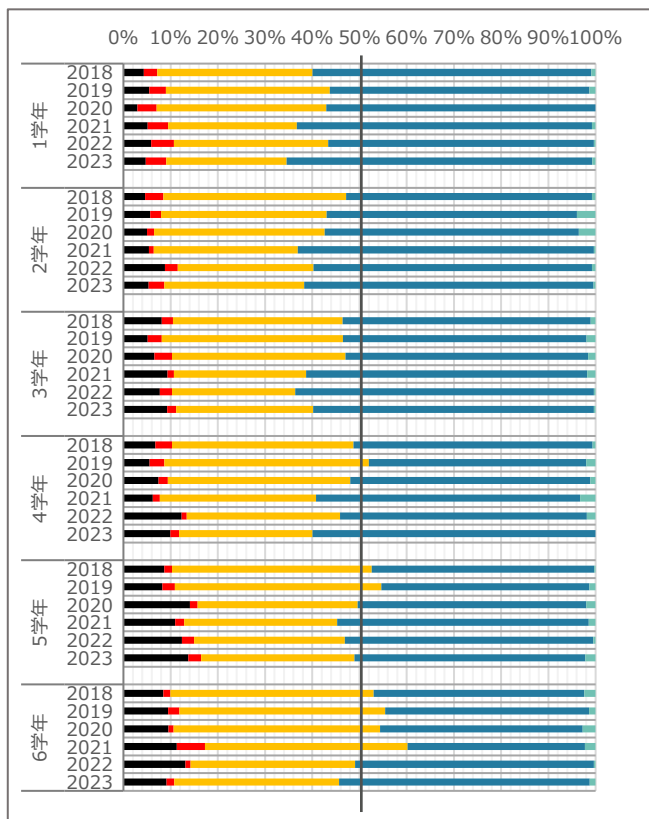
■開業医 ■健康管理センター ■先輩・友人 ■親 ■教員



相談する人が『先輩・友人』の回答が6割、次点で『親』の回答が2割以上を占めます。

身体的な心配事は誰に相談しますか

■開業医 ■健康管理センター ■先輩・友人 ■親 ■教員

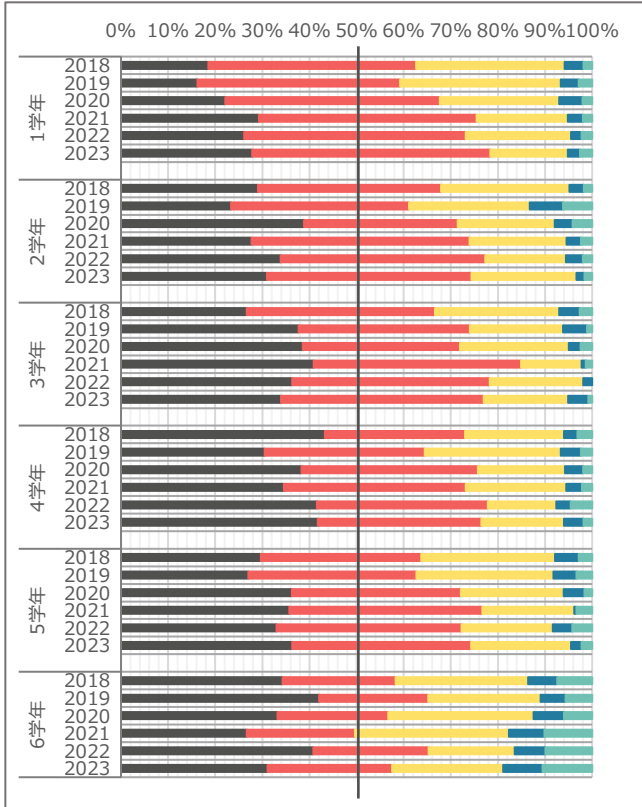


相談する人が『親』の回答が約半数、『先輩・友人』の回答が約4割となりました。3学年以降は『開業医』に相談する回答が1・2学年より増加する傾向があります。

02_勉学時間

1週間あたりどのくらい授業・実習の予習をしますか

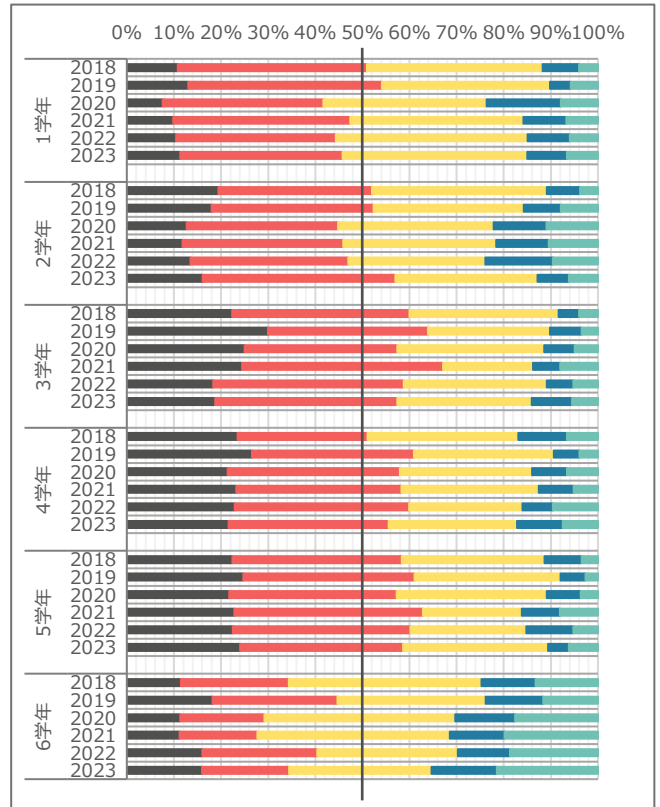
■1時間未満 ■1～3時間 ■3～8時間 ■8～12時間 ■12時間以上



1週間の授業・実習の予習時間は8時間以下の回答が8割以上を占める結果となりました。『12時間以上』の回答は6学年で増加する傾向にあります。一方で、1時間未満の学生も2割～4割程度存在します。

1週間あたりどのくらい授業・実習の復習をしますか

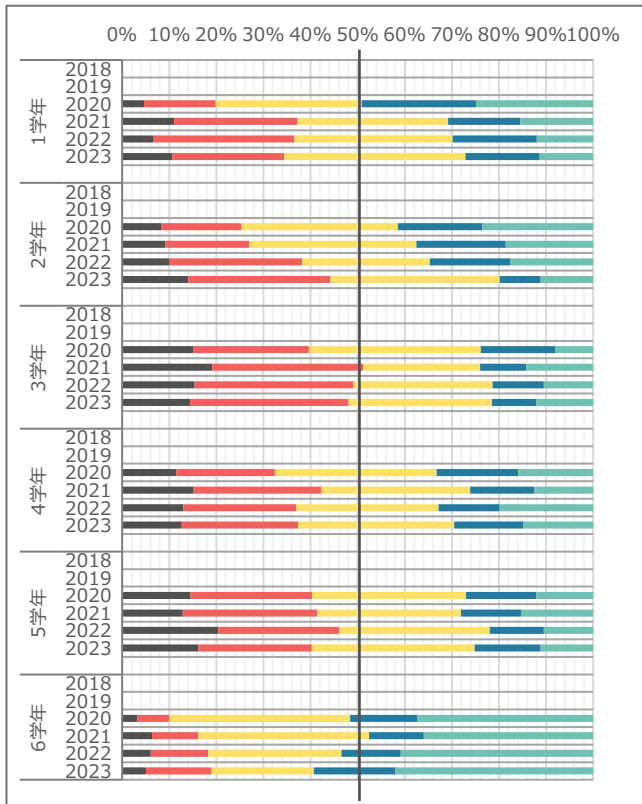
■1時間未満 ■1～3時間 ■3～8時間 ■8～12時間 ■12時間以上



1週間の授業・実習の復習時間は、6学年以外が8時間以下の回答が8割以上を占める結果となりました。6学年では8時間以上の回答が3割以上を占める結果となり、6学年で振り返りの時間が増加する傾向にあります。また復習時間は年々増加傾向が見られます。

予習・復習を含め、1週間あたりどのくらい自主勉強をしますか

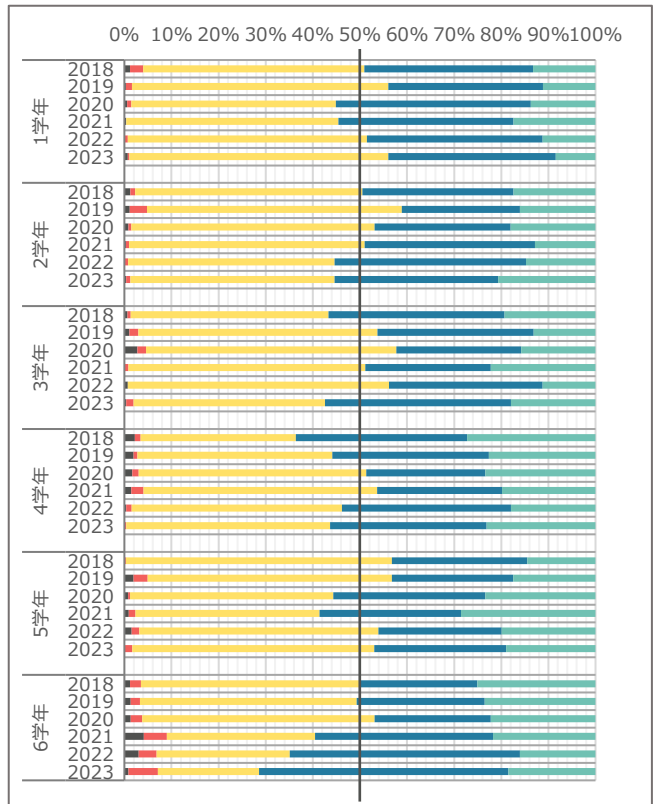
■1時間未満 ■1～3時間 ■3～8時間 ■8～12時間 ■12時間以上



1週間の自主勉強時間は、6学年以外が8時間以下の回答が7割を占める結果となりました。6学年では8時間以上の回答が5割以上を占める結果となり、6学年で自主勉強時間が増加する傾向にあります。

90分の授業は長く感じますか(集中できる長さですか)

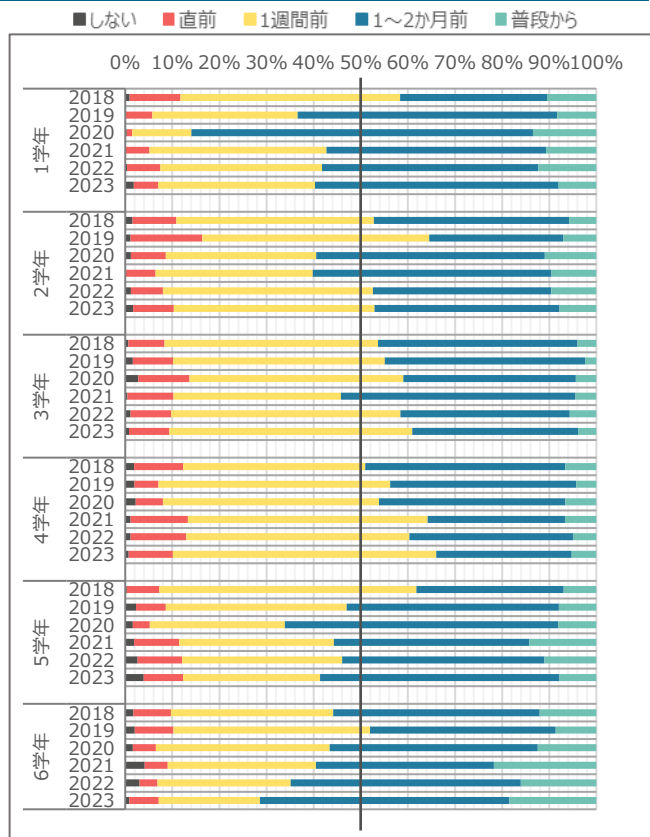
■短い ■やや短い ■普通 ■やや長い ■長い



6学年以外は『普通』と『やや長い』『長い』の回答が約半数ずつの結果となりました。6学年は他学年と比べて『やや長い』『長い』の回答が多いですが、『短い』『やや短い』の回答も他学年と比べて多くなっています。

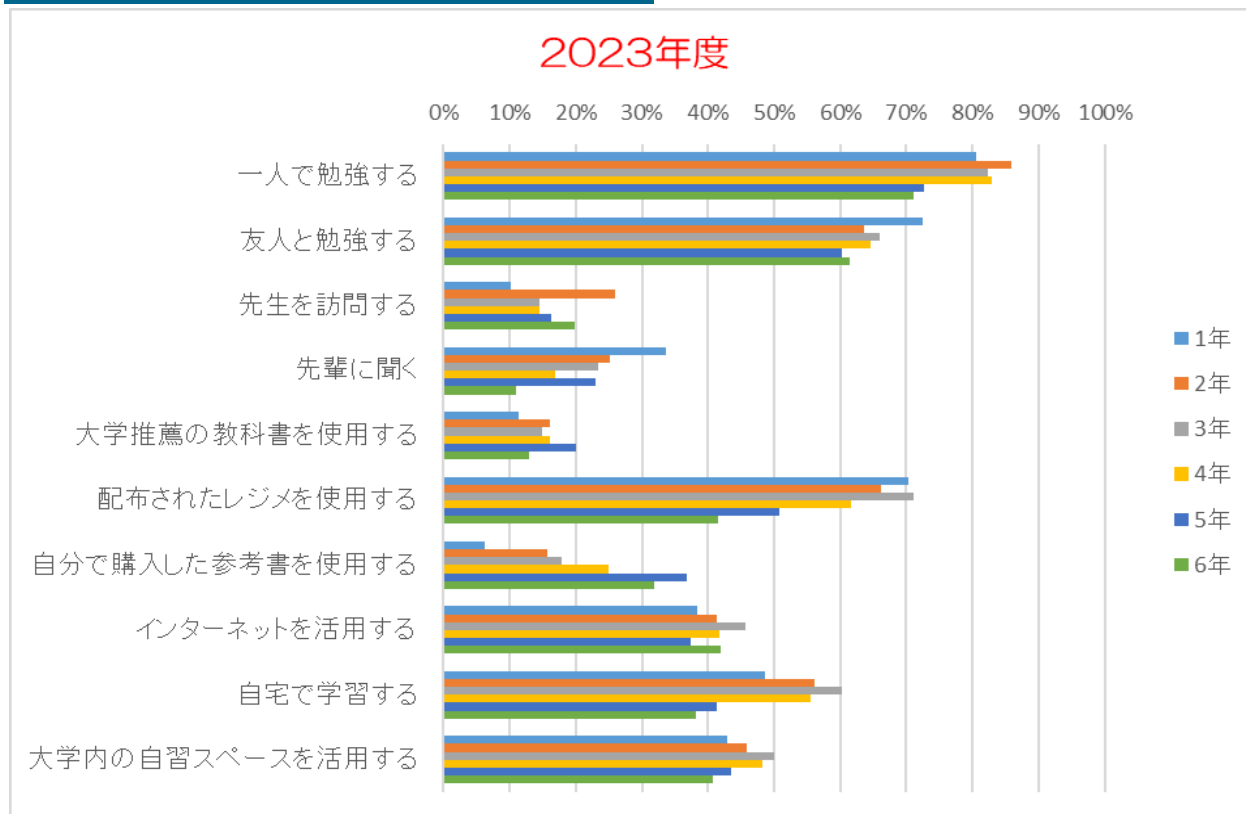
02_ 勉学時間

定期試験のための準備はいつ頃からしますか。



『1週間前』より以前から準備を行う回答が9割近くを占めます。また、例年『直前』に準備する割合が一定数います。5・6学年の『1~2か月前』と『普段から』の回答が増加傾向にあり、余裕を持って準備を行う学生が増えていると考えられます。

主な勉強方法を教えてください

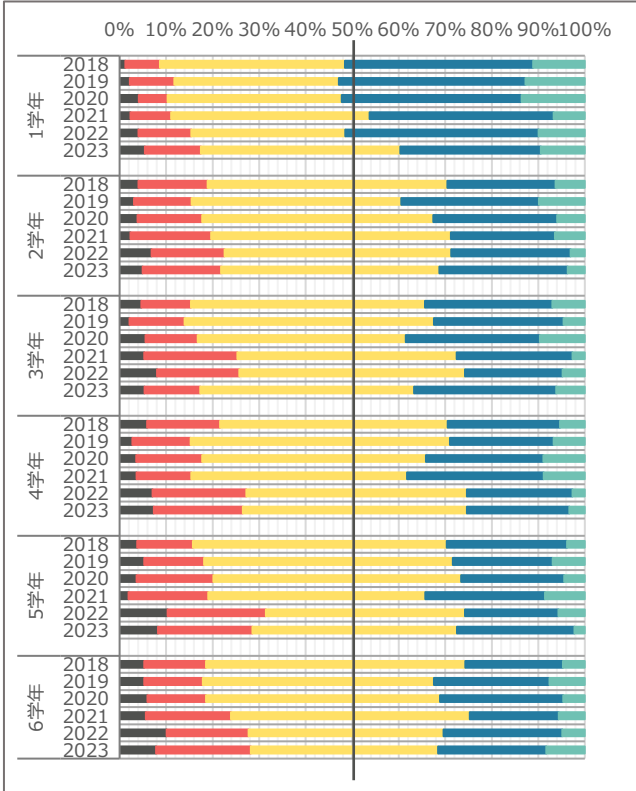


複数選択式の設問です。『一人で勉強する』『友人と勉強する』『配布されたレジメを使用する』の回答が多い結果となりました。『先生を訪問する』『大学推薦の教科書を使用する』『自分で購入した参考書を使用する』の回答が、上位学年になるほど増加しており、学年に上がるにつれて勉強方法が変化する傾向が見られます。

03_教育課程・学生支援

大学の目指す医療人像を示した学則と学位授与方針を知っていますか

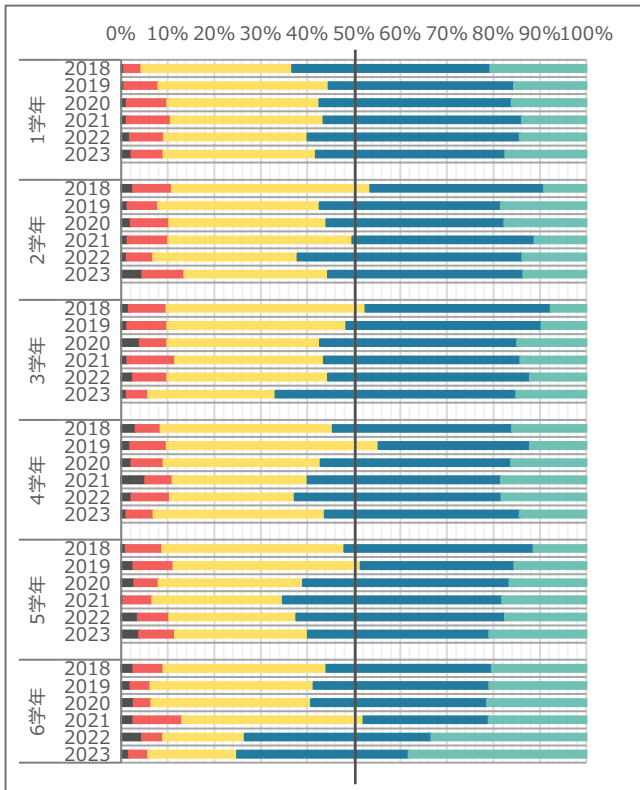
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



1学年の『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が約半数を占めています。学年が上がると『存在は知っている』『なんとなく知っている』の回答が増加する傾向にあります。

卒業までにクリアしなければならない進級試験や共用試験について知っていますか

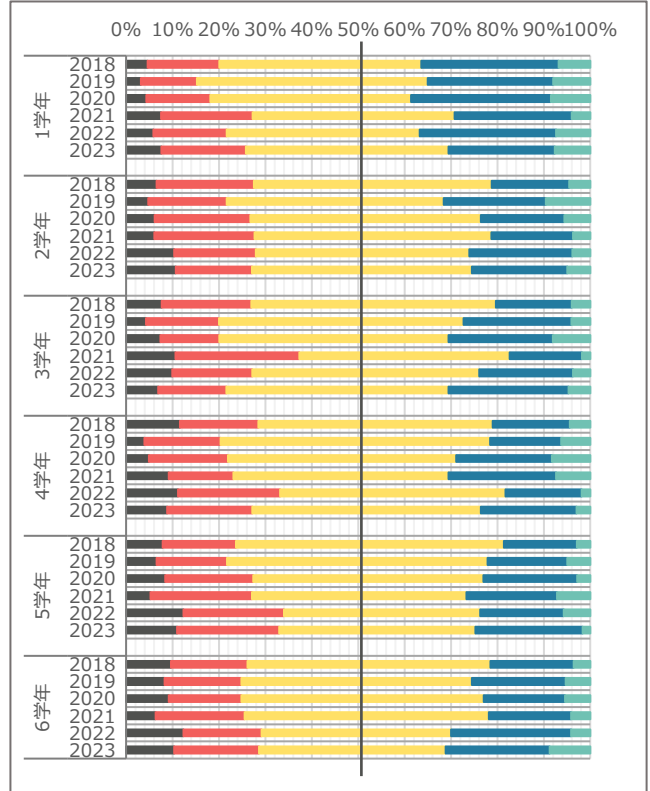
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が約半数を占めています。学年が上がると、『よく知っている』の回答が増加する傾向にあります。2022年と2023年の6学年の『だいたい知っている』『よく知っている』の回答は約7割となりました。

学位授与方針にあわせた教育課程の概要を知っていますか

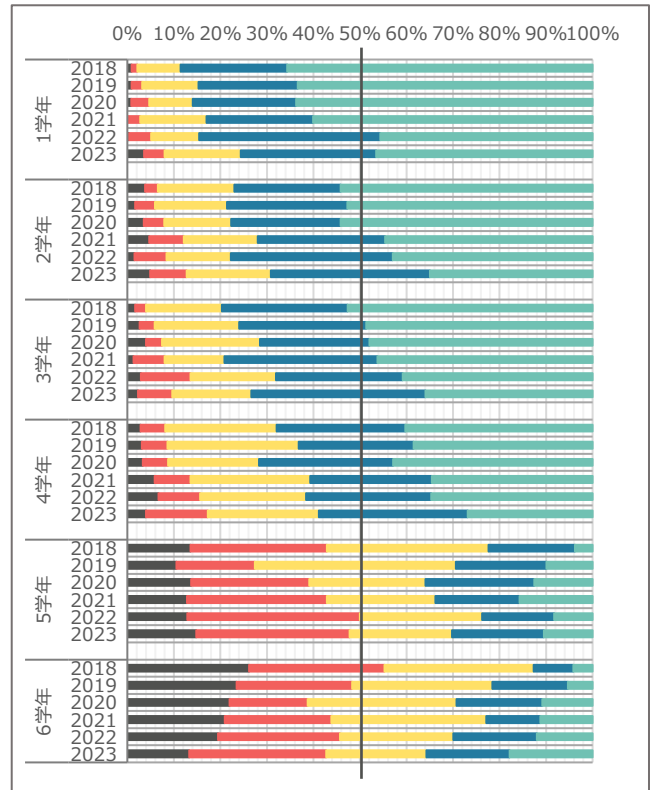
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



1学年の『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が3割以上を占めています。学年が上がると『存在は知っている』『なんとなく知っている』の回答が増加する傾向にあり、近年は認知度が頭打ちになっています。

シラバスの利用頻度を教えてください(電子シラバス含む)

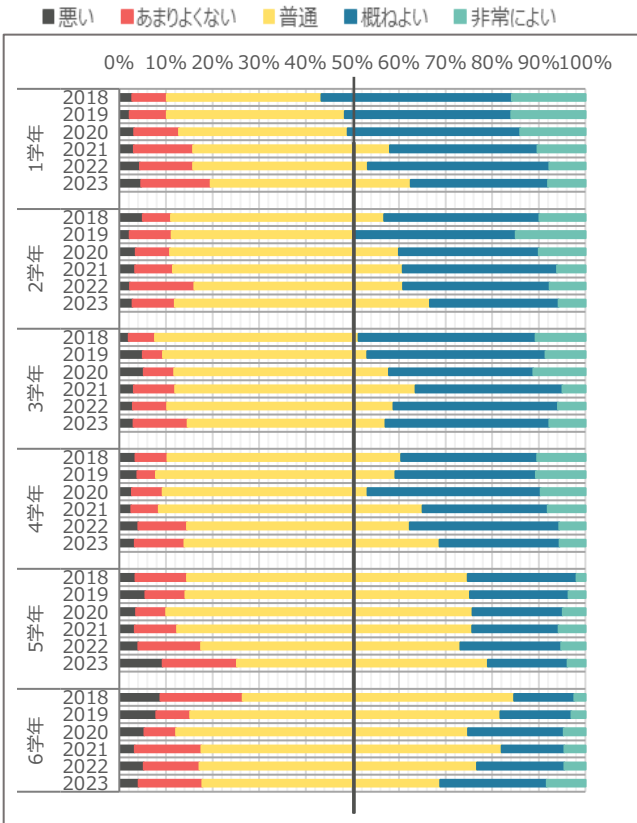
■見ない ■月1回 ■週1回 ■週2~3回 ■毎日



学年が上がると『毎日』の回答が減少傾向にあります。特に5~6学年は『見ない』『月1回』の回答がほとんどの年度で4割を超えます。これは臨床実習や総合講義が行われている学年であることに起因すると思われます。

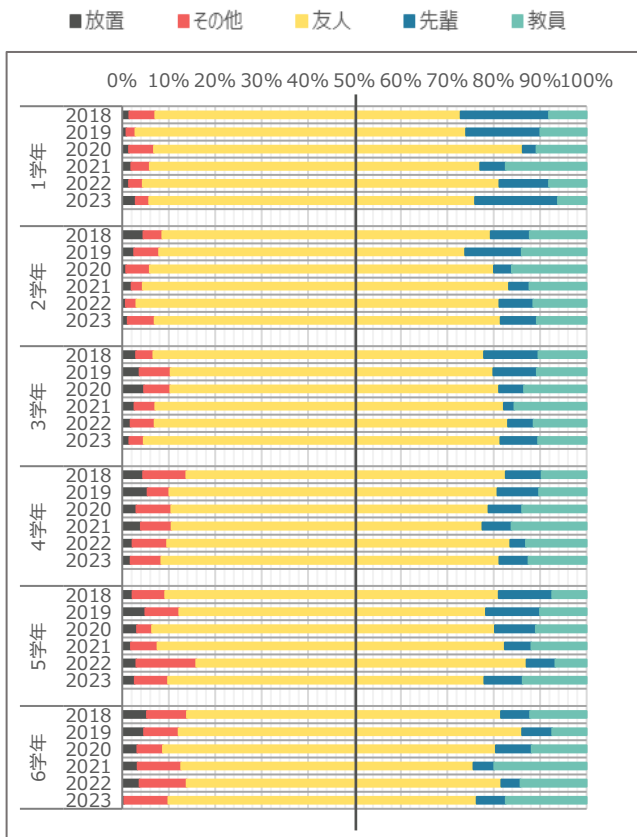
03_教育課程・学生支援

シラバスの使い勝手を評価してください(電子シラバス含む)



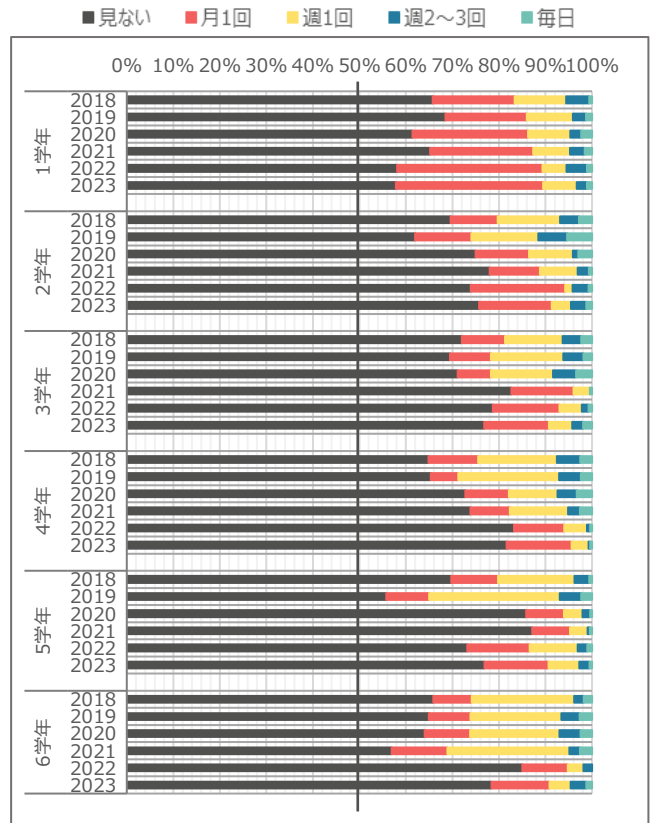
学年が上がるにつれて肯定的な回答が減少傾向にあります。シラバスの利用頻度が低い5,6学年が他学年より否定的な回答をする傾向があります。

勉学上の疑問点は誰に相談しますか



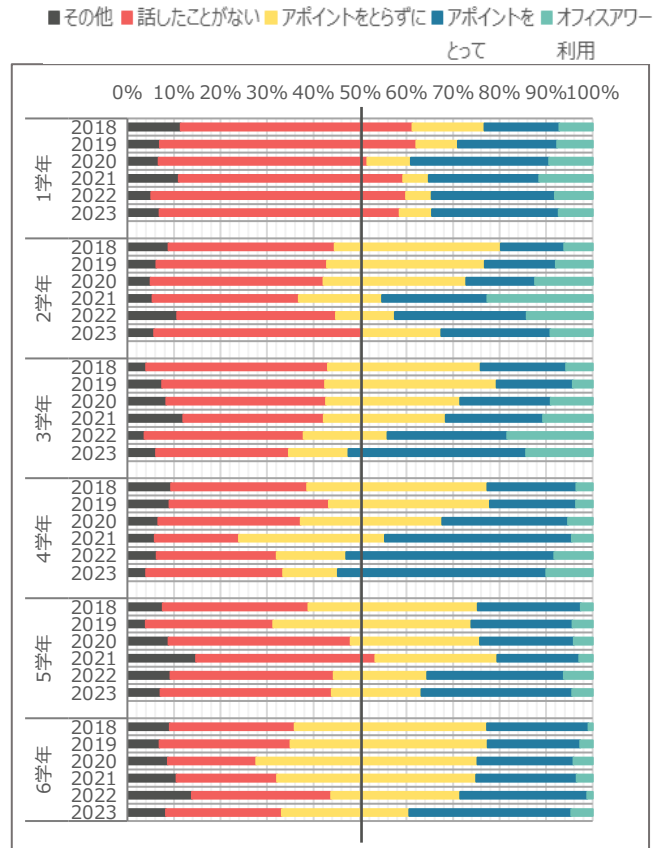
『友人』の回答が半数以上を占めています。2020年度と2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、1～3学年における『先輩』の回答率が低下していましたが、2022年度以降、『先輩』の回答が増えています。

学生生活の中で、事務手続きの方法や学生サポート情報についてどのくらいキャンパスライフガイドを活用していますか



6割以上が『見ない』の回答となり、シラバスと比較して利用頻度が低いことが分かります。学年が上がるにつれて『見ない』回答が増える傾向があります。

授業時間以外の教員との面談をどのように行っていますか

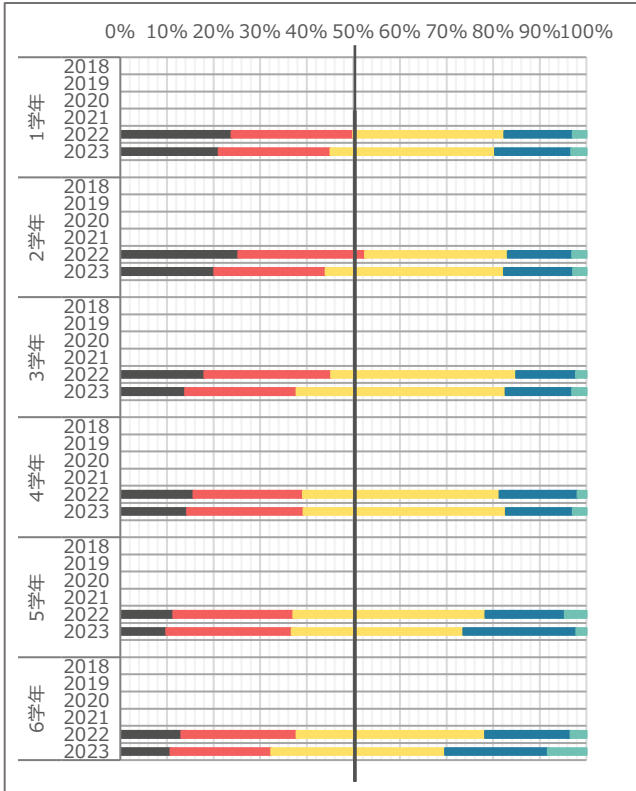


『話したことがない』の回答は学年が上がるごとに減少傾向にあり、教員との面談機会が増えていることが分かります。また、学年全体において教員と面談する学生が年々増えている傾向が見られます。

03_教育課程・学生支援

自学部に対応するモデル・コア・カリキュラムを知っていますか

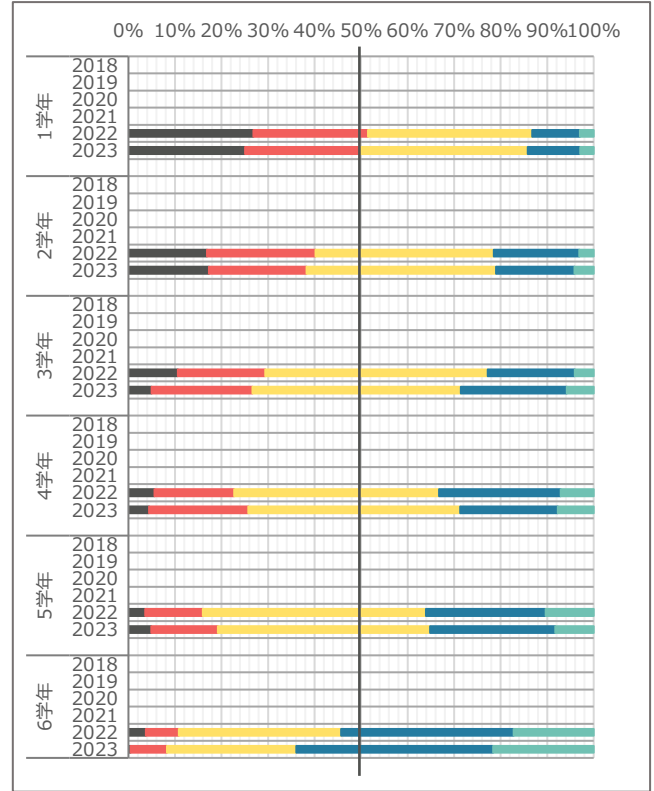
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
 知っている 知っている



2022年新設の項目です。学年が上がるにつれて『何も知らない』『存在は知っている』の回答が減少し、『なんとなく知っている』『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が増加しています。前年度の回答と比べて大きな変化は見られません。

国家試験出題基準を知っていますか

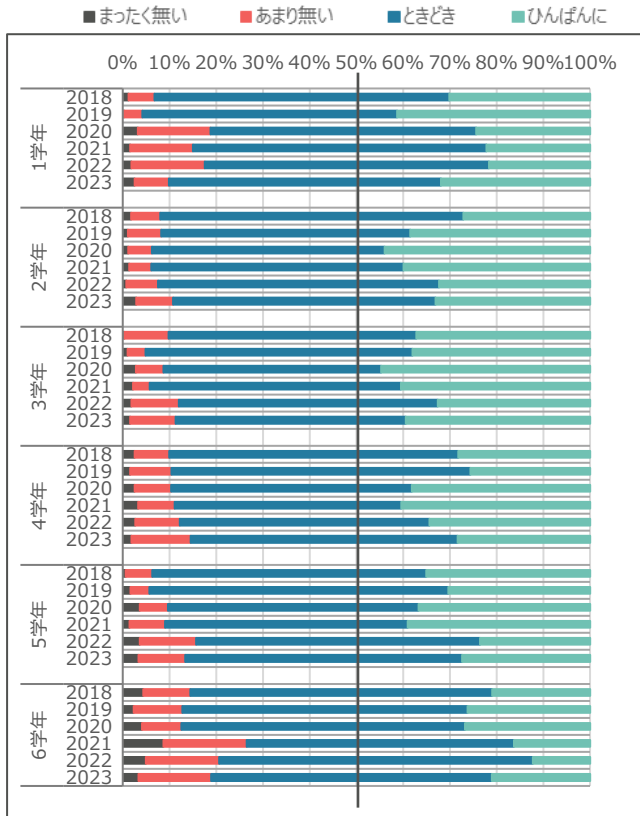
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
 知っている 知っている



2022年新設の項目です。学年が上がるにつれて『なんとなく知っている』『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が増加し、6学年になると『何も知らない』『存在は知っている』の回答は1割程度になります。前年度の回答と比べて大きな変化は見られません。

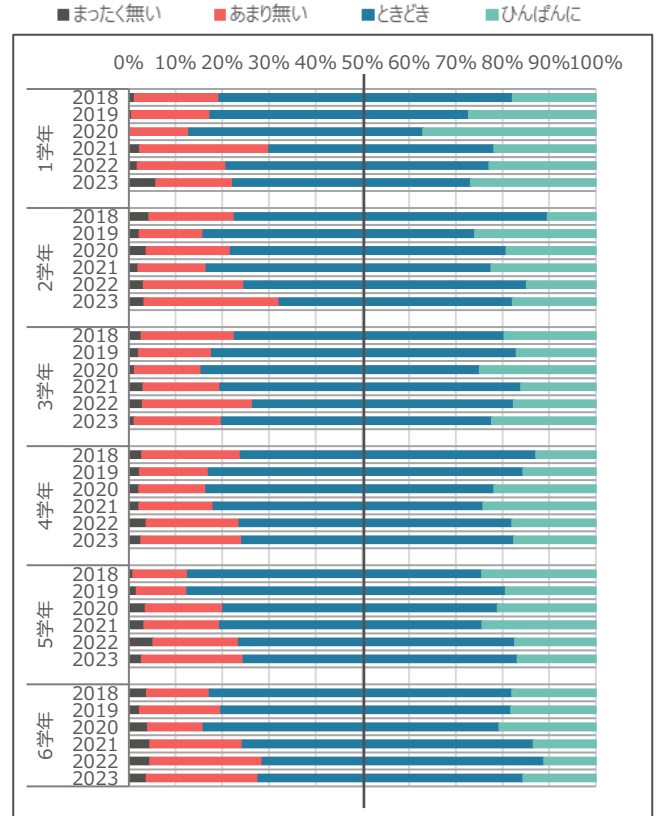
04_授業・実習での経験

実験、実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ



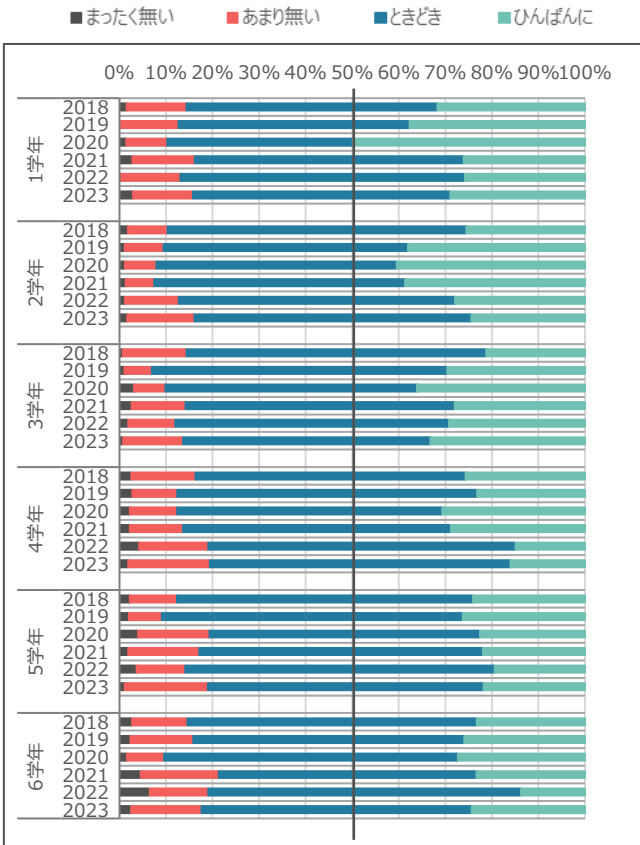
『ときどき』『ひんぱんに』の回答がほとんどの学年、年度で8割を超えており、アクティブ・ラーニングが浸透していることが伺えます。一方で、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、1学年で『あまり無い』の回答が増加していましたが、2023年度は授業形式が戻りつつあり、『あまり無い』の回答が前年度と比べて減少しました。

学生自身が文献や資料を調べる



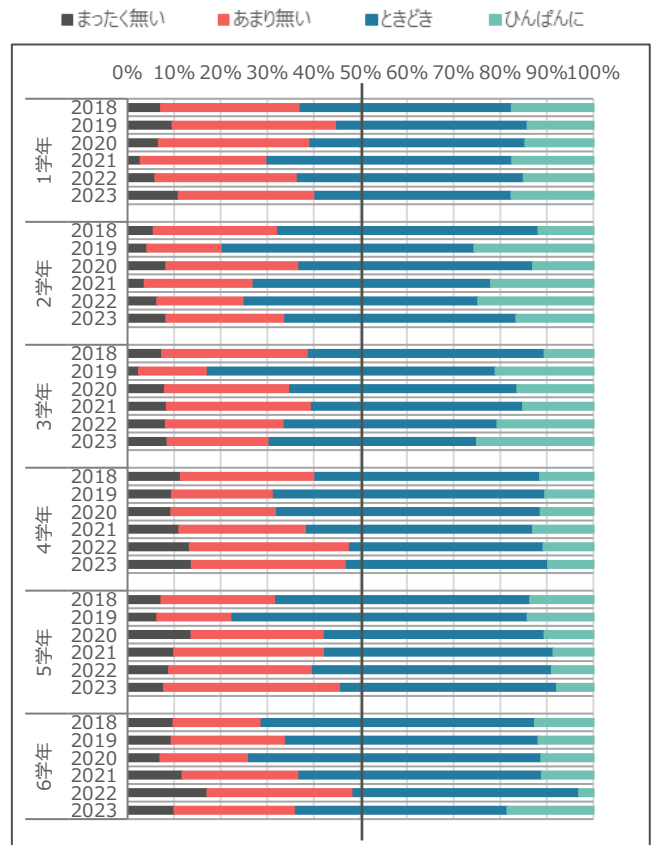
『ときどき』『ひんぱんに』の回答が8割程度を維持していましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一部の学年では『あまり無い』『まったく無い』が増加しました。授業形式が戻りつつあり、『ひんぱんに』の回答は前年度に比べて増えています。『あまり無い』『まったく無い』の回答率の変わない学年もあります。

小テストやレポートなどで学修進度が明示される



『ときどき』『ひんぱんに』の回答が約8割以上を維持しています。学年・年度による大きな変化は見られません。

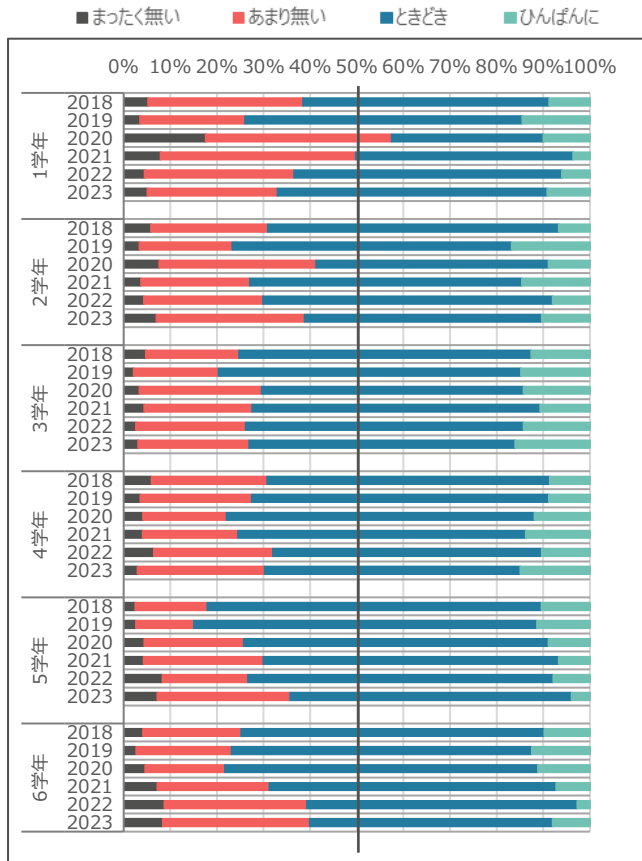
教員が添削やコメントをした提出物の返却



『まったく無い』『あまり無い』の回答が他の設問と比べて多く、教員による添削やコメントが求められている可能性があります。

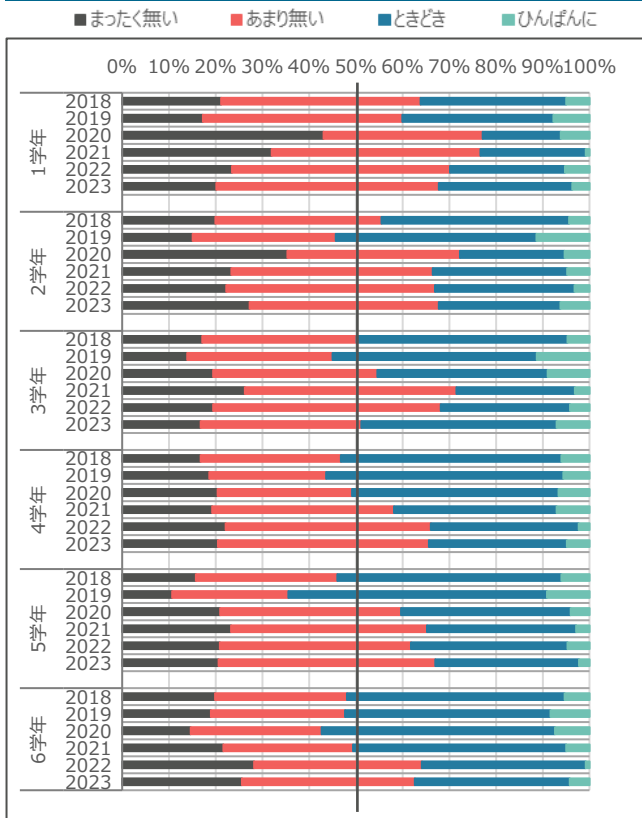
04 授業・実習での経験

学生が自分の考えや研究を発表する



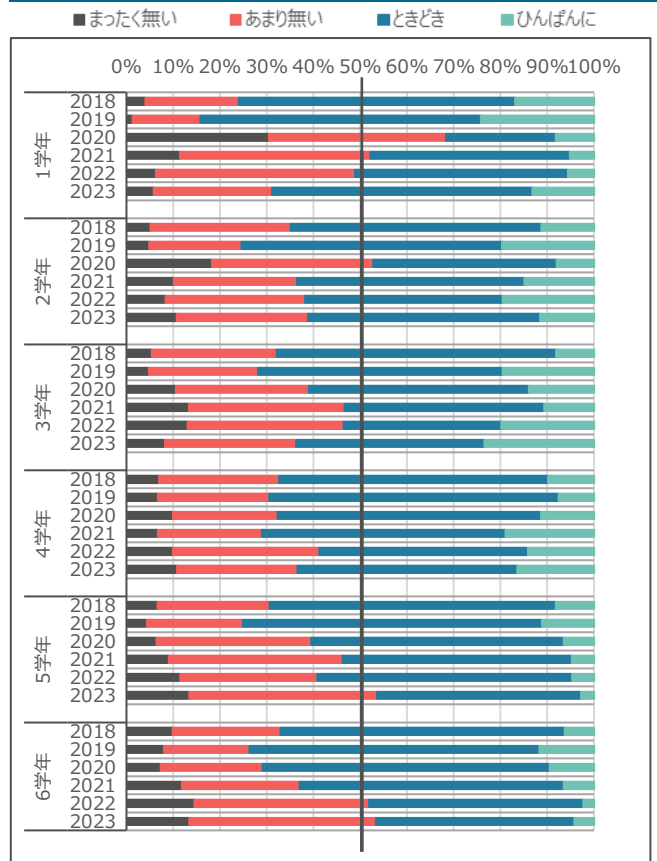
2019年度は全ての学年で『ととき』『ひんぱんに』の回答が7割を超えていましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が一部の学年で増加しました。2023年度は2020年度と比べて1学年の『ととき』『ひんぱんに』の回答が増えています。

授業で検討するテーマを学生が設定する



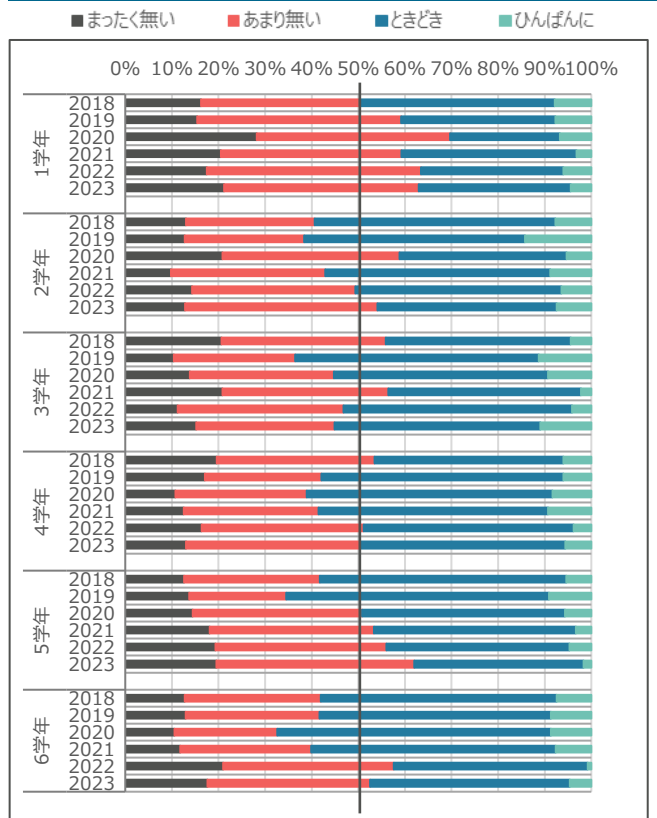
『まったく無い』『あまり無い』の回答がほとんどの学年、年度で5割を超えて、1学年以外では学生がテーマ設定を行う機会が年々増加しています。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が低学年で増加していましたが、2023年度は『ととき』『ひんぱんに』の回答が増えつつあります。

授業中に学生同士が議論をする



『ととき』『ひんぱんに』の回答は1学年で特に多い傾向がありましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が増加しました。2023年度は2020年度と比べて1学年の『ととき』『ひんぱんに』の回答が増えています。

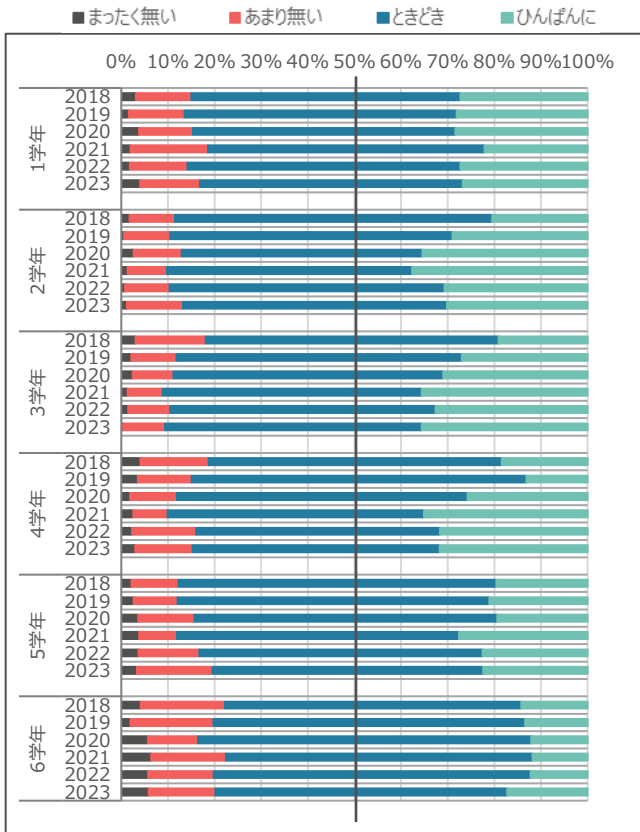
授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



学年が上がるにつれて『ととき』『ひんぱんに』の回答が増加しており、学生の意見を取り入れる機会が増加している傾向があります。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が低学年で増加していましたが、2023年度は『ととき』『ひんぱんに』の回答が増えつつあります。

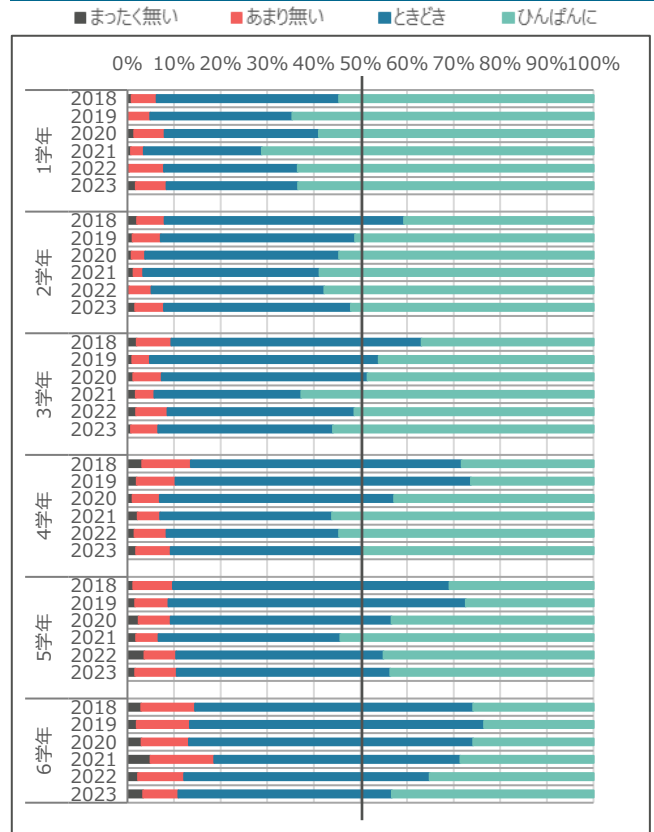
04 授業・実習での経験

実習で教員から助言・補助を受ける



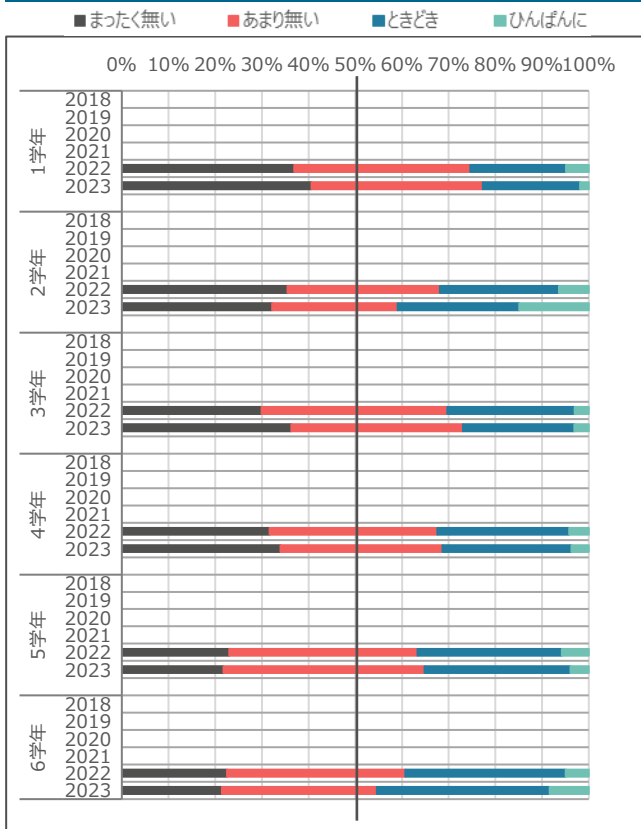
『ときどき』『ひんぱんに』の回答が7割以上を占める結果となりました。5・6学年は『ひんぱんに』の回答が減少傾向にあります。

授業・実習に積極的に参加した



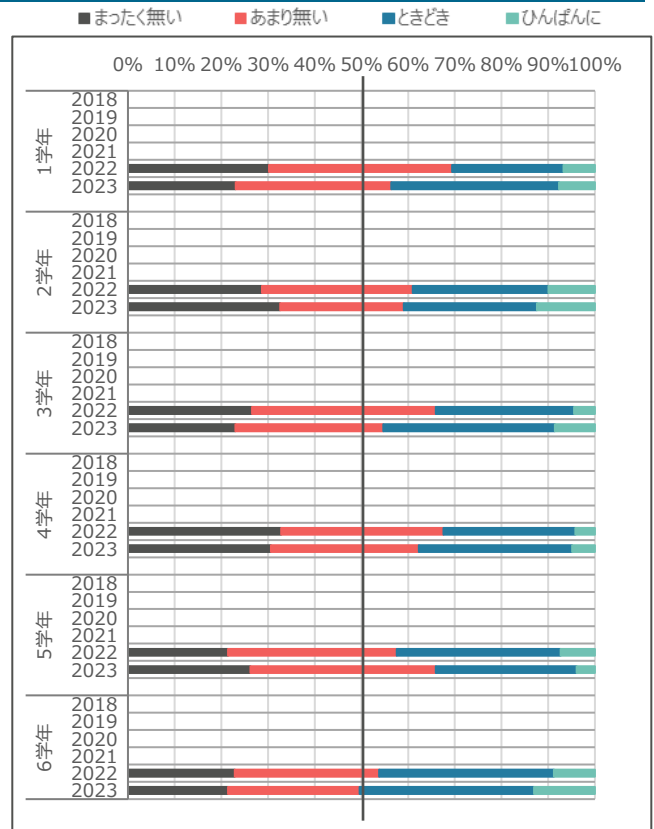
『ときどき』『ひんぱんに』の回答が8割以上を占める結果となりました。学年が上がるごとに『ひんぱんに』の回答が減少し、『あまり無い』の回答が増加しています。全学年で『ひんぱんに』の回答が年々増加しています。

教員による自主的な勉強会に参加する



2022年度新設の項目です。学年が上がるにつれて『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増加する傾向が見られます。6学年で『まったく無い』と回答する学生は2割となっています。

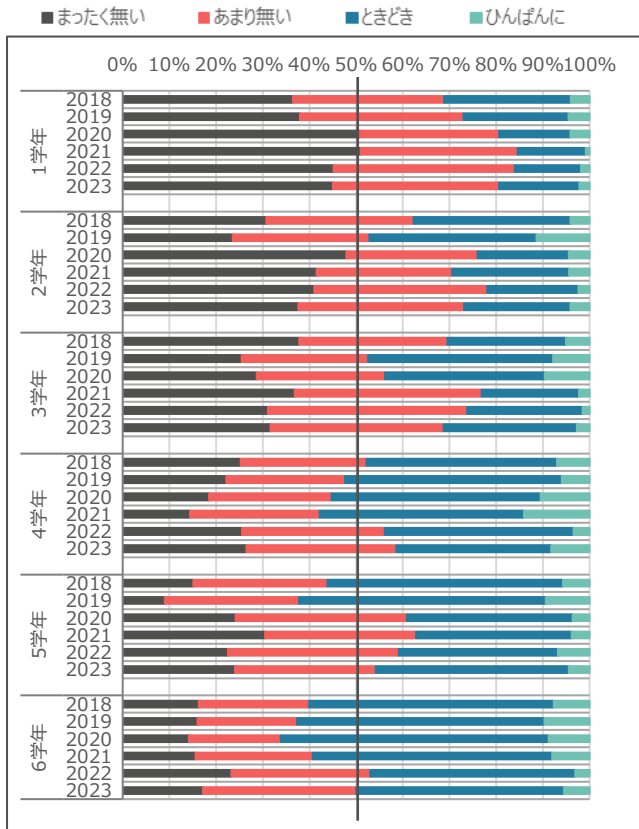
学生による自主的な勉強会に参加する



2022年度新設の項目です。学年が上がるにつれて『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増加する傾向が見られます。6学年で『まったく無い』と回答する学生は2割となっています。教員の勉強会と比べて参加する学生がわずかに多い結果となりました。

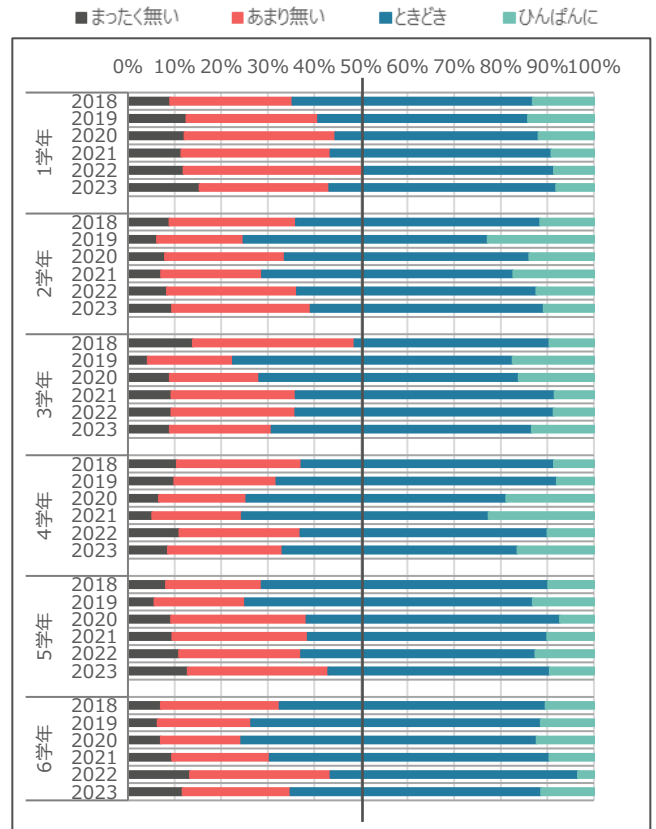
04_授業・実習での経験

大学の教職員に卒業後の進路や職業選択などを相談する



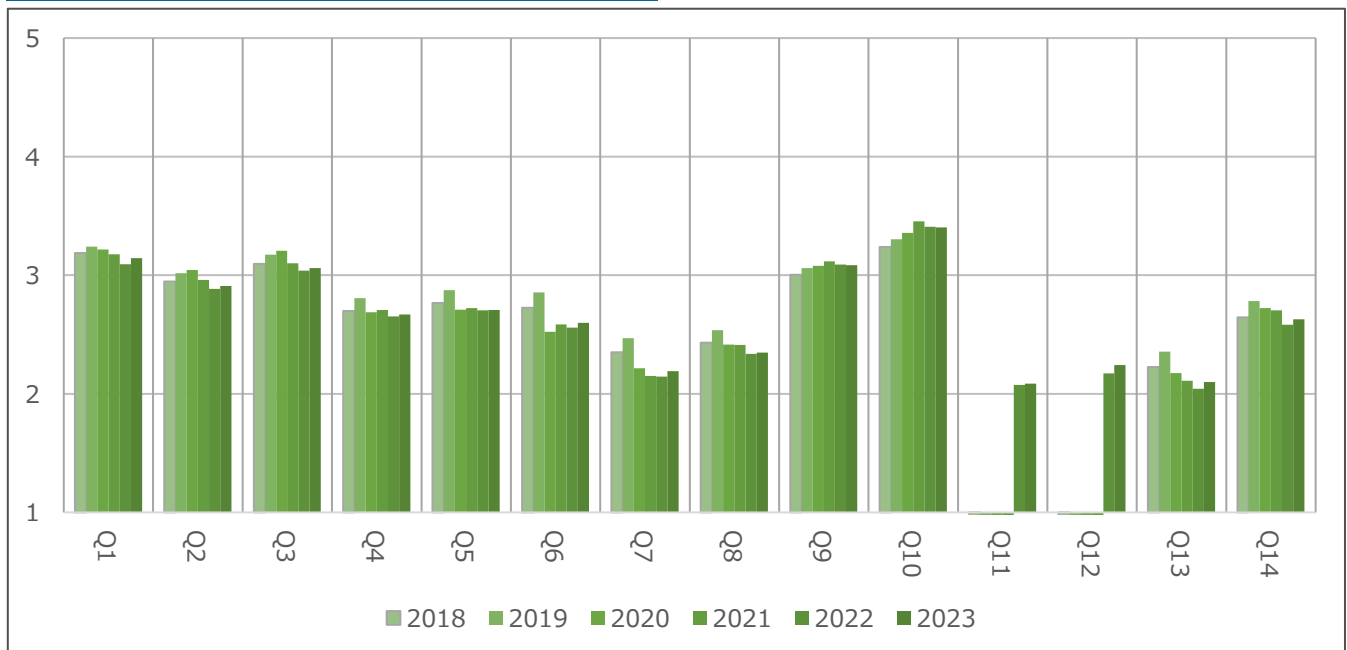
『とき』『ひんぱんに』の回答は学年が上がるごとに増加していることが分かります。また、2020年度以降、新型コロナウイルスの影響で『あまり無い』『まったく無い』の回答が増えていますが、徐々に『とき』『ひんぱんに』の回答が増えつつあります。

授業・実習を通じて教員に親近感を感じる



『とき』『ひんぱんに』の回答が年々増加しています。特に2学年以上で教員に親近感を感じている学生が多い傾向があります。

「授業・実習での経験」各設問の平均スコア



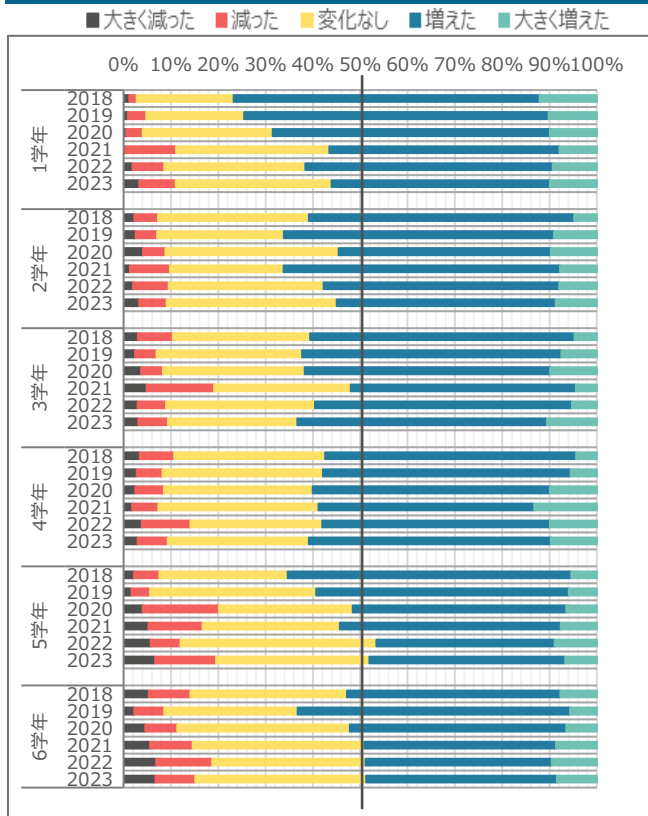
【設問】

- Q1_ 実験、実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- Q2_ 学生自身が文献や資料を調べる
- Q3_ 小テストやレポートなどで学修進度が明示される
- Q4_ 教員が添削やコメントをした提出物の返却
- Q5_ 学生が自分の考えや研究を発表する
- Q6_ 授業中に学生同士が議論をする
- Q7_ 授業で検討するテーマを学生が設定する
- Q8_ 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- Q9_ 実習で教員から助言・補助を受ける

- Q10_ 授業・実習に積極的に参加した
- Q11_ 教員による自主的な勉強会に参加する
- Q12_ 学生による自主的な勉強会に参加する
- Q13_ 大学の教職員に卒業後の進路や職業選択などを相談する
- Q14_ 授業・実習を通じて教員に親近感を感じる

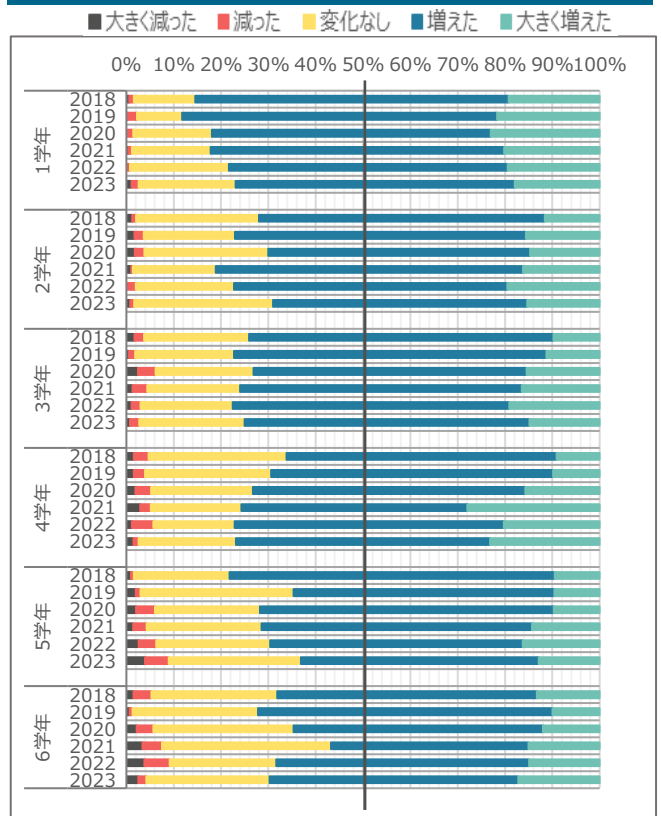
05_成長自己評価

一般的な教養



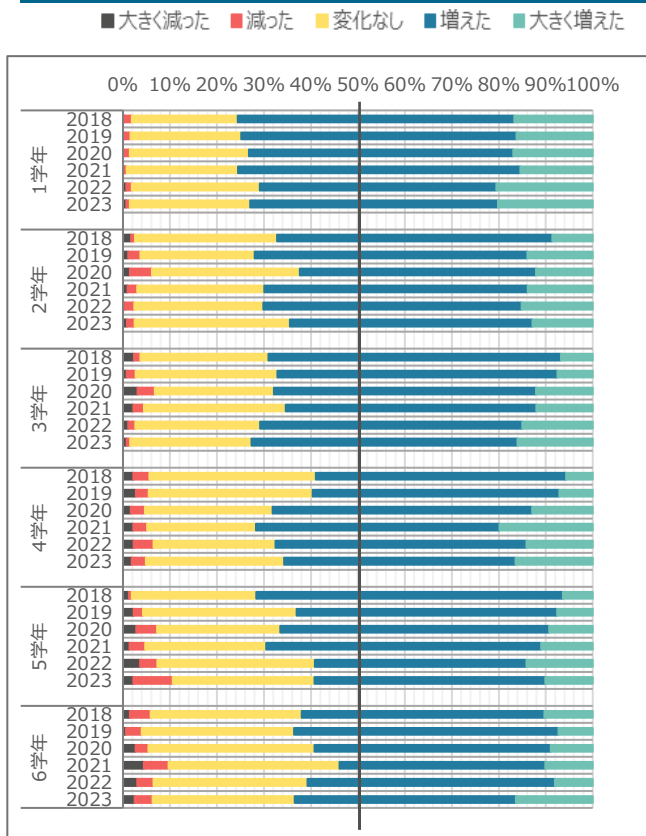
『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね6割前後となっており、主に教養科目を履修する第1学年で高くなります。

医療人に求められる倫理性



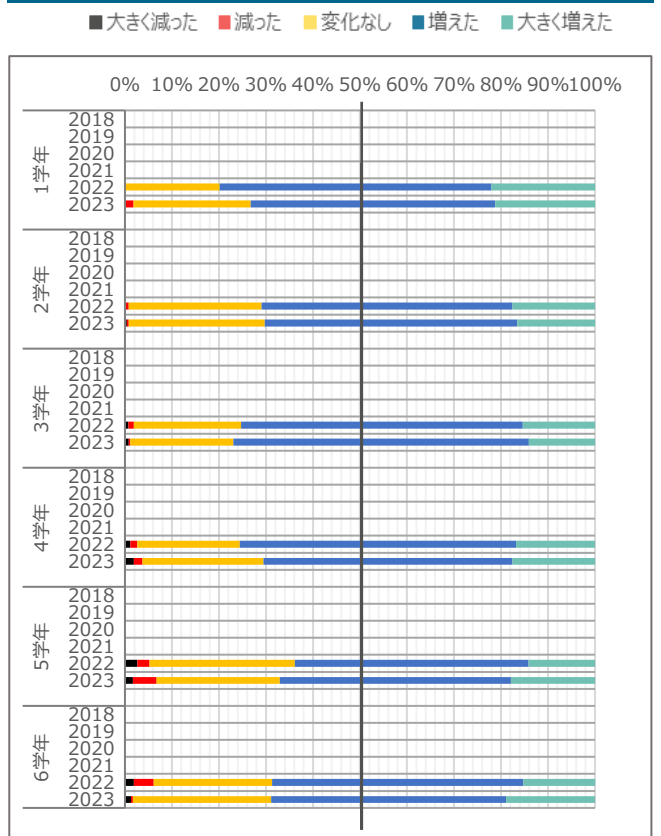
『増えた』『大きく増えた』の回答が6割を超え、7割近くに達しています。特に第1学年での成長度合いが高くなる傾向があります。年度ごとの変化はあまり見られませんが、第4学年では増加傾向が見られます。

他の人のために働く利他的行動



『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね6割を占めます。年度ごとの変化はあまり見られませんが、第3,4学年では増加傾向が見られます。

(インターネット・書籍等で)情報を収集する能力

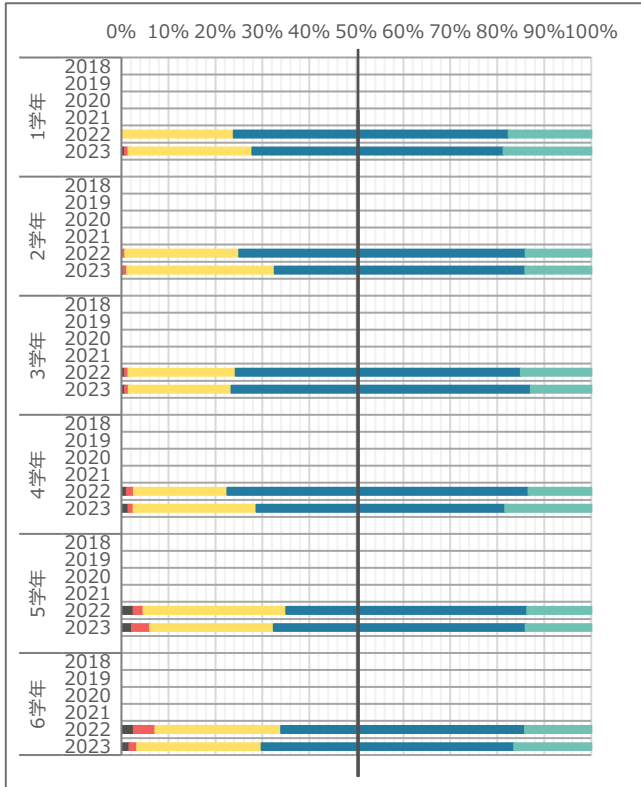


2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね7割前後となっており、情報リテラシー科目を履修する第1学年では『増えた』『大きく増えた』の回答が高くなっています。

05_成長自己評価

収集した情報を分析する能力

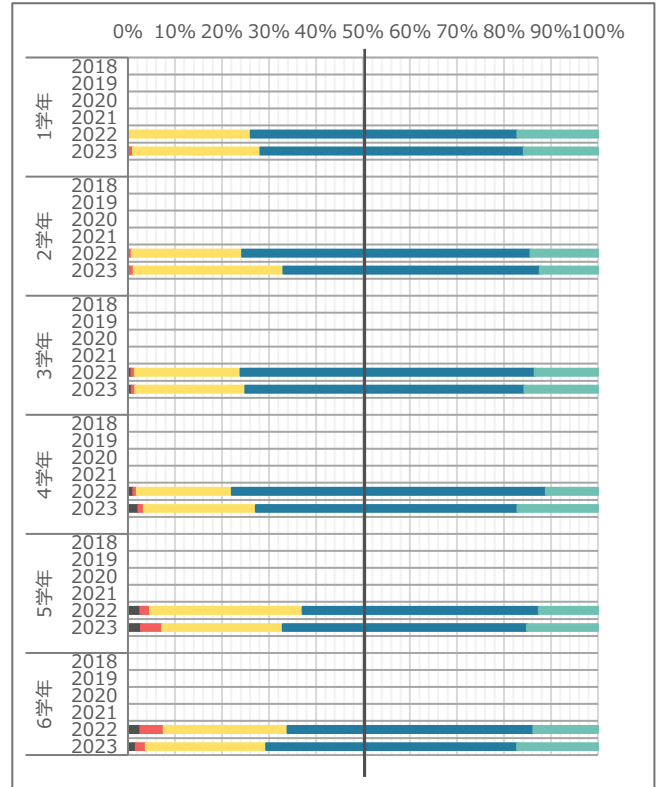
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね7割前後となっており、低学年では『減った』『大きく減った』の回答がほとんど見られませんでした。

収集した情報をもとに問題を解決する能力

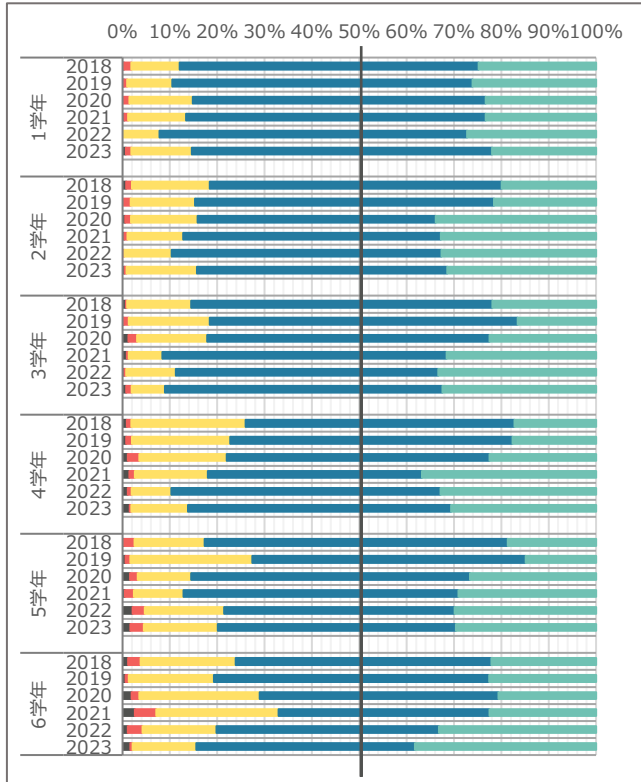
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね7割前後となっており、低学年では『減った』『大きく減った』の回答がほとんど見られませんでした。

専門分野や学科の知識

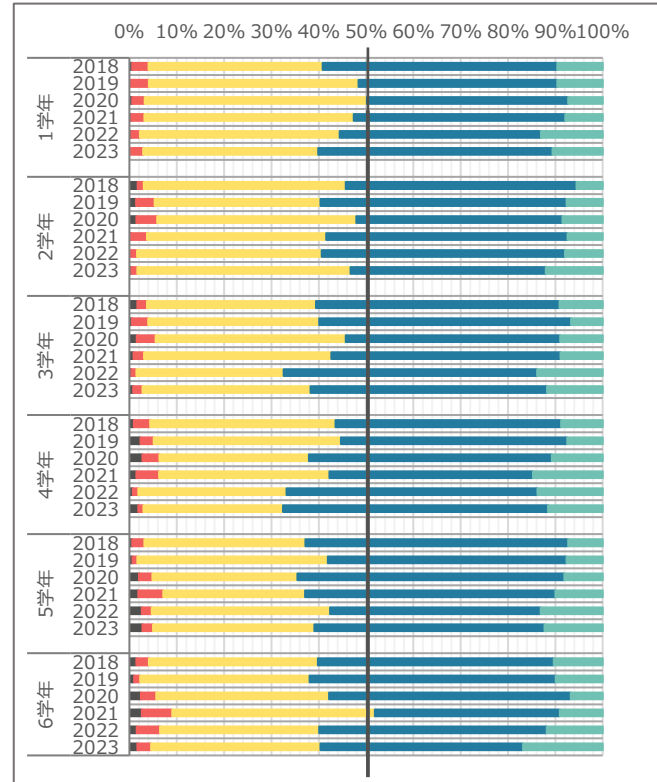
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね7～8割を占めており、他の汎用的スキルと比較して成長度合いが高くなっています。一部の学年では年度ごとに増加傾向が見られます。

批判的に考える能力

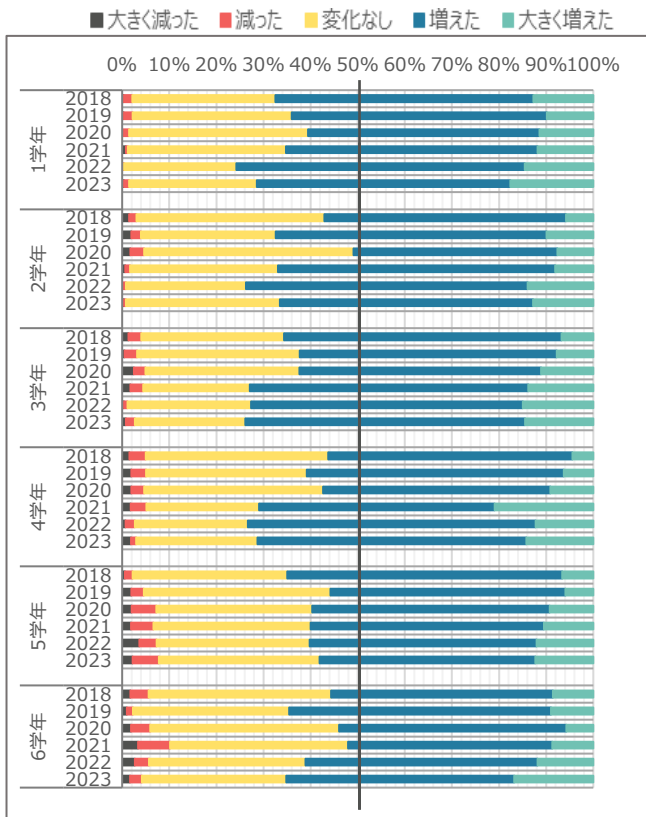
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数を占める結果となりました。また、学年が上がるごとに『増えた』『大きく増えた』の回答数が増加している傾向がありますが、『変化なし』が3～4割程度存在していることも注目されます。

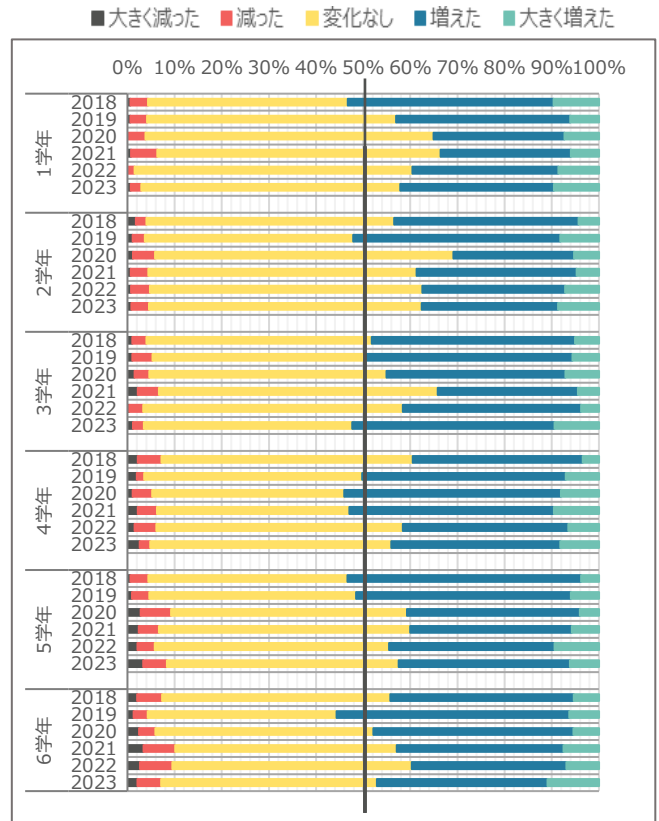
05_成長自己評価

多様な文化に対する知識と理解



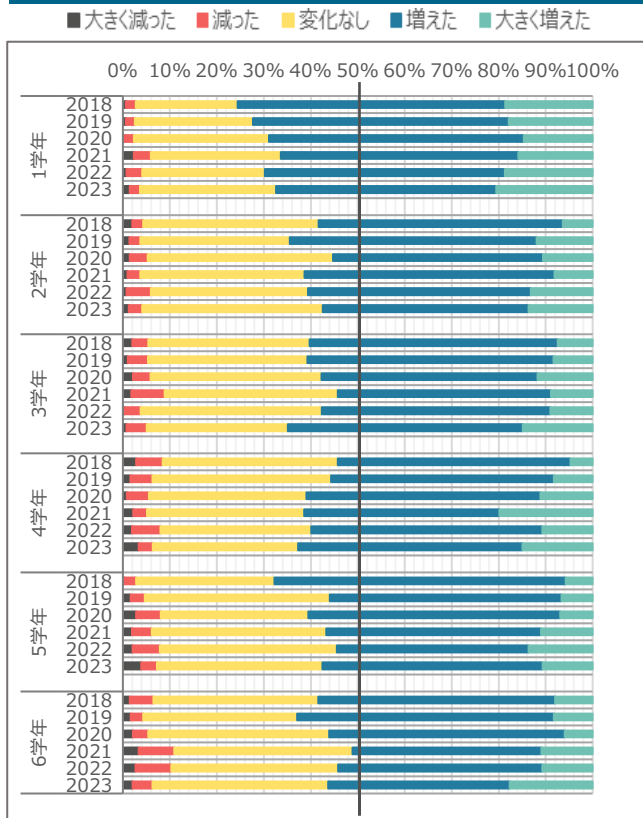
『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。年度ごとの変化に一定の傾向は見られません。

リーダーシップの能力



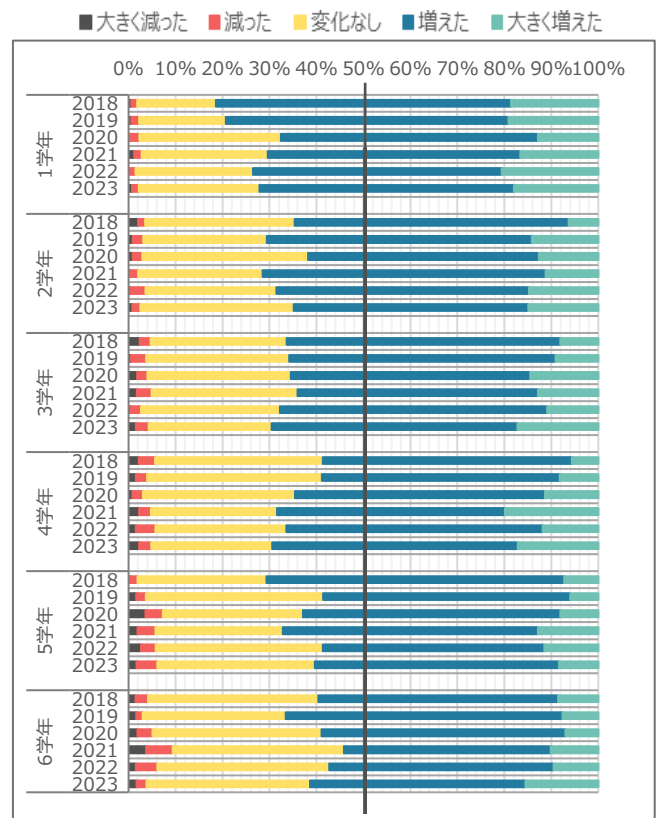
『変化なし』が約半数を占めており、他の汎用的スキルと比較して成長度合いが比較的低くなっています。2020年度以降、1学年において『増えた』『大きく増えた』の回答が減少しており、新型コロナウイルスの影響によりチーム作業の機会が減ったことが原因だと考えられます。

人間関係を構築する能力



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数以上を占める結果となりました。一方で、『大きく減った』『減った』の回答も、全学年、全年度に見られます。

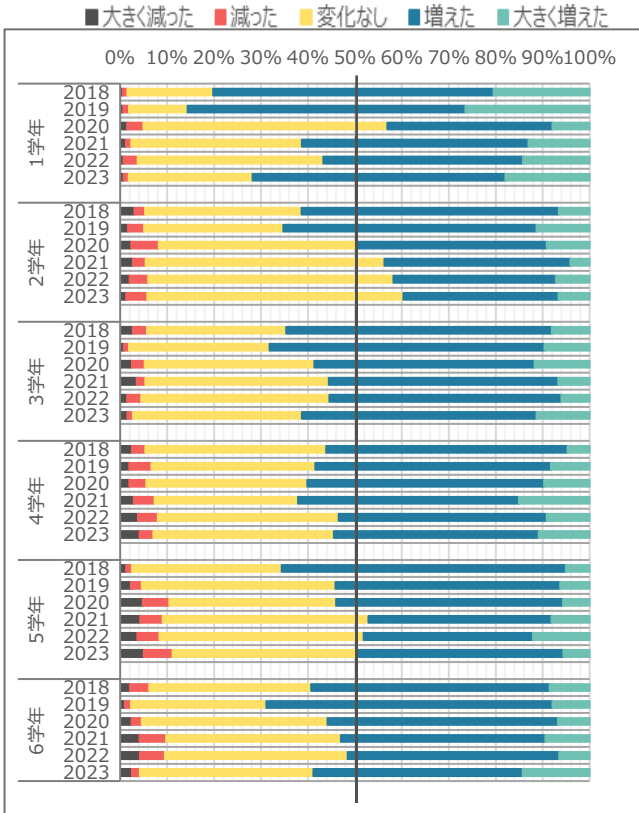
他の人と協力して物事を遂行する能力



『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね6割を占める結果となりました。物事を遂行する能力と人間関係を構築する能力のどちらも、高くなったと回答している学生の割合が各学年、年度で同じような結果になっています。

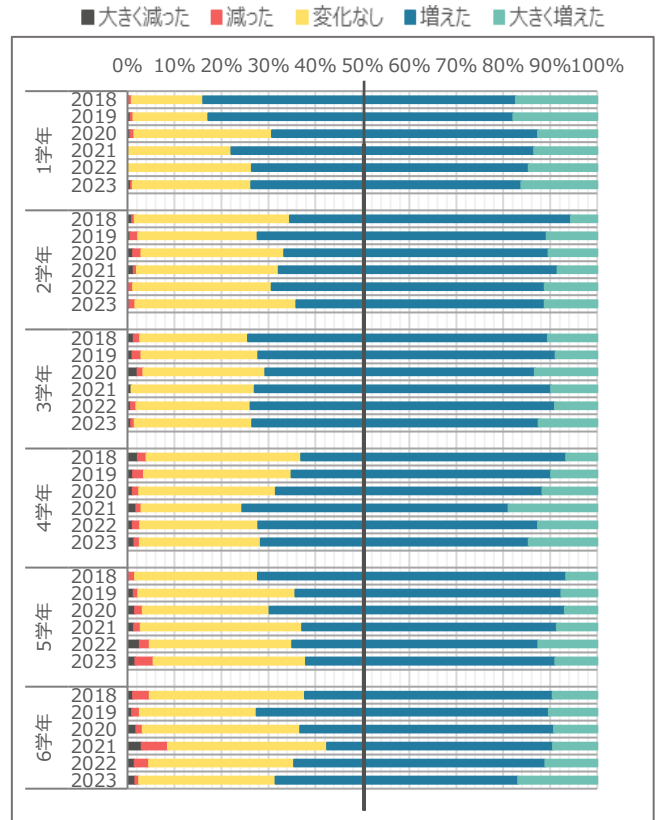
05_成長自己評価

他学部・多職種の人々と協力する能力



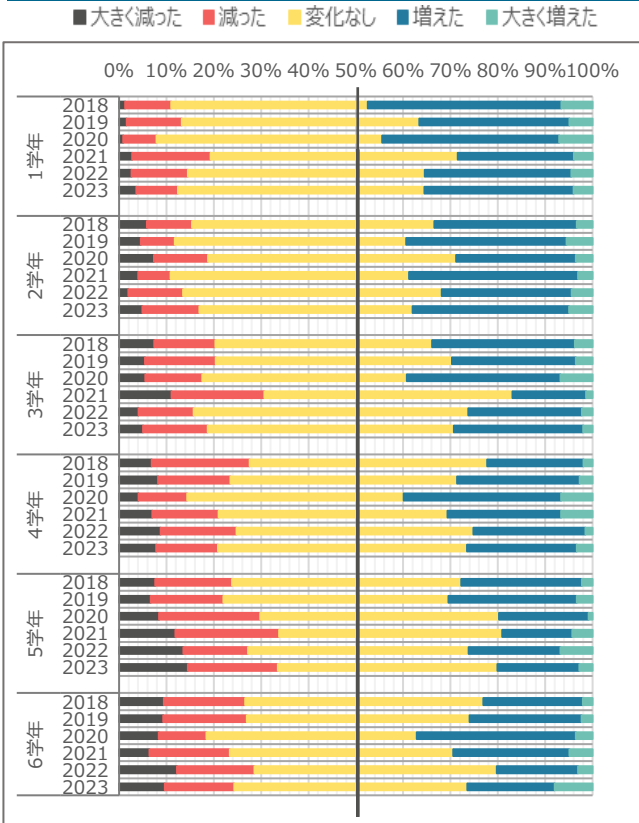
『増えた』『大きく増えた』の回答が半数程度を占めています。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、『増えた』『大きく増えた』の回答が減少していましたが、2023年度は多職種連携科目を履修する1・3・6学年の『増えた』『大きく増えた』の回答が前年度に比べて増えています。

医療が直面する問題を理解する能力



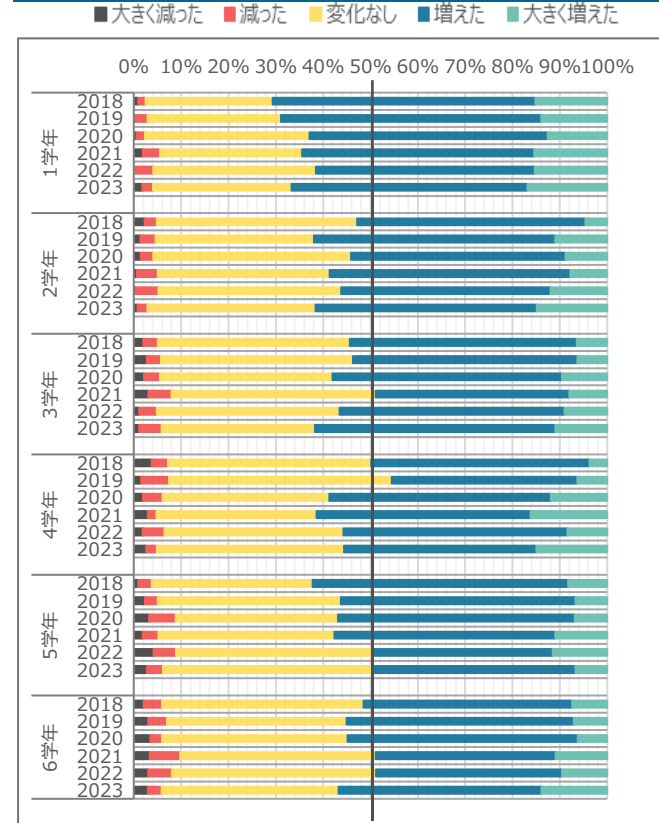
『増えた』『大きく増えた』の回答が6~7割を占めています。1~4学年では『増えた』『大きく増えた』の回答が年々増加する傾向にありますが、5・6学年ではあまり見られません。

外国語の運用能力



3学年以上では『大きく減った』『減った』の回答が増加傾向にあり、20%を超えています。汎用的スキルの中では、最も成長度合いが低い項目です。

コミュニケーション能力

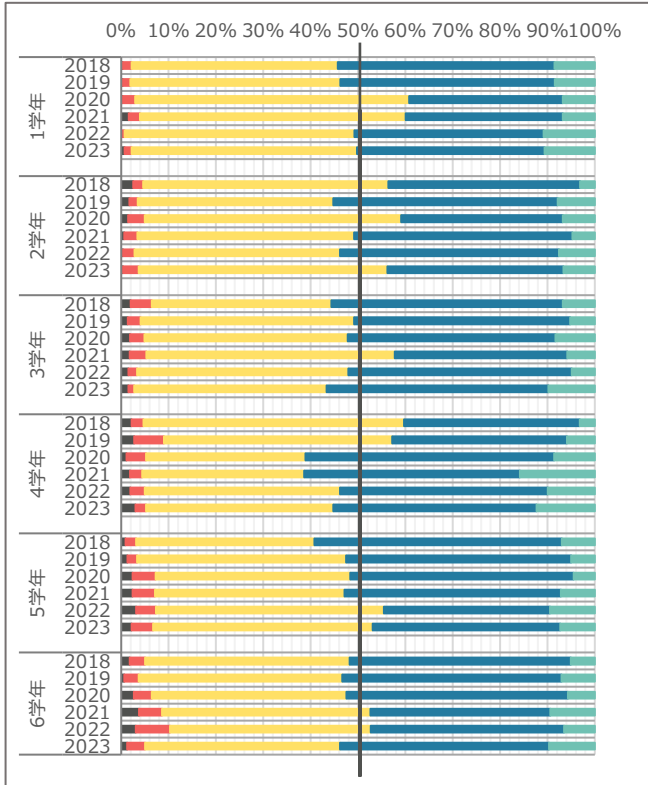


『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。特に、学部混成授業やIPE科目が実施される1,3学年、臨床実習が行われる5学年では成長度合いが比較的高くなっています。

05_成長自己評価

プレゼンテーション能力

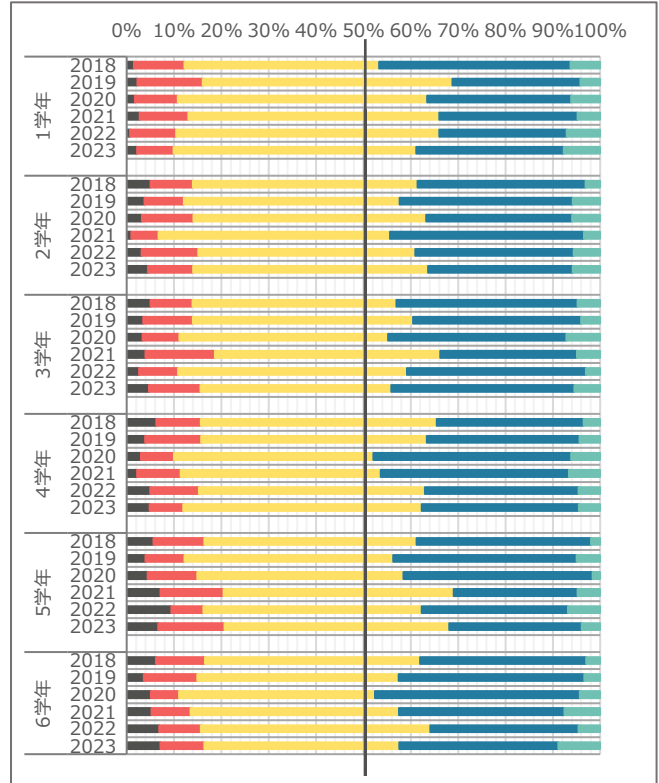
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



IPE科目を実施する3,6学年、臨床実習を実施する5学年で成長度合いが高くなる傾向があります。また、2020年度以降に4学年において『増えた』が急激に増加したのは、3年後期から臨地実習に取り組んできた看護学部の影響があると思われます。

数理的な能力

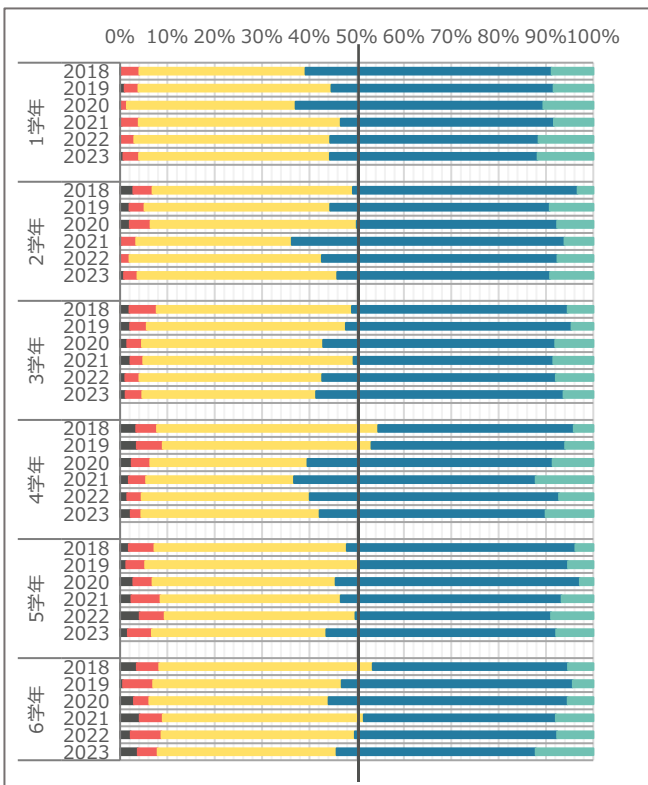
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答の割合が3~4割程度に留まる一方で、『大きく減った』『減った』の回答が1割以上あり、成長度合いが比較的低下する項目です。

論理的な文（教科書や論文など）を読んで理解する能力

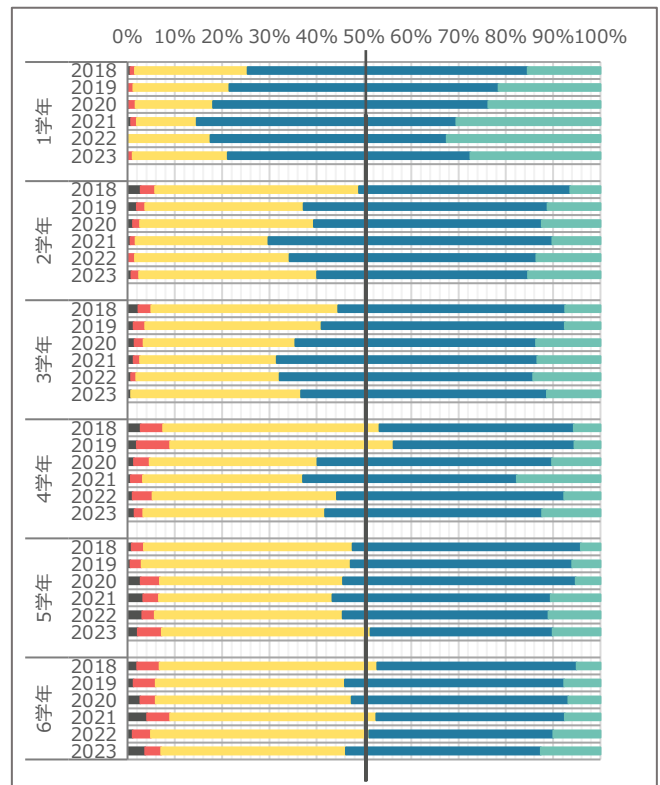
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答がほとんどの学年、年度で半数を占めています。『減った』と回答する学生も一定数います。

コンピュータの操作能力

■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた

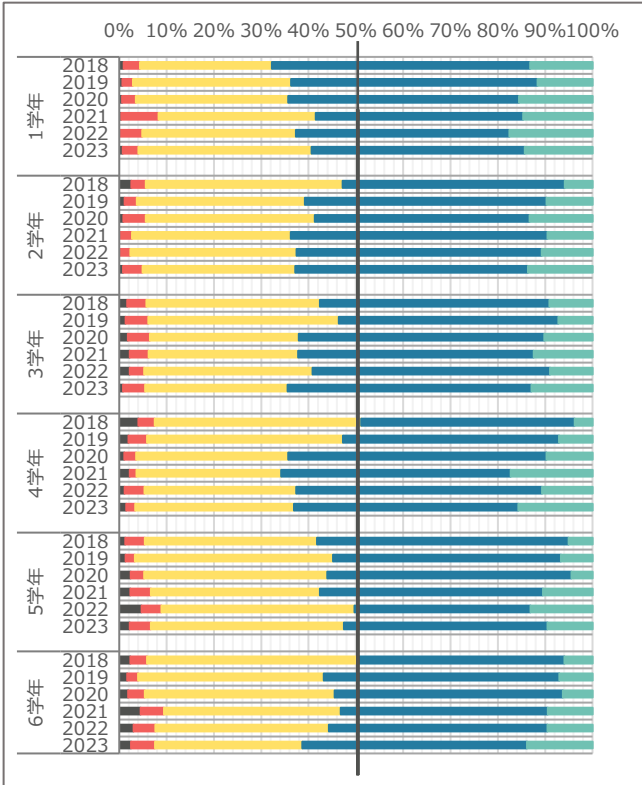


情報リテラシー科目を実施している第1学年で『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占めています。

05_成長自己評価

時間を効率的に利用する能力

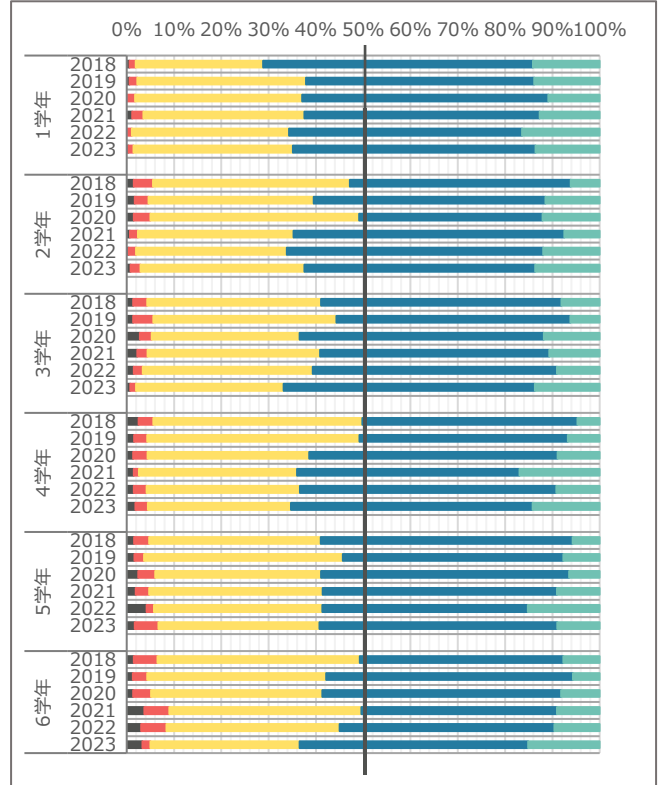
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



ほとんどの学年、学部で『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。学年進行に伴う変化がほぼ見られません。

客観的な自己理解（または、感情をコントロールする理性）

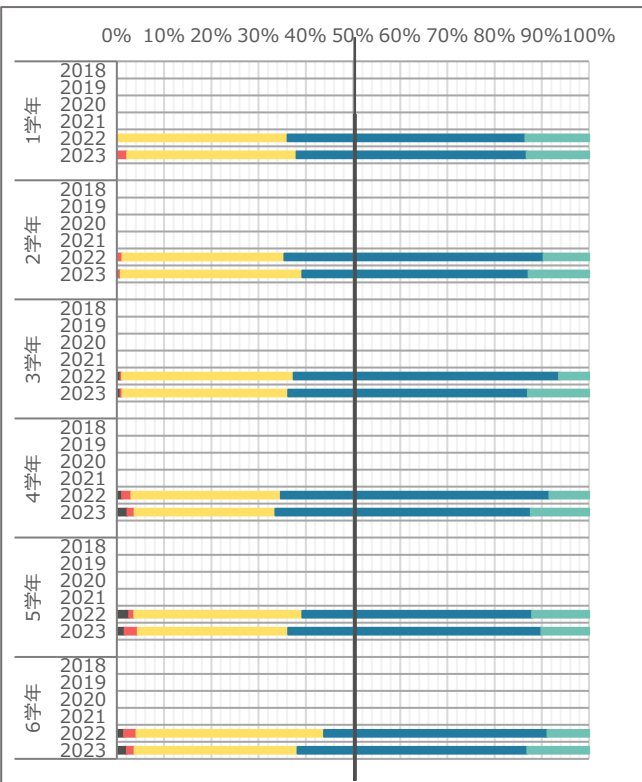
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の割合が半数以上を占めています。学年進行に伴う変化がほぼ見られません。

自身のミス適切に報告し、他人からの指摘や評価をもとに省察する能力

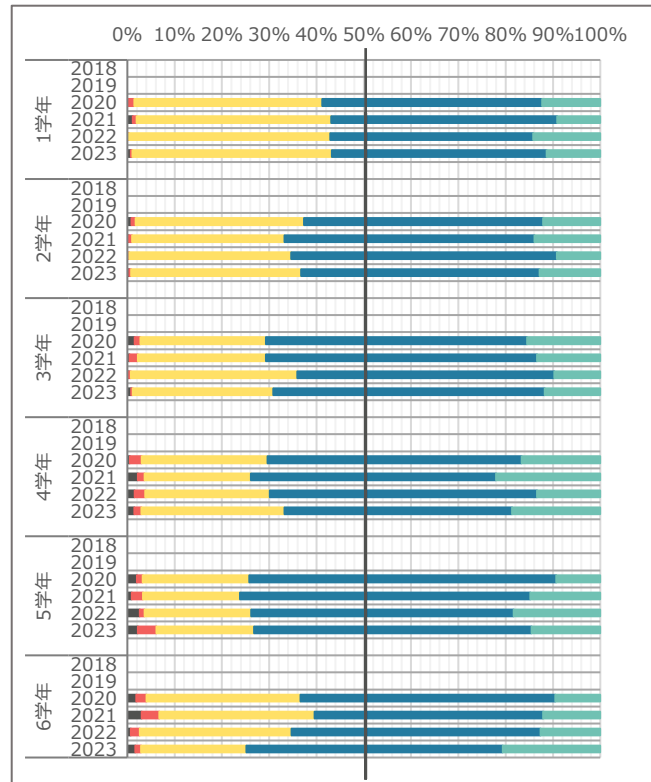
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

医療行為を実践する能力または技術

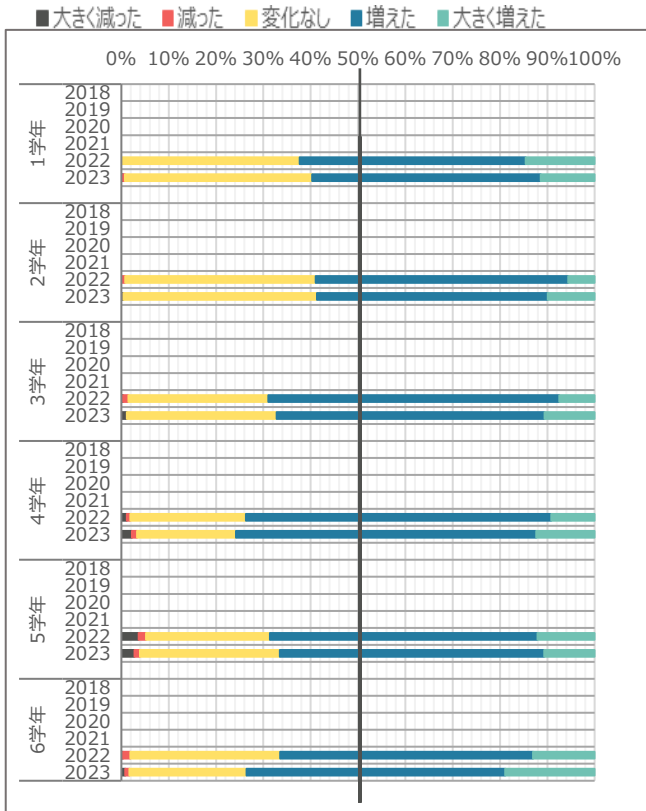
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。学年が上がるにつれて『増えた』『大きく増えた』の回答が増加する傾向にあります。

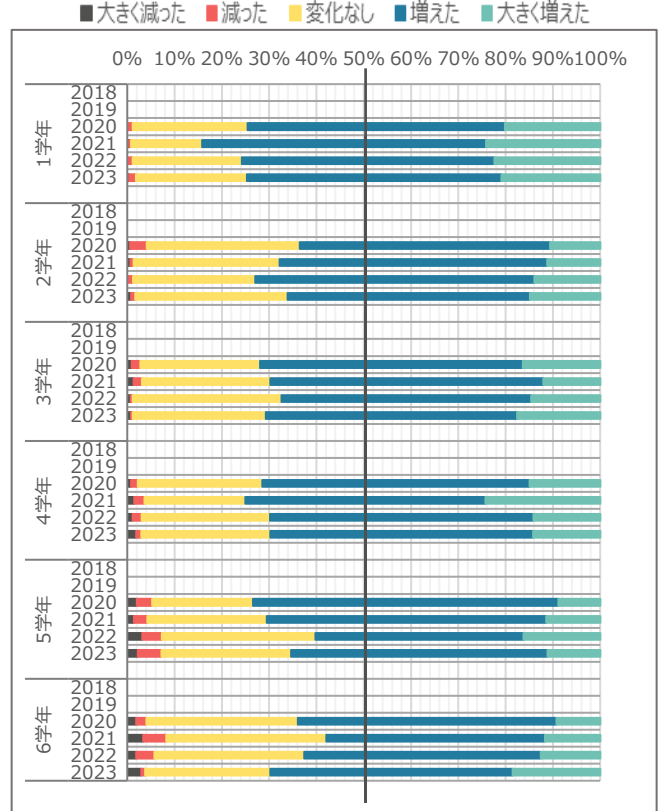
05_成長自己評価

保険診療と医療経済に関する知識と理解



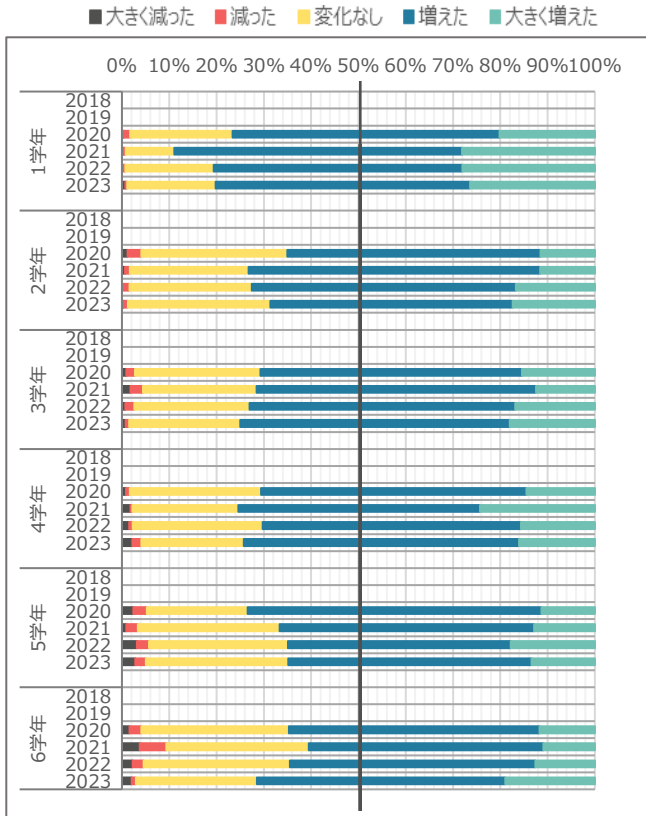
2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

医療の発展に貢献しようとする意欲



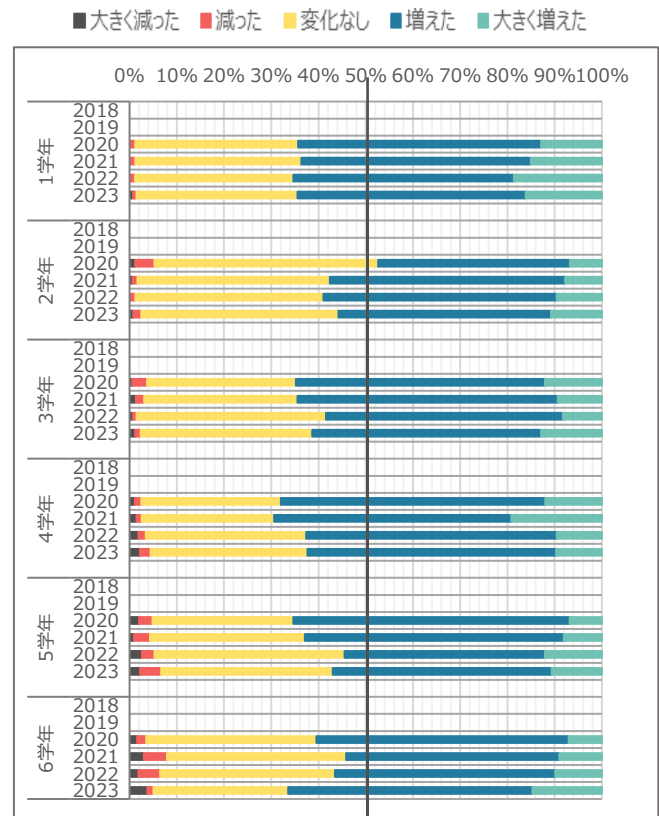
『増えた』『大きく増えた』の回答が7割以上を占める結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

チーム医療に積極的に参画しようとする意欲



『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。多職種連携科目を履修する1学年の肯定的な回答が8割以上を占めています。

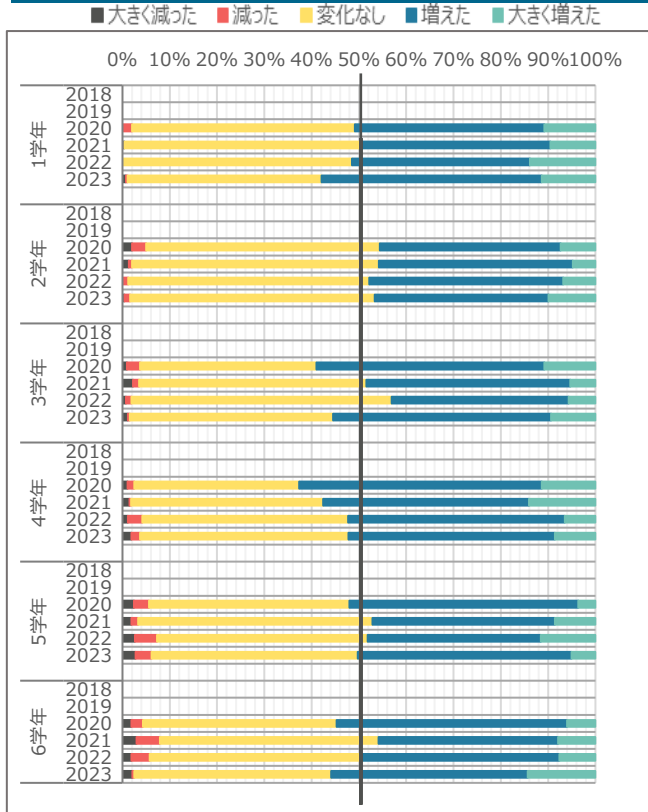
医療の発展に寄与する研究に取り組む意欲



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数の結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

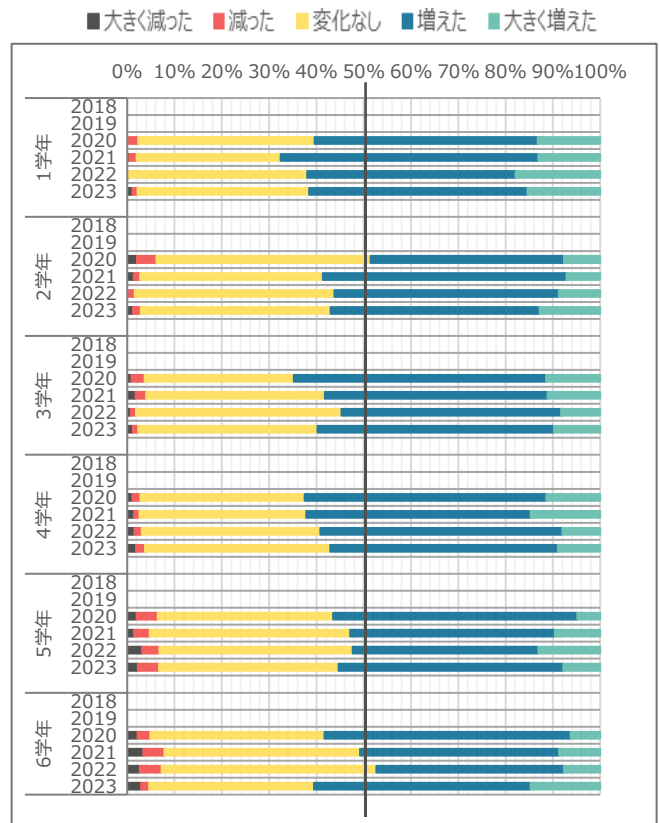
05_成長自己評価

後進を育成しようとする意欲



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数の結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

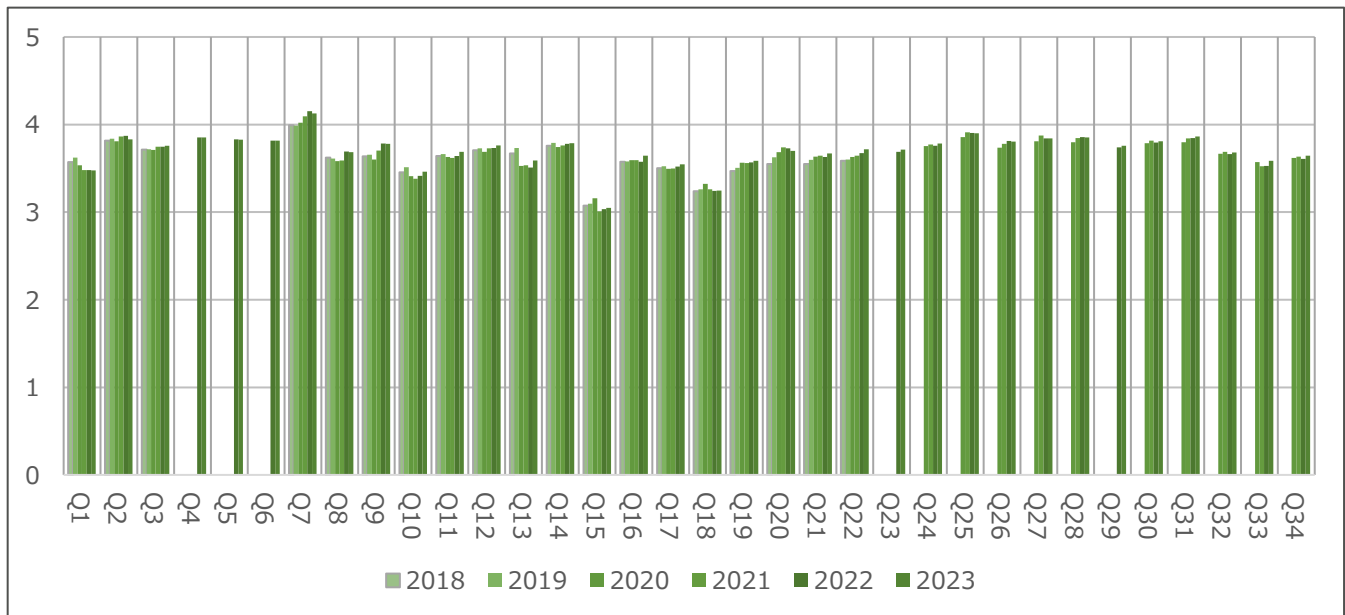
医療人として国際社会に貢献する意欲



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数の結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

05_成長自己評価

「成長自己評価」各設問の平均スコア



【設問】

Q1_一般的な教養

Q2_医療人に求められる倫理性

Q3_他の人のために働く利他的行動

Q4_(インターネット・書籍等で)情報を収集する能力

Q5_収集した情報を分析する能力

Q6_収集した情報をもとに問題を解決する能力

Q7_専門分野や学科の知識

Q8_批判的に考える能力

Q9_多様な文化に対する知識と理解

Q10_リーダーシップの能力

Q11_人間関係を構築する能力

Q12_他の人と協力して物事を遂行する能力

Q13_他学部・他職種の人々と協力する能力

Q14_医療が直面する問題を理解する能力

Q15_外国語の運用能力

Q16_コミュニケーション能力

Q17_プレゼンテーション能力

Q18_数理的な能力

Q19_論理的な文(教科書や論文など)を読んで理解する能力

Q20_コンピュータの操作能力

Q21_時間を効果的に利用する能力

Q22_客観的な自己理解(または、感情をコントロールする理性)

Q23_自身のミスを適切に報告し、他人からの指摘や評価をもとに省察する能力

Q24_医療行為を実践する能力または技術

Q25_医療安全に関する知識と実践力

Q26_関連法規に関する知識と理解

Q27_地域医療に関する知識と理解および貢献しようとする意欲

Q28_災害時医療に関する知識と理解

Q29_保険診療と医療経済に関する知識と理解

Q30_医療の発展に貢献しようとする意欲

Q31_チーム医療に積極的に参画しようとする意欲

Q32_医療の発展に寄与する研究に取り組む意欲

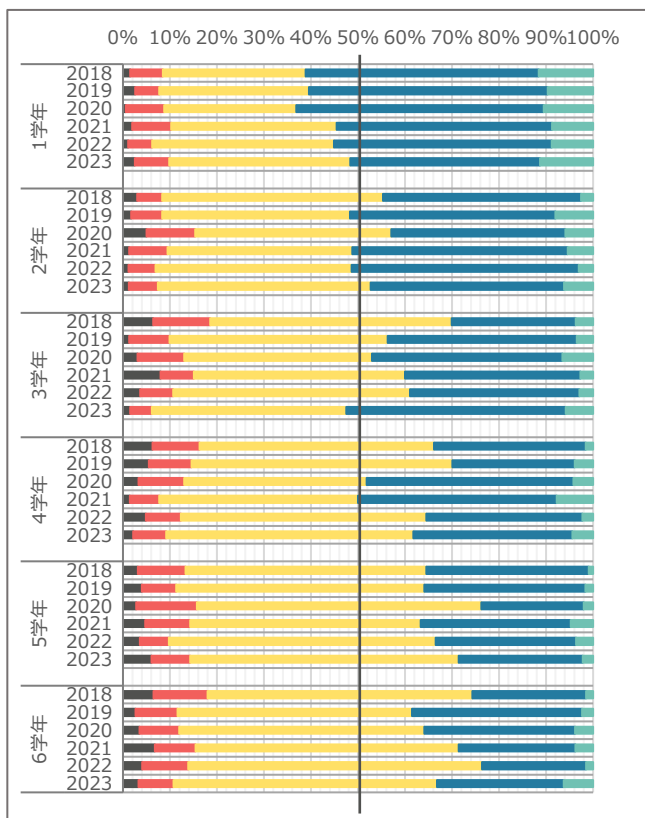
Q33_後進を育成しようとする意欲と能力

Q34_医療人として国際社会に貢献する意欲

06_教育内容満足度

教養教育の授業実習

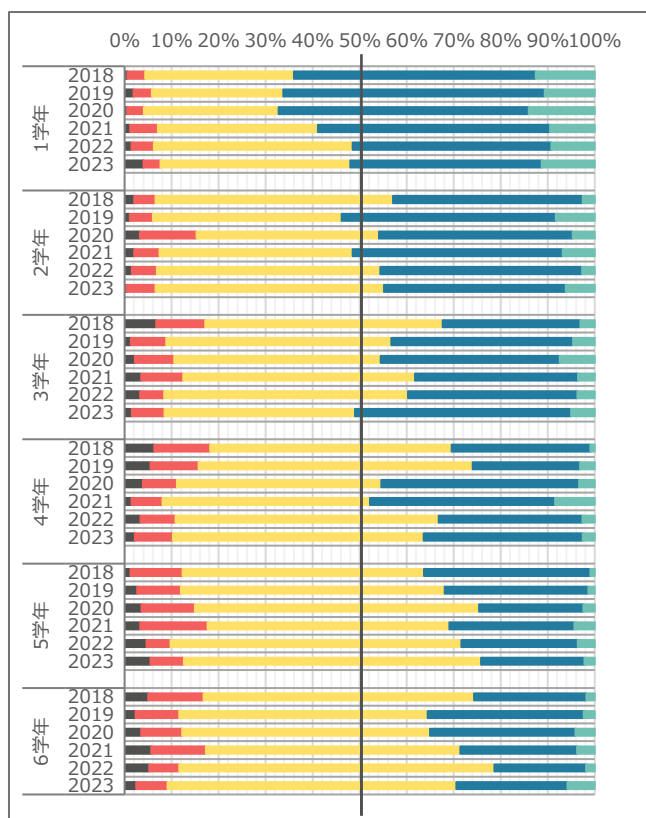
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答が低学年ほど高く、2023年度は3学年の『満足』『とても満足』が比較的多い回答となりました。

初年次生を対象とした専門教育

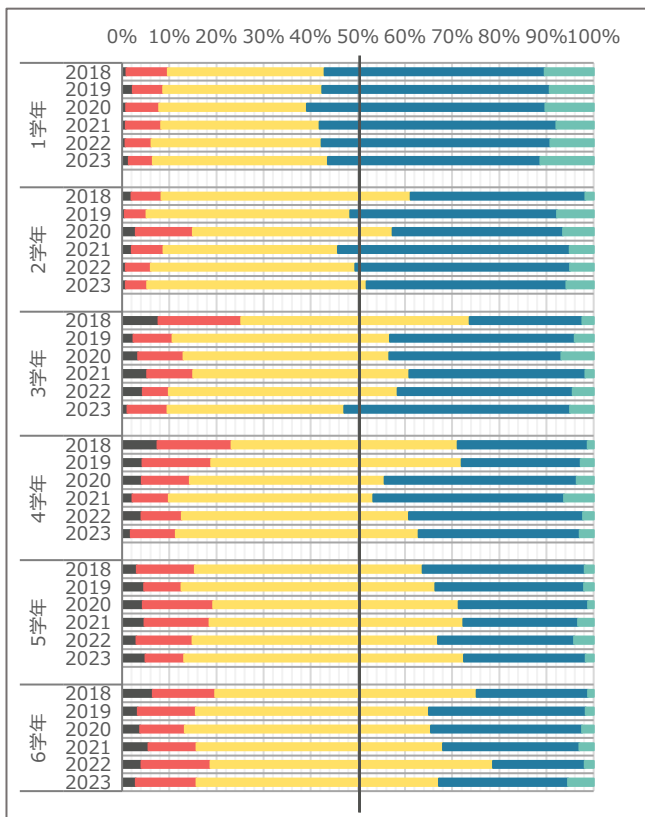
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答が低学年ほど高くなっています。2023年度は3学年の『満足』『とても満足』が比較的多い回答となりました。

授業の全体的な質

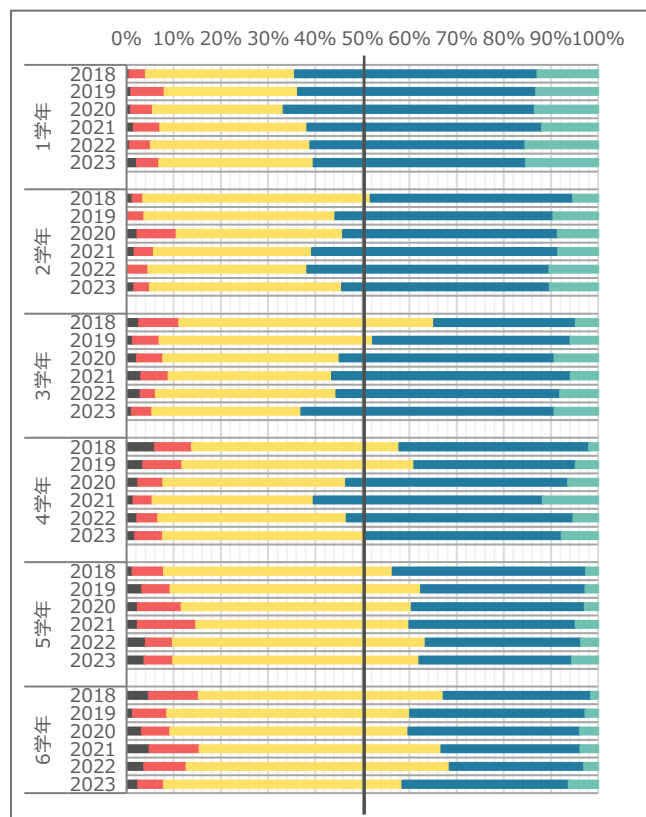
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にあります。『どちらでもない』と併せると8割以上となります。低学年において『不満』『とても不満』の回答の減少傾向が見られます。

将来の仕事と授業内容の結びつき

■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足

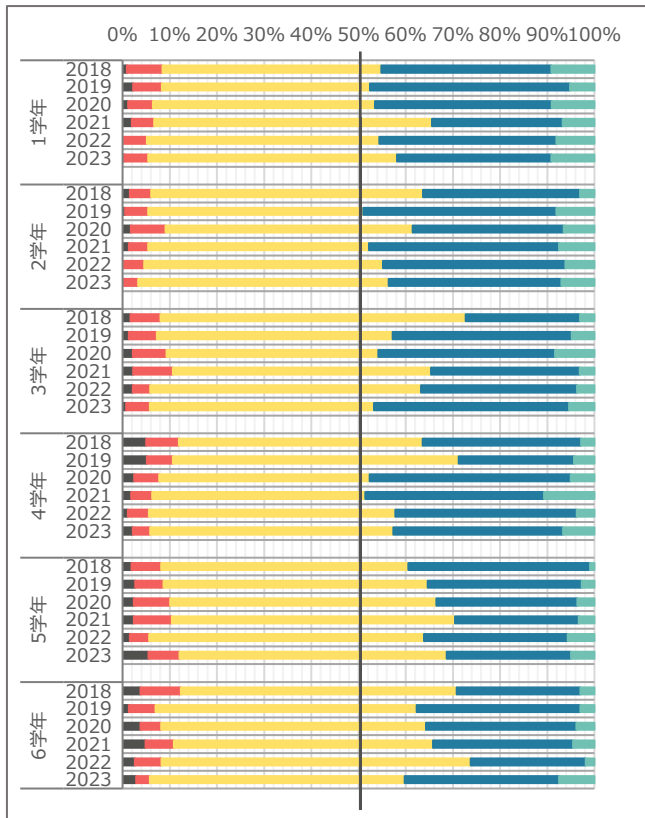


『満足』『とても満足』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にあります。『不満』『とても不満』の回答は3学年時に増加し、それ以降はほぼ横ばいになっています。

06_教育内容満足度

教員と話をする機会

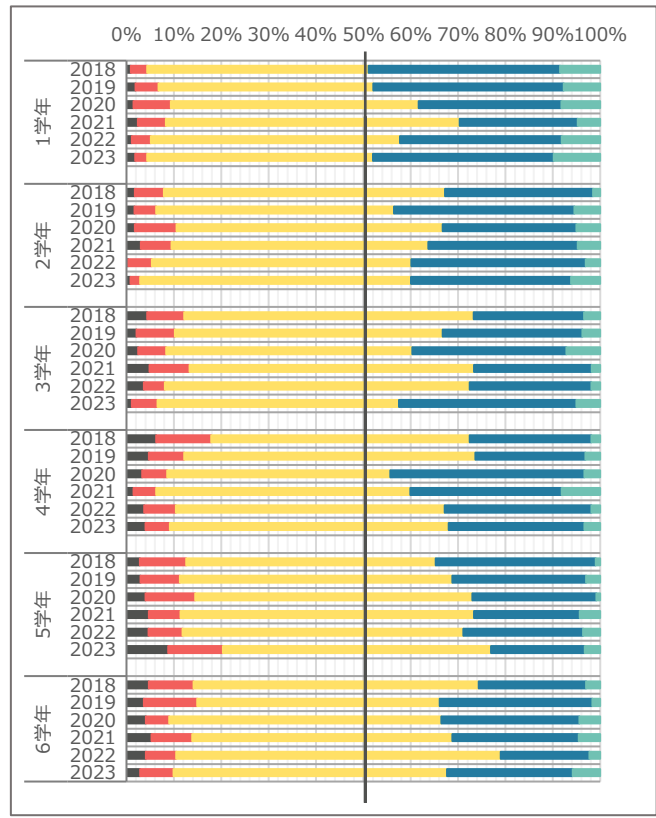
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は1~4学年が多い結果となりました。『不満』『とても不満』の割合は例年一定数あり、特に変化していません。

学習支援や個別の学習指導

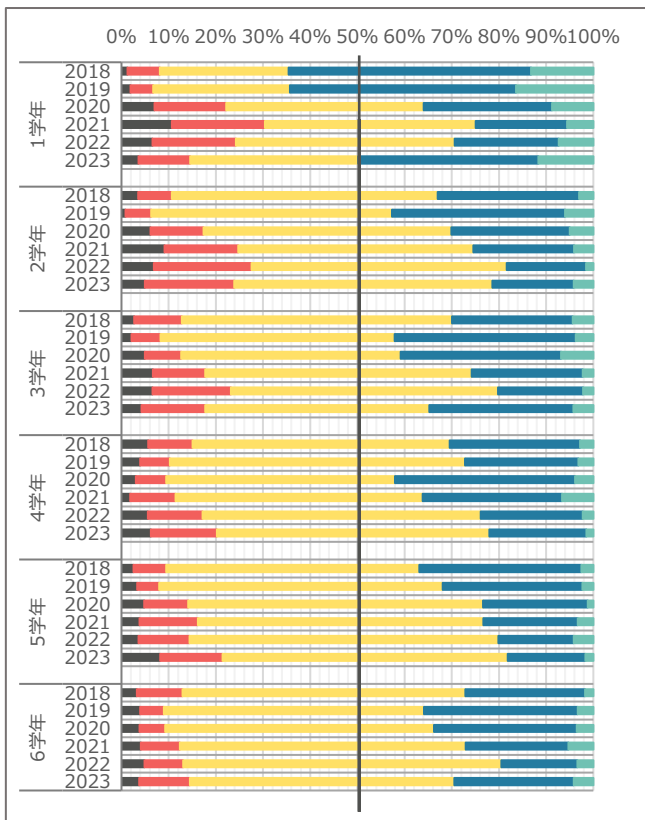
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は30%程度となる一方で、『とても不満』『不満』は10%程度となる傾向があります。特に3学年以上では『とても不満』も割合も増加してきます。

他学部の学生と交流する機会

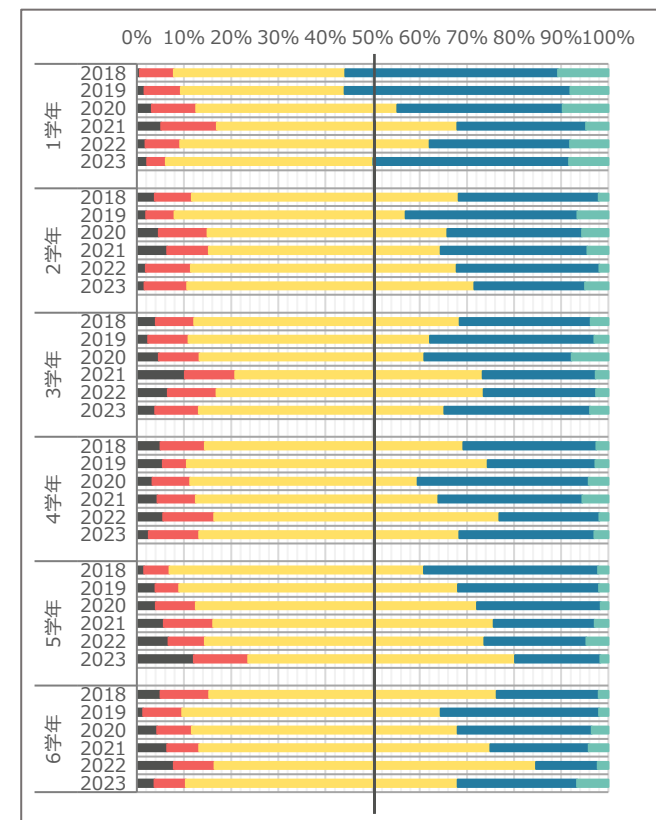
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



1学年では学部混成の授業が実施されることから、多学年と比較して満足度が顕著に高くなる傾向がありますが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、『とても不満』『不満』が多学年よりも多いという逆転現象が生じました。2023年度は授業形態が戻りつつあり、満足度の高い回答が増えています。

大学の中での学生同士の一体感

■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足

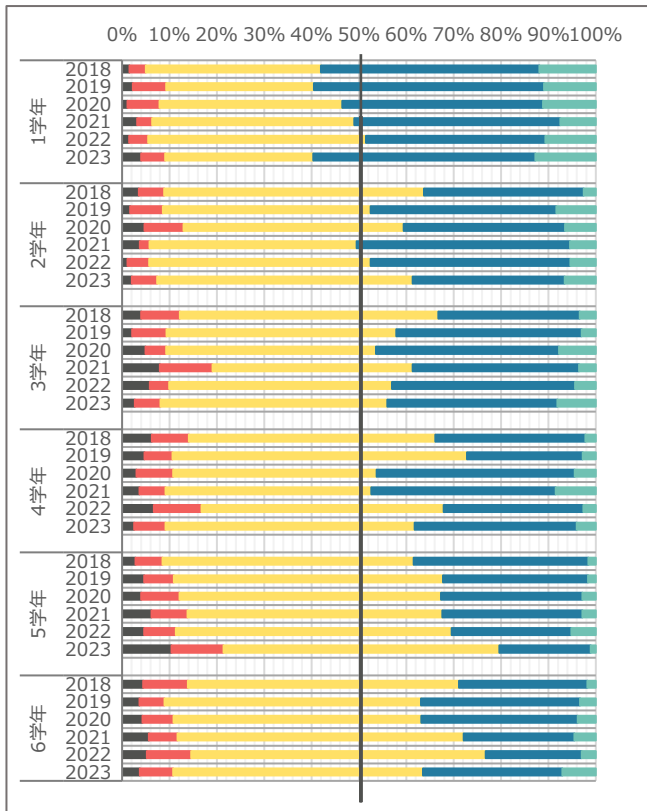


『満足』『とても満足』の回答は1学年が一番多く、約半数となっていますが、2学年以降の満足度はほぼ横ばいとなっています。1学年の回答は、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受けていると考えられますが、2023年度は授業形態が戻りつつあり、満足度の高い回答が増えています。

06_教育内容満足度

多様な考え方を認め合う雰囲気

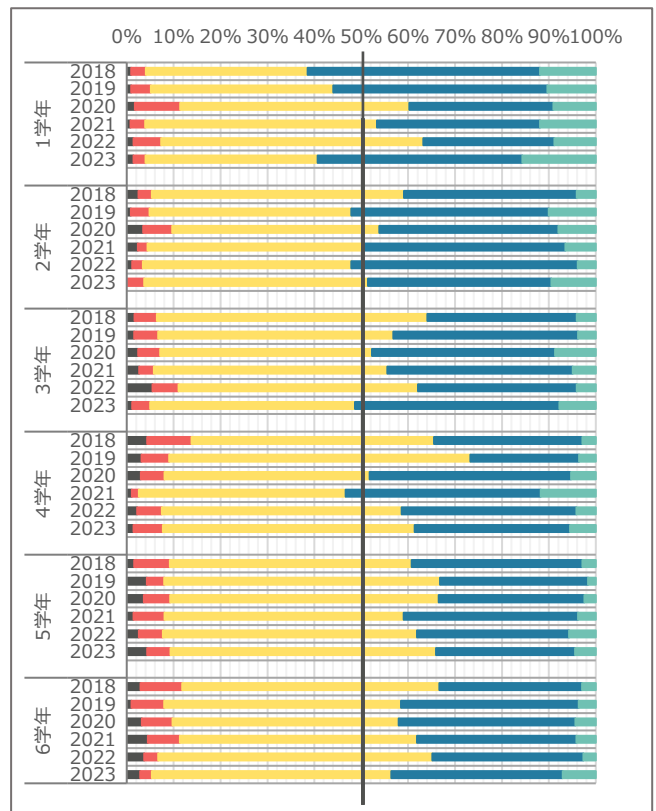
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



第1学年では2020年度以降は新型コロナウイルス感染対策として講義形式が一部制限されたこと等により、満足度は低下していましたが、2023年度は2019年度の満足度とほぼ同数となっています。

医療・介護の現場における実習・インターンシップ

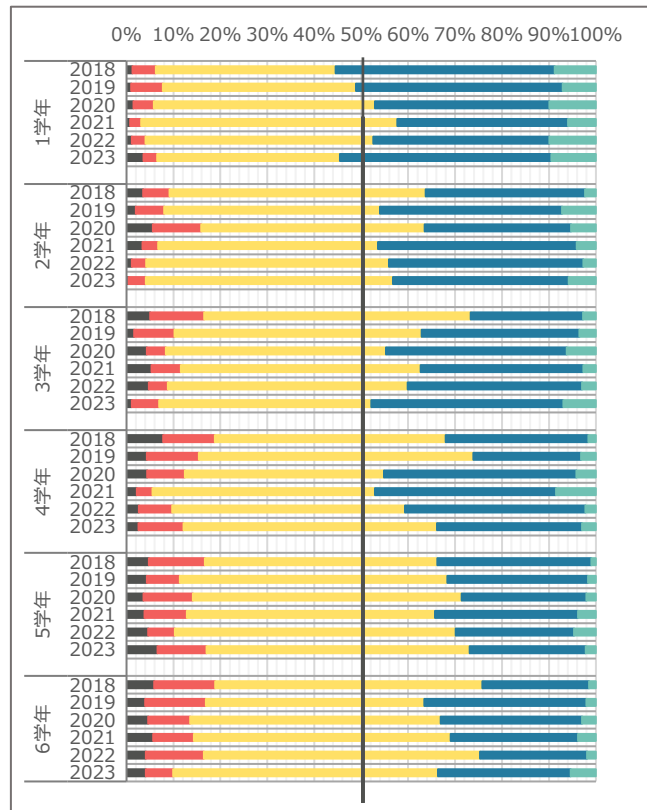
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『どちらでもない』が最も多くなっており、『とても満足』『満足』は40%前後となっています。2020年度以降4学年の『満足』『とても満足』の回答が増加しておりますが、看護学部の学生の回答が反映されたためと考えられます。

卒業時の学修成果に向けたカリキュラム構築

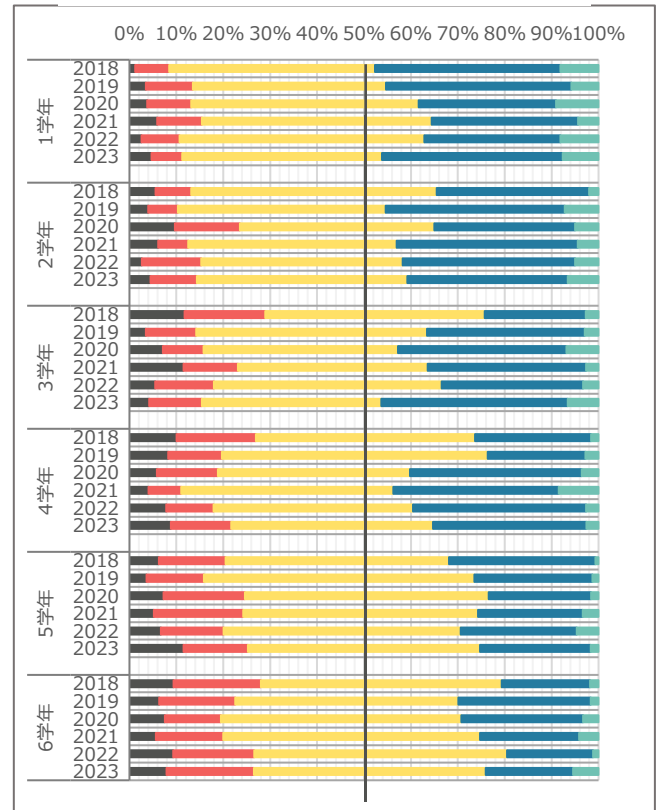
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『どちらでもない』の回答が一番多い結果となりました。2020年度以降4学年の『満足』『とても満足』の回答が増加しておりますが、看護学部の学生の回答が反映されたためと考えられます。

進級試験・卒業試験の適切性

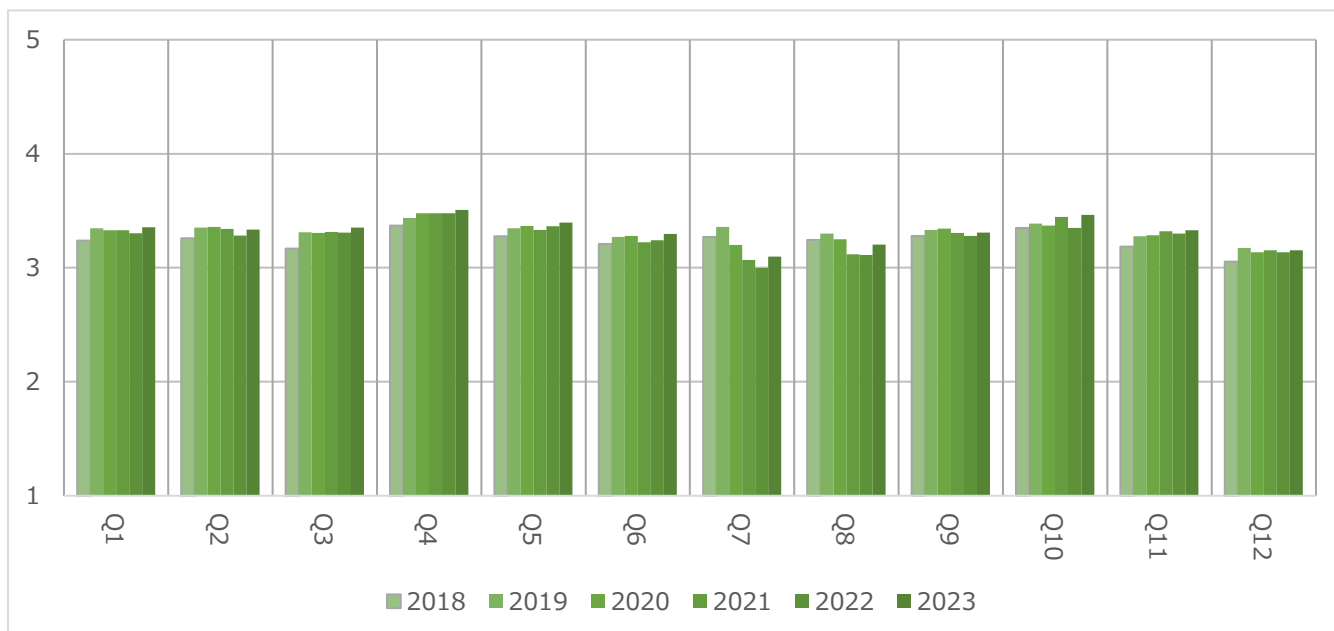
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『どちらでもない』の回答が一番多く、満足度の評価は2極化しています。2020年度以降4学年の『満足』『とても満足』の回答が増加しておりますが、看護学部の学生の回答が反映されたためと考えられます。

06_教育内容満足度

「教育内容満足度」各設問の平均スコア



【設問】

Q1_教養教育の授業・実習

Q2_初年次生を対象とした専門教育

Q3_授業の全体的な質

Q4_将来の仕事と授業内容の結びつき

Q5_教員と話をする機会

Q6_学習支援や個別の学習指導

Q7_他学部の学生と交流する機会

Q8_大学のなかで学生同士の一体感

Q9_多様な考え方を認め合う雰囲気

Q10_医療・介護の現場における実習・インターンシップ

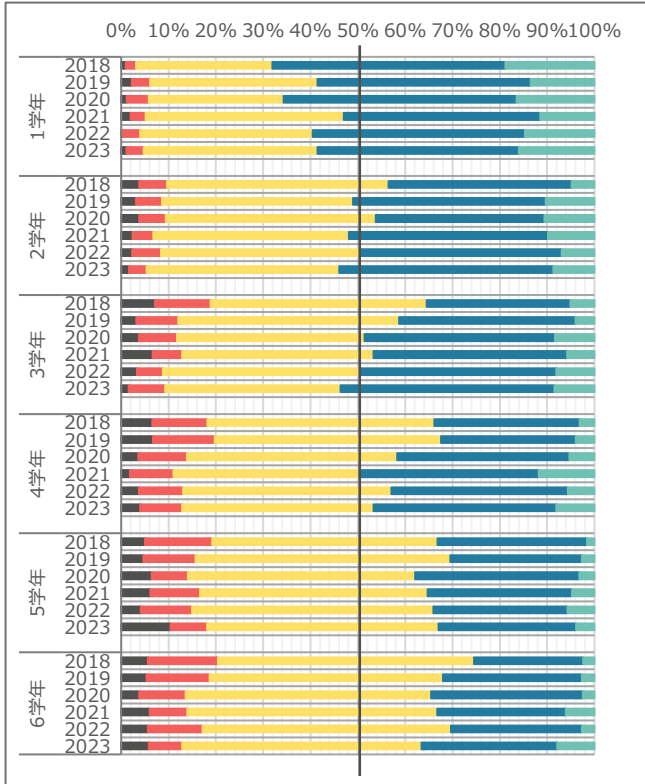
Q11_卒業時の学修成果に向けたカリキュラム構築

Q12_進級試験・卒業試験の適切性

07_学修環境満足度

図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス）

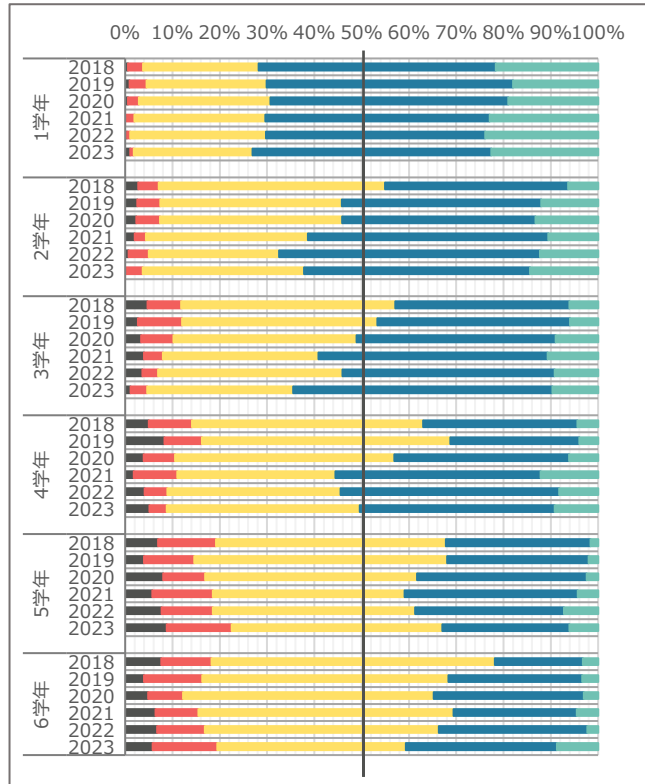
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足度は減少傾向にあります。2023年度も大きな変化はありません。

実習室の設備や器具

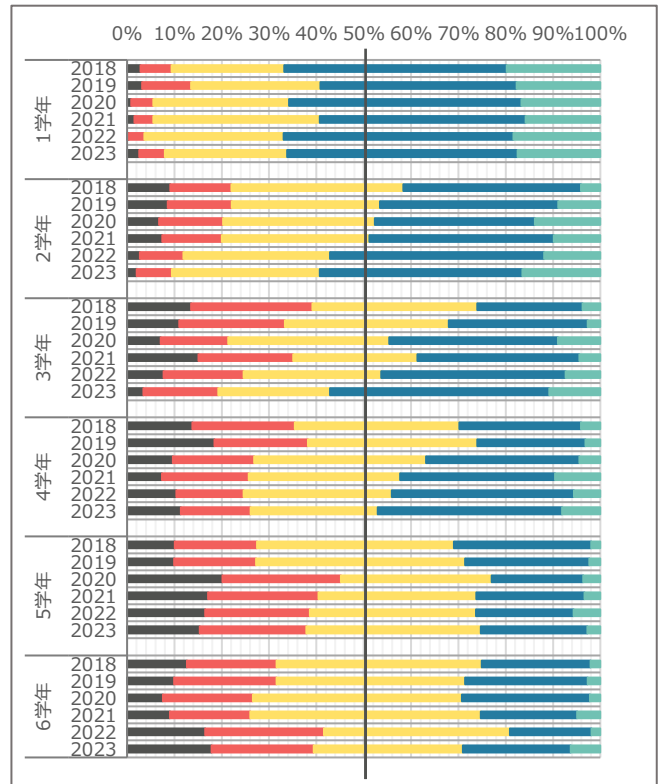
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足している回答が減少傾向にあります。『どちらでもない』を併せると80%以上は不満を感じています。

自習スペース

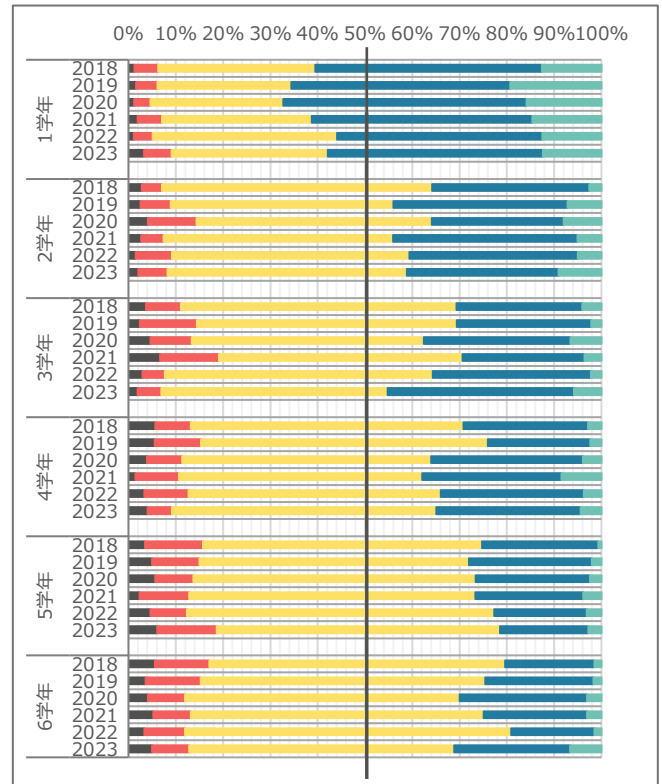
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足度は減少傾向にあります。他の学修環境と比較して、『とても不満』の割合が高い傾向にあります。1~4学年においては年々満足度の増加傾向が見られますが、5~6学年についてはほぼ横ばいとなっています。

コンピュータ・リテラシーの訓練や援助

■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足

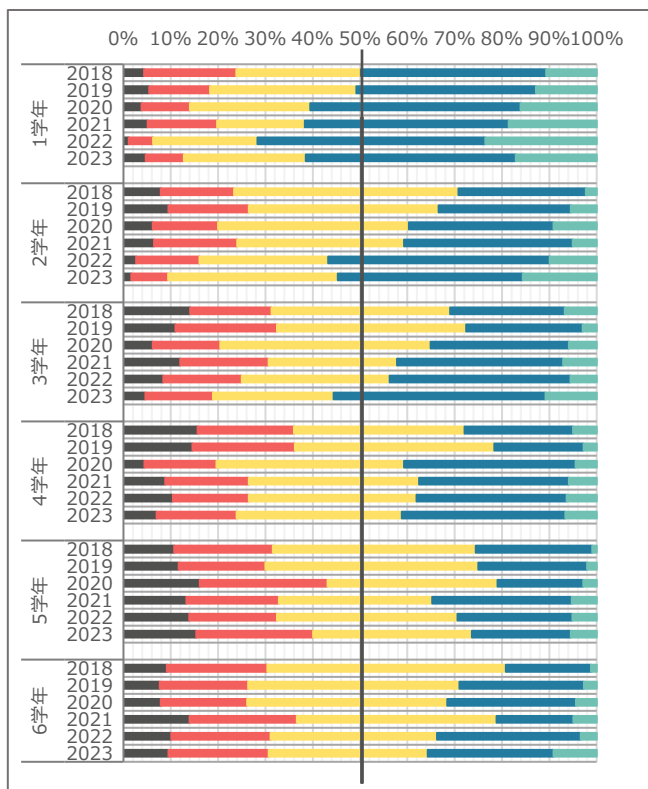


情報リテラシー教育を実施している第1学年においては、満足している回答が過半数を超えています。

07_学修環境満足度

インターネット環境

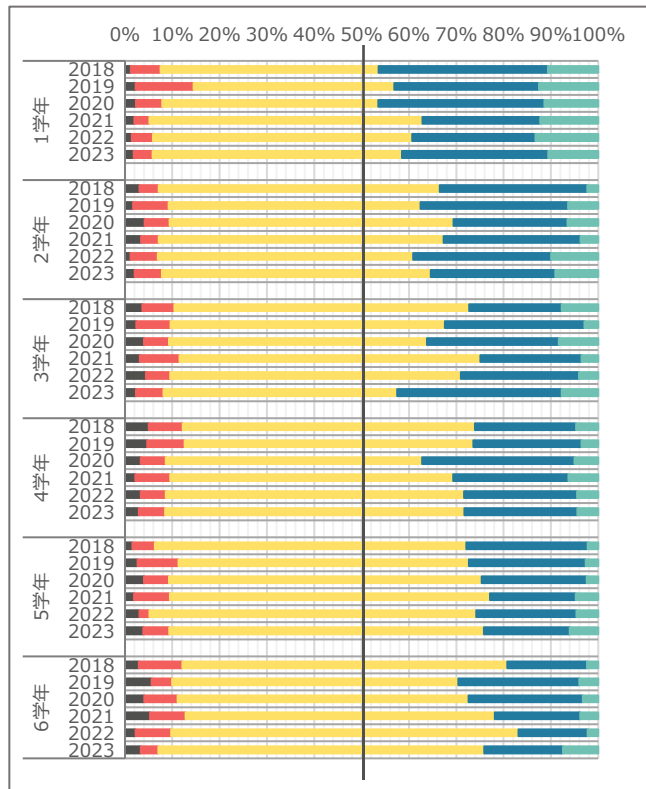
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足度が減少傾向となっていますが、同じ学年の満足度は年々増加傾向となっています。

奨学金などの学費援助の制度

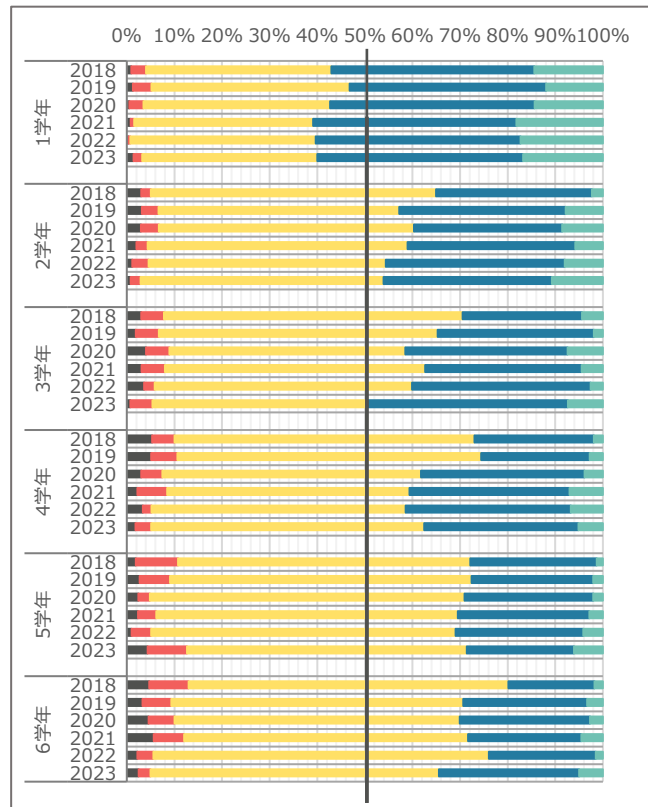
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『とても満足』『満足』『どちらでもない』の回答を併せて、90%程度に達していることから満足度は低くないと考えられますが、『不満』『とても不満』の回答は一定数あり、学年・年度によってあまり変化していません。

健康面サービス（心身の健康にかかわる診断や相談）

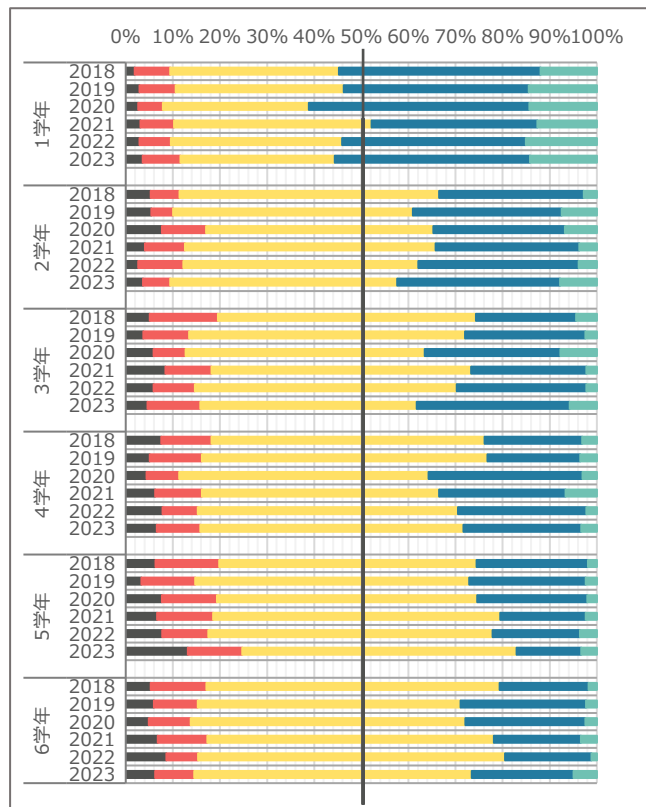
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて満足度が減少傾向にありますが、不満と回答する割合と比較すると、満足度は低いと思われず。

体育施設

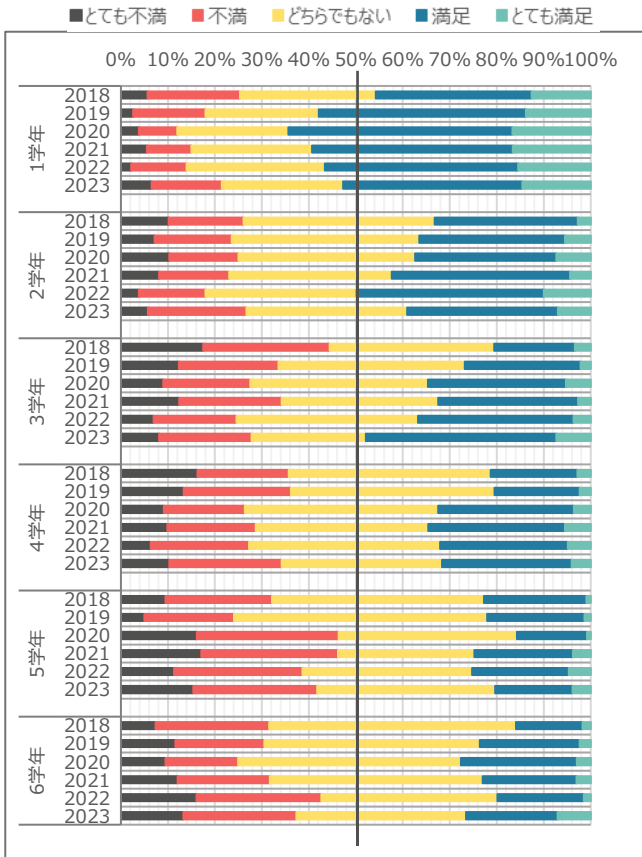
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



体育科目を履修する1学年では『満足』『とても満足』の回答が半数近くを占めています。2学年以降は満足が減少し、不満の割合が若干増加します。

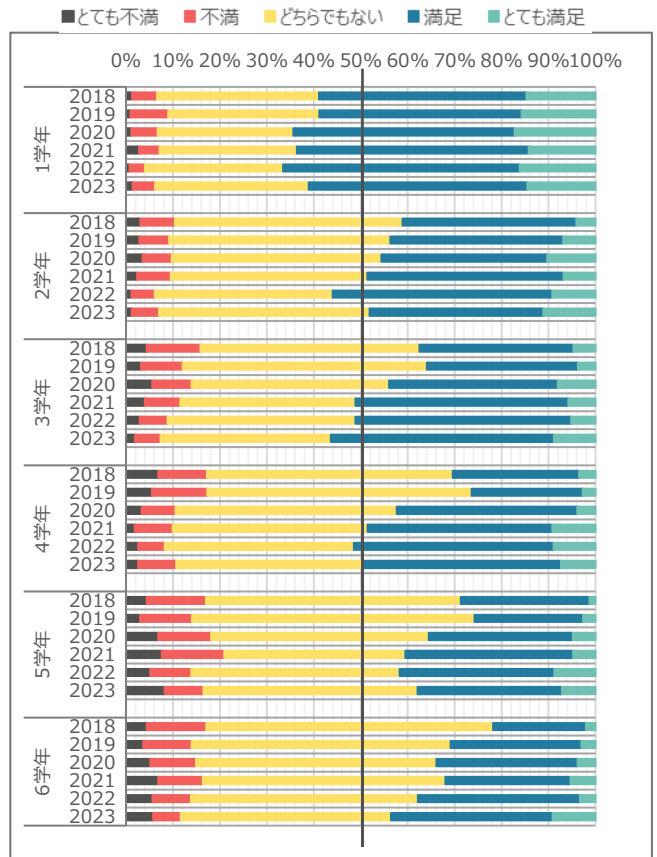
07_学修環境満足度

食堂・売店



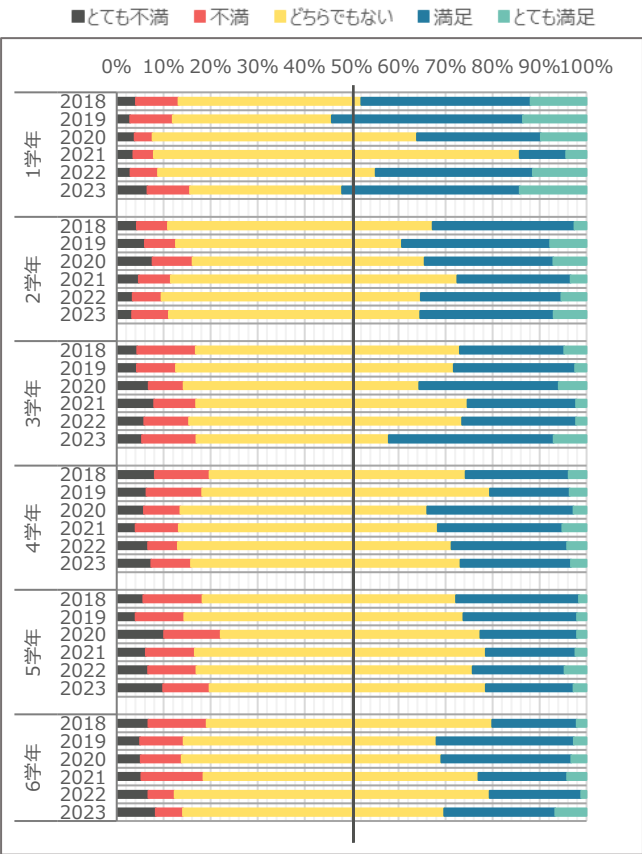
学修環境の中で満足度が低い項目となっており、ほとんどの学年、年度で、肯定的な回答よりも否定的な回答の数が上回っています。

書籍販売店



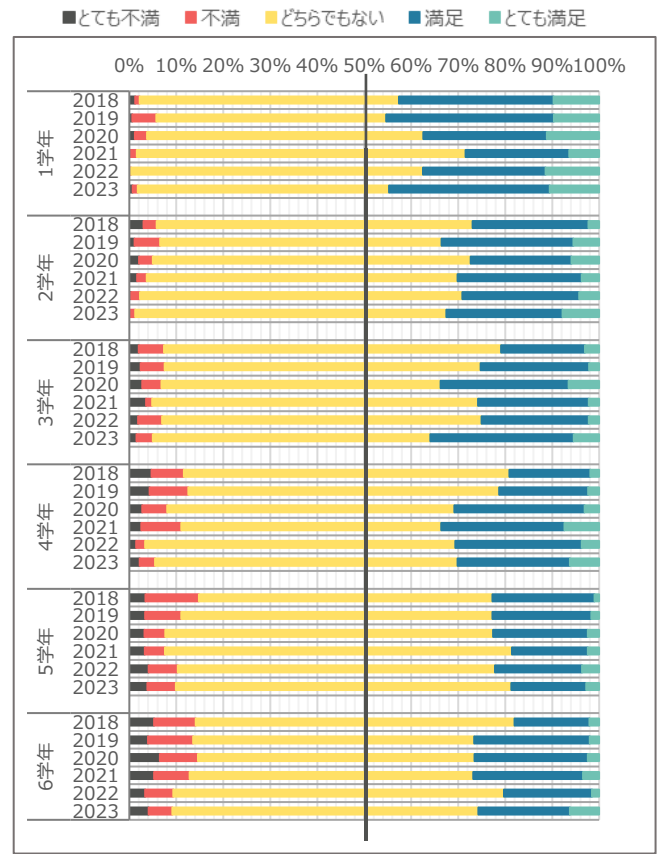
1学年では『満足』『とても満足』の回答が半数近くあり、『不満』『とても不満』の回答が他学年より少ない傾向にあります。また、2学年以降は『満足』『とても満足』の回答が減少した分、『不満』『とても不満』が増加している傾向にあります。

クラブ活動の施設



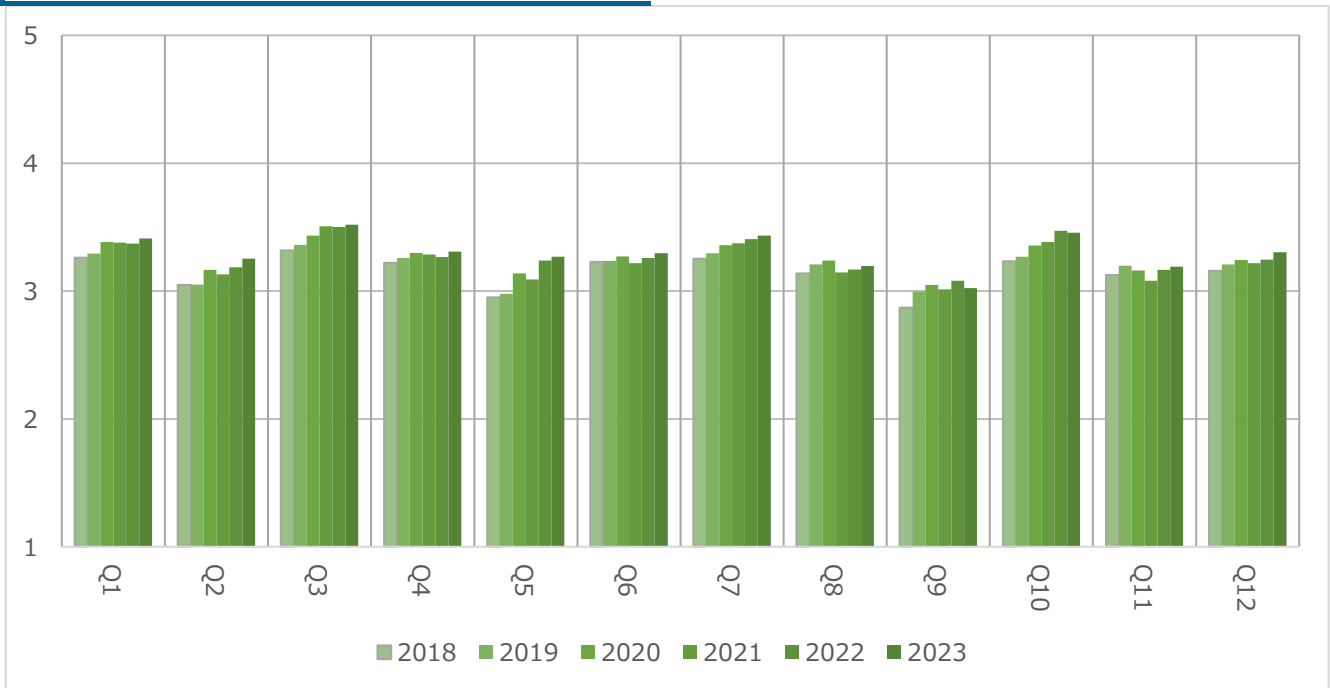
『満足』『とても満足』の回答が学年があがるにつれて減少傾向にあります。『不満』『とても不満』の回答は学年、年度によって大きな変化がありません。

キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



学年があがるにつれて、『とても不満』『不満』が増加傾向にあります。『どちらでもない』『満足』『とても満足』を併せると90%程度に達します。

「学修環境満足度」各設問の平均スコア



【設問】

Q1_図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス)

Q2_自習スペース(多目的ホール、SGL、ラーニングcommonsなど)

Q3_実習室の設備や器具

Q4_コンピュータ・リテラシーの訓練や援助

Q5_インターネット環境

Q6_奨学金などの学費援助の制度

Q7_健康面サービス(心身の健康に関わる診療や相談)

Q8_体育施設

Q9_食堂・売店

Q10_書籍販売店

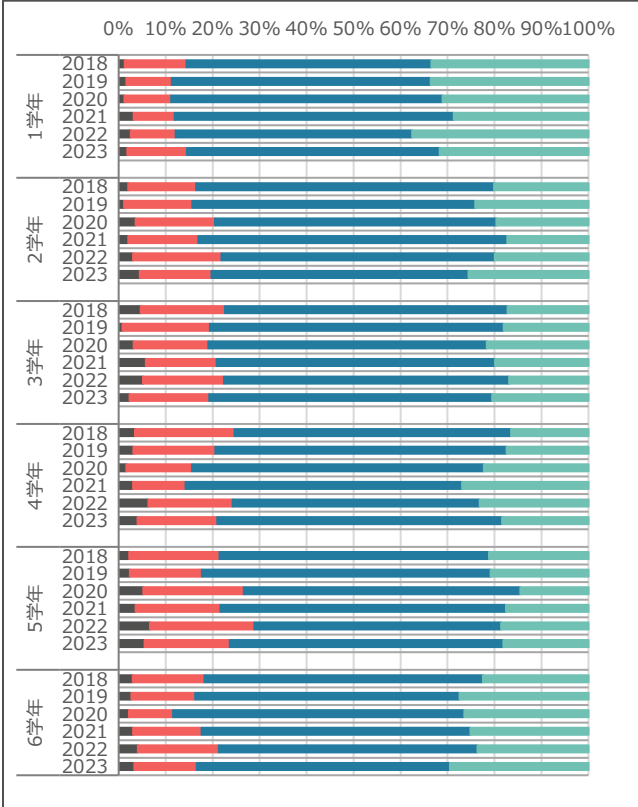
Q11_クラブ活動用の施設

Q12_キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)

08_ 将来ビジョンとモチベーション

将来こういう医療人でありたいというビジョン

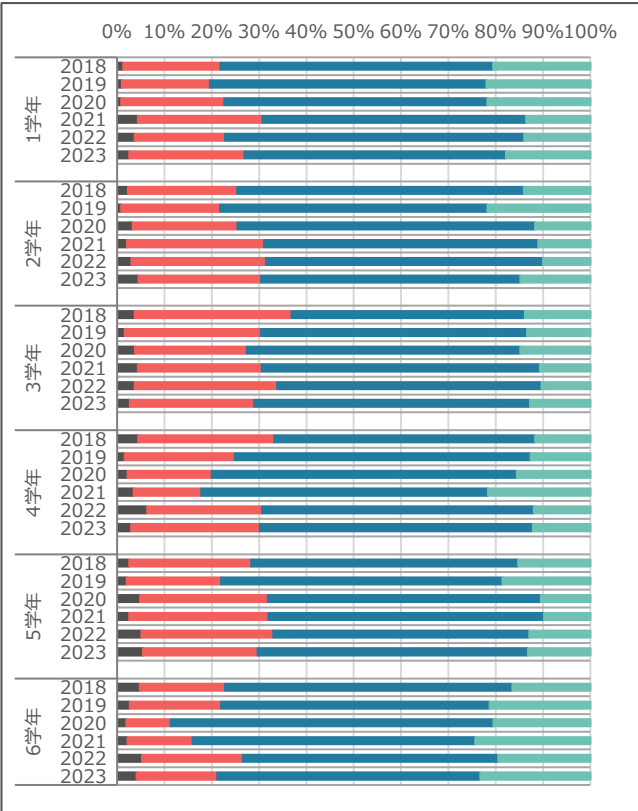
■ ない ■ あまりはっきりしない ■ どちらかといえばある ■ 明快なものがある



肯定的な回答が8割以上を占める結果となりました。『明快なものがある』の回答は1学年以降減少し、4学年頃から徐々に増加していく傾向があります。

目標実現のための行動

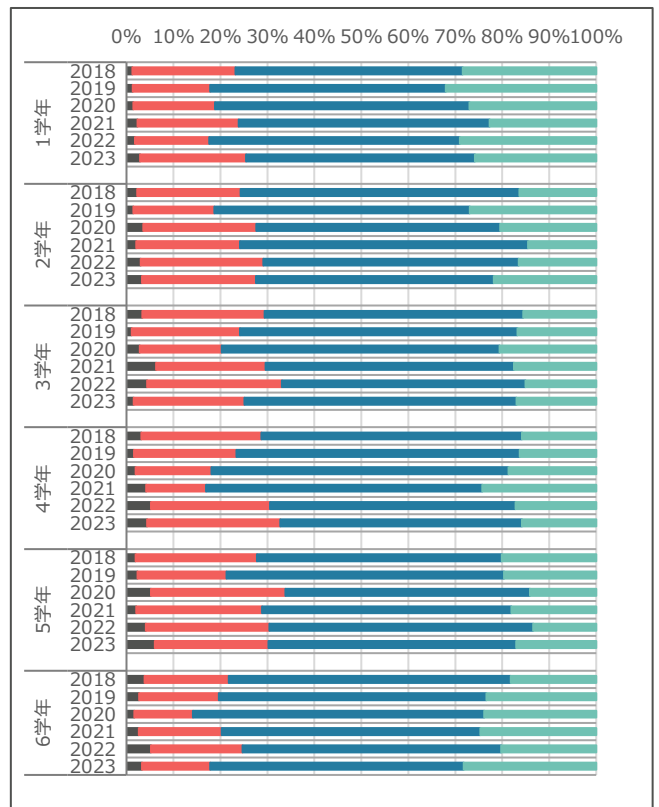
■ 行動していない ■ 行動が怠りがちである ■ 不十分ながら行動している ■ 着実に行動している



肯定的な回答が7割を超える結果となりました。肯定的な回答は年々若干の増加傾向にあります。

将来像実現のために、なすべき具体的な目標

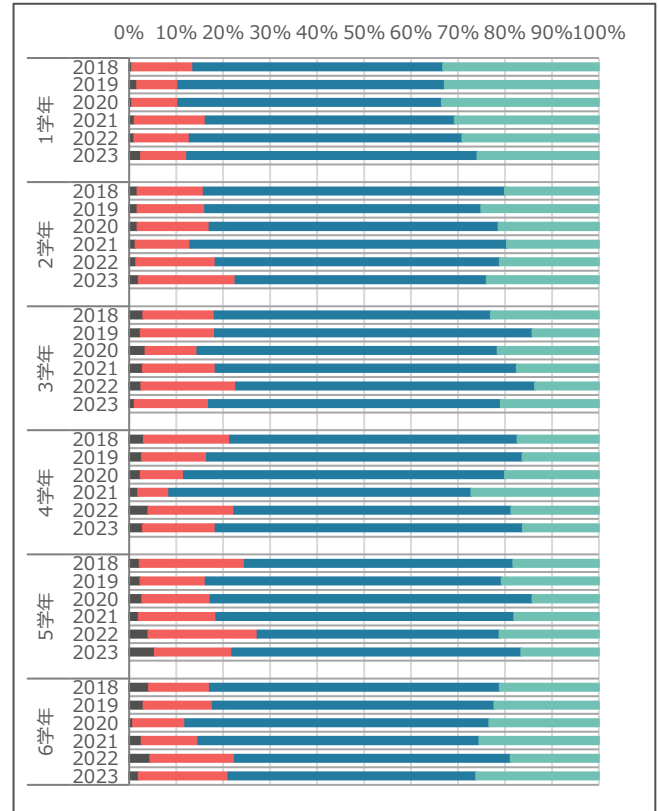
■ わからない ■ あまりはっきりしない ■ どちらかといえばわかっている ■ わかっている



肯定的な回答が7割以上を占める結果となりました。肯定的な回答は1学年以降減少し、4学年頃から徐々に増加していく傾向があります。

勉学を継続する意欲(自己の成長に取り組む意欲)

■ ない ■ 減衰している ■ ある ■ 強くある



肯定的な回答が約8割を占める結果となりました。肯定的な回答は年々若干の増加傾向にあります。

4-1 年度別卒業生数・卒業率推移

出典データ：岩手医科大学 大学概要 データ編 他

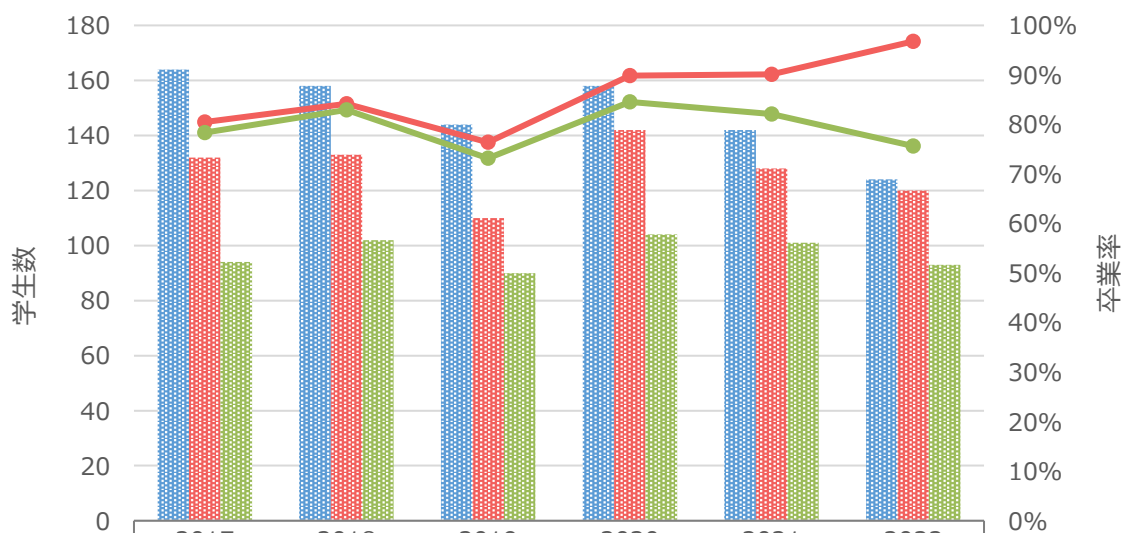
卒業生数：当該年度に卒業した学生数

卒業率：6年学生数に対する卒業生の割合

修業年限内卒業生：大学が定める修業年限（医歯薬学部：6年 看護学部：4年）以内に卒業した学生数

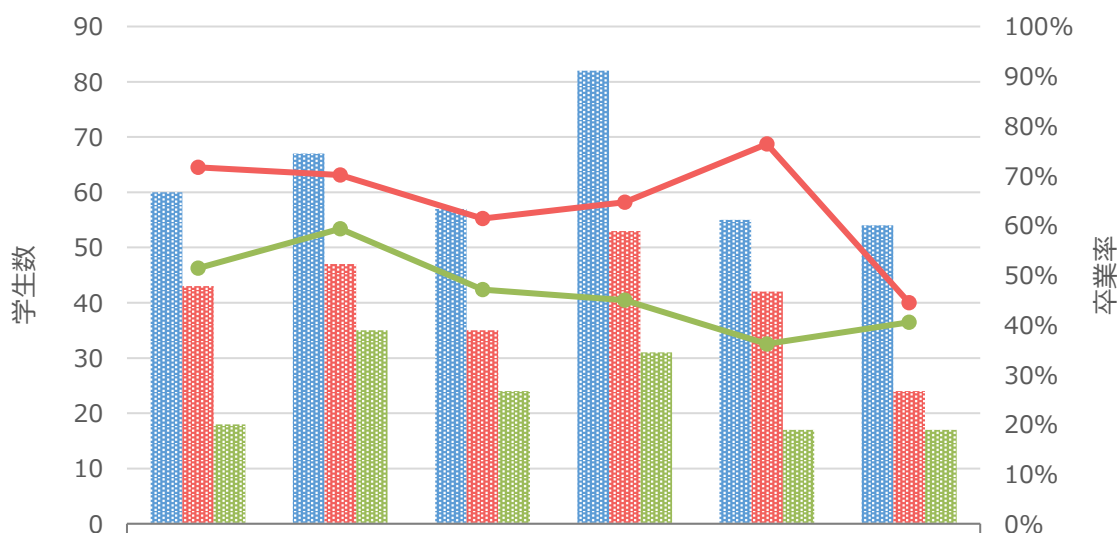
修業年限内卒業率：大学が定める修業年限以内に卒業した学生の割合（入学時の学生数を分母とする）

医学部



6年学生数	164	158	144	158	142	124
卒業生数	132	133	110	142	128	120
うち修業年限内卒業生数	94	102	90	104	101	93
卒業率	80.5%	84.2%	76.4%	89.9%	90.1%	96.8%
修業年限内卒業率	78.3%	82.9%	73.2%	84.6%	82.1%	75.6%

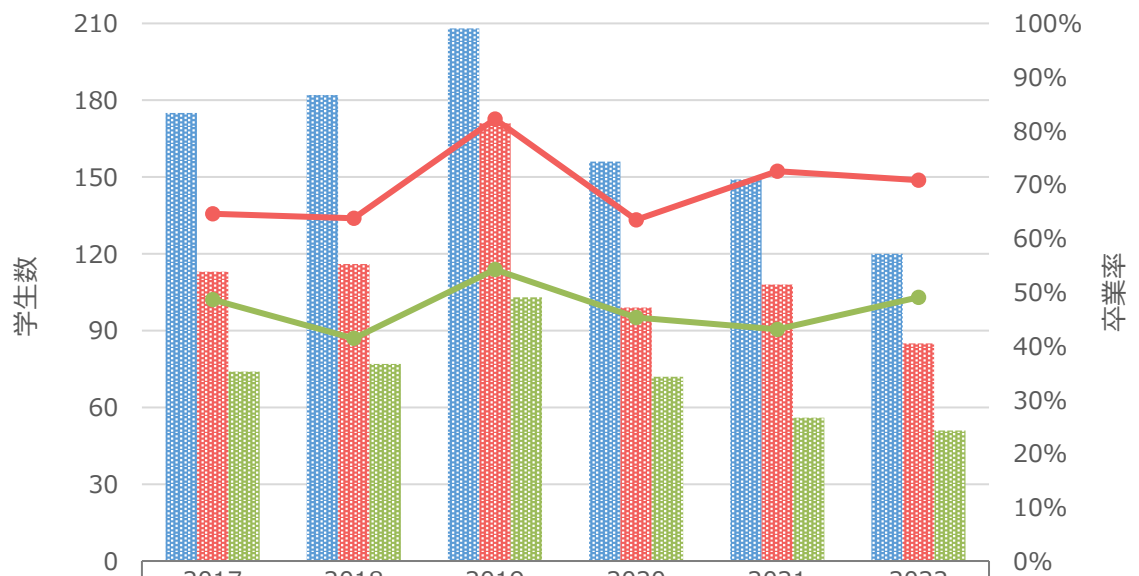
歯学部



6年学生数	60	67	57	82	55	54
卒業生数	43	47	35	53	42	24
うち修業年限内卒業生数	18	35	24	31	17	17
卒業率	71.7%	70.1%	61.4%	64.6%	76.4%	44.4%
修業年限内卒業率	51.4%	59.3%	47.1%	44.9%	36.2%	40.5%

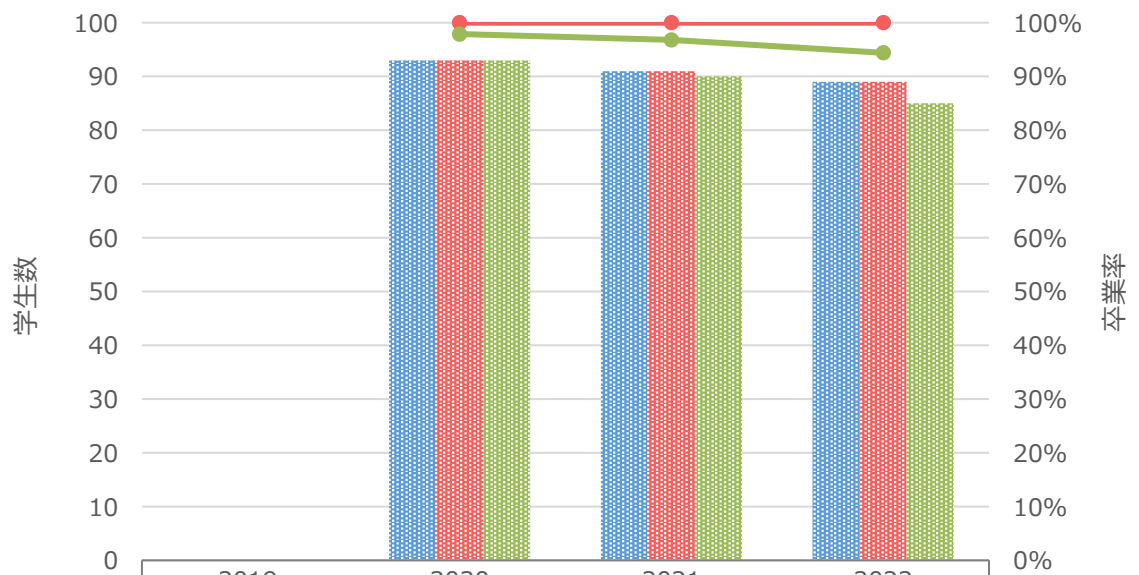
年度別卒業生数・卒業率推移（つづき）

薬学部



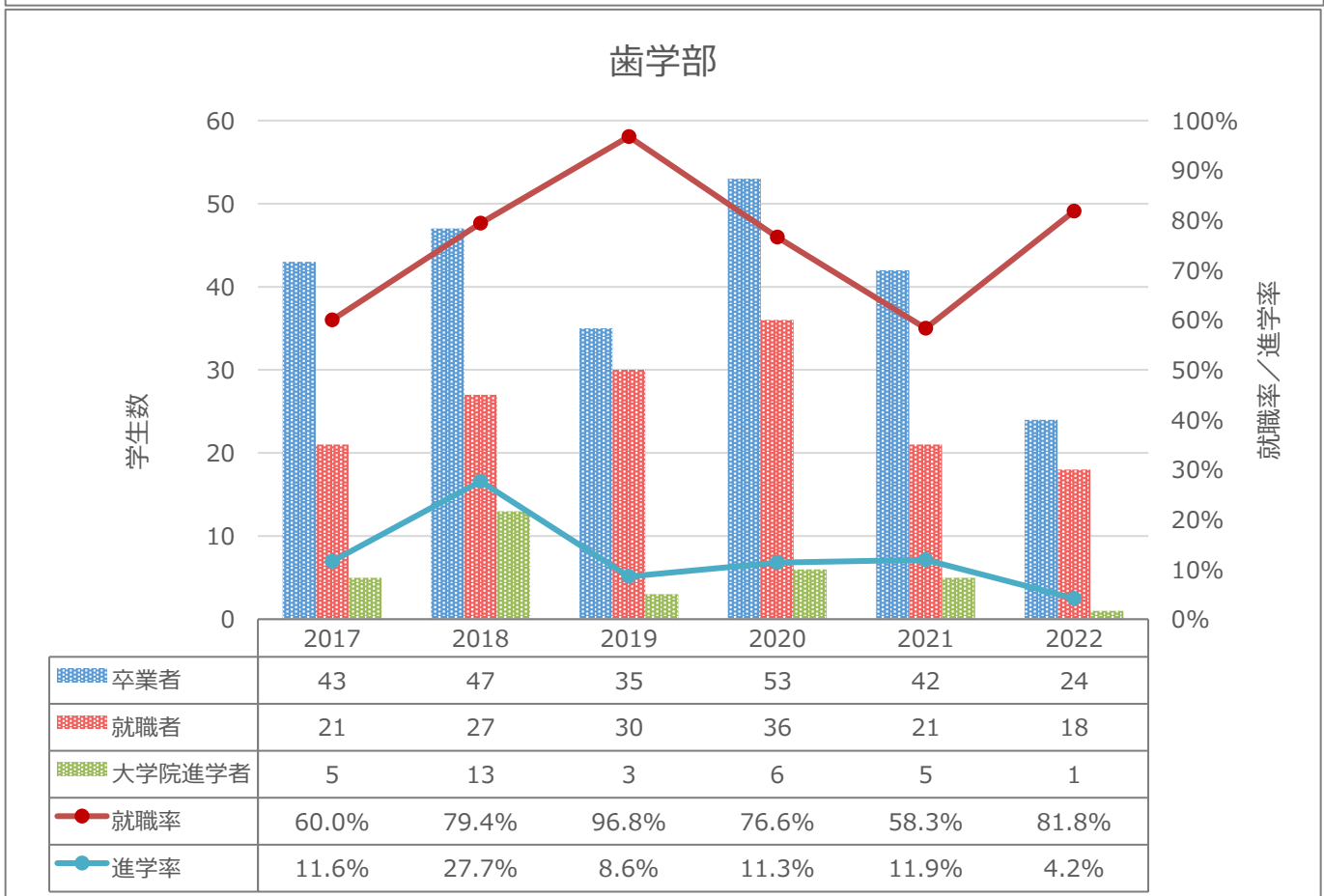
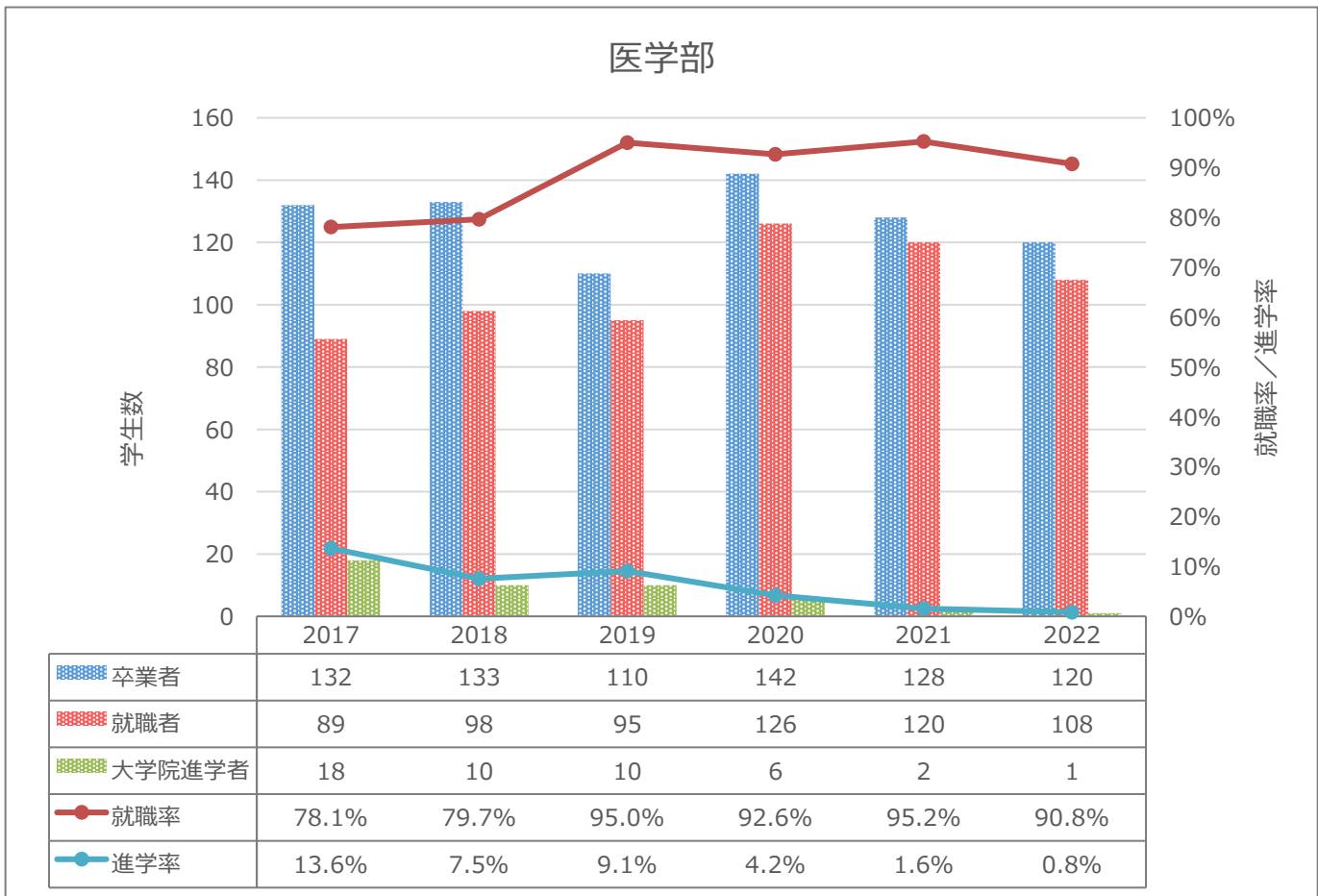
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
6年学生数	175	182	208	156	149	120
卒業生数	113	116	171	99	108	85
うち修業年限内卒業生数	74	77	103	72	56	51
卒業率	64.6%	63.7%	82.2%	63.5%	72.5%	70.8%
修業年限内卒業率	48.7%	41.4%	54.2%	45.3%	43.1%	49.0%

看護学部

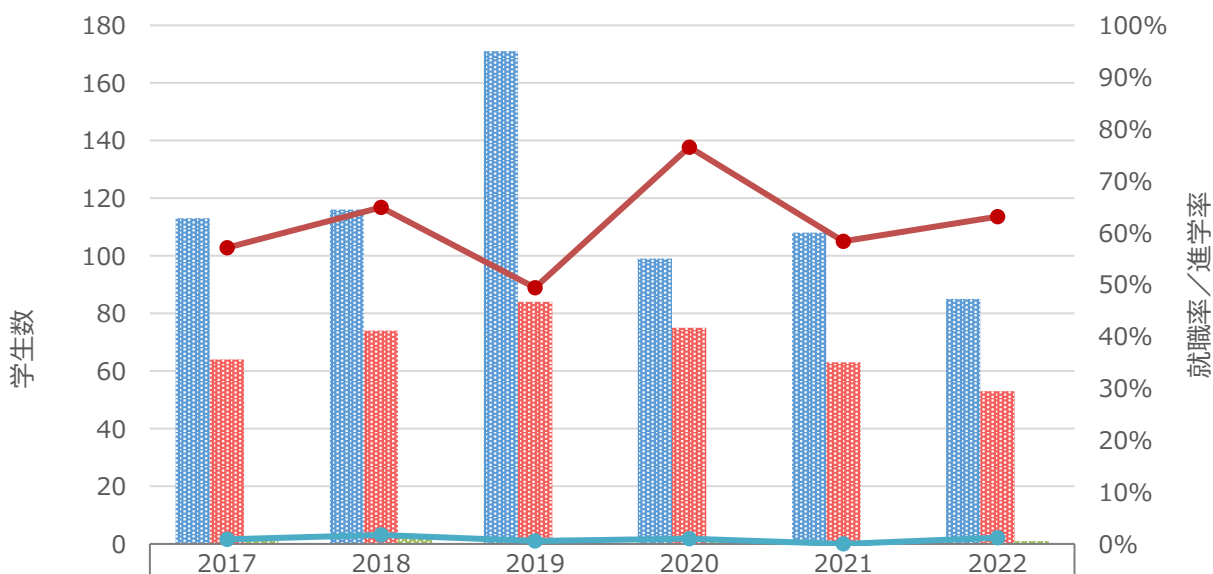


	2019	2020	2021	2022
4年学生数		93	91	89
卒業生数		93	91	89
うち修業年限内卒業生数		93	90	85
卒業率		100.0%	100.0%	100.0%
修業年限内卒業率		97.9%	96.8%	94.4%

就職者：医学部・歯学部においては国家試験に合格し、かつ臨床研修医・臨床研修歯科医として勤務先が確定した者
 薬学部においては国家試験に合格し、かつ薬剤師として就職した者（大学院進学者を兼ねるものを含めない）
 大学院進学者：卒業者のうち、大学院に進学した者（臨床研修医を兼ねる者を含む）

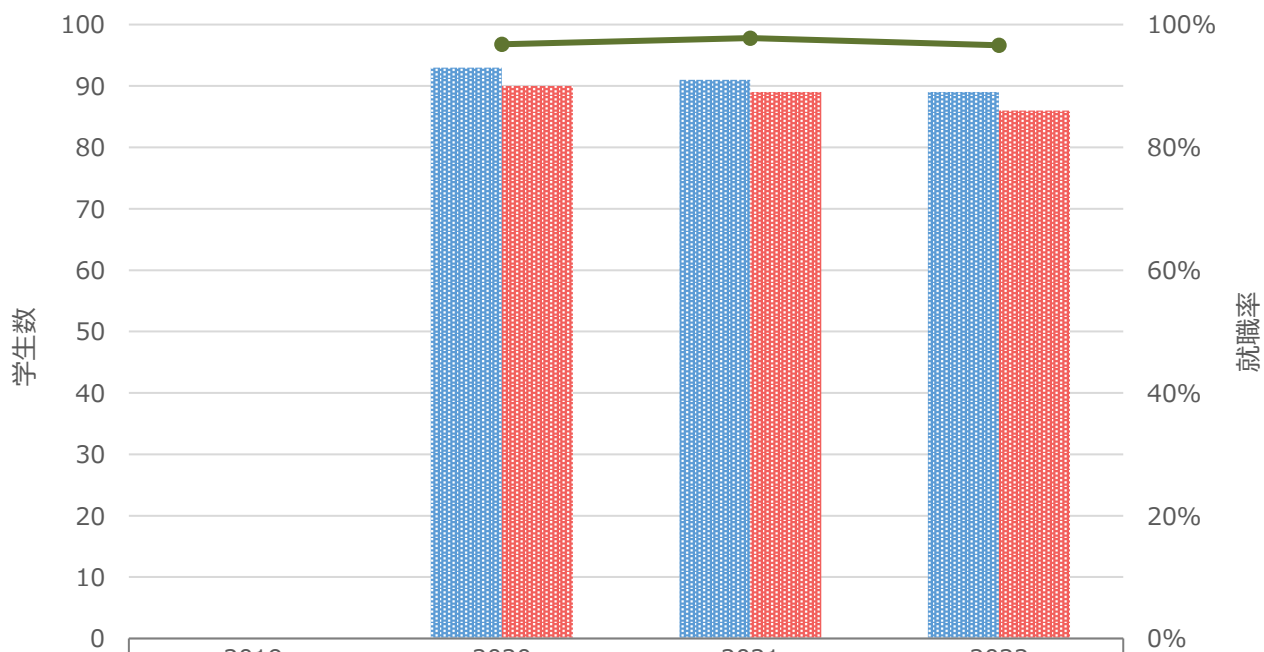


薬学部



卒業生	113	116	171	99	108	85
就職者	64	74	84	75	63	53
大学院進学者	1	2	1	1	0	1
就職率	57.1%	64.9%	49.4%	76.5%	58.3%	63.1%
進学率	0.9%	1.7%	0.6%	1.0%	0.0%	1.2%

看護学部



卒業生	93	91	89
就職者	90	89	86
就職率	96.8%	97.8%	96.6%

4-3 国家試験合格率推移

出典：厚生労働省ホームページ 資格・試験情報

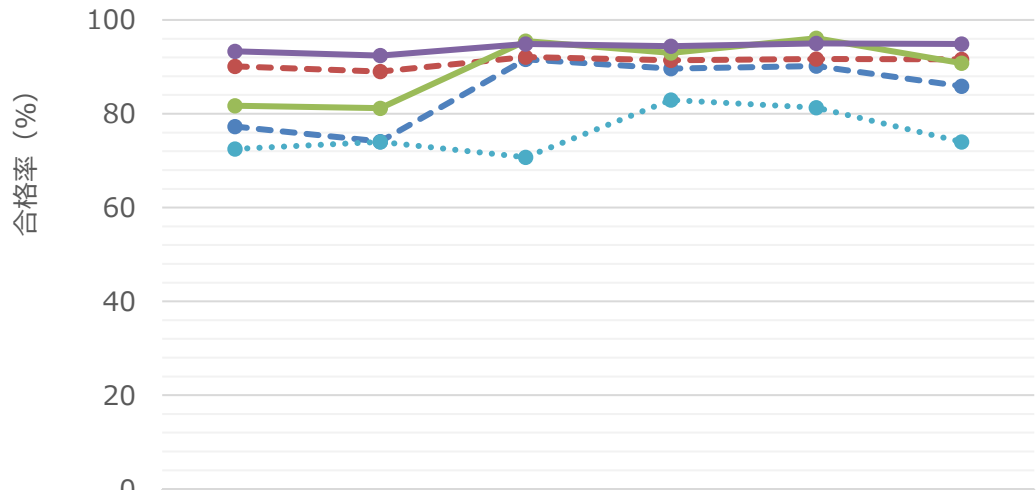
https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shikaku_shiken/

全体：既卒者を含めた大学卒業生全体の合格率（点線表示）

新卒：各年度における新卒者のみの合格率（実線表示）

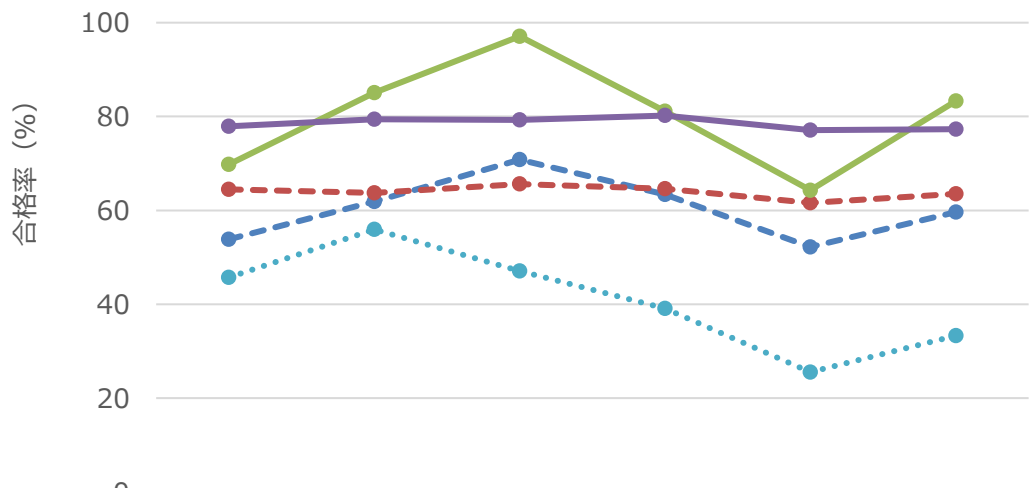
修業年限内での国試合格率：入学時の学生数を分母とした場合の修業年限内で卒業した学生の国試合格率（破線）

医師国家試験合格率推移



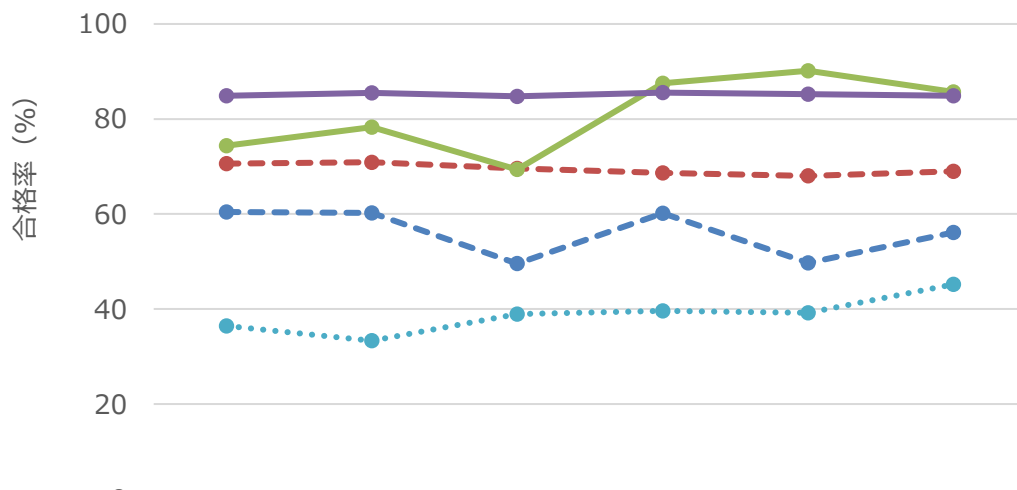
	2017 112回	2018 113回	2019 114回	2020 115回	2021 116回	2022 117回
岩手医科大学（全体）	77.3	74.1	91.6	89.6	90.2	85.9
全国平均（全体）	90.1	89	92.1	91.4	91.7	91.6
岩手医科大学（新卒）	81.7	81.2	95.5	93	96.1	90.8
全国平均（新卒）	93.3	92.4	94.9	94.4	95	94.9
修業年限内での国試合格率	72.5	74.0	70.7	82.9	81.3	74.0

歯科医師国家試験合格率推移



	2017 111回	2018 112回	2019 113回	2020 114回	2021 115回	2022 116回
岩手医科大学（全体）	53.8	61.9	70.8	63.4	52.2	59.6
全国平均（全体）	64.5	63.7	65.6	64.6	61.6	63.5
岩手医科大学（新卒）	69.8	85.1	97.1	81.1	64.3	83.3
全国平均（新卒）	77.9	79.4	79.3	80.2	77.1	77.3
修業年限内での国試合格率	45.7	55.9	47.1	39.1	25.5	33.3

薬剤師国家試験合格率推移

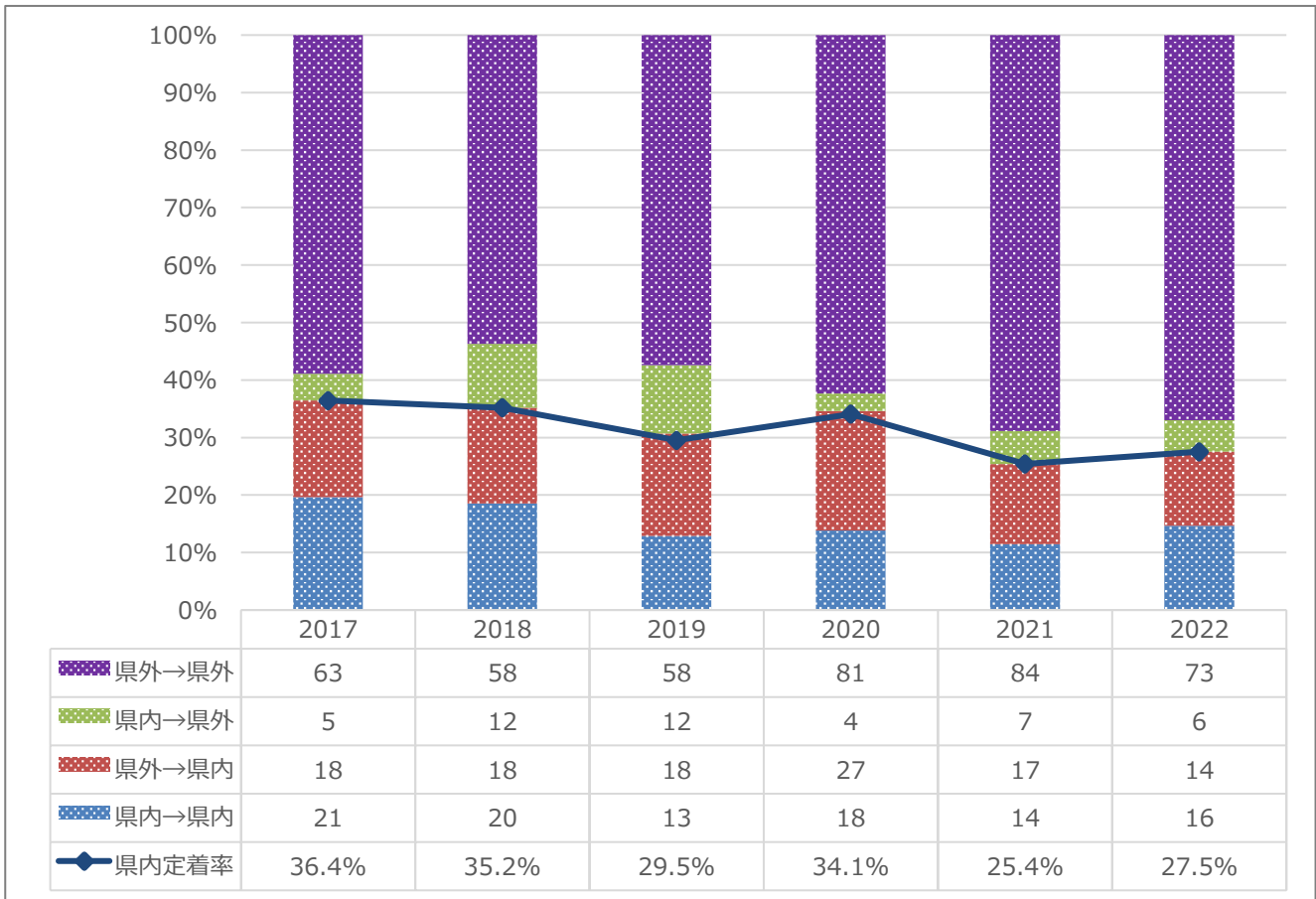


	2017 103回	2018 104回	2019 105回	2020 106回	2021 107回	2022 108回
●● 岩手医科大学（全体）	60.4	60.22	49.57	60.19	49.73	56.1
●● 全国平均（全体）	70.6	70.91	69.58	68.66	68.02	69
●● 岩手医科大学（新卒）	74.4	78.31	69.37	87.5	90.16	85.71
●● 全国平均（新卒）	84.9	85.5	84.78	85.55	85.24	84.86
●●●● 修業年限内での国試合格率	36.5	33.3	38.9	39.6	39.2	45.2

看護師国家試験合格率推移

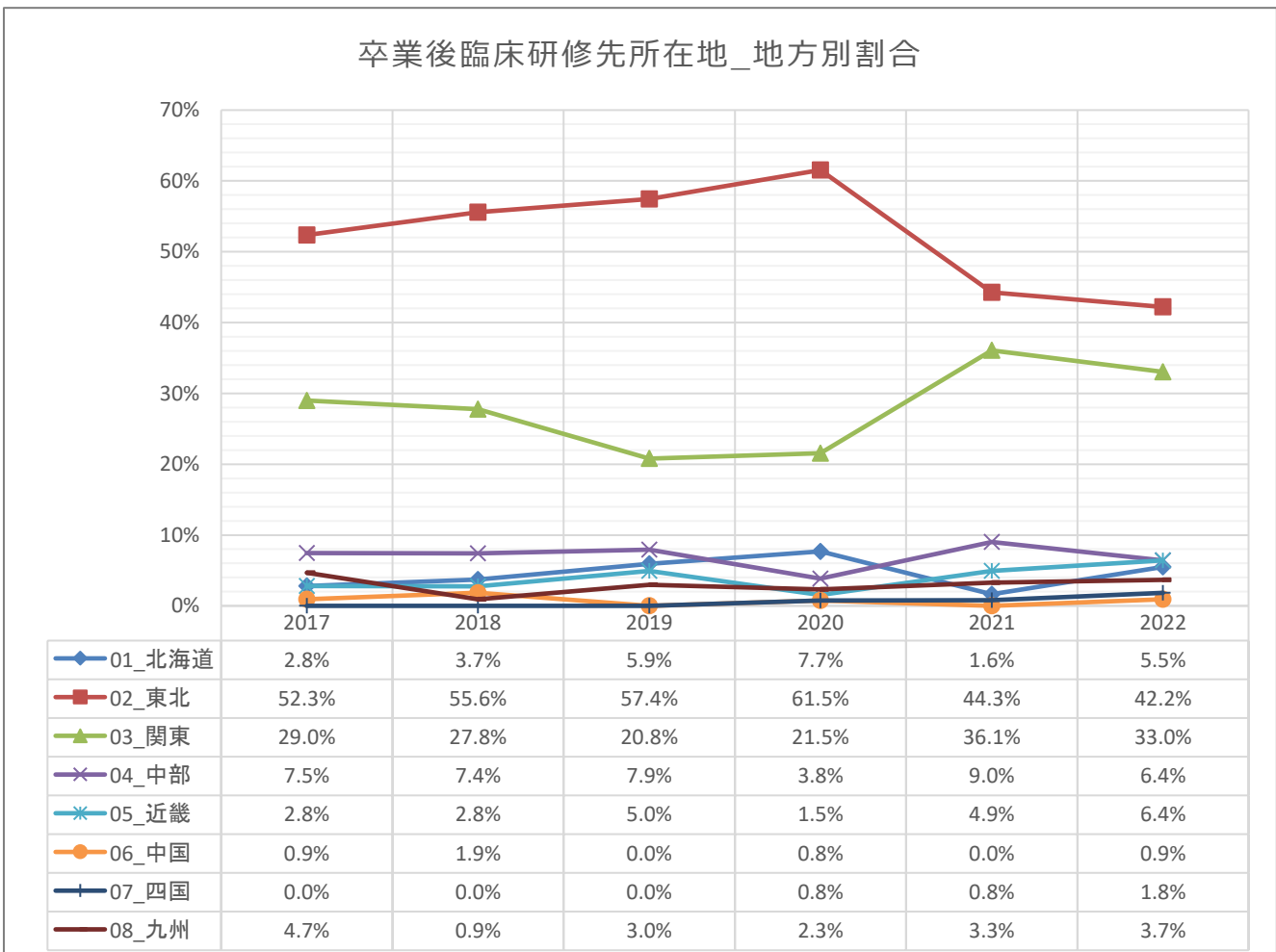


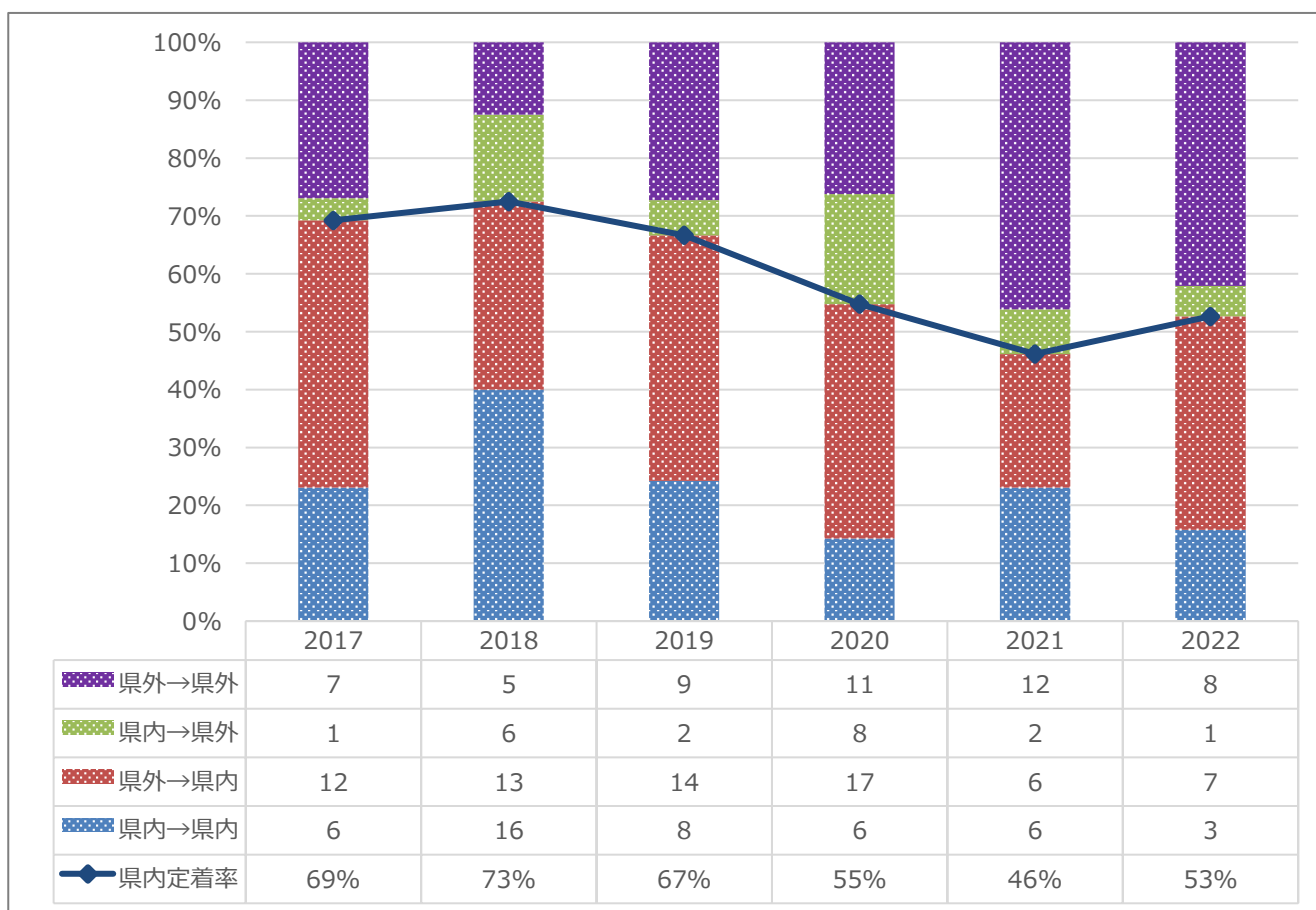
	2019 109回	2020 110回	2021 111回	2022 112回
●● 岩手医科大学（全体）		96.8	100	100
●● 全国平均（全体）		90.4	91.3	90.8
●● 岩手医科大学（新卒）		96.8	100	100
●● 全国平均（新卒）		95.4	96.5	95.5
●●●● 修業年限内での国試合格率		94.7	95.7	92.2



※凡例は「出身高校の所在する県→臨床研修先の病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。

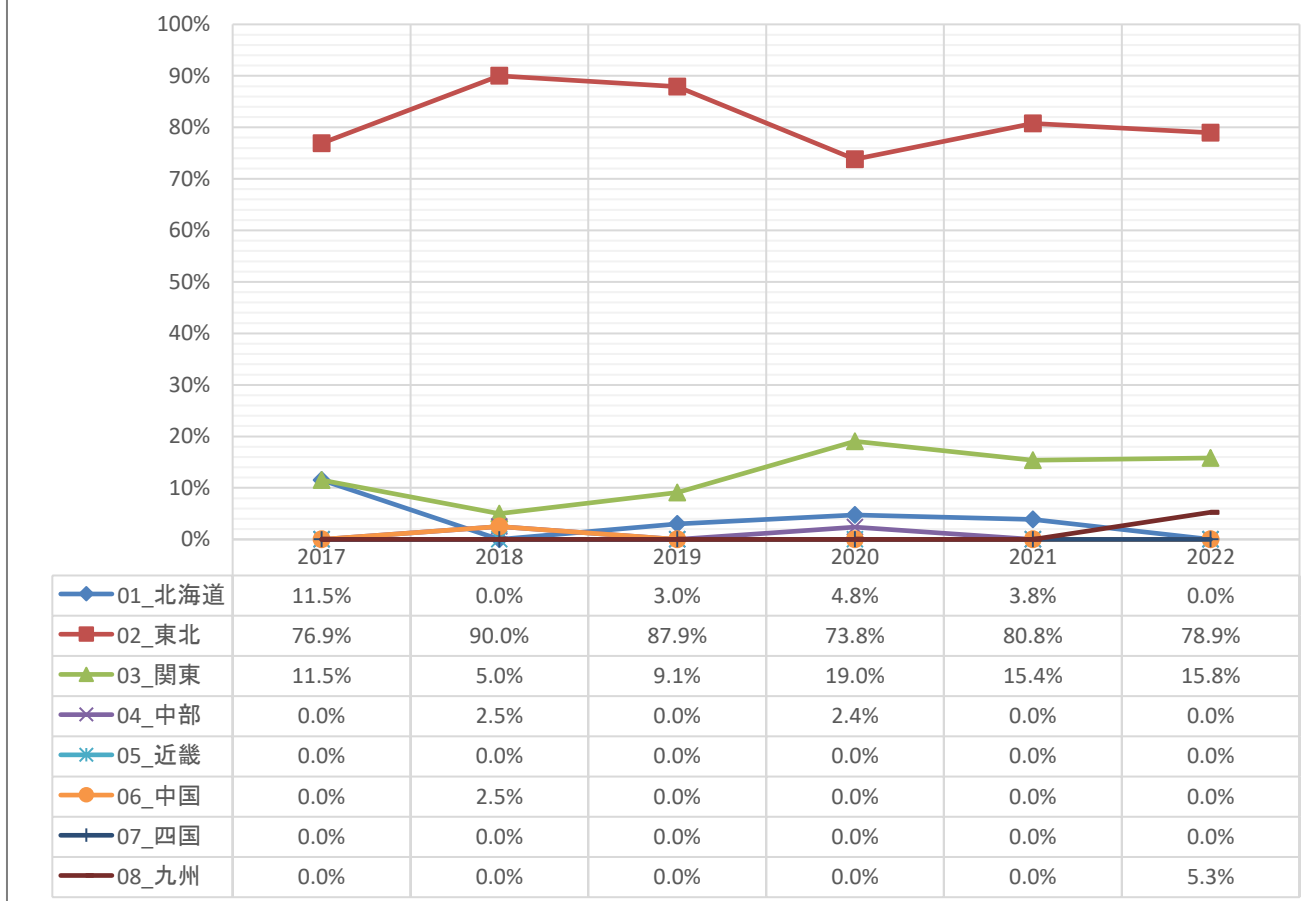
卒業後臨床研修先所在地_地方別割合

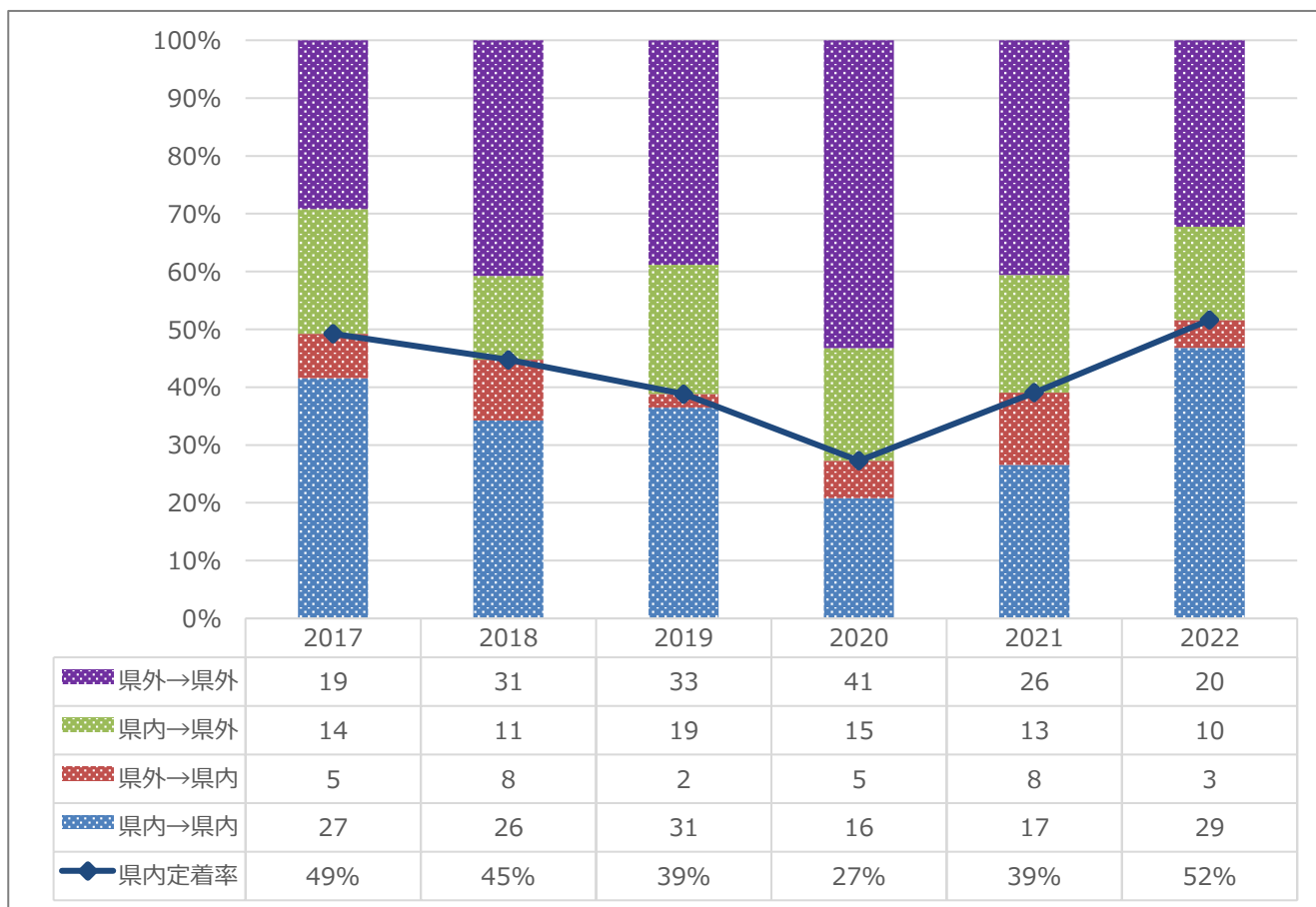




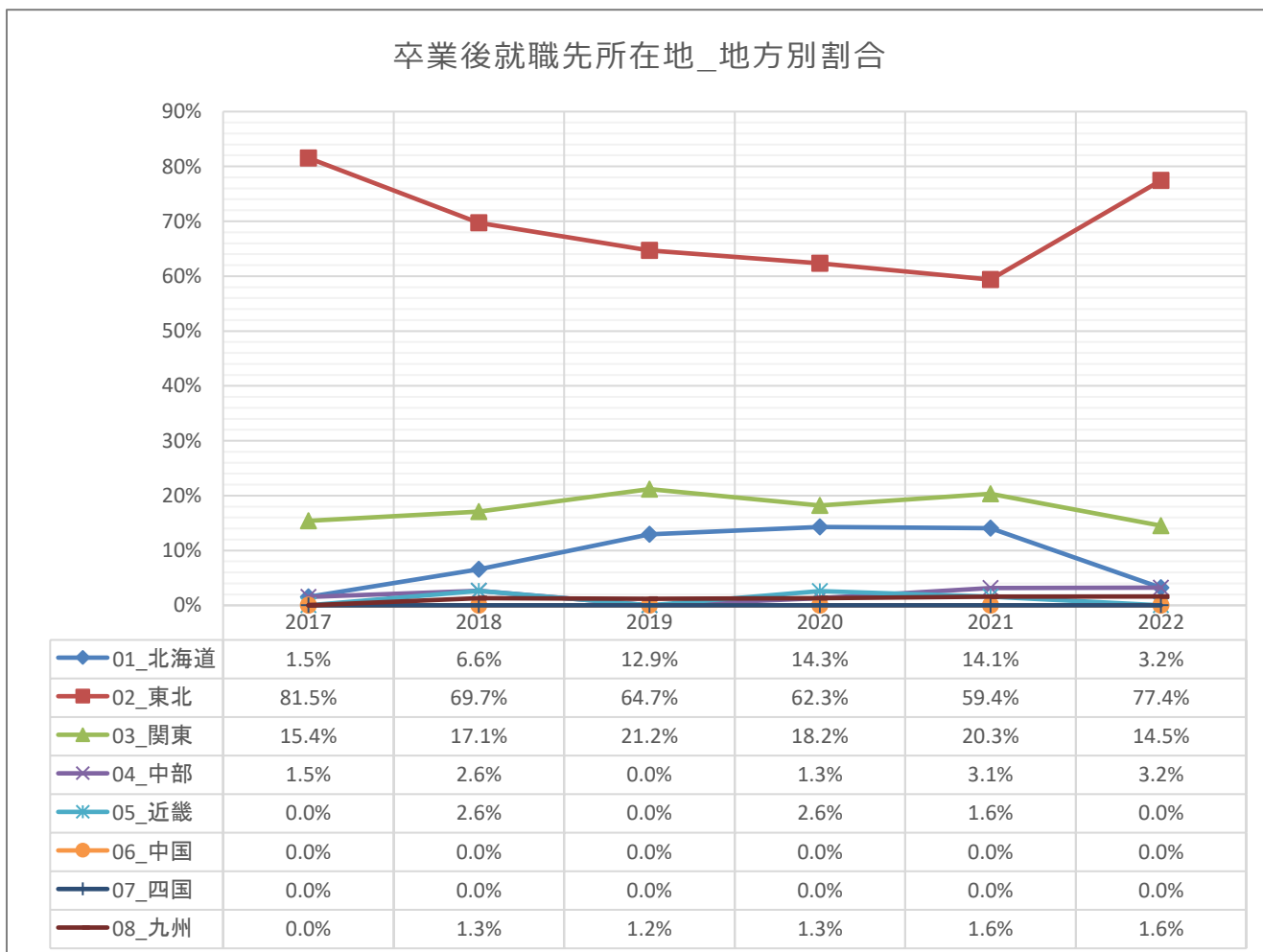
※凡例は「出身高校の所在する県→臨床研修先の病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。

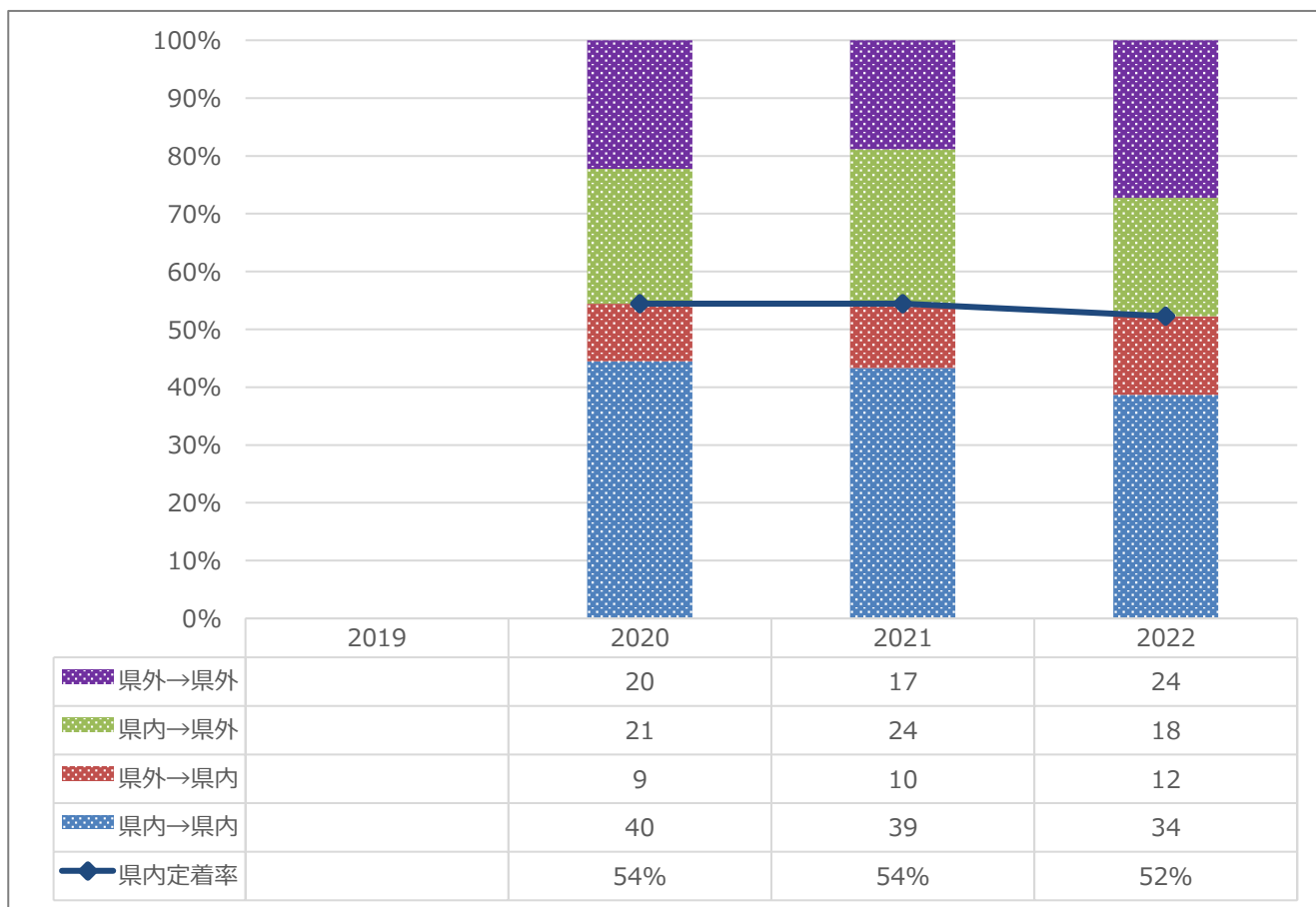
卒業後臨床実習先所在地_地方別割合





※凡例は「出身高校の所在する県→就職先企業、病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。





※凡例は「出身高校の所在する県→就職先の所在県」を示す。

